# 目 次

情報構造統御学講座	
形態構造医学分野(解剖学第一)	1
組 織 細 胞 生 物 学 分 野(解 剖 学 第 二)	2
神 経 機 能 再 生 外 科 学 分 野 (脳 神 経 外 科 学)	4
皮 膚 科 学 分 野(皮 膚 科 学)	11
視 覚 病 態 学 分 野(眼 科 学)	17
耳鼻咽喉・頭頚部外科学分野 (耳 鼻 咽 喉 科 学)	24
器官機能統御学講座	
心 血 管 機 能 統 御 学 分 野(生 理 学 第 一)	30
神 経 機 能 統 御 学 分 野(生 理 学 第 二)	32
消化器・一般外科学分野(外科学第一)	33
循環器・呼吸器・小児外科学分野(外科学)第二)	40
麻 酔 ・ 蘇 生 学 分 野(麻酔・蘇生学)	45
急性期生体機能統御学分野(救 急 医 学)	49
代謝再生統御学講座	
代 謝 細 胞 生 物 学 分 野(生 化 学 第 一)	51
生 体 分 子 機 能 学 分 野(生 化 学 第 二)	
運動機能再建・回復学分野(整 形 外 科 学)	
腎 泌 尿 器 外 科 学 分 野(泌 尿 器 科 学)	
骐 飓 叫 II 觃 丌 付 子 刀 虰(图付口觃丌付子)	
顎 顔 面 口 腔 外 科 学 分 野 (歯科口腔外科学)	
親 顔 面 口 腔 外 科 字 分 野 ( 圏 科 口 腔 外 科 字 )	
発達生体防御学講座	69
発達生体防御学講座 病 理 病 態 学 分 野(病 理 学 第 一)	69 71
発達生体防御学講座         病 理 病 態 学 分 野(病 理 学 第 一)         感 染 症 学 分 野(細 菌 学)	69 71
発達生体防御学講座         病 理 病 態 学 分 野(病 理 学 第 一)         感 染 症 学 分 野(細 菌 学)         免 疫 学 分 野(免疫学・寄生虫学)	69 71 72
発達生体防御学講座       病 理 病 態 学 分 野(病 理 学 第 一)         感 染 症 学 分 野(細 菌 学)         免 疫 学 分 野(免疫学・寄生虫学)         発 達 精 神 医 学 分 野(精 神 経 医 学)	69 72 78 76
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         感染症学分野(細菌学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)         発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)	69 72 78 76
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         感染症学分野(細菌学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)         発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)	69 72 78 76
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         感染症学分野(細菌学)       ・寄生虫学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)       ・         発達精神医学分野(精神神経医学)       ・         小児医科学分野(小児科学)       ・         女性医学分野(産科婦人科学)	69 71 72 78 76
発達生体防御学講座       病 理 病 態 学 分 野 (病 理 学 第 一)         感 染 症 学 分 野 (細 菌 学)         免 疫 学 分 野 (免疫学・寄生虫学)         発 達 精 神 医 学 分 野 (精 神 経 医 学)         小 児 医 科 学 分 野 (小 児 科 学)         女 性 医 学 分 野 (産 科 婦 人 科 学)         器官病態統御学講座         循 環 薬 理 学 分 野 (薬 理 学)	69 71 72 78 79
発達生体防御学講座       病 理 病 態 学 分 野 (病 理 学 第 一)         感 染 症 学 分 野 (細 菌 学)         免 疫 学 分 野 (免疫学・寄生虫学)         発 達 精 神 医 学 分 野 (精 神 経 医 学)         小 児 医 科 学 分 野 (小 児 科 学)         女 性 医 学 分 野 (産 科婦人科学)         器官病態統御学講座         循 環 薬 理 学 分 野 (薬 理 学)         血液・循環分子病態学分野 (分 子 病 態 学)	69 71 72 76 79 88
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         感染症学分野(細菌学)       会疫学・寄生虫学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)       発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)       女性医学分野(産科婦人科学)         器官病態統御学講座       循環薬理学分野(薬理学)         血液・循環分子病態学分野(分子病態学)       有態学)         循環・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第一)	69 71 72 76 79 83 85
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         病理病態学分野(細菌学)         感染症学分野(知菌学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)         発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)         女性医学分野(産科婦人科学)         器官病態統御学講座         循環薬理学分野(発理学)         血液・循環分子病態学分野(分子病態学)         循環・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第一)         消化器病態制御内科学分野(内科学第二)	69 71 72 76 78 83 85 87
発達生体防御学講座       病 理 病 態 学 分 野 (病 理 学 第 一)         感 染 症 学 分 野 (細 菌 学)         免 疫 学 分 野 (免疫学・寄生虫学)         発 達 精 神 医 学 分 野 (精 神 経 医 学)         小 児 医 科 学 分 野 (小 児 科 学)         女 性 医 学 分 野 (産 科婦人科学)         器官病態統御学講座         循 環 薬 理 学 分 野 (薬 理 学)         血液・循環分子病態学分野 (分 子 病 態 学)         循環・呼吸・腎臓内科学分野 (内 科 学 第 一)         消化器病態制御内科学分野 (内 科 学 第 三)         生 命 情 報 内 科 学 分 野 (内 科 学 第 三)	6971727679838587100
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         病理病態学分野(細菌学)         感染症学分野(知菌学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)         発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)         女性医学分野(産科婦人科学)         器官病態統御学講座         循環薬理学分野(発理学)         血液・循環分子病態学分野(分子病態学)         循環・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第一)         消化器病態制御内科学分野(内科学第二)	6971727679838587100
発達生体防御学講座       病 理 病 態 学 分 野 (病 理 学 第 一)         感 染 症 学 分 野 (細 菌 学)         免 疫 学 分 野 (免疫学・寄生虫学)         発 達 精 神 医 学 分 野 (精 神 経 医 学)         小 児 医 科 学 分 野 (小 児 科 学)         女 性 医 学 分 野 (産 科婦人科学)         器官病態統御学講座         循 環 薬 理 学 分 野 (薬 理 学)         血液・循環分子病態学分野 (分 子 病 態 学)         循環・呼吸・腎臓内科学分野 (内 科 学 第 一)         消化器病態制御内科学分野 (内 科 学 第 三)         生 命 情 報 内 科 学 分 野 (内 科 学 第 三)	6971727679838587100
<ul> <li>発達生体防御学講座 病 理 病 態 学 分 野 (病 理 学 第 一) 感 染 症 学 分 野 (細 菌 学) 免 疫 学 分 野 (免疫学・寄生虫学) 発達 精 神 医 学 分 野 (免疫学・寄生虫学) 小 児 医 科 学 分 野 (小 児 科 学) 女 性 医 学 分 野 (産 科婦人科学)</li> <li>器官病態統御学講座 循 環 薬 理 学 分 野 (薬 理 学) 血液・循環分子病態学分野 (分 子 病 態 学) 循環・呼吸・腎臓内科学分野 (内 科 学 第 一) 消化器病態制御内科学分野 (内 科 学 第 二) 生 命 情 報 内 科 学 分 野 (臨 床 検査 医学) 液 性 病 態 診 断 医 学 分 野 (臨 床 検査 医学)</li> </ul>	6971727678838587100108
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         感染症学分野(細菌学)       会疫学・寄生虫学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)       発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)       女性医学分野(産科婦人科学)         器官病態統御学講座循環薬理学分野(資料・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第一)       通援・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第二)         指環・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第二)       生命情報内科学分野(内科学第三)         技術態制御内科学分野(内科学第三)       大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	69717876
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         感染症学分野(細菌学)       会疫学・寄生虫学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)       発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)       女性医学分野(産科婦人科学)         器官病態統御学講座       理学分野(水子病態学)         循環分子病態学分野(分子病態学)       通視・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第二)         指環・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第三)       生命情報内科学分野(内科学第三)         生命情報内科学分野(臨床検査医学)       環境病態統御学講座         環境病態統御学講座       環境病態、医学分野(衛生学)         公衆衛生・予防医学分野(公衆衛生学)	6971727679888585100108
発達生体防御学講座       病理病態学分野(病理学第一)         感染症学分野(細菌学)       会疫学・寄生虫学)         免疫学分野(免疫学・寄生虫学)       発達精神医学分野(精神神経医学)         小児医科学分野(小児科学)       女性医学分野(産科婦人科学)         器官病態統御学講座循環薬理学分野(資料・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第一)       通援・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第二)         指環・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第二)       生命情報内科学分野(内科学第三)         技術態制御内科学分野(内科学第三)       大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	69717276788887100112116116

基礎看護学講座	 128
臨床看護学講座	 131
地域看護学講座	 136
輸 血 部	 141
医療情報部	 142
リハビリテーション部	 144
病 理 部	 152
治験管理センター	 154
薬 剤 部	 155
動物実験施設	 158
実習機器センター	 159
遺伝子実験施設	 160

( )内は旧講座名

# 情報構造統御学講座

# 形態構造医学分野(解剖学第一)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

1) Naito A, Yajima M, Sun Y-J, Chishima M: A motion of forearm supination with maintenance of elbow flexion produced by electrical stimulation to two elbow flexors in humans. J Electromyogr Kinesiol 2002; 12: 259-265

### 2. 学 会 報 告

# (1) 国外の学会

1) Sato T, Fujii H, Naito A, Tonosaki A, Kobayashi S, Shinozaki K, Miyasaka T, Shindo M: Inhibition of muscle afferents from the brachioradialis to triceps brachii motoneurons in humans: The central pathway. 3rd Asian Pacific International Congress of Anatomists, Hamamatsu; March 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) Fujii H, Sato T, Naito A, Kobayashi S, Sasaki T, Shinozaki K, Kasahara S: Functional anatomical studies of extensor carpi radialis and pronator teres activities during wrist movements in humans. 25th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, Tokyo; September 2002
- 2) Sato T, Fujii H, Naito A, Kobayashi S, Shinozaki K, Miyasaka T, Shindo M: Neural connections from the brachioradialis to triceps brachii motoneurons in humans: A neurophysiological study with a PSTH method. 25th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, Tokyo; September 2002
- 3) 小林真司,高木理彰,荻野利彦,内藤輝:ヒト橈側手根伸筋と円回内筋の間にみられる促通の機能的意義について.第39回日本リハビリテーション医学会,東京;2002年5月
- 4) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,篠崎克洋,小林真司,宮坂卓治,進藤政臣:腕橈骨筋と橈側手根伸筋の促通性神経投射-PSTH法を用いた解析-.第36回日本作業療法士学会,広島;2002年5月
- 5) 佐藤寿晃,藤井浩美,内藤輝,篠崎克洋,小林真司,宮坂卓治,進藤政臣:PSTH法によるヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋への神経結合の解析.第36回日本作業療法士学会,広島;2002年5月
- 6) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,篠崎克洋:手関節背屈運動でみられる橈側手根伸筋と円回内筋の 同期収縮とその意義.第32回日本臨床神経生理学会,福島;2002年11月
- 7) 佐藤寿晃,内藤輝,藤井浩美,小林真司,篠崎克洋:ヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋への抑制:PSTH法を用いた解析.第32回日本臨床神経生理学会,福島;2002年11月

#### (3) 国内地方会

1) 藤井浩美, 佐藤寿晃, 内藤輝, 小林真司, 佐々木健, 篠崎克洋, 笠原里美: 橈側手根伸筋と円回内筋の同期 収縮とその機能的意義. 解剖学会第48回東北北海道地方会, 十和田; 2002年9月

#### (4) 研 究 会

- 1) 藤井浩美: 手関節背屈運動でみられる橈側手根伸筋と円回内筋の共収縮とその意義. 第18回運動調節機構 とその病態生理研究会, 山形; 2002年10月
- 2) 佐藤寿晃:前腕回内外運動の筋活動:神経結合の機能的意義.第18回運動調節機構とその病態生理研究会, 山形;2002年10月

# 3. その他

1) 第18回運動調節機構とその病態生理研究会,山形;2002年10月

# 組織細胞生物学分野(解剖学第二)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Caricasole A, Bettini E, Sala C, Ronearati R, Kobayasi N, Caldara F, Goto K, Terstappen GC: Molecular cloning and characterization of the human diacylglycerol kinase beta gene: alternative splicing generates DGKbeta isotypes with different properties. J Biol Chem 2002; 277: 4790-4796
- 2) Akiba Y, Suzuki R, Saito-Saino S, Owada Y, Sakagami H, Watanabe M, Kondo H: Localization of mRNAs for phosphatidylinositol phosphate kinases in the mouse brain during development. Brain Research. Gene Expression Patterns 2002; 1: 123-133

#### (2) 総 説

- 1)後藤薫,近藤尚武:脳内における脂質性二次メッセンジャー代謝酵素ジアシルグリセロールキナーゼの分子・発現局在の多様性と機能的役割.電子顕微鏡 2002;37:183-187
- 2) 後藤薫:ホスホリパーゼC.萩原俊男,島本和明,日和田邦男,藤田敏郎編,KEY WORD 分子高血圧.東京;先端医学社,2002:160-162

# 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1) Katagiri Y, Suwabe A, Otake K, Sata M, Kubota I, Goto K: Expression and localization of diacylglycerol kinase in the developing rat lung. American Thoracic Society 2002 International Conference, Atlanta; May 2002
- 2) Sato S, Goto K, Yamashita H: Expression patterns of diacylglycerol kinase (DGK) isozymes in normal rat retina. 74th The Association for Research in Vision and Ophthalmology, Florida; May 2002
- 3) Saino S, Baker H: Expression of Dlx1 and 2 in the neonatal and adult mouse olfactory system. The Association for Chemoreception Science 24th Annual meeting, Florida; April 2002
- 4) Baker H, Berlin RA, Saino S: Developmental and adult regulation of Dlx1 and 2 expression in mouse olfactory bulb. The Society for Neuroscience 32th Annual meeting, Florida; November 2002
- 5) Saino S, Kobayashi K, Son J, Okano H, Baker H: Olfactory dopamine (DA) neuron migration and differentiation in mice expressing a tyrosine hydroxylase (TH) green fluorescent protein (GFP) fusion gene. The Society for Neuroscience 32th Annual meeting, Florida; November 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 片桐祐司,近藤尚武,後藤薫:発達過程のラット肺におけるジアシルグリセロールキナーゼの発現・局在・活性についての検討.第107回日本解剖学会総会,浜松;2002年4月
- 2) 飛澤晋介,加藤丈夫,後藤薫:家族性筋萎縮性側索硬化症に関連する変異型SOD 1 の細胞内凝集物形成に関する検討.第107回日本解剖学会総会,浜松;2002年4月
- 3) 片桐祐司, 諏訪部章, 大竹和久, 佐田誠, 後藤薫, 久保田功: ラット肺におけるジアシルグリセロールキナーゼの発現・局在・活性についての検討.第42回日本呼吸器学会総会, 仙台; 2002年4月
- 4) 佐藤さくら,後藤薫,山下英俊:正常ラット網膜におけるジアシルグリセロールキナーゼの発現パターン. 第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月

#### (3) 研究会

1) 伊藤吏,後藤薫:脂質性二次伝達物質代謝酵素・ジアシルグリセロールキナーゼの新規cDNAクローニング と機能.第3回山形ニューロサイエンス研究会,山形;2002年6月

# (4) そ の 他

- 1) 鷲岳宏,中野知之,後藤薫:多人数同時観察による走査型電子顕微鏡入門コース.山形大学公開講座,山形;2002年8月
- 2) 鷲岳宏,中野知之,後藤薫:ミクロの世界へのご招待.大学等地域開放特別事業,山形;2001年8月
- 3) 後藤薫:生殖機能の進化と発生工学について.岩手医科大学医学部講義,岩手;2002年10月

- 4) 後藤薫: 膜脂質代謝酵素の多様性と神経機能.第20回岩手脳神経外科談話会,第5回岩手医科大学医学部ハイテクリサーチセンター講演会,岩手;2002年10月
- 5) 片桐祐司,後藤薫: in situ ハイブリダイゼーション法(遺伝子組織化学法). 大学院トレーニングコース,山 形;2002年1月
- 6) 飛澤晋介,後藤薫:共焦点顕微鏡.大学院トレーニングコース,山形;2002年1月

# 神経機能再生外科学分野(脳神経外科学)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Adachi M, Saito S, Hosoya T, Kayama T, Kato T: Topographical alterations of the midbrain and the substantia nigra following unilateral posteroventral pallidotomy in patients with Parkinsons disease using routine and multishot diffusion-weighted magnetic resonance imaging. Neuroradiology 2002; 44: 579-585
- 2) Kimura H, Wada M, Kawanami T, Kurita K, Suzuki Y, Katagiri T, Daimon M, Kayama T, Kato T: Female Preponderance of Parkinsons Disease in Japan. Neuroepidemiology 2002; 21: 292-296
- 3) Kuroki A, Kayama T: Endoscopic approach to the pituitary lesions: Contemporary method and review of the literature. Biomed Pharmacother 2002; 56: 158-164
- 4) Kokubo Y, Derugin N, Hill T, Mancuso A, Chan PH, Weinstein PR: Transgenic mice expressing human copper-zinc superoxide dismutase exhibit attenuated apparent diffusion coefficient reduction during reperfusion following focal cerebral ischemia. Brain Res 2002; 947: 1-8
- 5) Kokubo Y, Liu J, Mancuso A, Kayama T, Sharp FR, Weinstein PR: Correlation between changes in apparent diffusion coefficient and induction of heat shock protein, cell-specific on diffusion-weighted magnetic resonance images after temporary focal cerebral ischemia in rats. J Neurosurg 2002; 96: 1084-1093
- 6) Sakurada K, Kokubu A, Sunayama J, Kayama T, Kuchino Y: A cellular mechanism that reversibly inactivates pancaspase inhibitor zAsp-CH2-DCB: A potential pitfall causing discrepancy between in vitro and in vivo caspase assays. Biochem Biophys Res Commun 2002; 291: 1022-1030
- 7) Tsuchiya D, Hong S, Suh SW, Kayama T, Panter SS, Weinstein PR: Mild hypothermia reduces Zinc translocation, neuronal cell death, and mortality after transient global ischemia in mice. J Cereb Blood Flow Metabol 2002; 22: 1231-1238
- 8) Tsuchiya D, Weinstein PR, Kayama T: Zinc and Cerebral Ischemia. Yamagata Med Journal 2002; 20: 115-118
- 9) Kuroki A, Kayama T: Pituitary endoscopic approach to the pituitary lesions: contemporary method and review of the literature. Biomedicine and pharmachotherapy 2002; 56: 158-164
- 10) 黄木正登,嘉山孝正,松森保彦,佐藤慎哉,黒木亮:鞍隔膜上下に存在する頭蓋咽頭腫に対して開頭および 経鼻的手術法で二期的に全摘出し得た一例.新潟医学会雑誌 2002:519
- 11) 嘉山孝正,竹村直,黄木正登,上井英之,近藤礼:当科における破裂脳動脈瘤の治療成績 Hunt and Kosnik grade , 症例の検討.脳卒中の外科 2002;30:107-111
- 12) 久下淳史,嘉山孝正,園田順彦,黒木亮,斎藤伸二郎:Optic glioma様の画像所見を呈したoptic canal meningiomaの一手術例.新潟医学会雑誌 2002:523
- 13) 黒木亮,嘉山孝正,佐藤慎哉,金城利彦,竹村直:経鼻孔経蝶形骨洞的内視鏡手術の進歩と限界.日本内分泌学会雑誌 2002;78:89-92
- 14) 近藤礼,嘉山孝正,林真司,加藤直樹,小久保安昭,上井英之:前交通動脈瘤の手術手技-当科で行っているinterhemispheric approachの有用性 . 脳卒中の外科 2002;30:177-183
- 15) 近藤礼,嘉山孝正,長畑守雄:頭痛のみで発症した椎骨脳底動脈解離症例の検討.第24回東北脳血管障害懇話会学術集会記録集 2002:63-66
- 16) 斎野真,嘉山孝正,櫻田香,川上圭太,朽木秀雄,園田順彦,佐藤慎哉: ICE療法前後鞍上部germ cell tumorの内分泌異常と画像所見.第12回日本間脳下垂体腫瘍学会Proceeding 2002;78:53-56
- 17) 櫻田香,園田順彦,佐藤慎哉,黒木亮,斎藤伸二郎,嘉山孝正:覚醒手術中の前頭葉および側頭葉弁蓋部皮質における言語機能の解析.機能的脳神経外科 2002;41:74-75
- 18) 櫻田香,嘉山孝正,小久保安昭,佐藤慎哉,近藤礼:脳梗塞による補足運動野症候群の一例.新潟医学会雑誌 2002;116:510
- 19) 園田順彦,嘉山孝正,櫻田香,斎野真,佐藤慎哉:Optic gliomaの治療方針.新潟医学会雑誌 2002:523
- 20) 竹村直,佐藤慎哉,小久保安昭,嘉山孝正:脳梗塞症例における頭位と脳内酸素飽和度に関する検討.

第24回東北脳血管障害懇話会学術集会記録集 2002:39-41

- 21) 長畑守雄,近藤礼,嘉山孝正,細矢貴亮:MRIによる閉塞椎骨動脈の形態評価.第24回東北脳血管障害懇話 会学術集会記録集 2002:67-71
- 22) 毛利渉,片倉康喜,斎藤伸二郎,嘉山孝正:14年間に3回の定位脳手術を行い、予後良好に経過している若年発症パーキンソン病の1例.機能的脳神経外科 2002;41:124-125
- 23) 吉村哲彦,遠藤広和,加藤直樹,鈴木保宏,藤井敏司,佐藤慎哉,冨永悌二,嘉山孝正,吉本高志,古竹弥成:細菌性髄膜炎における一酸化窒素(NO)産生とフェニルブチルニトロンのNO低減作用.平成13年度生物ラジカル研究所研究発表会要旨集 2002:34-37

#### (2) 著書

- 1) 嘉山孝正,朽木秀雄:後頭蓋窩腫瘍:麻酔.基礎と臨床.東京;真興交易(株)医書出版部,2002:224-229
- 2) 嘉山孝正, 佐藤慎哉: モニタリング下脳腫瘍手術の利点とpitfall. 脳腫瘍の外科. 大阪; メディカ出版, 2002: 182-190
- 3) 嘉山孝正, 佐藤慎哉, 黒木亮: 言語機能のモニタリング. 脳神経外科手術における脳機能モニタリングの原理と実際. 東京; にゅーろん社, 2002: 89-102
- 4) 嘉山孝正, 佐藤慎哉: 手術の目的. 脳神経外科手術における脳機能モニタリングの原理と実際. 東京; にゅーろん社, 2002: 1-15
- 5) 黒木亮,嘉山孝正:顔面痙攣.機能的脳神経外科の最先端.東京;先端医療技術研究所,2002:373-377
- 6) 斎藤伸二郎,嘉山孝正:脳外科手術.顔面筋の異常運動 片側顔面痙攣と病的共同運動の臨床.東京;金原 出版,2002:68-80
- 7) 佐藤慎哉,黄木正登,嘉山孝正:運動機能のモニタリング.脳神経外科手術における脳機能モニタリングの原理と実際.東京;にゅーろん社,2002:29-39
- 8) 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 松森保彦, 國広華奈, 斎野真, 黒木亮: Craniopharyngiomaの手術. 脳腫瘍の外科. 大阪; メディカ出版, 2002: 14-20

#### (3) 総 説

- 1) Sato S, Kayama T, Sakurada K, Kuroki A, Jokura H, Yoshimoto T: Surgical treatment of petroclival meningioma with special reference to timing of radiosurgery for residual tumor. International Congress Series: Developments in Neuroscience 2002; 265-274
- 2) 嘉山孝正:教育の難しさ.脳神経外科 2002;30:3-4
- 3) 嘉山孝正:脳科学に裏打ちされた脳腫瘍治療戦略 特に手術療法について . 第1回脳腫瘍フォーラム in Nagoya講演集 2002:11-19
- 4) 嘉山孝正:山形大学医学部附属病院長に就任して.山形県医師会会報 2002;608:9-10
- 5) 嘉山孝正:山形での私の仕事.山形良陵 2002;33:8-9
- 6) 佐藤慎哉, 嘉山孝正: 脳卒中臨床評価システムの応用 日常臨床における応用. Clinical Neuroscience 2002; 20:914-915
- 7) 佐藤慎哉,嘉山孝正:グリオーマの手術.脳神経外科ジャーナル 2002;11:521-529

### (4) その他

- 1) 嘉山孝正:山形大学蔵王協議会設立の意義.山形大学蔵王協議会だより 2002;創刊号:1
- 2) 嘉山孝正:久保田功先生の教授ご就任をお祝いして.山形大学第一内科同門会誌 m-アルカディア 2002:3-4
- 3) 嘉山孝正:解剖の意義.しらゆき 2002:64
- 4) 嘉山孝正:山形大学病院ニュース発刊にあたって.山形大学病院ニュース 2002;第1号:1
- 5) 嘉山孝正:中村順一先生の教え.中村順一追悼集 2002:75

#### 2.学会報告

# (1) 国際学会

- 1) Kayama T: Surgical treatment of clinoidal meningioma after protective high flow bypass surgery. The 25th Anniversary Meeting of Prof. Samii in Hannover, Hannover; June 2002
- 2 ) Kayama T: Surgery of the giant aneurysm. The 7th International Workshop for Cerebrovascular Surgery, Kyoto; September 2002

- 3) Sato S, Kayama T, Sakurada K, Kuroki A, Jokura H, Yoshimoto T: Surgical treatment of petroclival meningioma with special reference to timing of radiosurgery for residual tumor. The 2nd International Mt.BANDAI Symposium for Neuroscience, Fukushima; October 2002
- 4 ) Kayama T, Sakurada K, Sonoda Y, Kondo R, Sato S: Surgical treatment of clinoidal meningioma using high flow bypass. China-Japan Medical Conference 2002, China-Japan Friendship Neurosurgical Symposium 2002, Beijin; November 2002
- 5) Saito S, Kuroki A, Mouri W, Kayama T: Image guided endoscopic pituitary surgery through nostril. China-Japan Medical Conference 2002, China-Japan Friendship Neurosurgical Symposium 2002, Beijin; November 2002
- 6) Takemura S, Kuge A, Tsuchiya D, Hasmat A, Kokubo Y, Kayama T: Attenuation of age-dependent reduction of neural stem cell in the Cupper/Zinc superoxide dismutase overexpressing mice. China-Japan Medical Conference 2002, China-Japan Friendship Neurosurgical Symposium 2002; Beijin; November 2002
- 7) Kayama T: Prediction and prevention of hyperperfusion syndrome after CEA. 4th Coming Meeting of the Korean Society for Cerebrovascular Disease, Korea; November 2002
- 8) Kayama T: Surgery of brain tumor adjacent to eloquent cortices using functional brain mapping, intraoperative monitoring and awake surgery. 4th Asian Conference of Neurological Surgeons, Hong Kong; November 2002
- 9) Kayama T: Surgery for tumors around language areas. 4th Asian Conference of Neurological Surgeons, Hong Kong; November 2002
- 10 ) Kokubo Y, Kayama T, Kuroki A: Image guided endoscopic pituitary surgery through nostril. 1st Asian Society of Neurooncology, Kumamoto; November 2002
- 11 ) Sakurada K, Kayama T, Sonoda Y, Sato S, Saito S: Surgery of brain tumor adjacent cortices using functional brain mapping, intraoperative monitorings and awake surgery. 1st Asian Society of Neurooncology, Kumamoto; November 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 斎野真,嘉山孝正,櫻田香,川上圭太,朽木秀雄,園田順彦,佐藤慎哉:ICE療法前後神経下垂体部germ cell tumorの内分泌異常と画像所見.第12回日本間脳下垂体腫瘍学会,東京;2002年2月
- 2) 小久保安昭,嘉山孝正,黄木正登,佐藤慎哉,黒木亮:画像誘導法経鼻孔経蝶形骨洞内視鏡手術の実際と治療成績.第12回日本間脳下垂体腫瘍学会,東京;2002年2月
- 3) 黒木亮, 嘉山孝正, 松森保彦, 園田順彦, 佐藤慎哉:非機能性巨大下垂体腺腫の治療-経鼻的内視鏡手術例の検討-. 第12回日本間脳下垂体腫瘍学会, 東京; 2002年2月
- 4) 片倉康喜,嘉山孝正,小久保安昭,園田順彦,佐藤慎哉,黒木亮: Video editing of surgical operations with QuickTime Player. 第12回脳神経外科コンピュータ研究会,東京; 2002年2月
- 5) 佐藤慎哉,嘉山孝正,櫻田香,斎野真,園田順彦,黒木亮,斎藤伸二郎:シルヴィウス裂内側に面する前頭葉および側頭葉皮質における言語機能の解析-覚醒手術における検討から . 第5回日本ヒト脳機能マッピング学会学術大会,つくば;2002年3月
- 6) 近藤礼,嘉山孝正,小久保安昭,黄木正登,斎野真,佐藤慎哉:高齢者虚血性脳血管障害の治療成績. 第15回日本老年脳神経外科学会,奈良;2002年3月
- 7) 斎藤伸二郎,嘉山孝正,片倉康喜:高齢者パーキンソン病に対する定位脳手術.第15回日本老年脳神経外科学会,奈良;2002年3月
- 8) 小久保安昭,久下淳史,竹村直,佐藤慎哉,Weinstein PR,嘉山孝正:ヒトCuZn-SODトランスジェニックマウス局所脳虚血におけるapparent diffusion coefficient (ADC)の変化.第27回日本脳卒中学会総会,仙台;2002年4月
- 9) 近藤礼,加藤直樹,斎野真,黄木正登,佐藤慎哉,嘉山孝正,長畑守雄:頭痛のみにて発症した椎骨脳底動脈解離の検討.第27回日本脳卒中学会,仙台;2002年4月
- 10) 長畑守雄,近藤礼,嘉山孝正: surface anatomy scanning (SAS) MRIによる椎骨脳底動脈解離の形態評価. 第27回日本脳卒中学会,仙台;2002年4月
- 11) 嘉山孝正,竹村直,土谷大輔,斎野真,黄木正登,佐藤慎哉,黒木亮,近藤礼:めまいと脳卒中.第27回日本脳卒中学会,仙台;2002年4月
- 12) 近藤礼,國廣華奈,斎野真,黄木正登,佐藤慎哉,嘉山孝正,折田博之,廣岡茂樹: mass effectにて発症し

た巨大総頸動脈瘤の一治験例.第31回日本脳卒中の外科学会,仙台;2002年4月

- 13) 黒木亮,嘉山孝正,松森保彦,遠藤広和,園田順彦,佐藤慎哉:画像誘導内視鏡下経鼻孔経蝶形骨洞手術 -手術機械の開発とナビゲーションの応用 - . 第11回脳神経外科手術と機器学会,甲府;2002年4月
- 14) 櫻田香,嘉山孝正,小久保安昭,園田順彦,近藤礼,佐藤慎哉,黒木亮:内頸動脈を巻き込んだclinoidal meningiomaに対する伏在静脈を用いたhigh flow bypassを併用した手術.第11回脳神経外科手術と機器学会,甲府; 2002年4月
- 15) 佐藤慎哉, 嘉山孝正, 櫻田香, 斎野真, 川上圭太, 朽木秀雄, 園田順彦: Eloquent area近傍腫瘍に対するgyrectomy法の有用性. 第11回脳神経外科手術と機器学会, 甲府; 2002年4月
- 16) 斎藤伸二郎,嘉山孝正,松森保彦,土谷大輔,片倉康喜:脳神経減圧術再手術時の留意点.第11回脳神経外 科手術と機器学会,甲府;2002年4月
- 17) 近藤礼,嘉山孝正,黄木正登,斎野真,小久保安昭:巨大脳動脈瘤の治療.第11回脳神経外科手術と機器学会,甲府;2002年4月
- 18) 朽木秀雄,嘉山孝正,櫻田香,斎野真,川上圭太,園田順彦,佐藤慎哉: minigemistocyteを認めたoligodendrogliomaの2治験例.第20回日本脳腫瘍病理学会,広島;2002年5月
- 19) 佐藤慎哉,嘉山孝正,櫻田香,斎野真,川上圭太,朽木秀雄,園田順彦: medulloblastomaの手術.第30回日本小児神経外科学会,旭川;2002年6月
- 20) 竹村直,久下淳史,Ali Hasmat,上井英之,小久保安昭,佐藤慎哉,後藤薫,嘉山孝正:ヒトSuperoxide dismutase(SOD)遺伝子導入マウスを用いた神経幹細胞の動態の検討.第29回日本脳科学会,酒田;2002年6月
- 21) 園田順彦,嘉山孝正,吉本高志,Berger MS,Pieper RO:ヒトアストロサイトを用いた悪性神経膠腫の作製. 第3回日本分子脳神経外科学会,仙台;2002年7月
- 22) 久下淳史,小久保安昭,斎藤伸二郎,嘉山孝正,中里信和,吉本高志:自発脳磁界をもとに焦点切除および MSTを行った結節硬化症の一例.第25回日本てんかん外科学会,松本;2002年9月
- 23) 櫻田香,園田順彦,佐藤慎哉,黒木亮,斎藤伸二郎,嘉山孝正:覚醒手術中の前頭葉および側頭葉弁蓋部皮質における言語機能の解析.第41回日本定位・機能神経外科学会,松本;2002年9月
- 24) 毛利渉,片倉康喜,斎藤伸二郎,嘉山孝正:14年間に3回の定位脳手術を行い、良好に経過している若年発症パーキンソン病の1例.第41回日本定位・機能神経外科学会,松本;2002年10月
- 25) 斎藤伸二郎,嘉山孝正:脳神経減圧術再手術時の留意点.第5回脳神経減圧研究会,松本;2002年10月
- 26) 黄木正登,嘉山孝正,櫻田香,竹村直,園田順彦,佐藤慎哉,近藤礼: clinoidal meningiomaの手術 high flow bypassの有用性 . 第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 27) 佐藤慎哉,嘉山孝正,毛利渉,國広華奈,園田順彦,斎藤伸二郎:言語野近傍腫瘍性病変における言語機能の可塑性に関する検討 functional MRIとawake surgeryの結果から . 第61回日本脳神経外科学会総会,松本; 2002年10日
- 28) 櫻田香,嘉山孝正,園田順彦,朽木秀雄,佐藤慎哉,黒木亮,斎藤伸二郎:シルヴィウス裂内側に面する前頭葉および側頭葉皮質における言語機能の解析:覚醒手術における検討から.第61回日本脳神経外科学会総会, 松本;2002年10月
- 29) 斎野真,嘉山孝正,近藤礼,舟生勇人,竹村直,加藤直樹: pterional approachにおける開頭法および静脈温存法.第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 30) 安藤肇史,仁村太郎,嘉山孝正,斎藤伸二郎,吉本高志:両側視床下核刺激術と両側淡蒼球手術における治療成績の比較.第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 31) 近藤礼,嘉山孝正,久下淳史,小久保安昭,黄木正登,相馬正男:未破裂脳動脈瘤におけるapproach,動静脈の剥離およびclippingの工夫.第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 32) 土谷大輔, Shwuhuey H, Scott PS, Swanson RA, Weinstein PR, 嘉山孝正:一過性局所脳虚血,一過性全脳虚血 およびカイニン酸誘導痙攣におけるheat shock protein 70の神経保護作用.第61回日本脳神経外科学会総会,松 本;2002年10月
- 33) 嘉山孝正:レジデント教育 現状,問題点,将来 . 第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 34) 嘉山孝正,近藤礼,佐藤篤,斎野真,黄木正登,佐藤慎哉:未破裂脳動脈瘤の治療:適応、術中管理を含めた手術法.第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 35) 黒木亮,嘉山孝正,奥山澄人,林真司,竹村直,金城利彦:内視鏡下経鼻孔下垂体手術における画像誘導

- 法:手術プランニングにどれだけ役立っているか.第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 36) 竹村直,久下淳史,Ali Hasmat,上井英之,小久保安昭,佐藤慎哉,後藤薫,嘉山孝正:ヒトSuperoxide dismutase(SOD)遺伝子導入マウスを用いた神経幹細胞の動態の検討.第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 37) 天笠雅春,嘉山孝正,櫻田香,遠藤広和,園田順彦,佐藤慎哉,黒木亮:頭蓋咽頭腫に対するmultimodality を用いた治療:複数・多段階アプローチの利点.第61回日本脳神経外科学会総会,松本;2002年10月
- 38) 園田順彦,嘉山孝正,吉本高志:ヒトアストロサイトを用いた悪性神経膠腫の作製.第61回日本癌学会, 名古屋;2002年10月
- 39) 櫻田香,北中千史,嘉山孝正,口野嘉明:Rasによりグリオーマ細胞に誘導されるカスパーゼ非依存的プログラム死を抑制する細胞性因子.第61回日本癌学会,名古屋;2002年10月
- 40) 佐藤慎哉,嘉山孝正,毛利渉,櫻田香,園田順彦,黒木亮:言語野近傍病変に対するtrans-sylvian approach . 第7回日本脳腫瘍の外科学会,岐阜;2002年11月
- 41) 加藤直樹,嘉山孝正,奥山澄人,久下淳史,園田順彦,佐藤慎哉,黒木亮,斎藤伸二郎:頭蓋咽頭腫の治療:単独または複数の開頭手術および経蝶形骨洞手術に放射線治療を組合せて機能温存を目指す.第7回日本 脳腫瘍の外科学会,岐阜;2002年11月
- 42) 片倉康喜,嘉山孝正,竹村直,土谷大輔,園田順彦,佐藤慎哉,黒木亮:内視鏡下経鼻孔下垂体手術における画像誘導法の有用性.第7回日本脳腫瘍の外科学会,岐阜;2002年11月
- 43) 黒木亮,嘉山孝正:下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻孔経蝶形骨洞手術の治療成績:顕微鏡手術との比較. 第9回日本神経内視鏡学会,東京;2002年11月
- 44) 斎藤伸二郎,嘉山孝正,片倉康喜,毛利渉:14年間に3回の定位脳手術を行い、良好に経過している若年発症パーキンソン病の一例.第18回電気刺激療法研究会,東京;2002年11月

#### (3) 国内地方会

- 1) 斎藤伸二郎,嘉山孝正,松森保彦,小久保安昭:14年間に3度の定位脳手術を行い、良好なQOLを維持している若年性パーキンソン病の1例.第70回日本神経学会東北地方会,仙台;2002年3月
- 2) 嘉山孝正: Eloquent近傍腫瘍の安全で確実な手術.第48回北海道脳神経外科懇話会,日本脳神経外科学会北海道地方会,札幌;2002年3月
- 3) 斎野真,嘉山孝正,櫻田香,川上圭太,朽木秀雄,園田順彦,佐藤慎哉: Cerebellar mutismを呈したmedulloblastomaの一例.第36回東北脳腫瘍研究会,秋田;2002年4月
- 4) 黄木正登,嘉山孝正,松森保彦,佐藤慎哉,黒木亮:鞍隔膜上下に存在する頭蓋咽頭腫に対して開頭および 経鼻的手術法で二期的に全摘出し得た一例.第26回北日本脳神経外科連合会学術集会,弘前;2002年5月
- 5) 園田順彦, 嘉山孝正, 櫻田香, 斎野真, 佐藤慎哉: Optic gliomaの治療方針. 第26回北日本脳神経外科連合会学術集会, 弘前; 2002年5月
- 6) 久下淳史,嘉山孝正,園田順彦,黒木亮,斎藤伸二郎: Optic glioma様の画像所見を呈したOptic canal meningiomaの1手術例.第26回北日本脳神経外科連合会学術集会,弘前;2002年5月
- 7) 毛利渉,嘉山孝正,櫻田香,高橋智子,園田順彦,佐藤慎哉,斎藤伸二郎,中里洋一:急速に脊髄症状の進行をみた頚髄髄外腫瘍の一例.第9回東北神経病理学会,弘前;2002年9月
- 8) 久下淳史,嘉山孝正,櫻田香,園田順彦,佐藤慎哉:脳室内腫瘍のTl SPECT所見.第12回東北脳SPECT研究会,秋田;2002年9月
- 9) 舟生勇人,嘉山孝正,小久保安昭,園田順彦,佐藤慎哉,黒木亮:glioma様の画像所見を呈した中頭蓋窩 schwannomaの稀な一例.第37回日本脳神経外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 10) 片倉康喜,天笠雅春,櫻田香,湯田文朗:進行性のびまん性白質病変で発症したnon-enhancing malignant lymphomaの一例.第37回日本脳神経外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 11) 佐藤篤, 嘉山孝正, 園田順彦, 高橋智子, 斎藤伸二郎, 近藤礼: 多発性髄膜腫との鑑別が困難であったRosai-Dorfaman's diseaseの一例.第37回日本脳神経外科学会東北地方会, 秋田; 2002年9月
- 12) 奥山澄人,嘉山孝正,久下淳史,毛利渉,園田順彦,佐藤慎哉:頭蓋内外に広く進展したcranial fasciitisの一手術例.第37回日本脳神経外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 13) 斎野真,佐藤和彦,嘉山孝正:神経内視鏡が有用であった側脳室くも膜嚢胞の一例.第37回日本脳神経外科 学会東北地方会,秋田;2002年9月

- 14) 朽木秀雄,金城利彦,佐藤篤:視床海綿状血管腫の一手術例.第37回日本脳神経外科学会東北地方会, 秋田:2002年9月
- 15) 黄木正登, 斎野真, 嘉山孝正, 近藤礼, 長畑守雄: クリッピング後残存柄部に対しcoil embolizationを追加した巨大脳動脈瘤の一例.第6回東北脳神経血管内治療研究会, 秋田; 2002年9月
- 16) 斎野真,佐藤和彦,嘉山孝正:神経内視鏡が有用であった側脳室くも膜嚢胞の一例.第37回日本脳神経外科学会 東北地方会,秋田;2002年9月
- 17) 斎藤伸二郎,片倉康喜,嘉山孝正,木村英紀,加藤丈夫:パーキンソン病に対する視床下核刺激の効果:特に1-dopaの効果との関連からみた早期刺激開始の重要性.第71回日本神経学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 18) 高橋智子,園田順彦,斎藤伸二郎,嘉山孝正:椎弓形成術下に摘出した頚髄硬膜内髄外腫瘍の一手術例. 第71回日本神経学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 19) 小久保安昭,嘉山孝正,佐藤慎哉,竹村直,近藤礼:細菌性動脈瘤5例の検討.第25回東北脳血管障害懇話会,仙台;2002年12月
- 20) 竹村直,嘉山孝正,久下淳史,Ali Hasmat,小久保安昭,佐藤慎哉,後藤薫,吉本高志:ヒトSuperoxide dismutase(SOD)遺伝子導入マウスを用いた神経幹細胞の動態の検討.第25回東北脳血管障害懇話会,仙台;2002年12月

#### (4) 研究会

- 1) 黄木正登,竹村直,斎野真,近藤礼,佐藤慎哉,嘉山孝正:血行再建術を施行した巨大総頸動脈瘤の1例. 第29回山形脳神経外科懇話会,山形;2002年2月
- 2) 園田順彦,嘉山孝正,松森保彦,佐藤慎哉,黒木亮:当科におけるOptic gliomaの手術治療.第13回山形大学 脳神経外科手術カンファレンス,山形;2002年2月
- 3) 斎藤伸二郎,嘉山孝正:パーキンソン病の定位脳手術の適応基準.山形県パーキンソン病・神経変性疾患調査治療研究会,山形;2002年2月
- 4) 吉村哲彦,遠藤広和,加藤直樹,鈴木保宏,藤井敏司,佐藤慎哉,冨永悌二,嘉山孝正,吉本高志,古竹弥成:細菌性髄膜炎における一酸化窒素(NO)産生とフェニルブチルニトロンのNO低減作用.平成13年度生物ラジカル研究所研究発表会,山形;2002年2月
- 5) 嘉山孝正:最新の脳神経外科手術.第3回置賜医療連携学術集会,山形;2002年2月
- 6) 嘉山孝正:脳科学に裏打ちされた脳腫瘍治療戦略 特に手術療法について . 第1回脳腫瘍フォーラムin Nagoya , 名古屋; 2002年3月
- 7) 嘉山孝正:脳のメカニズムを使った効果的な学習法.やましん親子の教育セミナー 脳と学習の科学, 山形;2002年3月
- 8) 嘉山孝正: 21世紀の脳腫瘍の治療. Southern TOHOKU Research Medical Conference, 郡山; 2002年4月
- 9) 嘉山孝正:脳科学に裏打ちされた脳腫瘍治療戦略 特に手術法について . 旭川脳神経外科手術セミナー, 旭川;2002年4月
- 10) 嘉山孝正:健やかな老後を送るために-脳卒中への戦い-.市民公開講演 脳:老化と疾患,酒田;2002年6月
- 11) 竹村直,久下淳史,小久保安昭,嘉山孝正:ヒトsuperoxide dismutase(SOD)遺伝子導入マウスを用いた神経幹細胞の動態の検討.山形ニューロサイエンスミーティング研究会第3回学術集会,山形;2002年6月
- 12) 朽木秀雄,園田順彦,佐藤慎哉,嘉山孝正:側脳室髄膜腫に対する2方向からのアプローチ.第30回山形脳神経外科懇話会,山形;2002年5月
- 13) 久下淳史,近藤礼,佐藤慎哉,黄木正登,嘉山孝正:未破裂脳動脈瘤の治療方針.第2回山形県脳ドック研究会,山形;2002年6月
- 14) 土谷大輔,近藤礼,佐藤慎哉,嘉山孝正:巨大脳動脈瘤の手術.第31回山形脳神経外科懇話会,山形;2002 年8月
- 15) 嘉山孝正:無症候性脳動脈瘤の治療 安全で確実な治療を目指して . 脳血管疾患シンポジウム in Fukuoka 02, 福岡; 2002年10月
- 16) 加藤直樹,嘉山孝正,小久保安昭,斎野真,近藤礼:未破裂脳動脈瘤の治療.第6回急性期脳卒中カンファレンスin山形,山形;2002年10月
- 17) 佐藤慎哉,嘉山孝正:加齢と脳梗塞.山形大学公開講座,山形;2002年10月

- 18) 毛利渉,嘉山孝正,櫻田香,園田順彦:側頭葉悪性神経膠腫の手術.第32回山形脳神経外科懇話会,山形; 2002年12月
- 19) 久下淳史,竹村直,Ali Hasmat,小久保安昭,嘉山孝正:内在性神経幹細胞発現へのfree radical の影響 human Cupper/Zinc superoxide dismutase overexpressing transgenic miceを用いた検討 . 第13回山形大学医学部 実験動物セミナー研究成果発表会,山形; 2002年12月

# 3. その他

- 1) 第29回山形脳神経外科懇話会,山形;2002年2月
- 2) 第13回山形大学脳神経外科手術カンファレンス,山形;2002年2月
- 3) 第30回山形脳神経外科懇話会,山形;2002年5月
- 4) 第8回山形県対脳卒中治療研究会,山形;2002年5月
- 5) 山形ニューロサイエンスミーティング研究会第3回学術集会,山形;2002年6月
- 6) 第2回山形県脳ドック研究会,山形;2002年6月
- 7) 第31回山形脳神経外科懇話会,山形;2002年8月
- 8) 第6回急性期脳卒中カンファレンスin山形,山形;2002年10月
- 9) 第9回山形県対脳卒中治療研究会,山形;2002年11月
- 10) 第32回山形脳神経外科懇話会,山形;2002年12月

# 皮膚科学分野(皮膚科学)

# 1.論 文

#### (1)原 著

- 1) Katagata Y, Takeda H, Ishizawa T, Hozumi Y, Kondo S: Occurrence and comparison of the expressed keratins in cultured human fibroblasts, endothelial cells and their sarcomas. J Dermatol Sci 2002; 30: 1-9
- 2) Takeda H, Katagata Y, Kondo S: Immunohistochemical study of angiotensin receptors in human anagen hair follicles and basal cell carcinoma. Br J Dermatol 2002; 147: 276-280
- 3) Bitoun E, Chavanas S, Irvine AD, Lonie L, Bodemer C, Paradisi M, Hamel-Teillac D, Ansai S, Mitsuhashi Y, Taieb A, de Prost Y, Zambruno G, Harper JI, Hovnanian A: Netherton syndrome: disease expression and spectrum of SPINK5 mutations in 21 families. J Invest Dermatol 2002; 118: 352-361
- 4) Hamada T, South AP, Mitsuhashi Y, Kinebuchi T, Bleck O, Ashton, GHS, Hozumi Y, Suzuki T, Hashimoto T, Eady RAJ, McGrath JA: Genotype-phenotype correlation in skin fragility-ectodermal dysplasia syndrome resulting from mutations in plakophilin 1. Exp Dermatol 2002; 11: 107-114
- 5) 三橋善比古,鈴木紀子,齋藤寛幸,片桐美之,穂積豊,近藤慈夫:サブスタンスPによるマウス皮膚肥満細胞の脱顆粒とフマル酸エメダスチンによる抑制~週齢による変化~.アレルギー・免疫 2002;9:886-891
- 6) 石澤俊幸,阿部優子,大山正俊,三橋善比古,近藤慈夫,伊藤宏:乳房外Paget病の手術後に生じた肺塞栓症の1例.皮膚臨床 2002;44:169-172
- 7) 石澤俊幸,三橋善比古,近藤慈夫,門馬節子: Hidradenoma Papilliferumの1例.皮膚臨床 2002;44:494-495
- 8) 石澤俊幸,片桐美之,三橋善比古,近藤慈夫,畠山明:膠原病の合併が示唆された多発性皮膚線維腫の1例. 臨皮 2002;56:351-353
- 9) 石澤俊幸,近藤慈夫,白石正,仲川義人,大友せつ子,長岡栄子,中村幹彦,阿部吉昭,平坂敏夫:皮膚保護成分含有スキンケアハンドローション(花王ソフティ薬用ハンドローション<sup>®</sup>)の保湿効果と皮膚刺激性の検討.西日本皮膚 2002;64:547-549
- 10) 石澤俊幸, 紺野隆之: 左下枝の発赤と腫張を主訴に来院した進行期乳房外Paget癌の1例. Skin cancer 2002; 17:234-237
- 11) 齋藤寛幸,川口雅一,石澤俊幸,青木武彦,三橋善比古,近藤慈夫,伊藤義彦:多発性脳内血管腫を併発した海綿状血管腫症の1例.臨皮 2002;56:547-549
- 12) 三橋善比古: Minimum psoriasis. Visual Dermatol 2002; 1: 530-531
- 13) 三橋善比古,杉木浩,青木武彦,近藤慈夫:老人性いぼ.皮膚臨床 2002;44:1353-1356
- 14) 三橋善比古,熊谷恒良,穂積豊:ベッカー型遅発性扁平母斑は神経線維腫症1型のモザイクか.厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業 神経皮膚症候群の新しい治療法の開発と治療指針作製に関する研究班平成13年度研究報告書 2002:38-41
- 15) 三橋善比古,川口雅一,近藤慈夫,後藤薫:ラット脳,皮膚におけるdiacylglycerol kinaseの発現.厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業 神経皮膚症候群の新しい治療法の開発と治療指針作製に関する研究班平成13年度研究報告書 2002:32-33
- 16) 片方陽太郎,武田光,近藤慈夫,高橋昌江,手塚正,堀内喜高:上皮系と間葉系の腫瘍細胞株で発現していたケラチンの性状について、第17回角化症研究会記録集 2002:8-12
- 17) 野崎誠,三橋善比古,大山正俊,穂積豊,近藤慈夫:右第 指に有棘細胞癌を生じたHuriz症候群の1例. 第17回角化症研究会記録集 2002:81-85

# (2) 著書

- 1) 三橋善比古: 囊腫をみる皮膚疾患. 宮地良樹・古川福実編,皮膚疾患診療実践ガイド. 東京;文光堂,2002:
- 2) 三橋善比古:粉瘤.皮様嚢腫.宮地良樹・古川福実編,皮膚疾患診療実践ガイド.東京;文光堂,2002:566-568

- 3) 三橋善比古:脂漏性角化症.宮地良樹・古川福実編,皮膚疾患診療実践ガイド.東京;文光堂,2002:568-569
- 4) 三橋善比古:外陰部の外用療法 カンジダ症を中心に . 西岡清他編,皮膚科診療プラクテイス12.東京; 文光堂,2002:197-200
- 5) 三橋善比古:毛孔角化性丘疹をみたら.小野友道他編,皮膚科診療プラクテイス13.東京;文光堂,2002: 187-191
- 6) 三橋善比古:Darier病. 斎田俊明他編,今日の皮膚疾患治療指針第3版.東京;医学書院,2002:283-286
- 7) 三橋善比古:毛孔性苔癬.斎田俊明他編,今日の皮膚疾患治療指針第3版.東京;医学書院,2002:286
- 8) 三橋善比古:皮膚疾患と遺伝.斎田俊明他編,今日の皮膚疾患治療指針第3版.東京;医学書院,2002:695-697
- 9) 三橋善比古:寒冷による皮膚疾患.玉置邦彦他編,皮膚科専門医テキスト改訂第2版.東京;南江堂,2002: 250-253
- 10) 三橋善比古:結核免疫と皮膚疾患.西岡清編,やさしい皮膚免疫学.東京;医薬ジャーナル,2002:241-249
- 11) 三橋善比古:掌蹠角化症.玉置邦彦編,最新皮膚科学大系第7巻『角化異常性疾患』.東京;中山書店,2002: 128-149
- 12) 三橋善比古:脂漏性角化症.玉置邦彦編,最新皮膚科学大系第12巻『上皮性腫瘍』.東京;中山書店,2002: 2-9
- 13) 三橋善比古:一時的棘融解性皮膚症.玉置邦彦編,最新皮膚科学大系第6巻『水疱症・膿疱症』.東京;中山書店,2002:212-214
- 14) 三橋善比古:毛孔性苔癬.多賀須幸男他編,今日の治療指針2002年版.東京;医学書院,2002:749
- 15) 近藤慈夫, 穂積豊:器官培養. 手塚正・川田暁編, 21世紀の乾癬とその治療. 東京: トッパンメディカルコミニュケーションズ, 2002:54-61

#### (3) 総 説

- 1) 近藤慈夫: 頭部皮膚疾患診断治療マニュアル/脱毛症. Monthly Book Derma 2002; 66:1-9
- 2) 三橋善比古,鈴木紀子,青木武彦:ペットボトル症候群と色素性痒疹.臨皮 2002;56:170-172
- 3) 三橋善比古:表皮水疱症の最新情報 表皮水疱症の遺伝子異常と新しい臨床分類 . Monthly Book Derma 2002;62:51-57
- 4) 三橋善比古:頭部皮膚疾患診断治療マニュアル/母斑・良性腫瘍. Monthly Book Derma 2002; 66:48-55
- 5) 三橋善比古:遺伝カウンセリングの現状 遺伝相談から遺伝カウンセリングへ . 日皮会誌 2002;112: 1461-1466
- 6) 三橋善比古:腹部皮膚疾患診療マニュアル/融合性細網状乳頭腫症 . Monthly Book Derma 2002;69:5-8
- 7) 片桐美之,三橋善比古:こんな皮膚サインをみたら内臓悪性腫瘍を疑う.臨床看護 2002;28:292-295

#### (4) その他

- 1) 真鍋俊明,熊切正信,田中勝,三橋善比古,戸倉新樹,清原隆宏:CPC(臨床病理カンファランス)~ディベートもどきの討論に決着をつけるのはあなたの1票.日皮会誌 2002;112:1774-1780
- 2) 三橋善比古:医学教育. 臨皮 2002;56:142
- 3) 三橋善比古:爪白癬の治療について.山形新聞 2002;11:21

# 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1) Mitsuhashi Y: Skin fragility syndrome; it teaches us what roles desmosomes play in the epidermis. 4th Joint Meeting of the SCUR and the JSUCB, Limoges; June 2002
- 2) Konno T, Ansai S, Imaizumi T, Aoki T: Hailey-Hailey disease: efficacy of skin grafting or external tacalcitol treatment, 20th World Congress of Dermatology, Paris; July 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 三橋善比古:ポリクリで遺伝相談のロールプレイをやってみた.第26回日本遺伝カウンセリング学会,長崎; 2002年5月
- 2) 三橋善比古:播種状表在性日光汗孔角化症,日光による前癌病変の病態と治療.第18回日本皮膚悪性腫瘍学

会, 米子; 2002年6月

- 3) 石澤俊幸, 紺野隆之: 左下枝の発赤腫張を主訴に来院した進行期乳房外Paget病の1例. 第18回日本皮膚悪性腫瘍学会, 米子; 2002年6月
- 4) 三橋善比古:水疱症の組織を電顕でみれば.第101回日本皮膚科学会総会,熊本;2002年6月
- 5) 三橋善比古:皮膚臨床病理カンファランス.第101回日本皮膚科学会総会,熊本;2002年6月
- 6) 川口雅一,木根淵智子,永井恵理子,三橋善比古,近藤慈夫,青山浩明,前田邦彦:下腿浮腫部に生じた多 発性の結節性病変.第101回日本皮膚科学会総会,熊本;2002年6月
- 7) 永井恵理子,齋藤寛幸,大山正俊,三橋善比古,近藤慈夫,三井哲夫:TCR遺伝子再構成を認めたlympho-matoid papulosisの小児例.第101回日本皮膚科学会総会,熊本;2002年6月
- 8) 大山正俊,三橋善比古,齋藤寛幸,永井恵理子,近藤慈夫:Huriez症候群の1例.第27回日本皮膚科学会総会,熊本;2002年6月
- 9) 武石恵美子,濱崎洋一郎,片山一朗(長崎大),三橋善比古:遅発(進行)性先天性表皮水疱症の1例. 第101回日本皮膚科学会総会,熊本;2002年6月
- 10) 野崎誠, 齋藤寛幸, 石澤俊幸, 三橋善比古, 近藤慈夫: 皮膚硬化型慢性GVHDの小児例. 第101回日本皮膚科学会総会, 熊本; 2002年6月
- 11) 三橋善比古,川口雅一,片桐美之,近藤慈夫:活性型ビタミンD3の外用はやっぱりILVENに有効だ.第26回日本小児皮膚科学会,東京;2002年6月
- 12) 三橋善比古,木根淵智子,穂積豊,近藤慈夫:皮膚脆弱症候群の電顕的観察.第27回日本研究皮膚科学会,京都;2002年8月
- 13) 武田光,片方陽太郎,穂積豊,近藤慈夫:アンジオテンシン のヒト皮膚線維芽細胞に及ぼす影響.第27回 日本研究皮膚科学会,京都;2002年8月.
- 14) 片桐美之,齋藤寛幸,三橋善比古,近藤慈夫:マウス皮膚肥満細胞の形態とヒスタミン量は乳幼児期と成熟期で異なる.第27回日本研究皮膚科学会,京都;2002年8月
- 15) 片方陽太郎, 高橋昌江, 堀内喜高, 武田光, 手塚正, 近藤慈夫: メラノーマ 細胞はケラチンを発現しているが, なぜか線維は形成していない. 第27回日本研究皮膚科学会, 京都; 2002年8月
- 16) 片方陽太郎, 穂積豊, 武田光, 近藤慈夫:上皮性および間葉系腫瘍におけるケラチンの性状.第66回日本皮膚科学会東部支部学会, つくば; 2002年10月
- 17) 野崎誠, 穂積豊, 三橋善比古, 近藤慈夫: Inflammayory vitiligoの一例.第66回日本皮膚科学会東部支部学会, つくば; 2002年10月
- 18) 永井恵理子,大山正俊,吉田幸恵,三橋善比古,近藤慈夫:右下腿に限局して生じたTransient acantholytic dermatosisの1例.第66回日本皮膚科学会東部支部学会,つくば;2002年10月
- 19) 佐々木五月, 穂積豊, 武田光, 三橋善比古, 近藤慈夫: 乾癬表皮器官培養におけるLiarozoleの壊死的効果発現. 第17回日本乾癬学会,屋久島; 2002年10月
- 20) 齋藤寛幸,三橋善比古,片桐美之,穂積豊,近藤慈夫:マウス皮膚肥満細胞の電顕観察~胎仔期から成熟期までの変化~.第29回日本電顕皮膚生物学会,新潟;2002年10月
- 21) 阿部優子,三橋善比古,片桐美之,穂積豊,近藤慈夫:乳児線維性過誤腫の1例.第29回日本電顕皮膚生物 学会,新潟;2002年10月
- (3) 国内地方会
  - 1) Konno T, Mitsuhashi Y, Kondo S: case of eosinophilic pustular folliculitis (Ofuji) on the soles mimicking tinea pedis, 6th Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology, Nara; 2002: 11
  - 2) Mitsuhashi Y, Kondo S, Hashimoto I: eratosis palmoplantaris transgrediens et progrediens mitis NAGASHIMA, The 6th Joint Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology, Nara; 2002: 11
  - 3) Mitsuhashi Y: Does the salmon patch reappear? Satellite Symposium of the 6th Joint Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology, Nagasaki; 2002: 11
  - 4) 石澤俊幸:疥癬対策事業計画について.第39回庄内皮膚科医会,酒田;2002年1月
  - 5) 三橋善比古:印象に残る症例.山形県置賜地区皮膚科勉強会,米沢;2002年2月
  - 6) 紺野隆之 ,石澤俊幸: Eruptive vellus hair cystsの1例.第317回日本皮膚科学会東北地方会 ,仙台;2002年2月

- 7) 木根淵智子,三橋善比古,近藤慈夫:蹠角化症と白癬の合併について.第317回日本皮膚科学会東北地方会, 仙台:2002年2月
- 8) 阿部優子,大山正俊,野崎誠,三橋善比古,近藤慈夫:運動誘発アナフィラキシーの2例.第317回日本皮膚科学会東北地方会,仙台;2002年2月
- 9) 石澤俊幸,紺野隆之:庄内地区疥癬患者登録調査報告,第40回庄内皮膚科医会,鶴岡;2002年3月
- 10) 石澤俊幸, 紺野隆之: 皮膚浸潤を伴った急性型ATLの1例.第318回日本皮膚科学会山形地方会, 山形; 2002 年4月
- 11) 野崎誠,阿部優子,大山正俊,三橋善比古,近藤慈夫,門馬節子:紅斑性天疱瘡の一例.第318回日本皮膚 科学会山形地方会,山形;2002年4月
- 12) 川口雅一,木根淵智子,永井恵理子,三橋善比古,近藤慈夫,青山浩明,前田邦彦:下腿浮腫部に生じた多発性の結節性病変.第318回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年4月
- 13) 齋藤寛幸,林昌浩,島貫美和,三橋善比古,近藤慈夫,柏英雄,角田孝彦:右鼻翼に生じた有棘細胞癌(SCC) の一例.第318回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年4月
- 14) 野崎誠,三橋善比古,近藤慈夫: Inflammatory vitiligoの一例.第318回日本皮膚科学会宮城地方会,仙台; 2002年5月
- 15) 大山正俊,三橋善比古,近藤慈夫:多発性平滑筋腫の1例.第376回山形皮膚科勉強会,山形;2002年7月
- 16) 村田壱大,川口雅一,大山正俊,三橋善比古,近藤慈夫,伊藤義彦,櫻井學:Bowen病の3例.第376回山形 皮膚科勉強会,山形;2002年7月
- 17) 日下部順子, 紺野隆之, 齋藤寛幸, 三橋善比古, 近藤慈夫, 田中利治: 伝染性単核球症の1例. 第376回山 形皮膚科勉強会, 山形; 2002年7月
- 18) 野崎誠,山田真枝子,阿部優子,川口雅一,三橋善比古,近藤慈夫,門馬節子:手掌の黒色の結節.第376 回山形皮膚科勉強会,山形;2002年7月
- 19) 紺野隆之,日下部順子,齋藤寛幸,片桐美之,三橋善比古,近藤慈夫,門馬節子:環状紅斑を呈した水疱性 類天疱瘡.第376回山形皮膚科勉強会,山形;2002年7月
- 20) 石澤俊幸, 紺野隆之: 左下枝の発赤腫張を主訴に来院した進行期乳房外Paget病の1例. 第42回庄内皮膚科 医会, 鶴岡; 2002年7月
- 21) 林昌浩,石澤俊幸,岡田真行:疱疹関連痛にマレイン酸フルボキサミンが奏功した一例.第42回庄内皮膚科 医会,鶴岡;2002年7月
- 22) 三橋善比古:最近話題のデスモソーム病について.第5回日臨皮東北支部山形県総会,山形;2002年7月
- 23) 齋藤寛幸,三浦歩,阿部優子,片桐美之,武田光,三橋善比古,近藤慈夫:山形大学皮膚科における過去10年間の薬疹の動向.第319回日本皮膚科学会福島・山形・宮城合同地方会,福島;2002年9月
- 24) 山田真枝子, 野崎誠, 阿部優子, 川口雅一, 三橋善比古, 近藤慈夫: 広範囲に多彩な発疹を認めたChurg-Strauss 症候群の1例.第319回日本皮膚科学会福島・山形・宮城合同地方会, 福島; 2002年9月
- 25) 日下部順子,紺野隆之,齋藤寛幸,三橋善比古,近藤慈夫:特異な環状紅斑を呈した水疱性類天疱瘡の1例. 第319回日本皮膚科学会福島・山形・宮城合同地方会,福島;2002年9月
- 26) 石澤俊幸,林昌浩:女子外陰部に生じた被角血管腫(?)の1例.第43回庄内皮膚科医会,酒田;2002年9月
- 27) 石澤俊幸,林昌浩:庄内地区疥癬患者登録調査報告.第43回庄内皮膚科医会,酒田;2002年9月
- 28) 林昌浩,石澤俊幸,青木武彦: Apocrine cystoadenomaの一例.第319回日本皮膚科学会福島・山形・宮城合同地方会,福島;2002年9月
- 29) 三橋善比古:糖尿病の皮膚病変.第29回山形皮膚医学研究会,山形;2002年9月
- 30) 林昌浩,石澤俊幸:庄内地区における皮膚悪性腫瘍の統計・報告.第45回庄内皮膚科医会,鶴岡;2002年11 月
- 31) 石澤俊幸, 林昌浩: カルバマゼピンによるhypersensitivity syndrome. 第45回庄内皮膚科医会, 鶴岡; 2002年 11月
- 32) 近藤慈夫: 乾癬学会,国際毛髪学会の最近の動向について.第381回山形皮膚科勉強会,山形;2002年12月
- 33) 村田壱大,三浦歩,木根淵智子,川口雅一,大山正俊,三橋善比古,近藤慈夫,西田徹:亜急性甲状腺炎を伴ったrosacea fulminansの一例.第320回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年12月

- 34) 永井恵理子,日下部順子,村田壱大,三浦歩,木根淵智子,紺野隆之,三橋善比古,近藤慈夫,伊藤義彦:臨床像と組織像に乖離がみられた悪性黒色腫の1例.第320回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 35) 山田真枝子,片桐美之,三橋善比古,近藤慈夫:2期梅毒の2例.第320回日本皮膚科学会山形地方会, 山形;2002年12月
- 36) 三浦歩,片桐美之,三橋善比古,近藤慈夫:深在性エリテマトーデスの一例.第320回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 37) 紺野隆之,石澤俊幸,齋藤寛幸,日下部順子,三橋善比古,近藤慈夫:汗疱様類天疱瘡と異汗性湿疹. 第320回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 38) 石澤俊幸:庄内地域における疥癬流行の状況.第21回庄内医師集談会,酒田;2002年12月
- 39) 林昌浩,石澤俊幸,齋藤弘,佐藤純郎:気管支結核に合併した高齢者水痘の1例.第320回日本皮膚科学会 山形地方会,山形;2002年12月
- 40) 林昌浩,石澤俊幸,三橋善比古,近藤慈夫:セファクロル(ケフラール<sup>®</sup>)内服によるアナフィラキシー型薬 疹の2例.第320回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 41) 島貫美和,西田徹,太田恭子,吉田英宗:多発性ボーエン病・基底細胞癌・卵巣腫瘍を合併した一例. 第320回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年12月

#### (4) 研 究 会

- 1) 片方陽太郎,武田光,近藤慈夫,高橋昌江,堀内喜高,手塚正:上皮系と間葉系の腫瘍細胞株で発現していたケラチンの性状について.第17回角化症研究会,東京;2002年9月
- 2) 野崎誠,大山正俊,三橋善比古,穂積豊,近藤慈夫:右第 指に有棘細胞癌を生じたHuriez症候群の一例. 第17回角化症研究会,東京;2002年8月
- 3) 紺野隆之,石澤俊幸,三橋善比古,近藤慈夫:掌蹠の水疱が先行した水疱性類天疱瘡の1例.第24回水疱症研究会,浦安;2002年10月
- 4) 永井恵理子,大山正俊,吉田幸恵,三橋善比古,近藤慈夫:右下肢に限局して出現した一時的棘融解性皮膚症.第24回水疱症研究会,浦安;2002年10月
- 5) 齋藤寛幸,野崎誠,三橋善比古,近藤慈夫,三井哲夫,田嶋克史:皮膚の組織学的検索による播種状丘疹紅 斑型薬疹とGVHDの鑑別.第 回山形アレルギー研究会,山形;2002年10月

#### (5) その他

- 1) 川口雅一,三橋善比古,近藤慈夫,後藤薫:ラット脳,皮膚におけるdiacylglycerol kinase (DGK)の発現.神経皮膚症候群の新しい治療法の開発と治療指針作製に関する研究班平成13年度第2回総会,東京;2002年1月
- 2) 三橋善比古,片桐美之,川口雅一:乾癬の治療による組織変化.厚生省特定疾患皮膚・結合織疾患研究稀少難治性皮膚疾患に関する研究班平成13年度第2回総会,東京;2002年1月
- 3) 齋藤寛幸,三浦歩,阿部優子,片桐美之,武田光,三橋善比古,近藤慈夫:山形大学皮膚科における過去10 年間の薬疹の動向.第36回東北アレルギー懇話会,山形;2002年6月
- 4) 石澤俊幸:アレルギーとアトピー性皮膚炎.酒田ファミリーサポートセンター平成14年度会員研修会, 酒田;2002年5月
- 5) 石澤俊幸:庄内地区における疥癬の流行状況.「皮膚の日」講演会,酒田;2002年11月
- 6) 三橋善比古:アレルギー性皮膚疾患診療のポイント. 寒河江市西村山郡医師会講演会, 寒河江; 2002年5月
- 7) 三橋善比古:遺伝性皮膚疾患の臨床と病態.岡山大学医学部5年目学生講義,岡山;2002年7月
- 8) 三橋善比古:聞いて役立つ遺伝性皮膚疾患の話し.岡山県医師会講演会,岡山;2002年7月
- 9) 三橋善比古:今,医師と看護師が取り組む褥瘡対策.山形大学附属病院褥瘡対策講演会,山形;2002年8月
- 10) 西田徹: 新庄病院における褥瘡の疫学調査. 第108回新庄・最上臨床懇話会, 新庄; 2002年9月
- 11) 三橋善比古:皮膚科領域の遺伝カウンセリング.平成14年度(第30回)遺伝相談(医師)カウンセラー研修会,後援:日本家族計画協会・厚生労働省,東京;2002年8月
- 12) 三橋善比古:印象に残る症例,第76回水戸皮膚科懇話会,水戸;2002年10月
- 13) 三橋善比古:播種状表在性日光汗孔角化症.マルホラジオセミナー,放送 2002年12月
- 14) 三橋善比古:実践スキンケア~アトピー性皮膚炎・老人の痒み・褥瘡~. 石巻医師会講演会,岩手;2002年 12月

# 3. そ の 他

- 1) 第26回山形皮膚医学研究会,山形;2002年3月
- 2) 山形県皮膚科集談会春の例会,山形;2002年4月
- 3) 第318回日本皮膚科学会山形地方会,山形;2002年4月
- 4) 第27回山形皮膚医学研究会,山形;2002年5月
- 5) 第28回山形皮膚医学研究会,山形;2002年7月
- 6) 第29回山形皮膚医学研究会,山形;2002年9月
- 7) 第30回日本皮膚医学研究会,山形;2002年11月

# 視覚病態学分野(眼科学)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Kasagi Y, Yamashita H: Hsp 47 expression in cornea after excimer laser photoablation. Jpn J Ophthalmol 2002; 46: 123-129
- 2) Funatsu H, Yamashita H, Noma H, Mimura T, Yamashita T, Hori S: Increased levels of vascular endothelial growth factor and interleukin-6 in the aqueous humor of diabetic macular edema. Am J Ophthalmol 2002; 133: 70-77
- 3) Shimizu E, Funatsu H, Yamashita H, Yamashita T, Hori S: Plasma level of interleukin-6 is an indicator for predicting diabetic macular edema. Jpn J Ophthalmol 2002; 46: 78-83
- 4) Funatsu H, Yamashita H, Nakanishi Y, Hori S: Angiotensin-II and vascular endothelial growth factor in the vitreous fluid of patients with proliferative diabetic retinopathy. Br J Ophthalmol 2002; 86: 311-315
- 5) Tsumamoto Y, Yamashita K, Takumida M, Okada K, Mukai S, Shinya M, Yamashita H, Mishima HK: In situ localization of nitric oxide synthase and direct evidence of NO production in rat retinal ganglion cells. Brain Res 2002; 933: 118-129
- 6) Funatsu H, Yamashita H, Ikeda T, Nakanishi Y, Kitano S, Hori S: Angiotensin-II and vascular endothelial growth factor in the vitreous fluid of patients with diabetic macular edema and other retinal disorders. Am J Ophthalmol 2002; 133: 537-543
- 7) Tsuruga T, Kanamoto T, Kato T, Yamashita H, Miyagawa K, Mishima HK: Ocular development-associated gene (ODAG), a novel gene highly expressed in ocular development. Gene 2002; 290: 125-30
- 8) Noma H, Funatsu H, Yamashita H, Kitano S, Mishima HK, Hori S: Regulation of angiogenesis in diabetic retinopathy: possible balance between vascular endothelial growth factor and endostatin. Arch Ophthalmol 2002; 120: 1075-80
- 9) Funatsu H, Yamashita H, Noma H, Shimizu E, Mimura T, Hori S: Prediction of macular edema exacerbation after phacoemulcification in patients with nonproliferative diabetic retinopathy. J Cataract Refract Surg 2002; 28: 1355-1363
- 10 ) Sone H, Katagiri A, Ishibashi S, Abe R, Saito Y, Murase T, Yamashita H, Yajima Y, Ito H, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N, JDCStudy Group: Effects of lifestyle modifications on patients with type 2 diabetes: The Japan Diabetes Complications Study (JDCS) study design, baseline analysis and three year-interim report. Horm Metab Res 2002; 34: 509-515
- 11 ) Kato S, Takemori M, Kitano S, Hori S, Fukushima H, Numaga J, Yamashita H: Retinopathy in Older Patients with Diabetes Mellitus. Diabetes Res Clin Pract 2002; 58: 187-192
- 12 ) Sone H, Ito H, Saito Y, Yamashita H, Ishibashi S, Katayama S, Abe R, Ohashi Y, Akanuma Y, Yamada N, Japan Diabetes Complication study group: The long-term effects of self-management education for patients with type 2 diabetes on glycemic control. Diabetes Care 2002; 25: 2115-2116
- 13 ) Sano M, Nabeshima T, Mita T: A New Wavelet,s-wave, of the Multifocal Electroretinogram Probably Originating from Ganglion cells. Invest Ophthalmol&Vis Sci. 2002; 43: 1666-1672
- 14) 山下英俊,大沼郁子,川崎良,佐藤浩章,佐藤武雄,竹内忍,江口秀一郎:山形県における糖尿病網膜症の 現状と治療戦略の開発についての研究.山形県健康科学研究所紀要 2002;21
- 15) 三橋玉絵,大沼郁子,山口克宏,山下英俊:長期に経過観察をしえた網膜細胞腫と考えられる1例.眼科 2002;44:461-466
- 16) 荘司琢郎, 菅原正容, 高村浩, 山下英俊: 外転運動障害で初発した上咽頭癌の1例. 臨床眼科 2002; 56: 863-866

#### (2) 著書

1) 山下英俊:血管閉塞後の血管新生のメカニズム.斉藤喜博,田野保雄編,眼科診療プラクテイス85 血管閉 塞性疾患の診療.東京;文光堂,2002:164-167

- 2) 山下英俊:糖尿病網膜症の病態と治療法開発研究の方向:21世紀への展望.硝子体研究会事務局編,第19回 硝子体研究会記録.大阪;エースアート,2002:13-22
- 3) 山下英俊,山本禎子,川崎良:細胞増殖因子.門脇孝編,糖尿病ナビゲーター.東京,大阪;メデイカルレビュー社,2002:332-333
- 4) 山下英俊:糖尿病網膜症の臨床の最新情報.1成因と病期分類・診断.日本糖尿病学会編,第36回糖尿病学の進歩2002.東京;診断と治療社,2002:34-40
- 5) 高橋義徳,山下英俊:スペキュラ-マイクロスコピー.澤充編,眼科診療プラクテイス88 角膜内皮細胞 最新の知見と展望.東京;文光堂,2002:8-10
- 6) 山本崇,三橋玉絵,川崎良,佐藤武雄,山下英俊:網膜動脈閉塞症が来院.急いで治療しなければならないとおもうのですが、なにをしたらよいですか?.江口秀一郎編,Q&Aで覚える眼科日常診療A-Z.東京;メジカルビュー社,2002:181-183
- 7) 菅野誠,三橋玉絵,佐藤武雄,山下英俊:高齢者の視力障害.大内尉義編,老年病のとらえかた-眼でみる ベッドサイドの病態生理-.東京;文光堂,2002:233-242
- 8) 菅野誠:術後感染症の起炎菌として多いのはなんでしょうか?.4大菌って聞いた気がするのですか?.江口秀一郎編,Q&Aで覚える眼科日常診療A-Z.東京;メジカルビュー社,2002:20-202
- 9) 菅野誠,江口秀一郎:11前眼部疾患.眼内充填物質の使い方(巻等言).眼科診療プラクティス81.東京;文 光堂,2002:94-96
- 10) 菅野誠,江口秀一郎: 8 眼内レンズ・屈折矯正手術と眼鏡.眼鏡眼鏡のトラブル(巻等言). 眼科診療プラクティス82.東京;文光堂,2002:68-71
- 11) 菅野誠, 江口秀一郎: 8 白内障術前検査. 眼科医と視能訓練士のためのスキルアップ(巻等言). 眼科診療 プラクティス86. 東京; 文光堂, 2002: 122-127
- 12) 菅野誠: 1白内障ってどんな病気?これで完璧!白内障(巻等言). 眼科ケア7. 東京; メディカ出版, 2002:10-15
- 13) 川崎良:増殖硝子体網膜症(PVR)と増殖糖尿病網膜症(PDR):同じ増殖性変化なのにどうして増殖の形態が異なるのでしょうか?.江口秀一郎編,Q&Aで覚える眼科日常診療A-Z.東京;メジカルビュー社,2002:57-58
- 14) 佐藤浩章:糖尿病網膜症左右眼でずいぶん網膜症の差があるのですがどうしてでしょうか?.江口秀一郎編,Q&Aで覚える眼科日常診療A-Z.東京;メジカルビュー社,2002:62-63
- 15) 佐藤武雄,山下英俊:診察室にて/検査・診断の場面 Qフルオレセイン蛍光眼底造影検査:造影剤の注入速度はどれくらいが適当なのでしょうか?.江口秀一郎編,Q&Aで覚える眼科日常診療A-Z.東京;メジカルビュー社,2002:59-61
- 16) 臼井智彦,山下英俊:角膜内皮細胞とサイトカイン.澤充編,眼科診療プラクテイス88 角膜内皮細胞 最新の知見と展望.東京;文光堂,2002:80-81
- (3) 総 説
  - 1) 山下英俊: 糖尿病網膜症の治療薬ターゲットとしてのレニン アンジオテンシン系 . Medical Practice 2002; 19:682
  - 2) 山下英俊:糖尿病網膜症の病態と増殖因子・サイトカイン. Diabetes Frontier 2002; 13(suppl.): 22-25
  - 3) 山下英俊 ,三橋玉絵:高齢者における症候のとらえ方:視力障害 . Medical Practice 2002; 19 (suppl.): 103-107
  - 4) 山下英俊, 小椋祐一郎:特集「網膜・硝子体Q&A」.編集, 序文. あたらしい眼科 2002;119 (臨時増刊号):1-2
  - 5) 高村浩,寺島和人,山下英俊:眼内腫瘍の遺伝子解析.日本眼科紀要 2002;53:245-250
  - 6) 高村浩,山下英俊:序説:眼腫瘍UPDATE-外来で困らないために-.あたらしい眼科 2002;19:533-534
  - 7) 高村浩:日本での眼科領域の腫瘍の現状と国際比較.あたらしい眼科 2002;19(5):535-541
  - 8) 高橋義徳,山下英俊:デイスポーザブルコンタクトレンズ.眼科 2002;44:1061-1064
  - 9) 川崎良,山下英俊:糖尿病網膜症.内科「特集:EBMのための内科疾患データファイル-治療方針決定のために-」2002;89:1565-1567
  - 10) 川崎良,山下英俊:糖尿病網膜症.内科 2002;89:1565-1567
  - 11) 川崎良:生活習慣病に伴う網膜症のpopulation-based studyの重要性について教えて下さい. あたらしい眼科

- 2002;19(臨增):210-212
- 12) 佐藤浩章:網膜・硝子体牽引症候群の病態と診断について教えてください.あたらしい眼科 2002;19(臨時増刊号):113-116
- 13) 佐藤浩章,佐藤武雄,山下英俊:慢性合併症「糖尿病網膜症の病態と治療」最新医学 2002;57:1139-1145
- 14) 佐藤武雄: 特集網膜硝子体Q&AI. 検査・診断 1. 眼底血管造影検査法を安全に施行するコツを教えてください. あたらしい眼科 2002; 19:3-5
- 15) 船津英陽,山下英俊:新時代の糖尿病学(4)糖尿病網膜症発症・進展の分子生物学.日本臨床 2002;69 (増刊号):162-166
- (4) その他
  - 1) 川崎良,山下英俊:(取材協力)糖尿病網膜症.きょうの健康11月.東京;日本放送出版協会,2002:115-242

# 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1 ) Yamashita H, Kanno M, Eguchi S: Cytokine /growth factor network in proliferative diabetic retinopathy. 2002 Keystone Symposia "Angiogenesis in cancer and other diseases: From genes to function to therapy" Banff, Canada; February 2002
- 2) Takamura H, Terashima K, Yamashita H: Frequency of ocular tumors: Difference among races. 29th International Congress of Ophthalmology, Sydney; April 2002
- 3) Sato H, Kawasaki R, Yamashita H, Yamamoto T, Takeuchi S: Long term follow up of surgery with retinal internal limiting membrane (ILM) peeling in advanced macular hole cases. 29th International Congress of Ophthalmology, Sydney; April 2002
- 4) Sato S, Takahashi Y, Yamashita H: Status of corneal endothelium in young normal volunteers: Follow up study. 29th International Congress of Ophthalmology, Sydney; April 2002
- 5) Yamamoto T, Akabane N, Hitani K, Yamamoto S, Takeuchi S, Yamashita H: Complications of vitrectomy for diabetic macular edema. 29th International Congress of Ophthalmology, Sydney; April 2002
- 6) Tsumamoto Y, Yamashita K, Okada K, Kurokawa T, Yamashita H, Mishima HK: Regulation of BDNF and its receptor TrkB in retina of normal aged mice and senescence-accelerated mice. 74th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Ft. Lauderdale, USA; May 2002
- 7) Yamane K, Minamoto A, Mishima HK, Yamashita H, Takamura H, Yoshizato K: Proteome analysis of normal human vitreous fluid. 74th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Ft. Lauderdale, USA; May 2002
- 8) Kawasaki R, Kamiryo M, Sato H, Sato T, Saito T, Tominaga M, Kato T, Yamashita H: The prevalence of diabetic retinopathy and other fundus diseases in Japanese population: 2nd year experience in Funagata Japan. 74th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Ft. Lauderdale, USA; May 2002
- 9) Kamiryo M, Takahashi Y, Yamashita H: Immunohistochemical observation of amniotic membrane transplantation in ocular surface disease. 74th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Ft. Lauderdale, USA; May 2002
- 10 ) Sakura S, Katagiri Y, Goto K, Yamashita H: Expression patterns of diacylglycerol kinase (DGK) isozymes in normal rat retina. 74th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Ft. Lauderdale, USA; May 2002
- 11 ) Mochizuki H, Sakamoto I, Kato T, Tsumamoto Y, Yamashita H, Mishima HK: Induction of nitric oxide in retinal Muller glial cells by -crystallin. 74th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Ft. Lauderdale, USA; May 2002
- 12 ) Kato T, Mochizuki H, Yamasaki M, Tsumamoto Y, Sakamoto I: Regulation of matrix metalloproteinase in Muller cells in response to lipopolysaccharide in vitro. 74th Association for Research in Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Ft. Lauderdale, USA; May 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 窪寺俊晴, 佐藤浩章, 川崎良, 山下英俊, 山本禎子, 竹内忍: 視神経乳頭部に裂孔があると考えられた網膜 剥離の1例の治療. 第25回日本眼科手術学会, 広島; 2002年1月
- 2) 上領勝,高橋義徳,山下英俊,小関紀子,木村智華子:翼状片手術における羊膜移植併用の効果.第25回日本眼科手術学会,広島;2002年1月
- 3) 高村浩,寺島和人,山下英俊:山形大学における眼瞼悪性腫瘍の治療成績.第25回日本眼科手術学会, 広島;2002年1月
- 4) 日谷光一郎,山本禎子,赤羽直子,塚原逸朗,山本修一,竹内忍,山下英俊:糖尿病黄斑浮腫に対する硝子 体手術の合併症.第25回日本眼科手術学会,広島;2002年1月
- 5) 高橋義徳,上領勝,山下英俊:瘢痕性眼表面疾患における免疫組織学的検討.第26回角膜カンファランス, 東京;2002年2月
- 6) 清水えりか,船津英陽,中村新子,田中義和,中西雄一郎,蒔田浩司,春山賢介,北野滋彦,宮田敏男,山 下英俊,堀貞夫:糖尿病網膜症進展に関連する危険因子の検討.第8回日本糖尿病眼学会,大阪;2002年3月
- 7) 山根健,野間英孝,溝手秀秋,皆本敦,三嶋弘,山下英俊,高村浩,吉里勝利:黄斑円孔と糖尿病網膜症に おける硝子体のプロテオーム解析.第8回日本糖尿病眼学会,大阪;2002年3月
- 8) 三橋玉絵,鈴木倫,高村浩,山下英俊:11歳女児にみられた後部強膜炎の一例.第27回日本小児眼科学会, 豊橋;2002年4月
- 9) 河崎さつき,佐藤忍,伊籐聡,森保通,関原久彦,加藤聡,山下英俊:糖尿病網膜症の臨床背景について. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 10) 上領勝,高橋義徳,山下英俊:眼表面疾患における羊膜移植の免疫組織学的検討.第106回日本眼科学会総会, 仙台;2002年5月
- 11) 川崎諭,関山英一,遠藤健一,餅田知佳子,山下英俊,木下茂:角膜上皮細胞における血管新生因子,抗血 管新生因子の遺伝子発現解析.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 12) 津間本裕一,山下敬介,黒川知則,岡田康志,山下英俊,三嶋弘:正常マウスおよび老化促進マウスの網膜におけるBDNFおよびそのレセプター TrkBの発現.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 13) 高村浩,寺島和人,山下英俊:眼科領域腫瘍の頻度の人種差について.第106回日本眼科学会総会,仙台; 2002年5月
- 14) 佐籐さくら,後藤薫,山下英俊:正常ラット網膜におけるジアセルグリセロールキナ-ゼの発現パターン. 第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 15) 鈴木清香,山本禎子,竹内忍, Paraskevi Heldin,山下英俊:増殖性網膜硝子体疾患におけるヒアルロン酸合成酵素の発現.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 16) 船津英陽,北野滋彦,清水えりか,中西雄一郎,蒔田浩司,春山賢介,山下英俊,堀貞夫:増殖糖尿病網膜症と硝子体液中angiotensin ,VEGF濃度との関連性.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 17) 川崎良,上領勝,佐藤浩章,佐藤武雄,斉藤保,加藤丈夫,富永真琴,山下英俊:平成13年度舟形町住民検診における糖尿病網膜症他の眼底疾患の頻度.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 18) 望月英毅,坂本郁夫,加藤倫子,津間本裕一,山崎真紀子,山下英俊,三嶋弘:ラット培養ミュラー細胞に おける クリスタリンによる一酸化窒素の産生.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 19) 加藤倫子,望月英毅,津間本裕一,山崎真紀子,坂本郁夫,草薙聖,山下英俊,三嶋弘:リポポリサッカライドによる培養ミュラー細胞におけるマトリックス分解酵素の発現.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 20) 山根健,野間英孝,溝手秀秋,三嶋弘,山下英俊,高村浩,吉里勝利:プロテオ-ム解析を用いた正常硝子体発現蛋白質パターンの検討.第106回日本眼科学会総会,仙台;2002年5月
- 21) 菅野誠,松浦恭祐,水木健二,江口まゆみ,江口秀一郎:Laser in situ keratomileusis と眼圧の変化. 第17回日本眼内レンズ屈折手術学会,東京;2002年6月
- 22) 寺島和人,高村浩,山下英俊:前房消失をきたさないことを目指したMMC併用線維柱帯切除術について. 第56回日本臨床眼科学会,盛岡;2002年9月
- 23) 野間英孝,坂本郁夫,望月英毅,山根健,溝手秀秋,皆本敦,三嶋弘,船津英陽,山下英俊:歯周病は糖尿病網膜症の増悪因子となり得るか.第56回日本臨床眼科学会,盛岡;2002年9月

- 24) 上領勝,高橋義徳,山下英俊:羊膜移植併用翼状片手術における再発症例の検討.第56回日本臨床眼科学会, 盛岡;2002年9月
- 25) 佐藤浩章,川崎良,山下英俊,山本禎子,竹内忍:特発性黄斑円孔手術における視力改善因子についての検討,第56回日本臨床眼科学会,盛岡;2002年9月
- 26) 川崎良, 佐籐浩章, 山下英俊: 初診時に増殖糖尿病網膜症であった若年2型糖尿病患者の背景因子と治療成績. 第41回日本網膜硝子体学会, 東京; 2002年11月
- 27) 佐籐浩章,川崎良,山下英俊,山本禎子,山下哲次:硝子体中8-OhdG濃度による網膜硝子体疾患における細胞障害.第41回日本網膜硝子体学会,東京;2002年11月
- (3) 国内地方会
  - 1) 高村浩, 土谷大仁朗, 西澤公子, 山下英俊: 再発を繰り返した顔面悪性末梢神経鞘腫瘍の1例. 第40回北日本眼科学会, 弘前; 2002年7月
- (4) 研究会
  - 1) 寺島和人,高村浩:TGF- シグナルの遺伝子異常が示唆された孤立性線維性腫瘍の症例.第19回山形眼科研究会,山形;2002年1月
  - 2) 窪寺俊晴,三橋玉絵:当科における斜視手術.第19回山形眼科研究会,山形;2002年1月
  - 3) 後藤豊, 佐藤浩章, 川崎良, 山下英俊: ガラスによる眼球二重穿孔の1例.第19回山形眼科研究会, 山形; 2002年1月
  - 4) 寺島和人,高村浩:TGF- シグナル因子の遺伝子異常が示唆された孤立性線維性腫瘍の症例 その2. 第20回山形眼科研究会,山形;2002年2月
  - 5) 高村浩:眼窩孤立性線維性腫瘍の1例.第20回山形眼科研究会,山形;2002年2月
  - 6) 高村浩:山形大学眼科における眼瞼悪性腫瘍の検討.第20回山形眼科研究会,山形;2002年2月
  - 7) 鈴木倫,高村浩,山下英俊:治療に難渋したPosner-Schlossman症候群の3例.第21回山形眼科研究会, 山形:2002年3月
  - 8) 上領勝: FK506(タクロリムス)点眼の後期第2次試験について.第21回山形眼科研究会,山形;2002年3 月
  - 9) 大内典子,川崎良,山下英俊:過去1年間に当科にて経験した眼内異物を伴った穿孔性眼外傷の3例. 第76回南東北眼科研究会,山形;2002年4月
  - 10) 佐藤浩章,山下英俊:山形大学における硝子体出血をきたした原因疾患の検討.第76回南東北眼科研究会, 山形;2002年4月
  - 11) 川崎良: 黄斑浮腫に対する光凝固後浮腫と視力の経過に解離がみられた1例.第3回やまがたDM Meeting, 山形; 2002年5月
  - 12) 佐藤浩章,山下英俊:糖尿病網膜症における網膜光凝固時に生じる黄斑浮腫への対応.第3回やまがたDM Meeting,山形;2002年5月
  - 13) 鈴木倫,大沼郁子,高村浩,山下英俊,土屋義明:わずかな視野異常で発見された頭蓋内腫瘍の1例. 第22回山形眼科研究会,山形;2002年6月
  - 14) 大内典子,高村浩,佐藤武雄,山下英俊:中心窩以外に発生した脈絡膜血管新生の2例.第22回山形眼科研究会,山形;2002年6月
  - 15) 芳賀真理江:多局所網膜電図の臨床応用.第22回山形眼科研究会,山形;2002年6月
  - 16) 佐藤武雄: 各種眼底疾患のステレオ写真. 第22回山形眼科研究会, 山形; 2002年6月
  - 17) 芳賀真理江:多局所網膜電図の臨床応用その2.第23回山形眼科研究会,山形;2002年7月
  - 18) 上領勝: 当科における羊膜移植と角膜移植,第23回山形眼科研究会,山形;2002年7月
  - 19) 西塚弘一,大沼郁子,佐藤武雄,高村浩,山下英俊:網膜色素上皮過形成の検討.第77回南東北眼科研究会, 仙台;2002年8月
  - 20) 鈴木倫,三橋玉絵,三戸秀哲,山下英俊:固定内斜視の1治療例.第77回南東北眼科研究会,仙台;2002年 8日
  - 21) 森谷聡美,山下英俊,羅錦營:神経線維腫症 型における脈絡膜病変のSLO所見.第77回南東北眼科研究会, 仙台;2002年8月
  - 22) 上領勝,山下英俊:羊膜移植における免疫組織学的検討.細胞外マトリックス研究会,沖縄;2002年8月

- 23) 窪寺俊晴,三橋玉絵,高村浩,山下英俊:最近の当科におけるリンパ性腫瘍の3例.第24回山形眼科研究会, 山形;2002年10月
- 24) 西塚弘一,佐藤浩章,川崎良,山下英俊:当科における裂孔原性網膜剥離手術症例の検討.第24回山形眼科研究会,山形;2002年10月
- 25) 西塚弘一,大沼郁子,佐藤武雄,高村浩,山下英俊:網膜色素上皮肥大の検討.山形県眼科医会集談会, 山形;2002年10月
- 26) 川崎良,佐藤浩章,高村浩,山下英俊:線維柱帯切除術後に眼内炎を来たし治癒後も濾過胞を維持し得た1 例.第14回みちのく緑内障懇話会,山形;2002年11月
- 27) 鈴木倫,高村浩,山下英俊:山形大学眼科における視神経の腫瘍について.第78回南東北眼科研究会, 福島;2002年11月
- 28) 窪寺俊晴,三橋玉絵,高村浩,山下英俊:最近の当科におけるリンパ性腫瘍の3例.第78回南東北眼科研究会,福島;2002年11月
- 29) 森谷聡美,川崎良,山下英俊:糖尿病網膜症に対する硝子体手術での術後合併症の発生と血糖コントロール および全身因子の関与について.第78回南東北眼科研究会,福島;2002年11月
- 30) 佐藤武雄:糖尿病網膜症のステレオ写真.第25回山形眼科研究会,山形;2002年11月
- 31) 西塚弘一,高村浩,山下英俊:血管拡張性肉芽腫症例の検討.第25回山形眼科研究会,山形;2002年11月
- 32) 山下英俊,川崎良:あたらしい糖尿病網膜症,黄斑症国際重症度分類について.第25回山形眼科研究会, 山形;2002年11月
- 33) 西塚弘一,高村浩,山下英俊,三戸秀哲:特異な経過を示した霰粒腫と考えられた1例.第26回山形眼科研究会,山形;2002年12月
- 34) 窪寺俊晴,鈴木倫,高村浩,山下英俊:当科における視神経腫瘍症例の検討.第26回山形眼科研究会, 山形;2002年12月
- 35) 高村浩,森谷聡美,寺島和人,山下英俊:当科における眼内悪性リンパ腫症例の検討.第26回山形眼科研究会,山形;2002年12月
- 36) 川崎良:トリアムシノロンを用いた硝子体手術(ビデオ).山形網膜硝子体倶楽部,山形;2002年12月
- 37) 森谷聡美,川崎良,高村浩:診断的硝子体手術を行い眼悪性リンパ腫が疑われた1例.山形網膜硝子体倶楽部,山形;2002年12月

### 3. その他

- 1) Yamashita H: Cytokine network in angiogenesis in diabetic retinopathy. 4th International Symposium on Ocular Pharmacology and Pharmaceutics. Seville, Spain. 2002
- 2) 山下英俊, 皆本敦:シンポジウム「病態からみた網膜硝子体手術~網膜血管病変治療の問題点解決のbreak throughをもとめて」(オーガナイザ-). 第25回日本眼科手術学会, 広島; 2002年1月
- 3) 山下英俊:(特別講演)創傷治癒の分子機構と眼疾患.関西眼疾患研究会,京都;2002年1月
- 4) 山下英俊: ランチョンセミナー「臨床での分子生物学」オーガナイザ (発表:真島行彦,崎元暢). 第26回角膜カンファランス,東京;2002年2月
- 5) 山下英俊:糖尿病網膜症の臨床・成因・分類・診断.第36回糖尿病学の進歩,さいたま市;2002年2月
- 6) 山下英俊:糖尿病網膜症の診察と課題~内科と眼科の強力の面から~.第8回宮崎県糖尿病・内科・眼科共同懇話会,宮崎;2002年3月
- 7) 山下英俊: ワークショップ『網膜症の発症機序と治療へのアプローチ:糖尿病網膜症発症・進展を如何に抑制するか? 高Nquality of vision維持をめざして 』. 第45回日本糖尿病学会,東京; 2002年 5 月
- 8) 山下英俊:糖尿病網膜症の発症進展の予後予測と予防.第2回糖尿病性血管障害の機構の解明に関する研究会,京都;2002年6月
- 9) 山下英俊:糖尿病黄斑症の病態と治療.ひまわり会(福島県北眼科医会),福島;2002年6月
- 10) 山下英俊,西田幸二,谷原秀信,水木信久:臨床家が知っておきたい眼科先端科学のトピックス.インストラクションコース.第56回日本臨床眼科学会,盛岡;2002年9月
- 11) 山下英俊:あたらしい時代の糖尿病網膜症治療戦略.第11回福岡眼科研究会,福岡;2002年11月
- 12) 山下英俊:糖尿病黄斑症の診断と治療.第47回富山眼科集談会,富山;2002年12月

- 13) 高村浩: 臨床医のための緑内障 急性期の対処および成人病としての位置づけ . 寒河江西村山郡医師会講演会,寒河江;2002年3月
- 14) 大沼郁子:網膜色素変性症について.網膜色素変性症患者相談会,新庄;2002年9月
- 15) 大沼郁子:心因性視覚障害を考える.第42回山形県小児発達談話会,山形;2002年10月
- 16) 笠木靖夫:レーザーによる近視手術.こんにちは-元気だの-,庄内日報;2002年12月
- 17) 上領勝:角膜移植講座.第2回アイバンクセミナー,山形;2002年10月
- 18) 結城義憲:健康の処方箋「緑内障」. 酒田市広報「私の街さかた」, 2002年2月
- 19) 結城義憲:健康の処方箋「糖尿病網膜症」. 酒田市広報「私の街さかた」, 2002年3月
- 20) 結城義憲:健康の処方箋「白内障」. 酒田市広報「私の街さかた」, 2002年4月
- 21) 結城義憲:健康の処方箋「飛蚊症」. 酒田市広報「私の街さかた」, 2002年5月
- 22) 結城義憲:健康の処方箋「老視」. 酒田市広報「私の街さかた」, 2002年6月
- 23) 結城義憲:健康福祉ミニ講座「緑内障」. FM酒田ハーバーラジオ,2002年1月
- 24) 結城義憲:健康福祉ミニ講座「ドライアイ」.FM酒田ハーバーラジオ,2002年7月
- 25) 結城義憲:健康福祉ミニ講座「コンタクトレンズ」. FM酒田ハーバーラジオ,2002年12月

# 耳鼻咽喉・頭頚部外科学分野(耳鼻咽喉科学)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Ito S, Fuse T, Yokota M, Watanabe T, Inamura K, Gon S, Aoyagi M: Prognosis is predicted by early hearing impairment with idiopathic sudden sensorineural hearing loss. Clin Otolaryngol 2002; 27: 501-504
- 2) Ohta N, Fukase S, Fuse T, Aoyagi M: Th1 and Th2 CD4 T cells and Tc1 and Tc2 CD8 T cells of patients with Wegener's granulomatosis. J Laryngol Otology 2002; 116: 605-609
- 3) Murata M, Ohta N, Fujisawa S, Tsai J-Y, Sato S, Akagi Y, Takahashi Y, Neuenschwander H: Kador PF: Selective pericyte degeneration in the retinal capillaries of galactose-fed dogs results from apoptosis linked to aldose reductase catlyzed galactitol accumulation. J Diab Comp 2002; 16: 363-370
- 4) Fuse T, Aoyagi M, Funakubo T, Sakakibara A, Yoshida S: Short-time outcome and prognosis of acute low-tone sensorineural hearing loss by administration of steroid. Journal of Oto-Rhino-Laryngology and its relayed 2002; 64: 6-10
- 5) Ohta N, Fukase S, Fuse T, Aoyagi M: Increased peripheral INF-g expressing CD8 T cells (Tc1) in patients with Wegener's granulomatosis. J. Japan Society of Immunol. Allergol. in Otolaryngology 2002; 20: 6-11
- 6) Sakurai S, Alam S, Tsai J, Sato S: Prostaglandin D₂ Enhances Expression of c-Fos mRNA and Proliferation of Human Retinal Capillary Pericytes by Activating the cAMP Response Element Binding Protein, CREB. Invest Opthalmo Vis Sci 2002; 43: 2774-81
- 7) Koike S, Takeda Y, Hozumi Y, Okazaki S, Aoyagi M, Sendo F: Immunohistological loclization in human tissues of GPI-80, a novel glycosylphosphatidyl inositol-anchored protein that may regulate neutrophil extravasation. Cell Tissue Res 2002; 307: 91-99
- 8) Waki T, Tamura G, Tsuchiya T, Sato K: Promoter Methylation Status of E-cadherin, hMLH1 and p16 Genes in Non-Neoplastic Gastric Epithelia. American journal of pathology 2002; 161: 399-403
- 9) 高橋伸明:末梢性顔面神経麻痺症例におけるF波の臨床的研究.日耳鼻 2002;105:1121-1127
- 10) 稲村博雄:磁気刺激誘発筋電図による早期予後診断の可能性. Facial N Res Jpn 2002; 22:17-20
- 11) 川口和浩,稲村博雄,多田雄一郎,高橋伸明,伊藤吏,甲州秀浩,青柳優:当科における両側性顔面神経麻痺症例の検討. Facial N Res Jpn 2002; 22:120-122
- 12) 甲州秀浩, 稲村博雄,高橋伸明,川口和浩,青柳優: A型ボツリヌス毒素を用いた顔面痙攣および眼瞼痙攣 の治療成績. Facial N Res Jpn 2002; 22: 151-153
- 13) 石田晃弘,小池修治,多田雄一郎,那須隆,中村正,青柳優:超選択的二経路動注化学療法における副作用 と合併症についての検討.頭頸部腫瘍 2002;28:243-247
- 14) 太田伸男,赤塚直子,石田晃弘,青柳優,高橋裕一:イネ科花粉症に対する塩酸レボカバスチンの効果 アレルギーの臨床 2002;22:85-89
- 15) 太田伸男, 櫻井真一, 青柳優:アレルギー性鼻炎とQOL. 山形県医師会会報 2002;608:23-24
- 16) 太田伸男,稲村和俊,野田大介,権誠基,石田晃弘,赤塚直子,斎藤史明,青柳優:スギ花粉症のタリオンの初期治療効果.耳鼻咽喉科臨床 2002;95:531-537
- 17) 太田伸男, 笠島直子, 青柳優: イネ科花粉症に対するアレロックの治療効果 耳鼻咽喉科臨床 2002; 95:647-652
- 18) 太田伸男,赤塚直子,櫻井真一,青柳優,高橋裕一:イネ科花粉症に対する塩酸オロバタジンの治療効果. アレルギーの臨床 2002;22:75-79
- 19) 高橋裕一,名古屋隆生,太田伸男:エアロアレルゲンイムノブロット法による花粉アレルゲンを有する花粉 種および大気浮遊粒子の同定.アレルギー 2002;51:609-614
- 20) 太田伸男:アレルギー性鼻炎におけるリボスチン点鼻液の効果的な使い方と注意点.アレルギーの臨床 2002;22:30
- 21) 高橋裕一,山口始,伊藤健,菊地恵美,菅野真一,山田敏弘,逸見真子,富樫直美,太田伸男:2002年の主な花粉症原因花粉の飛散状況.山形衛研所報 2002;35:25-31

22) 高野由美子,五十嵐敬郎:歯ブラシ挫創より皮下気腫を伴った頸部蜂窩織炎に至った一症例.鶴岡市立荘内病院誌,2002;13:33-38

#### (2) 著書

- 1) 青柳優, 布施健生: どんな疾患があるか/耳, 外耳疾患. 喜多村健編, 看護のための最新医学講座21 耳鼻咽喉科疾患. 東京; 中山書店, 2002: 129-141
- 2) 青柳優: どんな疾患があるか/耳,神経疾患.喜多村健編,看護のための最新医学講座21 耳鼻咽喉科疾患. 東京;中山書店,2002:78-84
- 3) 青柳優: 難聴の診断法 2.幼児の難聴の診断法 6) 聴性定常反応 SSR; steady-state response .池田 勝久,加我君孝,岸本誠司,久保武編,耳鼻咽喉科診療プラクティス.東京;文光堂,2002:70-74
- 4) 青柳優: XV 耳鼻咽喉系 4.めまい.前沢政次,津田司編,日常診療ハンドブック.東京;メディカルトリビューン,2002:679-686

#### (3) 総 説

- 1) 青柳優:特集「お母さんへの回答マニュアル耳鼻咽喉科Q&A」「何もしていないのに顔面神経麻痺になったといわれましたが、原因は何でしょうか.治りますか?」. JOHNS 2002; 18: 612-613
- 2) 青柳優:主訴からどう「めまい」の症状をとらえるか. CLINICIAN 2002; 514: 952-960
- 3) 青柳優:顔面神経麻痺の電気的診断法.耳鼻臨床 2002;95:985-995
- 4) 中村正: めまい治療のエビデンス その現状と問題点 . Equibibrium Research 2002; 61: 224-230
- 5) 中村正:頭頸部腫瘤の超音波診断マニュアル . MB ENTONI 2002; 14: 23-31
- 6) 中村正:急性のめまいと慢性の眩暈. MB ENTONI 2002; 13: 1-7
- 7) 中村正: 救急医療とめまい・ふらつき . JOHNS 2002; 18: 1259-1264
- 8) 中村正:急速眼球運動(サッケード)の機能検査としての役割.耳鼻咽喉科・頭頸部外 2002;74:505-510

### 2. 学 会 報 告

#### (1) 国内の学会

- 1) 那須隆,小池修治,稲村博雄,鈴木豊,赤塚直子,伊藤吏,中村正,青柳優:当科における深頸部感染症の 検討.第12回日本頭頸部外科学会,金沢;2002年1月
- 2) 鈴木豊,小池修治,那須隆,赤塚直子,伊藤吏,青柳優,赤羽和博,佐々木綾子:出生直後より呼吸困難を 生じた乳児巨大喉頭蓋嚢胞の1症例.第12回日本頭頸部外科学会,金沢;2002年1月
- 3) 斉藤史明,小池修治,稲村博雄,鈴木豊,那須隆,中村正,青柳優,細矢貴亮:頭頸部癌症例に対するアン ギオCTの有用性.第12回日本頭頸部外科学会,金沢;2002年1月
- 4) 稲村博雄,太田伸男,高橋伸明,伊藤智史,大竹祐輔,那須隆,中村正,青柳優:放射線治療後に生じた下 顎骨壊死の2症例.第12回日本頭頸部外科学会,金沢;2002年1月
- 5) 吉武洋,太田伸男,青柳優:環境ホルモン(ダイオキシン)の好中球接着に及ぼす影響.第20回日本耳鼻咽 喉科免疫アレルギー学会,松江;2002年3月
- 6) 稲村和俊,太田伸男,笠島直子,権誠基,青柳優,高橋裕一:スギ花粉症におけるベシル酸ベポタスチンの 初期治療効果.第20回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会,松江;2002年3月
- 7) 深瀬滋,吉武洋,太田伸男,青柳優,日塔武彰:Wegener肉芽腫症患者血清中の可溶型GPI-80の解析.第20 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会,松江;2002年3月
- 8) 太田伸男,赤塚直子,石田晃弘,青柳優,高橋裕一:イネ科花粉症に対する塩酸レボカバスチンの治療効果. 第20回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会,松江;2002年3月
- 9) 赤塚直子,太田伸男,稲村博雄,岡崎慎一,青柳優:顎下部interdigitating cell sarcomaの一例.第20回日本耳 鼻咽喉科免疫アレルギー学会,松江;2002年3月
- 10) 櫻井真一,佐藤佐内,太田伸男,青柳優:シクロオキシゲナーゼ阻害剤による毛細血管周細胞の増殖抑制効果.第20回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会,松江;2002年3月
- 11) 太田伸男, 笠島直子, 青柳優, 高橋裕一: イネ科花粉症に対する塩酸オロパタジンの治療効果. 第14回日本 アレルギー学会春季臨床大会, 千葉; 2002年3月
- 12) 太田伸男,稲村和俊,権誠基,石田晃弘,赤塚直子,斎藤史明,青柳優,高橋裕一:スギ科花粉症におけるベシル酸ベポタスチンの初期治療効果.第14回日本アレルギー学会春季臨床大会,千葉;2002年3月

- 13) 櫻井真一,佐藤佐内,太田伸男,青柳優:プロスタンディンの毛細血管周囲細胞増殖作用.第103回日本耳 鼻咽喉科学会総会,東京;2002年5月
- 14) 太田伸男,深瀬滋,布施健生,青柳優:木村氏病患者の末梢血Th1,Th2,Tc1,Tc2細胞の検討.第103回日本耳鼻咽喉科学会総会,東京;2002年5月
- 15) 笠島直子,太田伸男,深瀬滋,青柳優:木村病リンパ節におけるEG-2発現の検討.第103回日本耳鼻咽喉科学会総会,東京;2002年5月
- 16) 大竹祐輔,鈴木豊,布施健生,伊藤吏,青柳優:複合振幅変調音を用いたAMFRによる他覚的聴力検査.第 103回日本耳鼻咽喉科学会総会,東京;2002年5月
- 17) 苦瓜知彦,鎌田信悦,川端一嘉,保喜克文,三谷浩樹,吉本世一,米川博之,三浦弘規,別府武,中尾一成,福島啓文,多田雄一郎,佐々木徹,浜野巨秀:中咽頭癌の治療成績の推移.第103回日本耳鼻咽喉科学会総会,東京;2002年5月
- 18) 小池修治,稲村博雄,多田雄一郎,那須隆,石田晃弘,野田大介,中村正,木村洋,青柳優:当科における 唾液腺悪性腫瘍の治療法と治療成績.第26回頭頸部腫瘍学会,千葉;2002年6月
- 19) 那須隆,小池修治,稲村博雄,石田晃弘,野田大介,中村正,青柳優:人工喉頭による喉頭全摘後の音声再建(第3報)-長期経過と合併症の検討-.第26回頭頸部腫瘍学会,千葉;2002年6月
- 20) 石田晃弘,小池修治,稲村博雄,那須隆,野田大介,中村正,青柳優:当科における頸部郭清術後のリハビリテーションについて.第26回頭頸部腫瘍学会,千葉;2002年6月
- 21) 野田大介,小池修治,稲村博雄,那須隆,中村正,木村洋,青柳優:原発不明転移性頚部腫瘍症例の検討. 第26回頭頸部腫瘍学会,千葉;2002年6月
- 22) 別府武,鎌田信悦,川端一嘉,苦瓜知彦,保喜克文,三谷浩樹,吉本世一,米川博之,三浦弘規,中尾一成,福島啓文,多田雄一郎,佐々木徹,浜野巨秀:顎下腺癌における頸部郭清術の方針に関する検討.第26回頭頸 部腫瘍学会,千葉;2002年6月
- 23) 三浦弘規,鎌田信悦,川端一嘉,苦瓜知彦,保喜克文,三谷浩樹,吉本世一,米川博之,別府武,中尾一成,福島啓文,佐々木徹,浜野巨秀,多田雄一郎: T2声門癌の治療の検討.第26回頭頸部腫瘍学会,千葉;2002年6月
- 24) 伊藤吏,小池修治,鈴木豊,那須隆,赤塚直子,八月朔日泰和,権誠基,石田晃弘,中村正,青柳優:甲状腺髄様癌の一例.第64回耳鼻咽喉科臨床学会,大阪;2002年6月
- 25) 櫻井真一,小池修治,稲村博雄,那須隆,中村正,青柳優:当科における顎下腺腫瘍症例の検討.第64回耳 鼻咽喉科臨床学会,大阪;2002年6月
- 26) 太田伸男,布施健生,岡崎慎一,青柳優:上顎洞血瘤腫の一症例.第41回日本鼻科学会,広島;2002年9月
- 27) 櫻井真一,太田伸男,赤塚直子,青柳優:イネ科花粉症に対する塩酸オロパタジンの治療効果.第41回日本 鼻科学会,広島;2002年9月
- 28) 斎藤史明,太田伸男,赤塚直子,稲村和俊,権誠基,石田晃弘,青柳優:スギ科花粉症におけるベシル酸ベポタスチンの初期治療効果.第41回日本鼻科学会,広島;2002年9月
- 29) 和気貴祥,太田伸男,深瀬滋,坂田謙,稲村和俊,権誠基,櫻井真一,赤塚直子,吉武洋,青柳優:Wegener 肉芽腫症患者血清中の可溶性IL-2レセプター.第41回日本鼻科学会,広島;2002年9月
- 30) 岡崎雅,太田伸男,深瀬滋,布施健生,青柳優:アレルギー性鼻炎患者の末梢血Th1,Th2,Tc1,Tc2細胞. 第41回日本鼻科学会,広島;2002年9月
- 31) 鈴木豊,大竹祐輔,渡邊知緒,伊藤吏,岡崎慎一,青柳優,布施健生:複合振幅変調音刺激法による聴性定常反応(AMFR)の乳幼児聴力検査への応用.第47回日本聴覚医学会,仙台;2002年10月
- 32) 大竹祐輔,鈴木豊,布施健生,伊藤吏,渡辺知緒,岡崎慎一,横田雅司,青柳優:複合振幅変調音刺激法を 用いた聴性定常反応(AMFR)の他覚的聴力検査.第47回日本聴覚医学会,仙台;2002年10月
- 33) 伊藤吏,鈴木豊,渡辺知緒,岡崎慎一,青柳優:術後急速に聴力改善を呈した小脳橋角部腫瘍症例の耳音響放射.第47回日本聴覚医学会,仙台;2002年10月
- 34) 渡辺知緒,鈴木豊,伊藤吏,岡崎慎一,横田雅司,青柳優:急性感音難聴に対するステロイド・バトロキソビン併用療法.第47回日本聴覚医学会,仙台;2002年10月
- 35) 那須隆,中村正,小池修治,八月朔日泰和,青柳優:前庭神経炎症例の検討-神経耳科学的検査所見の経時 的変化-.第61回日本めまい平衡医学会,富山;2002年10月

- 36) 八月朔日泰和,中村正,小池修治,那須隆,長瀬輝顕,吉田信,高野由美子,石田晃弘,青柳優:当科におけるミトコンドリア脳筋症症例のENG所見について.第61回日本めまい平衡医学会,富山;2002年10月
- 37) 小池修治,中村正,那須隆,八月朔日泰和,野田大介,青柳優:小脳橋角部腫瘍の神経耳科学的検査所見. 第61回日本めまい平衡医学会,富山;2002年10月
- 38) 中村正:眼球運動記録・分析-教育セミナー,第61回日本めまい平衡医学会,富山;2002年10月
- 39) 太田伸男,赤塚直子,深瀬滋,青柳優:木村氏病患者の末梢血Th1,Th2,Tc1,Tc2細胞の検討.第52回日本アレルギー学会,横浜;2002年11月
- 40) 権誠基,太田伸男,青柳優,稲村和俊,赤塚直子,高橋裕一:スギ花粉初期治療におけるトシル酸スプラタストの効果 平成12年及び13年の検討.第52回日本アレルギー学会,横浜;2002年11月
- 41) 安部悦子,高橋裕一,三浦直美,荒木龍平,安枝浩,坂口雅弘,太田伸男:スギ花粉中のCryj 1含有の年次 差およびCryj 1定量の検討.第52回日本アレルギー学会,横浜;2002年11月
- 42) 吉武洋,日塔武彰,太田伸男,青柳優,荒木慶彦,仙道富士郎:Wegener肉芽腫症患者血清中のGPI-80の解析.第52回日本アレルギー学会,横浜;2002年11月
- 43) 桜井真一, 佐藤佐内, 太田伸男, 青柳優:血管構成細胞におけるPigment epithelial differentiation factorの役割.第52回日本アレルギー学会, 横浜: 2002年11月
- 44) 阿部靖弘,高下恵美,菅原勘悦,松嵜葉子,村木靖,本郷誠治:香港型インフルエンザHA蛋白の生物活性に及ぼす糖鎖付加の影響.第50回日本ウイルス学会学術集会総会,札幌;2002年10月
- 45) 和氣貴祥,田村元,本田悌一郎,本山悌一:胃粘膜におけるメチル化DNA検出の意義について:胃癌症例と 剖検例の比較.第91回日本病理学会,横浜;2002年3月
- 46) 和氣貴祥,田村元,本田悌一郎,本山悌一:胃癌におけるDAP-kinaseプロモーター領域のメチル化. 第61回日本癌学会,東京;2002年10月

#### (2) 国内地方会

- 1) 伊藤吏,小池修治,鈴木豊,那須隆,八月朔日泰和,岡崎慎一,野田大介,石井健一,青柳優:鼻副鼻腔に 発生した無色素性悪性黒色腫の1例.第51回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学会,福島;2002年7月
- 2) 小池修治,鈴木豊,那須隆,赤塚直子,伊藤吏,八月朔日泰和,青柳優,赤羽和博,佐々木綾子:呼吸困難 を生じた乳児嚢胞性疾患.第51回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学会,福島;2002年7月
- 3) 稲村博雄,川口和浩,高橋伸明,阿部靖弘,甲州秀浩,青柳優:末梢性顔面神経麻痺の早期予後診断. 第51回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学会,福島;2002年7月
- 4) 櫻井真一,太田伸男,赤塚直子,青柳優:イネ科花粉症に対する塩酸オロパタジンの治療効果.第51回日本 耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学会,福島;2002年7月
- 5) 川口和浩,稲村博雄,高橋伸明,甲州秀浩,青柳優:当科におけるベル麻痺、ハント症候群の治療成績. 第51回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学会,福島;2002年7月
- 6) 太田伸男,布施健生,稲村博雄,高橋伸明,伊藤智史,大竹祐輔,岡崎慎一,青柳優:鼻副鼻腔血瘤腫の1 症例.第51回日本耳鼻咽喉科学会東北地方部会連合学会,福島;2002年7月
- 7) 吉武洋,伊藤智史,稲村和俊,多田雄一郎,野田大介,青柳優,遠藤俊毅,蘇慶展:耳性及び鼻性頭蓋内合 併症の4例.第95回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会,山形;2002年9月
- 8) 岡崎雅,大田伸男,桜井真一,青柳優:アレルギー性鼻炎患者の末梢血Th1,Th2細胞の検討.第95回日本 耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会,山形;2002年9月
- 9) 野田大介,小池修治,鈴木豊,那須隆,伊藤吏,岡崎慎一,青柳優:当科における頭頸部粘膜原発悪性黒色腫の治療及び治療成績.第95回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会,山形;2002年9月
- 10) 古瀬秀和,木村洋,喜連照夫,石井健一:当科における下咽頭癌症例の検討.第95回日本耳鼻咽喉科学会山 形県地方部会例会,山形;2002年9月
- 11) 長瀬輝顕,川合正和,大竹祐輔,中村正,小池修治,川口和浩:当院に入院した悪性腫瘍患者統計と最近経験した愛知県がんセンター方式で治療した上咽頭癌の2症例.第95回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会,山形;2002年9月
- 12) 赤塚直子,甲州秀浩,中村正,深瀬滋: Salivary duct carcinomaの2症例.第95回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会例会,山形;2002年9月
- 13) 伊藤吏,渡邊知緒,岡崎慎一,青柳優:遺伝性難聴の遺伝子診断.第96回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部

会,山形;2002年12月

- 14) 深瀬滋,甲州秀浩,吉田信,中村正:我々の行っている喉頭肉芽腫の保存療法.第96回日本耳鼻咽喉科学会 山形県地方部会,山形;2002年12月
- 15) 石井健一,木村洋,喜連照夫,古瀬秀和:当科における耳下腺腫瘍症例の検討.第96回日本耳鼻咽喉科学会 山形県地方部会,山形;2002年12月
- 16) 長瀬輝顕,吉田信,大竹祐輔,川合正和:初診時に見逃した中枢性めまいの3症例.第96回日本耳鼻咽喉科 学会山形県地方部会,山形;2002年12月
- 17) 渡辺知緒,稲村博雄,太田伸男,櫻井真一,川口和浩,岡崎雅,小池修治,青柳優:急速に増大した頸部静脈性血管腫の一例.第96回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会,山形;2002年12月
- 18) 鈴木豊,中村正,赤塚直子,甲州秀浩:口蓋に発生したacinic cell carcinomaの1例.第96回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会,山形;2002年12月
- 19) 中村正,鈴木豊,赤塚直子,深瀬滋:耳鼻咽喉科自科検査における中央検査科との連携体制.第96回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会,山形;2002年12月
- 20) 阿部靖弘,高下恵美,菅原勘悦,松嵜葉子,村木靖,本郷誠治:香港型インフルエンザHA蛋白の生物活性に 及ぼす糖鎖付加の影響.第56回日本細菌学会東北支部総会,盛岡;2002年8月

#### (3) 研究会

- 1) 川口和浩,稲村博雄,多田雄一郎,高橋伸明,伊藤吏,甲州秀浩,青柳優:当科における両側性顔面神経麻 痺症例の検討.第25回日本顔面神経研究会,高知;2002年6月
- 2) 稲村博雄:発生3日以内に予後診断は可能か、磁気誘発筋電図検査の有用性について.第25回日本顔面神経研究会,高知;2002年6月
- 3) 甲州秀浩,稲村博雄,高橋伸明,川口和浩,青柳優:A型ボツリヌス毒素を用いた顔面痙攣および眼瞼痙攣 の治療成績.第25回日本顔面神経研究会,高知;2002年6月
- 4) 鈴木豊,大竹祐輔,布施健生,伊藤智史,伊藤吏,青柳優:複合振幅変調音によるAMFRの高周波歪み解析の試み. ERA研究会,東京;2002年7月
- 5) 岡崎慎一,布施健生,鈴木豊,渡辺知緒,伊藤吏,青柳優,嘉山孝正:術後急速に聴力改善を呈した小脳橋 角部腫瘍症例の耳音響放射所見. OAE研究会,東京;2002年7月
- 6) 那須隆,野田大介,石田晃弘,稲村博雄,小池修治,青柳優:原発不明の転移性頸部腫瘍症例の検討. 第8回北日本頭頸部癌治療研究会,仙台;2002年10月
- 7) 中村正:眼球運動記録.第5回山形めまい研究会,山形;2002年10月
- 8) 櫻井真一,那須隆,稲村博雄,青柳優:プロトンポンプ阻害剤が奏効した咽喉頭疾患症例.第25回山形県耳 鼻咽喉科疾患研究会,山形;2002年11月

#### (4) その他

- 1) 青柳優: (特別講演) Diagnosis and Treatment of Facial Palsy. Teaching Hospital of Tribhuvan University, Kathmandu; August 2002
- 2) 稲村博雄: (特別講演) Super-selective intra-arterial infusion chemotherapy for the patients with advanced head and neck cancer. Cologne University, Köln; December 2002
- 3) 青柳優:パネルディスカッション A「顔面神経麻痺」顔面神経麻痺の予後診断.ヘルペス感染症フォーラム, 小樽;2002年8月
- 4) 青柳優:プレナリーセッション「リスクマネージメントと専門医生涯教育」3)医療安全管理に関する学部 教育,千葉;2002年11月
- 5) 中村正:サッケードについて.第25回日本平衡機能検査技術者特別講習会,東京;2002年7月
- 6) 青柳優:(特別講演)末梢性顔面神経麻痺の臨床.第76回徳島県耳鼻咽喉科医会講演会,徳島;2002年1月
- 7) 青柳優:(特別講演)顔面神経麻痺の臨床.第66回日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会,静岡;2002年4月
- 8) 青柳優:(特別講演)末梢性顔面神経麻痺の臨床.第129回日本耳鼻咽喉科学会福岡県地方部会,久留米; 2002年4月
- 9) 青柳優:(特別講演)顔面神経障害の取り扱いについて.第9回北東大阪耳鼻咽喉科懇話会,大阪;2002年6 月
- 10) 青柳優:末梢性顔面神経麻痺の臨床.鶴岡市医師会講演会,鶴岡;2002年6月

- 11) 太田伸男:アレルギー性鼻炎の診断と治療 最近の話題. 石巻市医師会講演会, 石巻; 2002年2月
- 12) 太田伸男:スギ花粉症初期治療におけるベポタスチンの効果.山形花粉症講演会,山形;2002年2月
- 13) 太田伸男:アレルギー性鼻炎の診断と治療 最近の話題.仙台地区花粉症講演会,仙台;2002年2月
- 14) 太田伸男:イネ科花粉症について.NHKやまがた600,山形;2002年5月
- 15) 太田伸男:アレルギー性鼻炎に関する最近の話題について.第17回東北小児アレルギー研究会,山形;2002 年6月
- 16) 太田伸男:アレルギー性鼻炎に関する最近の話題について. 南陽市医師会講演会,山形;2002年7月
- 17) 太田伸男:アレルギー性鼻炎に関する最近の話題について.いわき地区医師会講演会,いわき;2002年7月
- 18) 太田伸男:長寿社会と耳鼻咽喉科.第7回山形大学医学部技術部職員研修会,山形;2002年8月
- 19) 太田伸男:アレルギー性鼻炎の診断と治療 最近の話題.第108回新庄最上臨床懇話会,新庄;2002年9月
- 20) 太田伸男:アレルギー性鼻炎の診断と治療 最近の話題.東根市医師会講演会,東根;2002年10月
- 21) 阿部靖弘,高下恵美,菅原勘悦,松嵜葉子,村木靖,本郷誠治:香港型インフルエンザHA蛋白の生物活性に 及ぼす糖鎖付加の影響.第17回インフルエンザ研究者交流の会,兵庫;2002年4月
- 22) 櫻井真一,太田伸男,青柳優:水泳のアレルギー性鼻炎に及ぼす影響.東北アレルギー懇話会,山形;2002 年6月

# 3. その他

- 1) 第18回山形電気生理研究会,山形;2002年1月
- 2) 第93回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会,山形;2002年3月
- 3) 第23回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会,山形;2002年3月
- 4) 第24回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会,山形;2002年6月
- 5) 第36回東北アレルギー懇話会,山形:2002年6月
- 6) 第94回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会,福島;2002年7月
- 7) 第95回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会,山形;2002年9月
- 8) 第8回北日本頭頸部癌治療研究会,仙台;2002年10月5日
- 9) 第25回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会,山形;2002年11月
- 10) 第96回日本耳鼻咽喉科学会山形県地方部会,山形;2002年12月

# 器官機能統御学講座

# 心血管機能統御学分野(生理学第一)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Takahashi E, Asano K: Mitochondrial respiratory control can compensate for intracellular O<sub>2</sub> gradients in cardio-myocytes at low Po<sub>2</sub>. Am J Physiol 2002; 283: H871-H878
- 2) Ishihata A, Tasaki K, Katano Y: Involvement of p44/42 mitogen-activated protein kinases in regulating angiotensin II- and endothelin-1-induced contraction of rat thoracic aorta. Eur J Pharmacol 2002; 445: 247-256
- 3) 手塚あさき,石幡明,片野由美:ムスカリン受容体を介した腸管平滑筋の収縮機構における加齢変化の検討。 山形医学 2002;20:13-20

#### (2) その他

- 1) Takahashi E: Imaging of "relative ischemia" in hypertrophied cardiomyocytes. Jpn J Physiol 2002; 52(suppl): S12
- 2) Ishihata A, Ogaki T, Sakai M, Tezuka A, Katano Y: Evaluation of the role of COX-1 and COX-2 in prostacyclin production in the perfused senescent rat heart. Eur Heart J 2002; 23(suppl): 222
- 3) Ishihata A, Katano Y, Tezuka A, Doi K, Ogaki T, Aita T: Mechanisms of the aging-dependent changes in prostacyclin synthesis in the rat. Jpn J Physiol 2002; 52(suppl): S231
- 4) Ishihata A, Tezuka A, Ogaki T, Katano Y: Mechanism of the modification of prostacyclin production in aged rat heart. Jpn J Pharmacol 2002; suppl I: 264P
- 5) 高橋英嗣,浅野功治,土居勝彦:拡散による酸素供給が限界に達しても好気的代謝は維持され得る-ミトコンドリア呼吸調節の役割.日生誌 2002;64:64
- 6) 石幡明, 土居勝彦, 片野由美:血管収縮におけるp44/42 MAPK燐酸化経路の寄与-ラット大動脈平滑筋における検討. 日生誌 2002;64:64

# 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1) Takahashi E: Imaging of "relative ischemia "in hypertrophied cardiomyocytes. ISOTT 30th Annual Meeting, Manchester; August 2002
- 2) Ishihata A, Ogaki T, Sakai M, Tezuka A, Katano Y: Evaluation of the role of COX-1 and COX-2 in prostacyclin production in the perfused senescent rat heart. ESC Congress2002, Berlin; September 2002
- 3) Ishihata A, Katano Y: Signaling mechanisms of urotensin II in the smooth muscle contraction. The 19th ISHR Meeting, Yamagata; October 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 高橋英嗣:肥大心筋における"相対的虚血"の可視化.第79回日本生理学会大会シンポジウム"光学的イメージングによる生理学的知見と病態の解明", 広島; 2002年4月
- 2) 高橋英嗣: 心筋細胞内酸素拡散とミトコンドリア呼吸の適応. 第25回日本バイオレオロジー学会年会 オーガナイズドセッション"微小循環と組織への酸素輸送", 松本; 2002年6月
- 3) 石幡明,片野由美,手塚あさき,土居勝彦,大垣友子,会田智美: 老化によるPG合成系の変化.第79回日本生理学会大会,広島;2002年3月
- 4) 石幡明,手塚あさき,大垣友子,片野由美:ラット老化心臓におけるプロスタサイクリン産生変化の機序. 第75回日本薬理学会年会,熊本;2002年3月

#### (3) 国内地方会

1) 石幡明,片野由美: 老化ラットにおけるUrotensin の心血管作用.第35回東北生理談話会,弘前;2002年10月

# (4) 研究会

- 1) 高橋英嗣:肥大心筋細胞における"相対的虚血"の画像化.第25回心筋代謝研究会,札幌;2002年7月
- 2) 石幡明,酒井美和子,手塚あさき,大垣友子,片野由美:ウロテンシン の血管収縮作用の加齢変化:冠血

管および大動脈における検討.第25回心筋代謝研究会,札幌;2002年7月

# (5) その他

- 1) Takahashi E: (Invited Lecture) Mitochondria can compensate for slow oxygen diffusion in cardiomyocytes. University of Düsseldorf, Germany; August 2002
- 2) 高橋英嗣: (招待講演) 1 個の細胞の分光計測:心臓の低酸素適応メカニズムのイメージング.第9回バイオメディカル光科学研究会,静岡;2002年11月
- 3) 高橋英嗣:(招待講演)細胞内酸素代謝制御の可視化による心臓の低酸素適応戦略の解明.東京医科歯科大学生体材料工学研究所,東京;2002年6月

# 神経機能統御学分野(生理学第二)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Fujii S, Kato H, Kuroda Y: Effects of temperature on adenosine A1 receptor activation in guinea pig hippocampus in vitro. Pflügers Arch-Eur J Physiol 2002; 443: 713-719
- 2) Fujii S, Kato H, Kuroda Y: Cooperativity between extracellular adenosine 5'-triphosphate and activation of N-methyl-D-aspartate receptors in long-term potentiation induction in hippocampal CA1 neurons. Neuroscience 2002; 113: 617-628
- 3) He B, Zhang X, Lian J, Sasaki H, Wu D, Towle VL: Boundary element method-based cortical potential imaging of somatosensory evoked potentials using subjects' magnetic resonance images. Neuroimage 2002; 16: 564-576
- 4) Fujii S, Igarashi K, Sasaki H, Furuse H, Ito K-I, Kaneko K, Kato H, Inokuchi J-I, Waki H, Ando S: Effects of the mono- and tetrasialogangliosides GM1 and GQ1b on ATP-induced long-term potentitation in hippocampal CA1 neurons. Glycobiology 2002; 12: 339-344
- 5) Fujii S, Sasaki H, Ito K-I, Kaneko K, Kato H: Temperature dependence of synaptic responses in guinea pig hippocampal CA1 neurons in vitro. Cell Mol Neurobiol 2002; 22: 379-391
- 6) Yamazaki Y, Fujii S, Nakamura T, Miyakawa H, Kudo Y, Kato H, Ito K-I: Changes in [Ca<sup>2+</sup>]<sub>i</sub> during adenosine triphosphate-induced synaptic plasticity in hippocampal CA1 neurons of the guinea pig. Neurosci Lett 2002; 324: 65-68
- 7) 岡崎俊太郎,武田湖太郎,宮崎崇史,安達友希,碓井裕介,松田哲也,佐々木寛,水野真,塚田稔,富田豊:モルモット聴覚皮質における層構造と周波数選択性.信学技報 2002; NC2001-167: 263-268

# 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Okazaki S, Takeda K, Miyazaki T, Sasaki H, Tsukada M: Cross correlation of neuronal activity in the auditory cortex of guinea pig -Reconsideration of cross-correlogram method application-. The Society of Instrument and Control Engineers Annual Conference 2002, Osaka; August 2002
- 2) Takeda K, Okazaki S, Ushiba J, Miyazaki T, Sasaki H, Tsukada M, Tomita Y: The change of neuronal response in guinea-pig auditory cortex by hippocampal modulation -Application of bootstrap method-. The Society of Instrument and Control Engineers Annual Conference 2002, Osaka; August 2002
- 3) Miyazaki T, Takeda K, Okazaki S, Suzuki R, Usui Y, Sasaki H, Mizuno M, Tsukada M, Anzai Y: Inhibition and facilitation of the response to two tone sequences in the guinea pig auditory cortex using optical imaging method. Society for Neuroscience 32nd Annual Meeting, Orlando FL; November 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 加藤宏司,李建民,金子健也,藤井聡,伊藤憲一,佐々木寛:虚血により海馬を破壊した砂ネズミの4ヶ所 餌取り学習.第79回日本生理学会大会,広島;2002年3月
- 2) 藤井聡,佐々木寛,李建民,金子健也,加藤宏司:海馬シナプス可塑性への代謝型グルタミン酸受容体の関 与.第11回海馬と高次脳機能学会,浜松;2002年11月
- (3) 国内地方会
- 1) 藤井聡,佐々木寛,李建民,金子健也,加藤宏司:海馬シナプス可塑性への代謝型グルタミン酸受容体の関 与.第35回東北生理談話会,弘前;2002年10月

#### (4) 研究会

1) 内藤広子,竹田裕美,佐々木寛,金子健也,片野由美,加藤宏司:若齢ラットと老齢ラットの餌取り学習行動.山形大学医学部実験動物セミナー・第13回研究成果発表会,山形;2002年11月

# 消化器・一般外科学分野(外科学第一)

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Hirai I, Kimura W, Ozawa K, Kudo S, Suto K, Kuzu H, Fuse A: Perineural Invasion in Pancreatic Cancer. Pancreas 2002; 24: 15-25
- 2) Suto K, Fuse A, Igarashi Y, Kimura W: Significance of Altered Bilirubin Subfractions in Bile Following Hepatectomy. J Surg Res 2002; 106: 62-69
- 3) Sato K, Tamura G, Tsuchiya T, Endoh Y, Usuba O, Kimura W, Motoyama T: Frequent loss of expression without sequence mutations of the DCC gene in primary gastric cancer. Br J Cancer 2002; 85: 199-203
- 4) Motoyoshi M, Sugiyama M, Atomi Y, Kimura W, Nagawa H: In vivo effect of pancreatic phospholipase A2 on the arachidonic acid cascade. Int J Pancreatology 2002; 29: 69-76
- 5) Honda T, Tamura G, Waki T, Jin Z, Sato K, Motoyama T, Kawata S, Kimura W, Nishizuka S, Murakami Y: Hypermethylation of the TSL1 Gene Promotor in Primary GastricCancers and Gastric Cancer Celll Lines. Jpn J Cancer Res 2002; 93:857-860
- 6) Sato TJ, Hirai I, Murakami G, Kanamura T, Hata F, Hirata K: An anatomical study of short hepatic veins, with special reference to delineation of the caudate lobe for hanging maneuver of the liver without the usual mobilization. J Hepatobiliary Pancreat Surg 2002; 9: 55-60
- 7) Moriya T, Kimura W, Sakurai F, Semba S, Ozawa K, Hirai I, Fuse A: Minute invasive ductal carcinoma of the redisual pancreas after distal pancreatectomy for intraducta papillary-mucinous toumor. Int J Gastrointestinal Cancer 2002; 31: 191-197
- 8) 平井一郎,村上弦,木村理,金村哲宏:肝臓を脱転しないhanging maneverによる肝切除の解剖学的検討.臨 床解剖研究会記録 2002;2:40-41
- 9) 村上弦,平井一郎,木村理:膵頭十二指腸領域から大動脈周囲に至るリンパ路について.臨床解剖研究会記録 2002;2:42-43
- 10) 平井一郎,山口洋志,脇口定衛,村上弦,木村優子,木村理:膵を横行する動脈の解剖学的検討.第6回臨 床解剖研究会記録
- 11) 木村理,木村青史:乳癌の腋窩リンパ節転移診断における99mTc9-MIBIシンチグラフィーの有用性.日本臨床外科学会雑誌 2002;63(5):1069-1073
- 12) 平井一郎,須藤幸一,森谷敏幸,布施明,遠藤順子,本間貞明,大和田一雄,木村理:実験肝移植術.山形 医学 2002;20(2):29-39
- 13) 森谷敏幸,小澤孝一郎,桜井文明,須藤幸一,磯部秀樹,平井一郎,川口清,安食隆,布施明,木村理:直 腸脱20例の検討.日本臨床外科医学会誌 2002;63:839-842
- 14) 縄田昌子,桜井文明,平井一郎,縄田真一,木村理:インスリノーマの診断と膵頭部腫瘍核出術の工夫.膵臓 2002;17(2):114-119
- 15) 村山最二郎,平井一郎,柴崎弘之,川口清,神賀正博,木村理:肝膿瘍から血栓性血小板減少性紫斑病を発症し,血漿交換で治癒した1例.日本臨床外科医学会誌 2002;63:2760-2764
- 16) 柴崎弘之,平井一郎,川口清,森谷敏幸,神賀正博,木村理: Granulocyte-colony stimulating factor産生有茎 性食道癌肉腫の1例.日本臨床外科医学会誌 2002;63:2920-2925

# (2) 著書

- 1) 木村理,平井一郎:膵臓疾患の外科的治療.戸田剛太郎他編, Annual Review 2002 消化器.東京;中外医学社,2002:181-186
- 2) 須藤幸一,木村理:胆嚢癌.専門医のための消化器外科レビュー.跡見裕他編,最新主要文献と解説.2002, 東京;総合医学社,2002;210-214
- 3) 森谷敏幸,木村理:全身感染症 腹腔内膿瘍.永武毅他編,エクセルナース[感染症編]8.東京;メディカルレビュー社,2002;207-214

- 4) 平井一郎,木村理:膵臓の手術.滝川一編,消化器ナビゲーター.東京;メディカルレビュー社,2002: 336-337
- 5) 木村理:第2章老年病各論.7消化器疾患の手術適応.日本老年医学会編,老年医学テキスト.東京;メディカルレビュー社,2002:457-462
- 6) 木村理:第2章老年病各論.9内視鏡および腹腔鏡下手術の適応.日本老年医学会編,老年医学テキスト. 東京;メディカルレビュー社,2002:465-467
- 7) 木村理:「膵臓外科の要点と盲点」序文.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂, 2002:
- 8) 木村理: 膵臓解剖把握のKnack & Patifalls, 2.膵臓の外科解剖. 木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点. 東京;文光堂, 2002:6-11
- 9) 木村理:ワンポイントアドバイス膵液K-ras点変異は膵癌診断に有用か?.木村理編, Knack & Patifalls膵脾 外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:38
- 10) 木村理: 膵腫瘍診断・手術適応決定のKnack & Patifalls, 7.IPMTとMCT. 木村理編, Knack & Patifalls膵 脾外科の要点と盲点.東京;文光堂, 2002:48-53
- 11) 木村理:コラム上皮内癌は何ミリ膵管内を這ったところで浸潤を開始するか?.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:61
- 12) 木村理,黒田慧: 膵腫瘍診断・手術適応決定のKnack & Patifalls, 13.IPMTの悪性度と予後.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:70-73
- 13) 木村理: 膵腫瘍診断・手術適応決定のKnack & Patifalls, 17.膵嚢胞性疾患の手術適応.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:86-89
- 14) 木村理: コラム膵頭十二指腸切除後の再建方法.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京; 文光堂, 2002: 122
- 15) 木村理,幕内雅敏: コラム膵頭十二指腸切除後のドレナージ. 木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:125
- 16) 木村理: 通常型膵癌に対する手術のKnack & Patifalls, 9.膵体部癌に対するApplebyの手術.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂, 2002:126-129
- 17) 木村理: 機能温存膵手術のKnack & Patifalls, 13.脾動静脈および脾臓を温存した膵体尾部切除術.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂, 2002:195-196
- 18) 木村理,平井一郎:ワンポイントアドバイス膵腸吻合のコツ.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:205
- 19) 木村理: 膵・消化管吻合のKnack & Patifalls, 7.膵十二指腸切除術における膵胃吻合.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,pp212-213.2002年10月
- 20) 木村理: 膵内分泌腫瘍のKnack & Patifalls, 1.膵内分泌腫瘍の診断.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂, 2002:218-221
- 21) 木村理,縄田昌子: コラム内分泌腫瘍核出術のコツ.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点. 東京,文光堂,227;2002年10月ス急性膵炎に対するsomatostatin(-analogue)の治療効果.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:261
- 22) 木村理,幕内雅敏: 急性膵炎の診断と治療のKnack & Patifalls, 13.急性膵炎に対するドレナージ.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂, 2002:281-283
- 23) 木村理: 慢性膵炎の診断と治療のKnack & Patifalls ,3.慢性膵炎の診断 高齢者における胆石症および膵管 拡張の考え方 . 木村理編 , Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点. 東京; 文光堂, 2002:292-293
- 24) 木村理: 慢性膵炎の診断と治療のKnack & Patifalls , 4. 慢性膵炎の外科治療の考え方 . 木村理編 , Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂, 2002: 294-295
- 25) 布施明,木村理: 慢性膵炎の診断と治療のKnack & Patifalls, 7.慢仮性嚢胞に対する嚢胞消化管(空腸・胃)吻合術.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:302-305
- 26) 木村理:ワンポイントアドバイス自己免疫疾患合併慢性膵炎の特徴.木村理編, Knack & Patifalls膵脾外科の要点と盲点.東京;文光堂,2002:313
- 27) 木村理:ワンポイントアドバイス世界初の脾温存Puestow手術.木村理編,Knack & Patifalls膵脾外科の要点

と盲点.東京;文光堂,2002:316

- 28) 山田和彦,木村理:高齢者の癌は本当に進行が遅いのか.大内尉義編,老年病のとらえかた.東京;文光堂, 2002:268-274
- 29) 平井一郎,木村理:消化器ナビゲーター『膵臓の手術』. 東京;メディカルレビュー社,2002:336-337 3) 総 説
- 1) 木村理,森谷敏幸: Solid-pseudopapillary Tumorの臨床的特徴と治療. 肝胆膵 2002;44:25-32
- 2) 木村理,松本由朗,黒田慧,柳澤昭夫,山雄健二:座談会;膵の嚢胞性腫瘍-概念の変遷と新しい展開-. 肝胆膵 2002;44:81-94
- 3) 木村理:高齢者の消化器疾患-外科の立場から-.日本老年医学会雑誌 2002;39:127-140
- 4) 木村理,平井一郎: 肝・胆・膵・脾の手術;胆管空腸吻合術.消化器外科標準手術手技アトラス 2002; 25:1152-1159
- 5) 福田俊,磯部秀樹,蜂谷修,木村理:疾患と手術のここが知りたい!第3回小腸.消化器外科NURSUNG 2002 2002;7:76(592)-86(602)
- 6) 桜井文明,福田俊,蜂谷修,布施明,木村理:切除不能食道癌に対する Y 字胃管を用いた食道バイパス手術. 手術 2002;56:141-146
- 7) 木村理,平井一郎,木村青史:乳癌の診断と治療-乳房温存療法を中心に-.山形医学 2002;20:41-58
- 8) 平井一郎,須藤幸一,森谷敏幸,布施明,遠藤淳子,本間貞明,大和田一雄,木村理:受動的門脈・下大動脈バイパスを用いたブタ肝移植術.山形医学 2002;20:29-39
- 9) 木村理,布施明,平井一郎,神賀正博:粘液産生膵腫瘍(IPMT)に対する脾温存膵体尾部切除術.臨床外科 2002;57:1541-154
- 10) 木村理, 布施明, 平井一郎: 最新の標準治療-Generalized diseaseの視点から癌治療を見直す. 15膵癌. B.体 尾部癌. 外科2001; 63: 1637-1642
- 11) 木村理,平井一郎:消化器外科専門医であるために必要な標準手術手技アトラス.胆管空腸吻合消化器外科 臨時増刊号 2002;25:1152-1159
- 12) 平井一郎,木村理,小澤孝一郎,工藤俊,須藤幸一,久津裕,布施明: Expanded Abstract 膵癌の神経周囲浸 潤の臨床病理学的研究.膵臓 2002;17:252-253
- 13) 森谷敏幸,木村理:浸潤性膵管癌における化学療法. Modern physician 2002; 22:523
- 14) 森谷敏幸,木村理:イレウス診療のコツ. Modern physician 2002;22:692

### 2.学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Kimura W:(特別講演) Pathogenesis, Diagnosis and Therapeutic strategies for Endocrine Tumors of the Pancreas.
  The 8th Congress of the Asian Association of Endocrine Surgeons, Seoul; April 2002
- 2) Kimura W:(特別講演) Symposium 9 IPMT vs MCT: Surgical treatment Japanese experience. 5th World Congress of IHPBA, Tokyo; April 2002
- 3) Kimura W:(特別講演) Neoplastic diseases of the papilla of Vater. 5th Joint meeting of the German and Japanese surgical societeis, Belrin; June 2002
- 4) Kimura W:(特別講演) Pathogenesis and Hisrtological and Molecular Biological Characteristics of the Duodenal Papilla. 5th Joint meeting of the German and Japanese surgical societeis, Belrin; June 2002
- 5) Kimura W:(特別講演) Pathogenesis Diagnosis and Therapeutic strategies for endocrine tumors of the oancreas.

  Joint meeting European Pancreatic Club and International of Pancreatology, Heidelberg; June 2002
- 6) Hirai I, Murakami G, Kanamura T, Suto K, Fuse A, Kimura W: Anatomical consideration for anterior hepatectomy using the hanging maneuver without mobilization of the liver Anatomical studies of the short hepatic vein and precaval portal branches. 5<sup>th</sup> World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association. Tokyo; April 2002
- 7) Sakurai F, Hirai I, Suto K, Fuse A, Kimrua W: Immunohistochemical detection for micrometastases in the lymph node of hilar bile duct carcinoma. 5<sup>th</sup> World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association. Tokyo; April 2002

- 8) Murakami G, Hirai I, Kimura W: Origin of the thoracic duct and oancreaticoduodenal lymphatic pathways to the para-aortic lymph nodes. 5th World Congress of the International Hepato-Pancreato-Biliary Association. Tokyo; April 2002
- 9) Hirai I, Murakami G, Sakurai F, Nawata S, Mizutani M, Fuse A, Kimura W: Origin of the thoracic duct and pancreaticoduodenal lymphatic pathways to the para-aortic lymph nodes. The 3<sup>rd</sup> International Sentinel Node Congress Yokohama; November 2002
- 10 ) Isobe H, Ozawa K, Kawaguchi K, Ajiki T, Fuse A, Kimura W: Treatment of locally recurrent rectal ccancer. 8<sup>th</sup> Asian Federation of Coloproctology Congress Tehran; November 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 木村理:(特別講演)膵癌:2001年(平成13年)度後期日本消化器外科学会教育集会,秋田;2002年2月
- 2) 木村理:(特別講演)IPMTの概念・診断・治療.第22回千葉県胆膵研究会.千葉;2002年7月
- 3) 木村理: (特別講演)IPMTの概念・診断・治療.第141回弘前消化器疾患研究会.弘前;2002年7月
- 4) 木村理:(特別講演)膵管内乳頭腫瘍と膵の外科解剖.第51回近畿膵疾患談話会.神戸;2002年9月
- 5) 布施明:(特別講演)肝門部胆管癌の治療について.第3回米沢外科懇話会,米沢;2002年6月
- 6) 磯部秀樹,川口清,安食隆,布施明,木村理:高齢者に対する腹腔鏡下手術について-大腸腫瘍を中心に-. 第36回日本成人病学会,東京;2002年1月
- 7) 竹下明子,平井一郎,須藤幸一,福田俊,川口清,布施明,木村理:良性門脈狭窄による消化管出血に対し 門脈内メタリックステント留置が有効であった1例.第38回日本腹部救急医学会総会,下関;2002年3月
- 8) 平井一郎,須藤幸一,五十嵐幸夫,布施明,木村理:術前門脈枝塞栓術の評価 特に99mTc-GSA SPECT scintigraphyの有用性について.第102回日本外科学会定期学術集会,京都;2002年4月
- 9) 山田和彦,大山繁和,篠原寿彦,辻和彦,天岡望,永野秀樹,太田惠一朗,山口俊晴,松原敏樹,平井一郎, 木村理,武藤徹一郎:解剖体所見から見た大動脈周囲リンパ節郭清の要点.第102回日本外科学会定期学術集 会,京都;2002年4月
- 10) 森谷敏幸,仙波秀峰,桜井文明,布施明,木村理:膵上皮性腫瘍におけるMuc1, Muc2, Smad4, Her2の発現の生物学的意義:第102回日本外科学会定期学術集会,京都;2002年4月
- 11) 蜂谷修,桜井文明,福田俊,柴崎弘之,小澤孝一郎,布施明,木村理:食道癌術後の高サイトカイン血症と 末梢血好中球アポトーシスの遅延.第102回日本外科学会定期学術集会,京都;2002年4月
- 12) 須藤幸一,他:腫瘤形成型胆管細胞癌の非切除例における化学放射線療法の効果.第88回日本消化器病学会総会,旭川;2002年4月
- 13) 平井一郎,森谷敏幸,竹下明子,須藤幸一,神賀正博,布施明,木村理:シンポジウム「何故膵癌は治癒できないのか」膵癌のリンパ節転移,神経浸潤.第57回日本消化器外科学会総会,京都;2002年7月
- 14) 木村青史,柘植通,須藤幸一,木村理:乳癌のリンパ節転移診断におけるシンチグラフィ SPECT像の意義. 第10回日本乳癌学会,名古屋;2002年7月
- 15) 桜井文明, 蜂谷修, 布施明, 神賀正博, 村山最二郎, 木村理: 十二指腸原発GIST肝転移再発症例に対する imatinibの使用経験. 第57回日本消化器外科学会総会, 京都; 2002年7月
- 16) 森谷敏幸,仙波秀峰,山川光徳,桜井文明,平井一郎,神賀正博,布施明,塚本長:膵管内乳頭腫瘍および 浸潤性膵管癌におけるAkt/PBKリン酸化の意義.第57回日本消化器外科学会総会,京都;2002年7月
- 17) 福田俊,須藤幸一,川口清,竹下明子,磯部秀樹,布施明,木村理:妊娠19週の腹腔鏡下胆嚢摘出術の1例. 第57回日本消化器外科学会総会,京都;2002年7月
- 18) 須藤幸一,布施明,平井一郎,木村理:リンパ節転移を伴う腫瘤形成型肝内胆管癌の治療成績.第57回日本 消化器外科学会総会,京都;2002年7月
- 19) 平井一郎,山口洋志,脇口定衛,村上弦,木村優子,木村理:膵を横走する動脈の解剖学的検討.第33回日本膵臓学会大会,仙台;2002年9月
- 20) 桜井文明,須藤幸一,馬晋峰,平井一郎,布施明,木村理:ss胆嚢癌における予後因子の検討.第38回胆道 学会学術集会,名古屋;2002年9月
- 21) 縄田真一,平井一郎,桜井文明,須藤幸一,水谷雅臣,布施明,木村理:Vater乳頭部癌10例の検討.第38回 胆道学会学術集会,名古屋;2002年9月
- 22) 桜井文明,蜂谷修,布施明,神賀正博,田村元,和気貴祥,本田悌一朗,木村理:十二指腸GIST転移症例に

対するGleevec-の使用経験.第40回日本癌治療学会総会,東京;2002年10月

- 23) 桜井文明, 蜂谷修, 布施明, 神賀正博, 金子美華, 田村元, 和気貴祥, 本田悌一朗, 木村理: GIST (smooth muscle type) に対するimatinib使用経験.第61回日本癌学会総会, 東京; 2002年10月
- 24) 磯部秀樹,川口清,高須直樹,木村理:直腸sm癌の病理組織学的検討.第57回日本大腸肛門病学会,横浜; 2002年10月

#### (3) 国内地方会

- 1) 服部悦子,齊藤孝治,奥本和夫,安達徹,武田忠,照井有紀,菅原一彦,渡辺久剛,齊藤貴史,富樫整,河田純男,村山最二郎,竹下明子,須藤幸一,神賀正博,木村理:肝嚢胞腺腫・嚢胞腺癌と鑑別に苦慮した出血性肝嚢胞の1例.第172回日本消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
- 2) 安食隆,蜂谷修,五十嵐幸夫,布施明,木村理:早期胃癌を合併した胃限局若年性ポリポーシスの一例. 第143回東北外科集談会,仙台;2002年6月
- 3) 村山最二郎,平井一郎,柴崎弘之,川口清,神賀正博,木村理:肝膿瘍から血栓性血小板減少性紫斑病を発症し,血漿交換で治癒した1例.第143回東北外科集談会,仙台;2002年6月
- 4) 手塚康二,浦山雅弘,磯部秀樹,須藤幸一,竹下明子,福田俊,布施明,木村理:縦隔炎に対する大網充填 後の胸壁ヘルニア内に脱出した横行結腸癌の1例.第144回東北外科集談会,秋田;2002年9月
- 5) 渡邊利広,平井一郎,神賀正博,水谷雅臣,布施明,木村理:膵体尾部癌に対するAppleby手術の1例 肝動脈血流測定におけるDoppler USの有用性 . 第144回東北外科集談会,秋田;2002年9月
- 6) 矢野充泰,鈴木明彦,桜井文明,蜂谷修,横山英一,布施明,木村理:鈍的外傷による膵単独損傷( a型) の1例.第144回東北外科集談会,秋田;2002年9月
- 7) 藤本博人,浦山雅弘,磯部秀樹,竹下明子,高須直樹,手塚康二,布施明,木村理:破綻膵管に対し膵管ステントが有効であった急性膵炎の1例.第144回東北外科集談会,秋田;2002年9月
- 8) 水谷雅臣,布施明,木村理:高齢者(70歳以上)の腹部緊急手術の検討.第13回日本老年医学会東北地方会, 福島;2002年11月

#### (4) 研究会

- 1) 磯部秀樹,川口清,安食隆,布施明,木村理:sm大腸癌遠隔転移の2例.第56回大腸癌研究会,新潟;2002 年1日
- 2) 川口清,磯部秀樹,桜井文明,木村青史,木村理:sm大腸癌の臨床病理学的検討.第56回大腸癌研究会, 新潟;2002年1月
- 3) 森谷敏幸,桜井文明,神賀正博,平井一郎,布施明,木村理,仙波秀峰:IPMT及び浸潤性膵管癌における Akt/PKBリン酸化の意義.第36回東北膵臓研究会,仙台;2002年2月
- 4) 木村青史,柘植通,縄田昌子,木村理:乳腺シンチグラフィによる乳癌腋窩リンパ節転移診断の試み. 第8回東北乳腺疾患研究会,仙台;2002年3月
- 5) 柘植通,木村青史,縄田昌子,木村理:転移性乳癌治療の臓器別検討.第8回東北乳腺疾患研究会,仙台; 2002年3月
- 6) 竹下明子,布施明,須藤幸一,五十嵐幸夫,木村理:良性門脈狭窄にメタリックステントを挿入し,長期生存を得ている1例.第5回山形県メタリックステント研究会,山形;2002年3月
- 7) 柴崎弘之,川口清,平井一郎,神賀正博,木村理,森谷敏幸,仙波秀峰:著明な好中球増加を来たした食道 癌肉腫の1例.第7回山形県食道・胃疾患研究会 山形;2002年3月
- 8) 鈴木明彦,木村青史,木村理:線維腺腫を合併した乳癌の1例.第2回山形乳腺病理画像研究会,山形; 2002年5月
- 9) 櫻井文明,木村理:7. 術後放射線・化学療法と分子生物学など(1) 食道癌放射線化学療法後切除例のアポトーシス関連蛋白等の変化.第56回日本食道疾患研究会,広島;2002年6月
- 10) 須藤幸一,布施明,原隆宏,浦山雅弘,平井一郎,木村理:リンパ節転移を伴う腫瘤形成型胆管細胞癌の治療成績.第12回東北肝臓外科研究会,仙台;2002年6月
- 11) 平井一郎,村上弦,縄田真一,浦山雅弘,布施明,木村理:下大静脈靭帯の解剖.第12回東北肝臓外科研究会,仙台;2002年6月
- 12) 磯部秀樹,蜂谷修,木村青史,布施明,木村理:直腸癌局所再発の早期発見のために.第57回大腸癌研究会, 仙台;2002年7月

- 13) 平井一郎,山口洋志,脇口定衛,村上弦,木村優子,木村理:膵を横走する動脈の解剖学的検討.第6回臨 床解剖研究会,東京:2002年7月
- 14) 蜂谷修: 潰瘍性大腸炎手術例の検討.第1回山形県炎症性腸疾患(IBD)研究会,山形;2002年7月
- 15) 川口清,鈴木久美子,矢作祐一,太田圭治,瀬尾伸夫:CAPDカテーテル位置異常を腹腔鏡下に整復し,再 発防止を行った2例.第6回山形内視鏡外科研究会学術集会,山形;2002年8月
- 16) 蜂谷修,横山英一,木村理:教室の腹腔鏡補助下幽門側胃切除術 (LADG)症例の検討.第6回山形内視鏡 外科研究会学術集会,山形;2002年8月
- 17) 木村青史,塚本長,佐藤友子,工藤明美,佐藤吉宣,木村理:山形県におけるマンモグラフィ併用検診の成績.第26回山形県乳腺疾患研究会学術集会,山形;2002年9月
- 18) 鈴木明彦,木村青史,平井一郎,木村理:当科における乳房温存療法症例の検討.第26回山形県乳腺疾患研究会学術集会,山形;2002年9月
- 19) 鈴木明彦,木村青史,平井一郎,木村理:教室における乳房温存療法の実際.第20回山形外科談話会学術集会,山形;2002年9月
- 20) 桜井文明,蜂谷修,神賀正博,布施明,木村理,本田悌一朗,田村元:十二指腸GIST肝再発症例に対する Gleevec-の使用経験.第20回山形外科談話会学術集会,山形;2002年9月
- 21) 磯部秀樹,高須直樹,手塚康二,藤本博人,蜂谷修,木村理:当科における直腸癌局所切除術の適応と成績. 第29回東北・大腸癌研究会,秋田;2002年9月
- 22) 横山英一,蜂谷修,木村理:当科におけるsm胃癌リンパ節転移症例の検討.第34回癌とリンパ節研究会, 東京;2002年10月
- 23) 磯部秀樹,浦山雅弘,高須直樹,竹下明子,手塚康二,藤本博人,木村青史,布施明,木村理:当科における非治癒切除直腸癌に対するLV/5FU+CPT11併用療法の成績 QOLを考慮した外来投与法 . 第4回癌フォーラム in 山形,山形:2002年10月
- 24) 竹下明子,布施明,平井一郎,浦山雅弘,神賀正博,木村理:門脈内ステント留置の有用性について. 第15回東北膵・胆道癌研究会,福島;2002年10月
- 25) 渡邊利広,平井一郎,水谷雅臣,神賀正博,布施明,木村理:多発性肝嚢胞の3例.第14回東北創傷治癒研究会,仙台;2002年11月
- 26) 渡邊利広,平井一郎,神賀正博,水谷雅臣,浦山雅弘,布施明,木村理:AFP産生膵癌に対する術中・術後 放射線療法.21世紀セミナー,東京;2002年11月
- 27) 渡邊利広,平井一郎,神賀正博,水谷雅臣,布施明,木村理:膵体尾部癌に対するAppleby手術の1例 肝動脈血流測定におけるDoppler USの有用性 . 21世紀セミナー,東京;2002年11月

#### (5) その他

- 1) Kimura W: Neoplastic diseases of the papilla of Vater. 山形大学・上海第二医科大学附属仁済医院国際交流特別 講演,上海;2002年9月
- 2) Kimura W: Mucin- producing tumor of the pancreas and surgical anatomy of the pacreas for limited resection. 山形大学・上海第二医科大学附属仁済医院国際交流特別講演,上海;2002年9月
- 3) 木村理,神賀正博,平井一郎,布施明:急性膵炎におけるMetallothionein の組織保護作用とSOD.厚生省特定疾患対策研究事業,重症急性膵炎の救命率を改善するための研究班,難治性膵疾患に関する調査研究班(班長小川道雄),平成13年度研究発表会,東京;2002年1月
- 4) 木村理,神賀正博:実験急性膵炎.厚生省労働特定疾患対策研究事業,難治性膵疾患に関する調査研究班. 平成13年度第二回班会議,宮崎;2002年1月
- 5) 木村理,神賀正博,竹下明子:胆膵がんに対する術中放射線療法の有効性評価に関する多施設共同研究. 平成13年度第3回班会議.東京;2002年2月
- 6) 文部省科学研究費厚生省特定疾患対策研究事業.日本学術振興会成果生物系小委員会,東京;2002年2月
- 7) 桜井文明,木村理: 膵癌はなぜ治らないか. 第8回山形県外来講師研修会,山形;2002年2月
- 8) 木村理,神賀正博,竹下明子:胆膵がんに対する術中放射線療法の有効性評価に関する多施設共同研究. 平成14年度第1回班会議,東京;2002年7月
- 9) 木村理,神賀正博,平井一郎:重症急性膵炎時の動注療法に関する膵の動脈の解剖:特に膵体部を横走する動脈について.厚生労働省特定疾患対策研究事業,難治性膵疾患に関する調査研究班.平成14年度第1回研究

打ち合わせ会, 東京; 2002年9月

10) 磯部秀樹,神賀正博,布施明,木村理:当科における緩和ケアのための在宅静脈栄養法(HPN)システムと その問題点.第17回東北静脈・経腸栄養研究会,山形;2002年12月

## 3. その他

- 1) 胃と腸 in 山形, 山形; 2002年4月22日
- 2) 第20回山形外科談話会,山形;2002年6月29日
- 3) 第6回山形内視鏡外科研究会学術集会,山形;2002年8月
- 4) 第26回山形県乳腺疾患研究会学術集会,山形;2002年9月
- 5) 山形県消化器病懇話会,山形;2002年10月
- 6) 第4回癌フォーラム in 山形, 山形; 2002年10月
- 7) 第5回消化器病セミナー in YAMAGATA, 山形; 2002年11月
- 8) 第17回東北静脈・経腸栄養研究会,山形;2002年12月
- 9) 第13回山形肝胆膵症例検討会,山形;2002年3月
- 10) 第14回山形肝胆膵症例検討会,山形;2002年6月
- 11) 第15回山形肝胆膵症例検討会,山形;2002年9月
- 12) 第16回山形肝胆膵症例検討会,山形;2002年12月

## 循環器・呼吸器・小児外科学分野(外科学第二)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Sugimoto T, Yamagiwa I, Obata K, Ouchi T, Takahashi R, Suzuki R, Shimazaki Y: Choledochal cyst and duodenal atresia: a rare combination. Pediatr Surg Int 2002; 18: 281-283
- 2) Uchida T, Shimazaki Y, Uesyo K, Koshika M, Takeda F, Inui K, Watanabe T: Aortic Root Replacement with Stentless Xenograft for Aortic Dissection. Artif Organs 2002; 26: 1052-1055
- 3) Yanagawa N, Tamura G, Oizumi H, Takahashi N, Shimazaki Y, Motoyama T: Frequent Epigenetic Silencing of the p16 Gene in Non-small Cell Lung Cancers of Tobacco Smokers. Jpn J Cancer Res 2002; 93: 1107-1113
- 4) 塩野知志,保坂淳,島貫隆夫:長期生存の得られた非完全切除胸腺癌の1例.日本呼吸器外科学会雑誌 2002;16:172-174
- 5) 内田徹郎,箕輪隆,保坂淳,小鹿雅隆,乾清重,渡辺隆夫,島﨑靖久:腋窩動脈送血を用いた真性部大動脈 瘤手術-術後脳合併症予防の観点から-.日本心臓血管外科学会雑誌 2002;31:266-268
- 6) 内田徹郎,荻野均,安藤太三,大北裕,八木原俊克,北村惣一郎:周産期に大動脈解離を発症したMarfan症 候群の検討.胸部外科 2002;55:693-696
- 7) 高橋伸政,佐藤徹,安孫子正美,金内直樹:先天性食道気管支瘻に対し胸腔鏡下手術を施行した1例.日本呼吸器外科学会雑誌 2002;16:793-796
- 8) 内田徹郎,島﨑靖久,上所邦広,小鹿雅隆,竹田文洋,乾清重:重症虚血肢における人工血管感染の治療経験-グラフト温存によるlimb salvage . 日本血管外科学会雑誌 2002;709-712
- 9) 竹田文洋,島﨑靖久,渡辺隆夫,乾清重,内田徹郎,上所邦広,小鹿雅隆,加藤博久,坂本薫:腋窩動脈送血,脳分離帯外循環法による弓部大動脈瘤手術例の治療成績.日本胸部外科学会雑誌 2002;55:335-339
- 10) 高橋一臣,山際岩雄,近藤公男,奥山直樹,大内孝幸,鈴木律子,大沢義弘,島崎靖久: Total colon aganglionosis および Extensive aganglionosis における無神経節腸管へのストーマ造設の効果. 小児外科 2002;34:37-42

## 2. 学 会 報 告

## (1) 国内の学会

- 1) 奥山直樹,山際岩雄,大内孝幸,鈴木律子,宮津清,高橋一臣,島﨑靖久:PRETEXT- で治療を行い腫瘍 切除後に肺移転を来し死亡した1例.日本小児肝癌スタディグループ(JPLT)研究会,東京;2002年1月
- 2) 内田徹郎,島﨑靖久,上所邦広,小鹿雅隆,竹田文洋,乾清重,渡辺隆夫:腋窩動脈送血,選択的脳灌流による大動脈弓部置換術-脳血流,高次脳機能の評価-.第32回日本心臓血管外科学会総会,大阪;2002年2月
- 3) 大泉弘幸,成毛佳樹,塩野知志,高橋伸政,金内直樹,柳川直樹,宮津清,島﨑靖久:呼吸器外科術後肺血 栓塞栓症の監視および予防対策.第102回日本外科学会総会,京都;2002年4月
- 4) 金内直樹,大泉弘幸,藤島丈,成毛佳樹,塩野知志,高橋伸政,柳川直樹,島﨑靖久:肺癌に対する呼吸器 胸腔鏡手術周術期合併症の特徴.第102回日本外科学会総会,京都;2002年4月
- 5) 上所邦広,島﨑靖久,内田徹郎,小鹿雅隆,竹田文洋,乾清重,渡辺隆夫:腹部大動脈・腸骨大動脈瘤手術 後の消化器合併症に対する検討.第102回日本外科学会総会,京都;2002年4月
- 6) 高橋伸政,大泉弘幸,金内直樹,柳川直樹,佐藤徹,正岡俊明,中嶋和恵,島崎靖久:肺癌切除後の予後因 子の検討;転移リンパ節個数と予後の関係.第102回日本外科学会総会,京都;2002年4月
- 7) 岸本昌宏,吉田初雄,岩波洋,湖山信篤,日吉晴久,安孫子正美,山下直行,櫻澤信行,竹之下誠一:99mTc 標識フチン酸を用いた乳癌センチネルリンパ生検の有用性.第102回日本外科学会総会,京都;2002年4月
- 8) 篠永真弓,小熊文昭,山本和男,田中佐登司,斉藤典彦,菊地千鶴男,杉本努,本橋慎也,春谷重孝:虚血 生心疾患と悪性腫瘍を同時期に診断された症例に対する治療.第102回日本外科学会総会,京都;2002年4月
- 9) 保坂淳,島貫隆夫,塩野知志,古川佳代子:腎動脈上で大動脈遮断を要した腹部大動脈瘤の検討(臓器保護の観点から).第30回日本血管外科学会総会,沖縄;2002年5月

- 10) 外山秀司,荻野均,佐々木啓明,花房雄治,平田光博,沼田智,北村惣一郎:高安病に合併したRVHに対し 腎動脈再建術を施行した4症例,第30回日本血管外科学会総会,沖縄;2002年5月
- 11) 島﨑靖久,渡辺隆夫,内田徹郎,竹田文洋,乾清重,荒木隆夫,岡田嘉之,島貫隆夫:山形県における急性 大動脈解離の発生と初期治療成績:2000年の成績.第30回日本血管外科学会総会,沖縄;2002年5月
- 12) 杉本努,山本和男,篠永真弓,田中佐登司,斉藤典彦,菊地千鶴男,本橋慎也,春谷重孝:虚血性心疾患を 合併した腹部大動脈瘤手術成績の検討.第30回日本血管外科学会総会,沖縄;2002年5月
- 13) 内田徹郎,島﨑靖久,上所邦広,小鹿雅隆,竹田文洋,乾清重,渡辺隆夫:先天性心膜欠損を合併した外傷性胸部大動脈解離.第30回日本血管外科学会総会,沖縄;2002年5月
- 14) 金内直樹,大泉弘幸,藤島丈,成毛佳樹,塩野知志,高橋伸政,柳川直樹,加藤博久,島﨑靖久:心大血管 浸潤を伴う肺癌手術症例の検討.第19回日本呼吸器外科学会総会,長崎;2002年5月
- 15) 山田昌宏,内野英明:電子カルテシステム(EGMAIN)のセット登録を利用したクリニカルパス.第19回日本呼吸器外科学会総会,長崎;2002年5月
- 16) 成毛佳樹,石原良,正岡俊明: 術前診断に苦慮した二ボーを伴う巨大胚嚢胞症の一手術例.第19回日本呼吸器外科学会総会,長崎;2002年5月
- 17) 稲沢慶太郎,松本秀一,中村隆:胸腔鏡補助下に横隔膜修復術を施行したMorgagni孔ヘルニアの1例.第19 回日本呼吸器外科学会総会,長崎;2002年5月
- 18) 村井克己,星永進,青山克彦,池谷朋彦:縦隔に発生した血管脂肪腫の2例.第19回日本呼吸器外科学会総会,長崎;2002年5月
- 19) 安孫子正美,岩波洋,日吉晴久,坪井栄孝:同時放射線化学療法と胸膜癒着療法施行後に胸膜肺全摘術を行った肺腺癌胸膜播腫の1例.第19回日本呼吸器外科学会総会,長崎;2002年5月
- 20) 大泉弘幸,高橋伸政,金内直樹,柳川直樹,加藤博久,坂本薫,竹田文洋,島崎靖久:左房・食道浸潤肺癌に対する左房・食道筋層合併切除術.第19回日本呼吸器外科学会総会,長崎;2002年5月
- 21) 日吉晴久,安孫子正美,岩波洋,坪井栄孝,加藤治文:両側肺癌切除症例の臨床的検討.第19回日本呼吸器 外科学会総会,長崎;2002年5月
- 22) 高橋伸政,大泉弘幸,藤島丈,金内直樹,島﨑靖久:気道狭窄に対する気道ステント留置例の検討.第25回日本気管支学会,札幌;2002年5月
- 23) 近藤公男,大澤善弘,金哲樹:最近経験した腹壁破裂4例の検討.第39回日本小児外科学会総会,東京; 2002年6月
- 24) 大澤善弘,近藤公男,金哲樹:一地方病院での横隔膜ヘルニア手術の是非,待機はいつまで?.第39回日本 小児外科学会総会,東京;2002年6月
- 25) 山際岩雄,奥山直樹,大内孝幸,鈴木律子,高橋一臣,島崎靖久:先天性食道閉鎖症・気管食道瘻の治療方針.第39回日本小児外科学会総会,東京;2002年6月
- 26) 内田徹郎,島﨑靖久,上所邦広,小鹿雅隆,鈴木浩,田辺さおり,早坂清:呼吸切迫を伴う新生児期総肺静脈環流異常の検討.第38回日本小児循環器学会総会・学術集会,東京;2002年7月
- 27) 内田徹郎,島﨑靖久,竹田文洋,乾清重:70歳以上高齢者に対する大動脈弓部手術成績.第50回日本心臓病 学会学術集会,名古屋;2002年9月
- 28) 竹田文洋,島崎靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,濱崎安純,中嶋和恵:CABG術後遅発性タンポナーデに対する胸腔鏡下心膜開窓術の2例.第15回日本内視鏡外科学会総会,東京;2002年9月
- 29) 内田徹郎,島崎靖久,上所邦広,小鹿雅隆,竹田文洋,乾清重:胸部大動脈瘤におけるextensive surgeryの 功罪.第55回日本胸部外科学会総会,福岡;2002年10月
- 30) 竹田文洋,島﨑靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,小鹿雅隆:人工血管置換術後の残存大動脈イベント~ その発生頻度と病態の特徴~.第55回日本胸部外科学会総会,福岡;2002年10月
- 31) 竹田文洋,島﨑靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,濱崎安純,中嶋和恵:胸部大動脈人工血管置換術後再 手術の検討.第40回日本人工臓器学会大会,札幌;2002年10月
- 32) 竹田文洋,島﨑靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,浜崎安純,中嶋和恵:体外循環停止,選択的脳潅流時の側副血行路を介する下半身血流量の測定.第43回日本脈管学会,東京;2002年11月
- 33) 竹田文洋,島﨑靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,浜崎安純,中嶋和恵:血栓閉塞型A型大動脈解離 急性期手術適応の妥当性.第64回日本臨床外科学会,東京;2002年11月

- 34) 高橋伸政,大泉弘幸,藤島丈,成毛佳樹,塩野知志,金内直樹,柳川直樹,加藤博久,島崎靖久:肺癌に対する胸腔鏡手術の妥当性と問題点の検討.第43回日本肺癌学会総会,福岡;2002年11月
- 35) 山際岩雄,奥山直樹,鈴木律子,高橋一臣,島崎靖久:黄疸で発症した肺芽腫の肝切除後に肝外胆道閉塞を 来した1例.第18回日本小児がん学会,福岡;2002年11月

#### (2) 国内地方会

- 1) 奥山直樹,山際岩雄,大内孝幸,鈴木律子,宮津清,高橋一臣,島﨑靖久:PRETEXT- で治療を行い腫瘍 切除後に肺移転を来し死亡した1例.日本小児肝癌スタディグループ(JPLT)研究会2002,東京;2002年1月
- 2) 奥山直樹,山際岩雄,大内孝幸,鈴木律子,宮津清,高橋一臣,島﨑靖久,秋場伴晴:胸腔鏡下に切除し得た巨大ブラの1例.第72回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年6月
- 3) 坂本薫,山際岩雄,奥山直樹,鈴木律子,島﨑靖久,大滝晋介:急性膵炎にて発症した先天性胆道拡張症の 1例.第72回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年6月
- 4) 松本秀一,鈴木知信,中村隆,稲沢慶太郎,石山智敏,中鉢誠司,鈴木明彦,高橋一臣:膵insulinomaの2 症例.第143回東北外科集談会,第69回日本胸部外科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 5) 竹田文洋,島﨑靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,小鹿雅隆,加藤博久:CABG術後遅発性タンポナーデに対する胸腔鏡下心膜開窓術の2例.第143回東北外科集談会,第69回日本胸部外科学会東北地方会,仙台; 2002年6月
- 6) 坂本薫,大泉弘幸,高橋伸政,金内直樹,島﨑靖久:新生児重症筋無力症により発見された重症筋無力症の 母親の1例.第143回東北外科集談会,第69回日本胸部外科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 7) 島﨑靖久:2000年の山形県における急性大動脈解離.第22回日本体外循環技術研究会東北地方会大会, 山形;2002年7月
- 8) 金哲樹, 佐藤徹, 正岡俊明, 塚本東明, 長沢正樹, 日野俊彦: 超高齢者肺癌手術例の検討. 第41回日本肺癌 学会東北支部会, 第28回日本気管支学会東北支部会, 秋田; 2002年8月
- 9) 高橋伸政,大泉弘幸,藤島丈,成毛佳樹,塩野知志,金内直樹,柳川直樹,遠藤誠,島﨑靖久:肺癌に対する胸腔鏡手術の妥当性と問題点の検討.第41回日本肺癌学会東北支部会,第28回日本気管支学会東北支部会, 秋田;2002年8月
- 10) 内野英明,島貫隆夫,安孫子正美,塩野知志,外山秀司:孤立性左冠動脈入口部狭窄に対する手術治療経験. 第144回東北外科集談会,第70回日本胸部外科学会東北地方会 第70回日本小児外科学会東北地方会,秋田; 2002年9月
- 11) 中嶋和恵,島﨑靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,竹田文洋,濱崎安純:弓部置換術後遺残解離に非開胸 的に下行大動脈全置換した一例.第144回東北外科集談会 第70回日本胸部外科学会東北地方会,第70回日本 小児外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 12) 竹田文洋,島崎靖久,大泉弘幸,乾清重,内田徹郎,上所邦広,濱崎安純,高橋伸政,金内直樹,中嶋和恵, 遠藤誠:右開胸で肺癌に対する肺葉切除と開心術を同時施行した2例.第144回東北外科集談会,第70回日本胸 部外科学会東北地方会 第70回日本小児外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 13) 村山最二郎,鈴木知信,中鉢誠司,稲沢慶太郎,石山智敏,松本秀一,高橋一臣,中村隆:後腹膜腫瘍との 鑑別が困難だった腎細胞癌の1切除例.第144回東北外科集談会,第70回日本胸部外科学会東北地方会, 第70回日本小児外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 14) 奥山直樹,山際岩雄,大泉弘幸,大内孝幸,鈴木律子,高橋一臣,島﨑靖久:胸腔鏡下に切除し得た巨大ブラの1例.第144回東北外科集談会,第70回日本胸部外科学会東北地方会 第70回日本小児外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 15) 鈴木聡,三科武,角南栄二,大滝雅博,平野謙一郎,中島真人,坂本薫,松原要一:肝炎症性偽腫瘍術後に 膵頭部腫瘤による閉鎖性黄疸をきたし,膵臓癌と鑑別を要した自己免疫性膵炎の1例.第144回東北外科集談 会 第70回日本胸部外科学会東北地方会,第70回日本小児外科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 16) 内田徹郎,島﨑靖久,上所邦広,竹田文洋,濱崎安純,中嶋和恵,乾清重:腹部大動脈原発平滑筋肉腫の1 例.第10回日本血管外科学会東北地方会学術大会,秋田;2002年9月
- 17) 石山智敏,稲沢慶太郎,松本秀一,中村隆,鈴木知信,森隆弘,高橋一臣,村山最二郎:人工股関節置換術後に発生した外腸骨動脈閉塞症の1例.第10回日本血管外科学会東北地方会学術大会,秋田;2002年9月
- 18) 外山秀司,島貫隆夫,内野英明,安孫子正美:孤立性腕頭動脈瘤の1手術例.第10回日本血管外科学会東北

地方会学術大会,秋田;2002年9月

- 19) 太田寛,山際岩雄,奥山直樹,大泉弘幸,島﨑靖久:新生児先天性嚢胞状腺腫様奇形の1例.日本小児科学 会山形地方会,山形;2002年12月
- 20) 簡野美弥子,三井哲夫,仙道大,川上貴子,池上徹,荒井崇彦,早坂清,山際岩雄,奥山直樹,坂本美千代,中里満,佐藤哲,小幡和也,大内孝幸,橋本基也:頸部リンパ節腫大で受診し生検を試行した4例.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 21) 鈴木浩,田辺さおり,仁木敬夫,早坂清,山際岩雄,島﨑靖久:乳児期早期の動脈管開存に対するコイル閉鎖術.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 22) 奥山直樹,山際岩雄,鈴木律子,高橋一臣,遠藤誠,太田寛,島崎靖久:小児に対する経皮内視鏡的胃瘻造 設術(PEG)の試み.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 23) 太田寛,山際岩雄,奥山直樹,大泉弘幸,島﨑靖久:新生児先天性嚢胞状腺腫様奇形の1例.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月

#### (3) 研究会

- 1) 池上徹,仙道大,小田切撤州,川上貴子,新井崇彦,菅原正登,三井哲夫,早坂清,山際岩雄,近岡秀郎: ビンクリスチンに起因した歩行障害にグルタミン酸が奏功した横紋筋肉腫例.第24回東北小児がん研究会, 山形:2002年3月
- 2) 鈴木律子,山際岩雄,奥山直樹,大内孝幸,高橋一臣,島崎靖久,三井哲夫:後腹膜原発神経芽腫・病期 で腫瘍摘除後に難治性乳び腹水,乳び胸水を来した1例-手術手技の及んでいない肝十二指腸靱帯からの漏出 - . 第24回東北小児がん研究会,山形;2002年3月
- 3) 山際岩雄,奥山直樹,大内孝幸,鈴木律子,高橋一臣,島﨑靖久:胆道閉鎖症:出生から手術に至る経過. 第19回山形県周産期・新生児医療研究会,山形;平成13年4月
- 4) 奥山直樹,山際岩雄,大内孝幸,鈴木律子,高橋一臣,島崎靖久,赤羽和博,佐々木綾子,手塚尚広,堤誠司:横隔膜ヘルニア治療経験:特に最近の周産期管理について.第19回山形県周産期・新生児医療研究会,山形;平成13年4月
- 5) 成毛佳樹,阿部寛政,石原良:興味ある画像を呈した二ボーを伴う肺嚢胞の1例.第13回三地区合同肺癌,呼吸器疾患研究会,宇都宮;2002年4月
- 6) 山田昌宏,後藤智司,小鹿雅隆:電子カルテシステムを利用した肺癌クリニカルパス.第34回山形肺癌懇話会,山形;2002年6月
- 7) 金内直樹,大泉弘幸,高橋伸政,柳川直樹,加藤博久,島﨑靖久:心・大血管浸潤を伴う肺癌手術症例の検討.第34回山形肺癌懇話会,山形;2002年6月
- 8) 中嶋和恵,島崎靖久,乾清重,上所邦広,内田徹郎,竹田文洋,浜崎安純:Stanford A型 亜急性大動脈解離 に起因するsevere AR,心不全に対するDavid手術+弓部大動脈置換術の1救命例.第9回山形心臓外科懇話会,山形;2002年6月
- 9) 外田洋孝,小肥実,廣岡茂樹,折田博之,高崎聡: CABG術後CAGを契機に発症したコレステロール結晶塞 栓症の1例.第9回山形心臓外科懇話会,山形;2002年6月
- 10) 内野英明, 島貫隆夫, 安孫子正美, 塩野知志, 外山秀司: De Bakey 三型解離手術後 型解離を発症した2例. 第9回山形心臓外科懇話会, 山形; 2002年6月
- 11) 深沢学,阿部和男,新井悟,近藤俊一,川原優,岡田嘉之:WPWを合併したTGA/COA複合に対する手術治療経験.第9回山形心臓外科懇話会,山形;2002年6月
- 12) 大滝雅博,三科武,鈴木聡,角南栄二,平野兼一郎,遠藤誠,中島真人,松原要一:当科において経験した 外傷性肛門会陰部裂傷の一例.第20回山形外科談話会学術集会,山形;2002年6月
- 13) 松本秀一,中村隆,鈴木知信,稲沢慶太郎,石山智敏,中鉢誠司,高橋一臣,村山最二郎:腎結石が原因となった汎発性腹膜炎の一例.第20回山形外科談話会学術集会,山形;2002年6月
- 14) 大内孝幸,小幡和也,朝田徹:肛門周囲膿瘍に起因し,広範な後腹膜炎壊死を生じたFournier's gangreneの一例.第20回山形外科談話会学術集会,山形;2002年6月
- 15) 大泉弘幸,高橋伸政,金内直樹,柳川直樹,加藤博久,坂本薫,島﨑靖久:呼吸器外科術後肺塞栓症. 第20回山形外科談話会学術集会,山形;2002年6月
- 16) 遠藤誠 ,大泉弘幸 ,高橋伸政 ,金内直樹 ,宮津清 ,島﨑靖久: 転移性肺腫瘍に対するhand assisted thoracic sur-

geryの経験.第6回山形内視鏡外科研究会学術集会,山形;2002年8月

- 17) 外山秀司,島貫隆夫,内野英明,安孫子正美:真性腹部大動脈瘤に合併した De Bakey b型解離性大動脈瘤の経験、第14回山形血管症例検討会,山形;2002年11月
- 18) 乾清重,島﨑靖久,内田徹郎,上所邦広,竹田文洋,浜崎安純,中嶋和恵:閉塞性動脈硬化症に対する末梢 血単核球移植の治療経験.第14回山形血管症例検討会,山形;2002年11月
- 19) 中嶋和恵,島﨑靖久,乾清重,内田徹郎,上所邦広,竹田文洋,浜崎安純:腹部の破裂性動脈術後に腸管壊死をきたした症例の検討.第14回山形血管症例検討会,山形;2002年11月
- 20) 大内孝幸,小幡和也,朝田徹:精神科加療中に合併した消化器疾患で見られた悪性症候群の三例.第10回山 形周術期病態研究会,山形;2002年11月
- 21) 遠藤誠,大泉弘幸,成毛佳樹,塩野知志,高橋伸政,金内直樹,宮津清,太田寛,島﨑靖久:呼吸器外科手 術後に発症した肺血栓塞栓症の検討.第10回山形周術期病態研究会,山形;2002年11月
- 22) 高橋伸政,大泉弘幸,坂本薫,金内直樹,加藤博久,島﨑靖久:食道ステントによる縦隔炎,胸椎骨髄炎の1例.第13回三地区合同肺癌,呼吸器疾患研究会,宇都宮;2002年4月
- 23) 太田寛,山際岩雄,奥山直樹,大泉弘幸,島﨑靖久:新生児先天性嚢胞状腺腫様奇形の1例.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月

## 3. その他

- 1) 第1回山形県感染対策セミナー,山形;2002年4月
- 2) 第9回山形心臓外科懇話会,山形;2002年6月
- 3) 第14回山形血管症例検討会,山形;2002年11月
- 4) 第10回山形周術期病態研究会,山形;2002年11月

## 麻酔・蘇生学分野(麻酔・蘇生学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Wainwright MS, Sheng H, Sato Y, Mackensen GB, Pearlstein R, Steffen RP, Warner DS: Phamacologic correction of hypothermic decrease in p50 does not alter outcome after transient focal cerebral ischemia in rats. Am J Physiol Heart Circ Physiol 2002; 282: 1863-1870
- 2) Sato Y, Laskowitz DT, Bennett ER, Newman MF, Warner DS, Grocott HP: Differential cerebral gene expression during cardiopulmonary bypass in the rat: Evidence for Apoptosis? Anesth Analg 2002; 94: 1389-1394
- 3) Podgorneau MV, Michelottti GA, Sato Y, Grocott HP, Schwinn DA: Effects of cardiopulmonary bypass on cardiac gene expression. Anesth Analg 2002; 94: SCA15
- 4) Igarashi A, Amagasa S, Horikawa H, Shirahata M: Vecuronium directly inhibits hypoxic neurotransmission of the rat carotid body. Anesth Analg 2002; 94: 117-122
- 5) Chowdhury IH, Uchida K, Amagasa S, Sakai M, Ogino T, Horikawa H, Doi K: <sup>31</sup>P Magnetic resonance spectroscopy of perfused rat skeltal muscle. Yamagata journal of Health Science 2002; 5: 115-122

#### (2)著書

- 1) 加藤佳子,加藤滉:ペインクリニシャンが関わる緩和医療 がん疼痛の緩和.宮崎東洋編著,3注射療法. 東京;真興交易医書出版部,2002:81-87
- 2) 加藤佳子,加藤滉:ニューロパシックペインの治療 薬物療法 5)麻薬.弓削孟文編,麻酔科診療プラクティス ニューロパシックペインの今.東京;文光堂,2002:120-123
- 3) 天笠澄夫,堀川秀男:麻酔と体位.花岡一雄,真下節,福田和彦編,臨床麻酔科学全書.東京;真興交易 (株)医書出版部,2002:873-886

## (3) その他

- 1) Tada T, Amagasa S, Horikawa H: An improved Bullard laryngoscope holder-Bullard Mate version 2. J Anesthes 2002; 16: 362-363
- 2) Yokoo N, Kato Y, Miura Y, Amagasa S, Horikawa H: Delayed visual loss following massive hemorrhage during left pneumonectomy: a case report. Anesthesia 2002; 16: 160-163
- 3) 加藤佳子,加藤滉:慢性疼痛に対する麻薬性鎮痛薬.医学のあゆみ 2002;203:70-74
- 4) 加藤佳子,加藤滉:特集 オピオイドをめぐる最近の話題 慢性非がん性疼痛に対するオピオイドの適応.ペインクリニック 2002;23:928-936
- 5) 加藤佳子,加藤滉:特別企画 痛みをとる がんの痛み.からだの科学 2002;226:50-53
- 6) 加藤佳子,那須郁子,加藤滉,小田真也:疼痛「治療」は患者を楽にしているか? ある幻肢痛患者からの 教訓 - . 日本疼痛学会誌 2002;17:1-4
- 7) 加藤佳子: Neuropathic pain: 病態と薬理学的アプローチ オピオイドの帯状疱疹後神経痛に対する効果に ついて. 日本ペインクリニック学会誌 2002; 9:381-385
- 8) 加藤佳子,加藤滉:がん疼痛の効果的治療法・速放錠(塩酸モルヒネ錠)と除放錠(MSコンチン\*錠)を使いこなそう・.PHYSICIANS'THERAPY MANUAL シオノギ製薬,大阪;2002
- 9) 加藤佳子: 癌疼痛治療 モルヒネ注射薬の臨床 第8回. Pharma Medica 2002; 20:106-107
- 10) 加藤佳子:癌疼痛治療 モルヒネ注射薬の臨床 第10回. Pharma Medica 2002; 20:86-87
- 11) 加藤佳子: 癌疼痛治療 モルヒネ注射薬の臨床 第11回. Pharma Medica 2002; 20: 102-103
- 12) 高岡誠司: 術中に覚醒をさせる手術の麻酔 Awake craniotomy . Anesthesia Network 2002; 6:22-23
- 13) 高岡誠司:薬物依存症を考える 過ちと悲しみを繰り返さないために 若手麻酔科医の勤務状況への配慮を. 日本臨床麻酔学会誌 2002;22:325-328
- 14) 三浦美英,吉岡知成,加藤滉,天笠澄夫:麻酔導入時の嘔吐により肥厚性幽門狭窄症が判明した乳児鼠径へルニアの1症例.日本臨床麻酔学会誌 2002;22:146-149
- 15) 山川真由美,加藤佳子:質疑応答 持続硬膜外力テーテルの留置について.臨床麻酔 2002;26:1707-1708

- 16) 多田敏彦,天笠澄夫:医療用薬品の適応外使用(2002年版). 山形県病医誌,2002;36:174-176
- 17) 阿部佐智子,三浦美英,天笠澄夫,加藤滉,堀川秀男:頸椎カラーが原因と考えられた肺癌手術後の神経麻 痺.麻酔 2002:51:892-895

## 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

1) Iizawa K, Yamakawa M, Imai Y, Horikawa H, Amagasa S: Dexamethasone Inhibits Maturation of Human Monocyte-Derived Dendritic Cells Via Down-Regulation of Glucocorticoid Receptor. 7th International Symposium on Dendritic Cells, Bamberg Germany; September 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 佐藤由紀江,工藤雅哉, Grocott HP, 天笠澄夫,堀川秀男: ラット人工心肺モデルにおける脳 inflammatory geneの発現.日本麻酔科学会第49回大会,福岡;2002年4月
- 2) 多田敏彦,堀川秀男:TCIの有用性を臨床的に検証する.日本麻酔科学会第49回大会,福岡;2002年4月
- 3) 岡田真行,阿部佐智子,加登譲:ヒドロキシジン静注にて婦人科術後の嘔気、嘔吐は抑えられるか.日本麻酔科学会第49回大会,福岡;2002年4月
- 4) 工藤雅哉, 佐藤由紀江, 天笠澄夫, Warner DS, 堀川秀男: 虚血ストレス後のミトコンドリア内膜電位の変化と細胞死-ラット脳培養細胞に及ぼす吸入麻酔薬の影響-. 日本麻酔科学会第49回大会, 福岡; 2002年4月
- 5) 那須郁子,三浦美英,天笠澄夫,堀川秀男:ラット前脳虚血におけるイソフルラン虚血前投与は脳保護作用 を有しない.日本麻酔科学会第49回大会,福岡;2002年4月
- 6) 天笠澄夫,高岡誠司,工藤雅哉,三浦美英,堀川秀男,八巻通安:山形大学総合医療情報システムとリンク した手術部患者情報管理システムの導入.日本麻酔科学会第49回大会,福岡;2002年4月
- 7) 阿部佐智子,岡田真行,加登譲:脊椎後彎患者で気道確保が困難だった一例.日本臨床麻酔学会第22回大会, 甲府;2002年10月
- 8) 山川美樹子,鏡勲,吉岡成知,阿部佐智子,片桐絵里子,飯澤和恵,布川浩子,田中眞司:腹部大動脈瘤に 合併する冠動脈病変の検討-術前冠動脈造影の結果から-.日本臨床麻酔学会第22回大会,甲府;2002年10月
- 9) 高田康輔,加藤久美子,工藤雅哉,星光,天笠澄夫:全身麻酔導入後に高カリウム血症を認めた2症例. 日本臨床麻酔学会第22回大会,甲府;2002年10月
- 10) 加藤佳子:ランチョンセミナー 痛みはとることができます~慢性疼痛に対するオピオイド内服治療について~.日本臨床麻酔学会第22回大会,甲府;2002年10月
- 11) 加藤佳子,山川真由美,長岡由姫,加藤滉:生理食塩液や蒸留水は鎮痛薬か?.第24回日本疼痛学会,名古屋;2002年12月
- 12) 加藤佳子,那須郁子,長岡由姫,加藤滉,小田真也:膵臓癌終末期の疼痛管理について.日本ペインクリニック学会第36回大会,宮崎;2002年7月
- 13) 那須郁子,小田真也,長岡由姫,加藤佳子:腰下肢痛に対するリン酸コデイン投与の有効性.日本ペインクリニック学会第36回大会,宮崎;2002年7月

## (3) 国内地方会

- 1) 井筒美和,土屋菜歩,工藤雅哉,天笠澄夫,堀川秀男:術前高度の脳血流障害が判明した直腸癌患者の麻酔 管理.第59回日本麻酔科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 2) 高岡誠司,小倉真由美,加藤久美子,那須郁子,堀川秀男:WPW症候群と肥大型心筋症を合併した肺癌患者の麻酔管理.第59回日本麻酔科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 3) 加登譲,神谷浩平,福田律子,篠崎克洋:麻酔導入時、マスク換気が困難だった2症例.第59回日本麻酔科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 4) 加藤久美子,小倉真由美,佐藤由紀江,三浦美英,堀川秀男:挿管後に瞳孔不同に気がついた1症例. 第59回日本麻酔科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 5) 岡田真行,小倉真由美,長岡由姫,三浦美英,堀川秀男:転倒事故により折れた箸の先端が第2頸椎前面に 残存していた幼児の1症例.第59回日本麻酔科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 6) 土屋菜歩,井筒美和,山川真由美,三浦美英,堀川秀男:気管内チューブが挿入できなかったため、手術が延期された既往のある未破裂動脈瘤の1症例.第59回日本麻酔科学会東北地方会,秋田;2002年9月

- 7) 那須郁子,三浦美英,酒井道子,軽部忠良,天笠澄夫:ラット前脳虚血モデルにおいて、イソフルラン虚血 前投与が大脳皮質の虚血障害に与える影響.第11回日本集中治療医学会東北地方会,山形;2002年6月
- 8) 酒井道子,星光,工藤雅哉,天笠澄夫,堀川秀男,太田玲子: DNA解析によるICU患者のMRSAの現状. 第11回日本集中治療医学会東北地方会,山形;2002年6月
- 9) 三浦美英,工藤雅哉,長岡由姫,高岡誠司,天笠澄夫:極端な低カルシウム血症が人工心肺離脱後の循環虚脱の原因と考えられた、弓部置換術の一症例.第11回日本集中治療医学会東北地方会,山形;2002年6月
- 10) 吉岡成知,山川美樹子,鏡勲:下側肺障害に対して体位変換で酸素化能が改善した3症例.第11回日本集中治療医学会東北地方会,山形;2002年6月
- 11) 山川美樹子,鏡勲,吉岡成知,阿部佐智子,片桐絵里子,飯澤和恵,布川浩子:急性呼吸不全をNIPPVで管理した13症例の検討.第11回日本集中治療医学会東北地方会,山形;2002年6月

#### (4) 研究会

- 1) 加登譲, 篠崎克洋, 福田律子: 麻酔導入時、マスク換気が困難な2症例. 第10回山形麻酔懇話会, 山形; 2002年7月
- 2) 三浦美英,那須郁子,軽部忠良,天笠澄夫:ラット前脳虚血モデルにおいて、イソフルラン虚血前投与が脳 虚血障害に与える影響.第10回山形麻酔懇話会,山形;2002年7月
- 3) 山口勝也,鈴木香織,布川浩子,加藤滉:初めての経験.緊張性気胸によると思われる術中循環虚脱の1例. 第10回山形麻酔懇話会,山形;2002年7月
- 4) 多田敏彦:全身麻酔中の覚醒事件とその周辺 教訓は生かされているか? . 第10回山形麻酔懇話会, 山形;2002年7月
- 5) 吉岡成知,山川美樹子,鏡勲,布川浩子:重症筋無力症で術後クリーゼをおこした1症例.第10回山形麻酔 懇話会,山形;2002年7月
- 6) 山川美樹子,鏡勲,吉岡成知,布川浩子:2001年の出来事.第10回山形麻酔懇話会,山形;2002年7月
- 7) 安藤香子:吸入麻酔薬とaddiction 文献的考察 . 第10回山形麻酔懇話会, 山形; 2002年7月
- 8) 田中眞司,岸正人,小林民恵:一般外来での救急蘇生.第10回山形麻酔懇話会,山形;2002年7月
- 9) 岸正人,田中眞司,小林民恵:当院における最近の小児麻酔症例.第10回山形麻酔懇話会,山形;2002年7月
- 10) 多田敏彦: 術前投与した非ステロイド性鎮痛薬の検証 ボルタレン坐薬vsロピオン注 . 第10回山形麻酔懇話会,山形;2002年7月
- 11) 加藤佳子: 医師セミナー WHO方式がん疼痛治療の基本戦略 モルヒネ使用の実際 . 第3回緩和医療研究 会,豊中;2002年8月
- 12) 加藤佳子:緩和医療の今後の課題~その実際とそれを普及させるために~.第12回山形県緩和医療研究会, 鶴岡:2002年9月
- 13) 加藤佳子:完全除痛をめざして WHO方式がん疼痛治療の基本戦略・モルヒネ使用の実際 . 四日市地区・ 緩和ケア研究会,四日市;2002年10月
- 14) 加藤久美子,小倉真由美,佐藤由紀江,三浦美英,堀川秀男:挿管後に瞳孔不同に気づいた症例 糖尿病の 合併症? - . 第10回山形周術期病態研究会,山形;2002年11月
- 15) 土屋菜歩,井筒美和,山川真由美,三浦美英,堀川秀男:気管内チューブが挿入できなかったため手術が延期された既往のある未破裂脳動脈瘤の一症例.第10回山形周術期病態研究会,山形;2002年11月
- 16) 井筒美和,土屋菜歩,工藤雅哉,天笠澄夫,堀川秀男:術前高度の脳血流障害が判明した直腸癌患者の麻酔 管理.第10回山形周術期病態研究会,山形;2002年11月
- 17) 小倉真由美,高岡誠司,加藤久美子,那須郁子,堀川秀男:WPW症候群と肥大型心筋症を合併した肺癌患者の麻酔管理.第10回山形周術期病態研究会,山形;2002年11月
- 18) 岡田真行,天笠澄夫,那須郁子,佐藤由紀江,堀川秀男:麻酔中の喘息発作.第10回山形周術期病態研究会, 山形;2002年11月

## (5) その他

- 1) 加藤佳子:最新の疼痛管理.山形県看護協会平成13年度訪問看護従事者研修会,山形;2002年1月
- 2) 加藤佳子:癌性疼痛除去の実際.日本尊厳死協会東北支部医療講習会,仙台;2002年1月
- 3) 加藤佳子: WHO方式がん疼痛治療の基本戦略 モルヒネ使用の実際. がん疼痛緩和医療講演会,守口;

2002年1月

- 4) 加藤佳子: WHO方式がん疼痛治療の基本戦略 モルヒネ使用の実際. 山口県がん疼痛治療学術講演会, 宇部: 2002年2月
- 5) 加藤佳子:疼痛治療におけるモルヒネの適正使用.山形大学附属病院薬剤部DI室講演会,山形;2002年2月
- 6) 加藤佳子:WHO方式癌疼痛治療法 モルヒネの適正使用 . 能代市山本郡医師会医学講演会,能代;2002 年3月
- 7) 加藤佳子: WHO方式癌疼痛治療の基本戦略 完全除痛をめざして . 国立名古屋病院講演会,名古屋; 2002年3月
- 8) 加藤佳子:WHO方式癌疼痛治療の基本戦略 完全除痛の実際 . 三重緩和医療研究会発足記念特別講演会, 津;2002年3月
- 9) 加藤佳子:モルヒネの適正使用-完全除痛をめざして-.飯塚医師会講演会,飯塚;2002年4月
- 10) 加藤佳子:「末期癌患者への接し方」について.平成14年度「新規研修医」オリエンテーション,山形;2002 年5月
- 11) 加藤佳子:痛みでつらい思いをしているあなたへ.山形県緩和医療研究会市民公開講座,山形;2002年5月
- 12) 加藤佳子: WHO方式癌疼痛治療の基本戦略 モルヒネ使用の実際 . がん疼痛緩和医療講習会, 倉敷; 2002年5月
- 13) 加藤佳子:私の緩和ケア体験.第1回長野県緩和ケア研究会,長野;2002年6月
- 14) 加藤佳子: WHO方式がん疼痛治療の基本戦略 モルヒネ使用の実際 . 福岡緩和ケア研究会第2回年次大会特別講演会,福岡;2002年6月
- 15) 加藤佳子: WHO方式がん疼痛治療の基本戦略 モルヒネ使用の実際 . 但馬緩和医療学術講演会,兵庫; 2002年7月
- 16) 加藤佳子: ランチョンセミナー がん疼痛治療における薬剤師の役割. 日本病院薬剤師会関東ブロック第32 回学術大会,横浜: 2002年8月
- 17) 加藤佳子:緩和ケアにおけるがん疼痛コントロールの実際.協和発酵工業株式会社社内勉強会,山形;2002 年11月
- 18) 加藤佳子:私の緩和ケア体験 モルヒネ使用の実際 . がん疼痛緩和医療講演会,三鷹;2002年11月
- 19) 加藤佳子:私の緩和ケア体験・モルヒネ使用の実際・.ハ戸赤十字病院医学集談会,ハ戸;2002年11月

## 3. その他

1) 第10回山形麻酔懇話会,山形;2002年7月

## 急性期生体機能統御学分野(救急医学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Nikaido T, Iseki K, Mori T, Takaki H, Yokoya S, Hagino S, Takeda J, Zhang Y, Takeuchi M, Kikuchi S, Wanaka A: Expression of OASIS, a CREB/ATF family transcription factor, in CNS lesion and its transcriptional activity. Brain Res Mol Brain Res 2002; 108: 129-38
- 2) Iseki K, Hagino S, Mori T, Zhang Y, Yokoya S, Takaki H, Tase C, Murakawa M, Wanaka A: Increased syndecan expression by pleiotrophin and FGF receptor-expressing astrocytes in injured brain tissue. Glia 2002; 39: 1-9
- 3) Zhang Y, Mori T, Takaki H, Takeuch M, Iseki K, Hagino S, Murakawa M, Yokoya S, Wanaka A: Comparison of the expression patterns of two LIM-homeodomain genes, Lhx6 and L3/Lhx8, in the developing palate. Orthod Craniofac Res 2002; 5: 65-70
- 4) 井上林,荻野利彦,土田浩之:指神経欠損に後骨間神経終末枝を移植した3例.臨床整形外科 2002;37: 1115-1117

#### (2) 著書

1) 川前金幸,伊関憲,田勢長一郎:気管切開カニューレとその選択.集中治療医学講座13気管切開-外科的気 道確保のすべて - 2002:71-79

#### (3) 総 説

- 1) 川前金幸:麻酔と呼吸機能.専門医のための麻酔科学レビュー 2002;10-14
- 2) 川前金幸,松本幸夫:危険な画像所見 呼吸器編 無気肺.看護学雑誌 2002;66:612-617
- 3) 川前金幸,村川雅洋,大槻学:非侵襲モニター:不活性ガス再呼吸法による呼吸・循環・代謝測定の試み. 臨床モニター 2002;13(1):19-29
- 4) 川前金幸,神津玲:根拠ある体位管理の実践 疾患編 呼吸障害患者の体位管理.看護技術 2002;48:38-42
- 5) 伊関憲,田勢長一郎:急性中毒の初期治療.ICUとCCU 2002;26:329-333

## 2. 学 会 報 告

## (1) 国外の学会

- 1) Iseki K, Hagino S, Mori T, Zhang Y, Takaki H, Yokoya S, Murakawa M, Wanaka A: OASIS modulates proteoglycan synthesis in the injured brain. The 3rd Asian Pacific International Congress of Anatomists, Hamamatsu; March 2002
- 2) Iseki K, Hagino S, Mori T, Zhang Y, Takaki H, Yokoya S, Murakawa M, Wanaka A: Olig-1 is upregulated in glial progenitors in the injured adult brain. The 3rd Asian Pacific International Congress of Anatomists, Hamamatsu; March 2002

## (2) 国内の学会

- 1) 川前金幸,土田浩之,田勢長一郎,池上之浩,長谷川有史,伊関憲,村川雅洋:多発肋骨骨折をともなう胸部外傷に対する硬膜外麻酔の有用性.第30回日本救急医学会総会,札幌;2002年10月
- 2) 土田浩之,川前金幸,荻野利彦:ラット大腿骨骨欠損モデルにおける間葉系幹細胞へのBMP2遺伝子導入法による治療効果の検討.第30回日本救急医学会総会,札幌;2002年10月
- 3) 島田二郎,伊藤辰哉,川前金幸,村川雅洋:救急患者に対するNPPVを積極的に用いた呼吸管理. 第30回日本救急医学会総会,札幌;2002年10月
- 4) 土田浩之,橋本淳一,荻野利彦, Lou Jueren, Manske Paul: ラット大腿骨の部分骨欠損モデルにおける間葉系幹細胞へのBMP2遺伝子導入法による治療効果.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 5) 伊関憲,大槻学,池上之浩,川前金幸,田勢長一郎,村川雅洋:脳損傷部位における転写調節因子olig1の発現解析 脳損傷、オリゴデンドロサイト前駆細胞、グリオーシス.日本蘇生学会第21回大会,大阪;2002年11月

### (3) 国内地方会

- 1) 川前金幸,森野一真,佐藤光弥,岩谷昭美,山口裕之:「病院前救護体制におけるメディカルコントロール等の研修会」に参加して、第16回東北救急医学会総会,弘前;2002年6月
- 2) 土田浩之,川前金幸,荻野利彦,清重佳郎:色彩色差計による指再接着術後モニタリングの検討. 第16回東北救急医学会総会,弘前;2002年6月

#### (4) 研 究 会

- 1) 川前金幸:心肺蘇生のゴールデンスタンダード ACLS ;ショック研究会,山形;2002年1月
- 2) 川前金幸:呼吸管理に必要なモニタリングとアセスメント.日本呼吸療法学会,看護セミナー,神戸;2002 年5月
- 3) 川前金幸: ARDSと呼吸管理. 山形外科談話会学術集会, 山形; 2002年6月
- 4) 川前金幸:プレホスピタルケア&救命処置.寒河江医師会講演会,寒河江;2002年8月
- 5) 川前金幸:プレホスピタルケア&救命処置.山形県医師会講演会,酒田;2002年10月
- 6) 川前金幸:プレホスピタルケア&救命処置.山形県医師会講演会,山形;2002年11月
- 7) 川前金幸:山形県メディカルコントロール体制構築のための戦略.山形県消防長会,高畠;2002年11月
- 8) 川前金幸:救急疾患と血液浄化法.血液浄化研究会,山形;2002年11月
- 9) 川前金幸:ARDSの呼吸管理病態と治療.京滋臓器不全研究会,京都;2002年12月

# 代謝再生統御学講座

## 代謝細胞生物学分野(生化学第一)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Davydof R, Kofman V, Fujii H, Yoshida T, Ikeda-Saito M, Hoffman BM: Catalytic mechanism of heme oxygenase through EPR and ENDOR of cryoreduced oxy-heme oxygenase and its Asp 140 mutants. J Am Chem Soc 2002; 124: 1798-1808
- 2) Denisov IG, Ikeda-Saito M, Yoshida T, Sligar SG: Cryogenic absorption spectra of hydroperoxo-ferric heme oxygenase, the active intermediate of enzymatic heme oygenatgion. FEBS Lett 2002; 532: 203-2062
- 3) Susa S, Daimon M, Ono H, Song L, Yoshida T, Kato K: Heme inhibits the mitochondrial import of coproporphyrinogen oxidase. Blood 2002; 100: 4678-4679

## 2.学会報告

## (1) 国外の学会

1) Yoshida T: Biliverdin reductase. Gordon research conference on the chemistry and biology of tetrapyrroles, New Port; July 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 佐藤道比古,張旭紅,笹原政直,吉田匡:大腸菌で発現させたb5+b5r蛋白質の酵素活性の検討.第75回日本 生化学大会,京都;2002年10月
- 2) 張旭紅,佐藤道比古,笹原政直,吉田匡:大腸菌で発現されたDrosophilaのヘム分解酵素の性質の検討. 第75回日本生化学大会,京都;2002年10月
- 3) 松井敏高,斉藤正男,吉田匡:ヘムオキシゲナーゼcompound の生成と反応.第75回日本生化学大会. 京都;2002年10月
- 4) 斧秀勇,李松,吉田匡:ミトコンドリア蛋白質リン酸化.脱リン酸化によるミトコンドリア蛋白質輸送反応 調節の可能性について.第75回日本生化学大会,京都;2002年10月
- 5) 李松,斧秀勇,吉田匡:ラット肝細胞質由来ミトコンドリア蛋白質前駆体輸入反応促進因子.第75回日本生化学大会,京都;2002年10月
- 6) 広津晶子,海野昌喜, Chu GC, 李東善, 朴三用,吉田匡,城宜嗣,斉藤正男: X線結晶構造解析を基盤としたヘムオキシゲナーゼの反応機構の解明.第75回日本生化学大会,京都;2002年10月

#### (3) 国内地方会

1) 吉田匡: ヘムオキシゲナーゼ: 反応機構を中心に.第68回日本生化学大会東北支部例会 シンポジウム: レドックス生物学の進展,山形;2002年5月

## 3. その他

1) 第68回日本生化学大会東北支部例会とシンポジウム"レドックス生物学の進展",山形;2002年5-6月

## 生体分子機能学分野(生化学第二)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Kaneko T, Iuchi Y, Kobayashi T, Fujii T, Saito H, Kurachi H, Fujii J: The expression of glutathione reductase in the male reproductive system of rats supports the enzymatic basis of glutathione function in spermatogenesis. Eur J Biochem 2002; 269: 1570-1578
- 2) Kobayashi T, Kaneko T, Iuchi Y, Matsuki S, Takahashi M, Sasagawa I, Nakada T, Fujii J: Localization and physiological implication of aldose reductase and sorbitol dehydrogenase in reproductive tracts and spermatozoa of male rats. J Androl 2002; 23: 674-683
- 3) Miura M, Sasagawa I, Suzuki Y, Nakada T, Fujii J: Apoptosis and expression of apoptosis-related genes in mouse testis following heat exposure. Fertil Steril 2002; 77: 787-793
- 4) Fujii T, Endo T, Fujii J, Taniguchi N: Differential expression of glutathione reductase and cytosolic glutathione peroxidase, GPX1, in developing rat lungs and kidneys. Free Radic Res 2002; 36: 1041-1049
- 5) Matsuki S, Sasagawa I, Iuchi Y, Fujii J: Impaired expression of peroxiredoxin 4 in damaged testes by artificial cryptorchidism. Redoc Rep 2002; 7: 276-278
- 6) Sasai K, Ikeda Y, Eguchi H, Tsuda T, Honke K, Taniguchi N: The action of N-acetylglucosaminyltransferase-V is prevented by the bisecting GlcNAc residue at the catalytic step. FEBS Lett 2002; 522: 151-155
- 7) Eguchi H, Ikeda Y, Koyota S, Honke K, Suzuki K, Gutteridge JM, Taniguchi N: Oxidative damage due to copper ion and hydrogen peroxide induces GlcNAc-specific cleavage of an asn-linked oligosaccharide. J Biochem 2002; 131: 477-484
- 8) Sasai K, Ikeda Y, Fujii T, Tsuda T, Taniguchi N: UDP-GlcNAc concentration is an important factor in the biosynthesis of 1,6-branched oligosaccharides: Regulation based on the unique kinetic properties of N-acetylglucosaminyltransferase-V. Glycobiology 2002; 12: 119-127
- 9) Ihara H, Ikeda Y, Koyota S, Endo T, Honke K, Taniguchi N: A catalytically inactive B-1,4-N-acetylglucosaminyl-transferase (GnT- ) behaves as a dominant negative GnT- inhibitor. Eur J Biochem 2002; 269: 193-201
- 10 ) Ookawara T, Kizaki T, Takayama E, Imazeki N, Matsubara O, Ikeda Y, Suzuki K, Li JL, Tadakuma T, Taniguchi N, Ohno H: Nuclear translocation of extracellular superoxide dismutase. Biochem Biophys Res Commun 2002; 296: 54-61

## (2) 著書

- 1) Fujii J, Kaneko T, Kobayashi T, Iuchi Y, Takahashi M: Localization and physiological implication of polyol-meabolyzing enzymes in male and female reproductive systems of rat. In: Horiuchi S, Kurata T, Taniguchi N, Osawa T, Hayase F, eds. The Maillard Reaction in Food Chemistry and Medical Science: Update for the Postgenomic Era. Amsterdam; Elsevier Science, 2002: 363-364
- 2) Fujii J, Kaneko T, Iuchi Y: Glutathione redox status in the rat reproductive system. In: Pasquier C, ed. XI Biennial Meeting of the Society for Free Radical Research International. Bologna; Monduzzi Editore, 2002: C716: 217-220
- 3) Ikeda Y, Taniguchi N: N-Acetylgulcosaminyltransferase . In: Taniguchi N, Honke K, Fukuda M, eds. Handbooh of Glycosyltransferases and related genes. Tokyo; Springer-Verlag Tokyo, 2002: 80-86
- 4) 谷口直之,池田義孝: 概論 糖鎖のはたらきと糖鎖生物学.谷口直之編,わかる実験医学シリーズ・ポスト ゲノム時代の糖鎖生物学がわかる.東京;羊土社,2002:12-17

#### (3)総説

1) Fujii J, Ikeda Y: Advances in our understanding of peroxiredoxins, a multifunctional, mammalian redox protein. Redox Rep 2002; 7: 123-130

## 2.学会報告

## (1) 国外の学会

- 1) Kaneko T, Iuchi Y, Fujii J: Glutathione redox status in the rat genital tract. XIth Biennial Meeting of the Society for Free Radical Research International, Paris; July 2002
- 2) Otsu K, Ikeda Y, Fujii J: Mn-superoxide dismutase accumulation under metal-depleted conditions: possible compensation against augmented oxidative stress. International Symposium for Redox Signaling and Stress Diseases, Kyoto; November 2002
- 3) Otsu K, Sato K, Ikeda Y, Ohba Y, Fujii J: Utilization of singlet oxygen donors, naphthalene endoperoxide derivatives, to investigate mechanism of singlet oxygen-induced cell death. International Symposium for Redox Signaling and Stress Diseases, Kyoto; November 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 金子智子,井内良仁,藤井順逸:雄生殖器系におけるグルタチオン・レドックス系の役割.第24回日本フリーラジカル学会,大阪;2002年5月
- 2) 大津芳,佐藤和昭,池田義孝,大場好弘,藤井順逸:一重項酸素による細胞死の誘導と防御機構の解析. 第75回日本生化学会大会,京都;2002年10月
- 3) 大津芳,池田義孝,藤井順逸: ZnによるMn-スーパーオキシドディスムターゼの発現調節.第75回日本生化 学会大会,京都;2002年10月
- 4) 池田義孝, 井原秀之, 小代田宗一, 谷口直之: N- グルコサミン転移酵素 のピロリン酸による協同的な活性制御.第75回日本生化学会大会, 京都; 2002年10月
- 5) 井原秀之,池田義孝,小代田宗一,本家孝一,谷口直之: 1,6フコース転移酵素における化学修飾による活性阻害.第75回日本生化学会大会,京都;2002年10月
- 6) 井内良仁,松木真吾,金子智子,笹川五十次,藤井順逸:精子形成過程で発現するY-boxタンパク質YB2/RYBaがプロタミン2mRNAの保持に働く可能性.第25回日本分子生物学会,横浜;2002年12月

#### (3) 国内地方会

1) 大津芳,佐藤和昭,池田義孝,大場好弘,藤井順逸: 一重項酸素による細胞死誘導機構の解析.日本生化 学会東北支部第68回例会,山形;2002年5月

#### (4) 研究会

- 1) 大場好弘,佐藤和昭,藤井順逸:一重項酸素発生試薬の合成と応用.生物ラジカル研究所平成13年度研究発表会,山形;2002年2月
- 2) 池田義孝: -GTPの酵素学的性質とグルタチオン代謝における役割. NILS SEMINAR, 大府; 2002年10月
- 3) 井内良仁,金子智子,松木真吾,笹川五十次,藤井順逸:Y-boxタンパク質YB2/RYB-aが精子形成過程でプロタミン2mRNAの保持に働く可能性の検証.第10回山形分子生物学セミナー,山形;2002年11月
- 4) 松木真吾,井内良仁,池田義孝,笹川五十次,冨田善彦,藤井順逸:熱ストレスによる精子形成細胞傷害の標的分子の検索.第13回動物実験セミナー,山形;2002年12月

## (5) その他

- 1) 藤井順逸:新規レドックスタンパク・ペルオキシレドキシンの性質と役割.岩手医科大学大学院セミナー, 盛岡;2002年8月
- 2) 藤井順逸:活性酵素傷害と老化.岩手医科大学講義,盛岡;2002年8月
- 3) 藤井順逸:活性酵素による老化促進の基礎.平成14年度山形大学公開講座「加齢に伴う病気:基礎と臨床」, 山形;2002年10月
- 4) 藤井順逸:「遺伝子生物学基礎」バイオテクノロジー入門.理科教員のための「組換えDNA実験研修」, 山形;2002年12月

## 運動機能再建・回復学分野(整形外科学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Kondoh S, Sugawara H, Harada N, Matsumoto N, Ohashi H, Sato M, Kantapura PN, Ogino T, Tomita H, Ohta T, Kishino T, Fukushima Y, Niikawa N, Yoshiura K: A novel gene is disrupted at a 14q13 breakpoint of t(2;14) in a patient with mirror-image polydactyly of hands and feet. J Hum Genet 2002; 47: 136-139
- 2) Haku T, Hosoya T, Hayashi M, Adachi M, Konno M, Ogino T: Granular Cell Tumor of the Spinal Nerve Root: MR Findings. Radiat Med 2002; 20: 137-140
- 3) Sasaki J, Takahara M, Ogino T, Kashiwa H, Ishigaki D, Kanauchi Y: Ultrasonographic Assessment of the Ulnar Collateral Ligament and Medial Elbow Laxity in Collge Baseball Players. J Bone Joint Surg 2002; 84A: 525-531
- 4) Choudhury IH, Uchida K, Amagasa S, Sakai M, Ogino T, Horikawa H, Doi K: 31P Magnetic Resonance Spectroscopy of Perfused Rat Skeletal Muscle. 山形保健医療研究 2002; 5: 115-122
- 5) Harada M, Ogino T, Takahara M, Ishigaki D, Kashiwa H, Kanauchi Y: Fragment fixation with a bone graft and dynamic staples for osteochondritis dissecans of the humeral capitellum. J Shoulder Elbow Surg 2002; 11: 368-372
- 6) Orui H, Takahara M, Ishikawa A, Takagi M, Tsuchiya T, Ogino T: Radiological features of long bones in synovitis, acne, pustulosis, hyperostosis, osteitis syndrome and their correlation with pathological findings. Mod Rheumatol 2002; 12: 56-63
- 7) Orui H, Ishikawa A, Tsuchiya T, Ogino T: Magnetic Resonance Imaging Characteristics of Bizarre Parosteal Osteochondromatous Proliferation of the Hand: A Case Report. J Hand Surg 2002; 27A: 1104-1108
- 8) Halder AM, O'Driscoll SW, Heers G, Mura N, Zobitz ME, An KN, Kreusch-Brinker R: Biomechanical Comparison of Supraspinatus Detachments, Defects, and Retraction. J Bone Joint Surg. Am 2002; 84-A: 780-5
- 9) Pioletti DP, Leoni L, Genini D, Takei H, Du P, Corbeil J: Gene expression analysis of osteoblastic cells contacted by orthopedic implant particles. J Biomed Material Res 2002; 61: 408-420
- 10 ) Chowdhury IH, Sasaki K, Takei H, Sasaki A, Ogino T and Takagi M: Titanium particles modulates MMPs-TIMPs mRNA production in MG-63 cell. Quantitative analysis by real time PCR. Connect Tissue 2002; 34: 81
- 11 ) Konttinen YT, Mandelin J, Li TF, Salo Y, Lassus J, Liljeström M, Hukkanen M, Takagi M, Virtanen I, Santavirta S: Acidic cystein endoproteinase cathepsin K in the degradation of the superficial articular hyaline cartilage in osteoarthritis. Arthritis Rheum, 2002; 6: 953-960
- 12 ) Niisallo S, Li TF, Santavirta S, Takagi M, Hietanen J, Konttinen YT: Dense innervation in pesudocapsular tissue compared to aneural interface tissue in loose totally replaced hips. J Rheumatol 2002; 29: 796-803
- 13) 針生光博,浅野多聞,福島重宣,荻野利彦:大腿四頭筋腱を用いた鏡視下前十字靱帯再建術の経験.膝 2002;26:33-36
- 14) 石垣大介,荻野利彦,鳴瀬卓爾,高原政利,金内ゆみ子:先天異常手に対する遊離脂肪移植を併用した骨切り術.日本手の外科学会雑誌 2002;18:590-594
- 15) 井上林,荻野利彦,土田浩之:指神経欠損に後骨間神経終末枝を移植した3例.臨床整形外科 2002;37: 1115-1117
- 16) 石垣大介, 荻野利彦, 高原政利, 土田浩之, 佐竹寛史: 遅発性尺骨神経麻痺に対する深指屈筋筋力の定量的 測定の有用性. 日本手の外科学会誌 2002; 19: 419-423
- 17) 後藤康夫,村成幸,桃井義敬,鶴田大作,荻野利彦,松田雅彦:肩腱板断裂における握力低下の意義.肩関 節 2002;26:229-232
- 18) 鈴木文恵,菊地憲明:陥没骨折に対し自家頭蓋骨外板を用いた頭蓋骨形成術の1例.山形県立病医誌2002;36:23-26
- 19) 針生光博,浅野多聞,福島重宣,荻野利彦:両側同時鏡視下前十字靱帯再建術の1例.東北膝関節研究会会誌 2002;12:31-34
- 20) 小山内俊久,佐竹寛史,石川朗,土屋登嗣:腫瘍用プロステーシスによる上腕骨遠位部転移性骨腫瘍切除後

- の肘関節再建. 臨整外 2002;37:1467-1470
- 21) 小林真司,高木理彰,石井政次,井田英雄,石井淳二:関節リウマチに対するKTプレートを用いた人工股関 節全置換術の小経験. 整形外科 2002;53:1429-33
- 22) 伊藤友一,武井寛,林雅弘:術後脊髄腫大をきたした頸髄症の3例-術後経過を中心に-.日本パラプレジア医学会雑誌 2002;15:94-95
- 23) 古川孝志,武井寛,寒河江正明,橋本淳一,林雅弘:高齢者頚椎症性脊髄症に対する脊柱管拡大術の術後成績.骨・関節・靱帯 2002;15:949-953
- 24) 佐竹寛史,武井寛,橋本淳一,伊藤友一,林雅弘:転移性脊椎腫瘍に対する手術治療 チタン製改良型 Luque rod (Ti-G-rod) の開発と臨床応用 - . 東日本整災会誌 2002; 14:482-488
- 25) 武井寛,寒河江正明,橋本淳一,千葉克司,伊藤友一,林雅弘:脊髄髄内腫瘍のMRI診断.日本脊椎脊髄病 学会雑誌 2002;13:330
- 26) 寒河江正明,武井寛,千葉克司,平本典利,武田陽公,太田吉雄,石川和彦,杉田誠:慢性関節リウマチ環軸椎亜脱臼に対するMagerl法の長期成績について.日本脊椎脊髄病学会雑誌 2002;13:198
- 27) 伊藤友一,大島義彦,平本典利,武田陽公,林雅弘,武井寛,寒河江正明:片側進入棘突起形成片開き式拡 大術後長期の骨性変化.日本脊椎脊髄病学会雑誌 2002;13:93
- 28) 金子健次,金強中,伊藤達雄,高木理彰:骨溶解を有する人工股関節内関節液による破骨細胞形成は osteo-protegerin によって抑制される. 日本関節外科学会誌 2002;21:233-240
- 29) 高木理彰,清重佳郎:長母指伸筋腱皮下断裂に対する固有示指伸筋腱移行術.-神経・筋電気刺激による緊 張度決定-.日本手の外科学会誌 2002;19:673-675
- 30) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,川路博之,新田長生,井田英雄:当院での impaction bone grafting (大腿側)の成績.日本人工関節学会誌 2002;32:229-230
- 31) 大楽勝之,石井政次,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,川路博之,佐藤哲也,新田長生,井田英雄;当院における Dall-Miles cable grip system を用いた大転子固定の成績.日本人工関節学会誌 2002;32;215-216
- 32) 清重佳郎,長谷川浩士,玉木康信,高木理彰:成人踵骨骨折に対する最小侵襲プレート固定術による治療. 別冊整形外科 2002;41:224-227
- 33) 田野崎真司,佐々木芳彰,湯浅哲也,高木理彰,谷口宏,Devarji B,赤塚孝雄:透過レーザ光 CT における 入射パワーの最適化.電子情報通信学会,信学技報 2002;MI2001-93:83-88
- 34) 佐々木芳彰,田野崎真司,鈴木上太,湯浅哲也,高木理彰,谷口宏,Devarji B,赤塚孝雄:光ファイバー方式レーザ光 CT 撮像システムの試作.電子情報通信学会,信学技報 2002;MI2001-92:77-82

#### (2) 著書

- 1) 荻野利彦:PART3手の病気.伊藤達雄総監修,別冊NHKきょうの健康 これだけは知っておきたい肩・腰・ ひざの痛み.東京;NHK出版,2002;84-92
- 2) 荻野利彦:第3編整形外科治療総論 18.先天異常症候群.石井清一・平澤泰介監修,標準整形外科学第8版. 東京;株式会社医学書院,2002;238-255
- 3) 荻野利彦:第3編整形外科治療総論 24.手関節および手指.石井清一・平澤泰介監修,標準整形外科学第8版.東京;株式会社医学書院,2002;355-390
- 4) 高原政利:手の外傷後の保存療法としての運動療法(慢性疼痛を含む).白土修,宗田大編,整形外科運動療法マニュアル.東京;全日本病院出版会,2002:55-66

#### (3) 総 説

- 1) 荻野利彦:13: 手関節および手指. 寺山和雄編,標準整形外科学『別冊付録-整形外科臨床実習の手引』. 東京;医学書院,2002:10
- 2) 荻野利彦:手指屈筋腱断裂の治療・最新の進歩・..日本整形外科学会雑誌 2002;76:1-9

#### (4) その他

- 1) Mura N, O'Driscoll SW, Zobitz ME, Heers G, Jenkyn TR, Chou SM, An KN: Biomechanical effect of infraspinatus disruption and the patch graft technique for large rotator cuff tears. ORS Transactions 2002; 48: 287
- 2) Sato T, Fujii H, Naito A, Tonosaki A, Kobayashi S, Shinozaki K, Miyasaka T, Shindo M: Inhibition of muscle afferents from the brachioradialis to triceps brachii mooneurone. The Third Asian Pacific International Congress of Anato-

mists 2002: 34

- 3) 荻野利彦:なんでも健康相談.NHKきょうの健康 2002:9:138
- 4) 高原政利,佐々木淳也,荻野利彦,土田浩之,柏英雄,村成幸:野球選手における尺側側副靱帯と肘関節内側不安定症の超音波診断.日本整形外科学会雑誌 2002;76:S427
- 5) 村成幸, O'Driscoll SW, Zobitz ME, Heers G, Jenkyn TR, Chou SM, An KN: 肩腱板棘下筋腱断裂の外転トルクと上腕骨頭上方化への影響; 屍体肩による研究. 日本整形外科学会雑誌 2002; 76: S608
- 6) 小林真司,篠崎克洋,内藤輝:ヒト腕橈骨筋と橈側手根屈筋の間の神経結合:PSTH を用いた解析.臨床神経生理学 2002;30:193
- 7) 佐々木幹,高木理彰,井田英雄,小林真司,新田長生,佐々木明子,荻野利彦:蔵王スキー場におけるスノーボード外傷の最近の動向.日本整形外科学会雑誌 2002;76:S462
- 8) 武井寛,寒河江正明,千葉克司,佐竹寛史,伊藤友一,林雅弘:転移性脊椎腫瘍に対するチタン製Grooved Lueque rod を用いた手術治療.日本整形外科学会雑誌 2002;76:S760
- 9) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,高原政利,武井寛,荻野利彦:正常ヒト滑膜細胞におけるMatrix Metalloproteinases, Tissue Inhibitor of Metalloproteinases 発現に対するヒアルロン酸の影響.日本整形外科学会雑誌 2002;76:S995

## 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Mura N, O'Driscoll SW, Zobitz ME, Heers G, Jenkyn TR, Chou SM, An KN: Biomechanical effect of infraspinatus disruption and the patch graft technique for large rotator cuff tears. The 48<sup>th</sup> Annual Meeting of Orthopaedic Research Society, Dallas; February 2002
- 2) Orui H, Ishikawa A, Tsuchiya T, Takahara M, Takagi M, Ogino T: CD83 positive dendritic cell infiltration in musculoskeletal sarcoma in association with cytotoxic cell infiltration. 48<sup>th</sup> Annual Meeting, Orthopedic Research Society, Dallas; February 2002
- 3) Otsuji M, Ogino T, Takahara M, Chowdhury I Hassan, Naruse T: Reductiion of BMP4 and FGP8 expression in the developing limb leading to tibial ray deficiendies. 48th Orthopaedic Research Society, Dallas; February 2002
- 4) Ogino T, Takahara M, Tsuchida H, Kashiwa H: Classification of Longitudinal Deficiency of the Upper Limb. The 4th International Congress Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand, Soul; March 2002
- 5) Takahara M, Ogino T, Tsuchida H: The Natural Progression of Osteochondritis Dissecans of the Humaral Capitellum. The 4th International Congress Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand, Soul; March 2002
- 6) Ogino T: Treatment of Macrodactyly(Instructional Lecture). The 4th International Congress Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand, Soul; March 2002
- 7) Ogino T: Treatment of hypoplastic thumb(Invited lecture). Daeg-Kyungpook Korea Society for The Hand, Post Congress Meeting of APFSSH, Daeg-kyunpook, Korea; March 2002
- 8) Sato T, Fujii H, Naito A, Tonosaki A, Kobayashi S, Shinozaki K, Miyasaka T, Shindo M: Inhibition of muscle afferents from the brachioradialis to triceps brachii mooneurone. The Third Asian Pacific International Congress of Anatomists, Hamamatsu; March 2002
- 9) Fukushima S, Azuma H, Wadey VM, Sutherland C, Barclay L, Thornton GM, Shrive N, Frank CB: Validation of Combined Anterior Cruciate Ligament and Medial Collateral Ligament Transection in the Ovine Stifle Joint as a Model of Osteoarthritis . 115<sup>th</sup> Annual Meeting of The American Orthopaedic Association and 57<sup>th</sup> Annual Meeting of The Canadian orthopaedic Association, Victoria, Canada; June 2002
- 10) Takei H, Sagae M, Chiba K, Ogino T: Cervical Myelopathy with severe nape and shoulder pain caused by bilateral anomalous vertebral arteries. A case report. SICOT, San Diego CA; August 2002
- 11 ) Sagae M, Takei H, Chiba K, Ogino T: A prospective study of atrantoaxial arthrodesis with Magerl procedure in rheumatoid arthritis. SICOT, San Diego CA; August 2002
- 12 ) Ogino T: Metacarpal synostosis. 10th Annual Congenital Hand Anomalies Study Group Meeting, Loma Linda; October 2002
- 13) Ogino T: Osteochondroma or epipyseal dysplasia hemimelica at the proximal ulna-a case report. 10th Annual Con-

- genital Hand Anomalies Study Group Meeting, Loma Linda; October 2002
- 14 ) Ogino T: FGF-8 and BMP4 in longitudinal deficiency. 10th Annual Congenital Hand Anomalies Study Group Meeting, Loma Linda; October 2002
- 15 ) Mura N, Goto Y, Matsuda M, Momonoi Y, Ogino T: Preoperative prediction of primary reparability for massive rotator cuff tears. The 4th Academic Congress of the Asian Shoulder Association, Seoul; October 2002
- 16 ) Momonoi Y, Goto Y, Matsuda M, Mura N, Ogino T: The clinical results of fascia lata patch graft for massive rotator cuff tears. The 4th Academic Congress of the Asian Shoulder Association, Seoul; October 2002
- 17) Goto Y, Mura N, Matsuda M, Momonoi Y, Tsuruta D: Significance of weakness of grip strength in rotator cuff tears. The 4th Academic Congress of the Asian Shoulder Association, Seoul; October 2002
- 18 ) Tsuruta D, Mura N, Takahara M, Ogino T: The neurolysis for the suprascapular nerve palsy without a ganglion. The 4th Academic Congress of the Asian Shoulder Association, Seoul; October 2002
- 19 ) Takahara M, Harada M, Naruse T, Ogino T: Absence or shortening of phalanges is associated with apoptosis in digit development. The 57th Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand, Phoenix; October 2002
- 20 ) Kanauchi Y, Light TL, Bednar MS: Effect of Osteochondromatosis Location on Forearm Deformity in Patients with Multiple Hereditary Osteochondromatosis. The 57th Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand, Phoenix; October 2002
- 21 ) Osanai T, Ishikawa A, Ogino T: Knee reconstruction with prosthesis and gastrocnemius muscle flap after extraarticular resection of malignant bone tumor. 10ème Reunion de la Societe Franco-Japonaise d'Orthopedie(SOFJO), Aomori; October 2002
- 22 ) Orui H, Ishikawa A, Takahara M, Takagi M, Ogino T: Radiological Features of Long Bones in Sapho Syndrome and Their Correlation with Histopathological Findings. 10th Asia Pacific League of Association Rheumatology Congress of Rheumatology, Bangkok-Thailand; December 2002
- 23 ) Tanosaki S, Takagi M, Sasaki Y, Ishikawa A, Inage H, Emori R, Suzuki J, Yuasa T, Taniguchi H, Devaraj B, Akatsuka T: In vivo laser tomographic imaging of mouse leg with coherent detection imaging method. Asian Symposium on Biomedical Optics and Photomedicine, Sapporo; October 2002
- 24 ) Sasaki Y, Suzuki J, Inage H, Emori R, Tanosaki S, Yuasa T, Takagi M, Ishikawa A, Taniguchi H, Devaraj B, Akatsuka T: Transillumination laser CT system with optic-fiber based coherent detection imaging method. The high special resolution and quantitative tomographic imaging of highly scattering objects . Asian Symposium on Biomedical Optics and Photomedicine, Sapporo; October 2002

## (2) 国内の学会

- 1) Takahara M, Sasaki J, Ogino T, Tsuchida H, Kashiwa H: Ultrasonographic Assessment of the Ulnar Collateral Ligament and Medial Elbow Laxity in College Baseball Players. The Japan-Korea Joint Meeting of Orthopaedic Sports Medicine combined with the 28th Annual Meeting of JOSSM, Kochi; March 2002
- 2) Takagi M, Konttinen YT, Sasaki K, Chowdhury IH, Sasaki A, Santavirta S: Histomorphometric analysis of connective tissue remodeling in bone-artificial hip prostheses interface. 34回日本結合組織学会,浜松;2002年4月
- 3) Chowdhury IH, Sasaki K, Takei H, Sasaki A, Ogino T, Takagi M: Titanium particles modulate MMPs-TIMPs mRNA production in MG 63 cell. Quantitative analysis by real time PCR. 第34回日本結合組織学会,浜松;2002年4月
- 4) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄: 当院でのケルブール十字プレートおよびKTプレートの成績.第32回日本人工関節学会,名古屋;2002年1月
- 5) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄: Impaction bone graftingを用いた人工股関節再置換術の成績(大腿側).第32回日本人工関節学会,名古屋; 2002年1月
- 6) 大楽勝之,石井政次,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄:当院におけるDall-Miles Cable Grip Systemを用いた大転子固定の成績.第32回日本人工関節学会,名古屋;2002年1月

- 7) 浅野多聞,針生光博,高木理彰,小山内俊久,荻野利彦:再発を繰り返した膝蓋部軟部腫瘍の1例. 第27回日本膝関節学会,別府;2002年2月
- 8) 針生光博,浅野多聞,武井寛,福島重宣,荻野利彦,仙道富士郎:膝関節液中GPIアンカー蛋白質GP180の 検討.第27回日本膝関節学会,別府;2002年2月
- 9) 原田幹生,高原政利,朴哲,荻野利彦:マウス膝関節発生におけるGDF5の細胞増殖とアポトーシスへの影響についての検討.第15回日本軟骨代謝学会,前橋;2002年3月
- 10) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,高原政利,武井寛,Chowdhury IH,荻野利彦:常ヒト滑膜細胞における matrix metalloproteinase の発現に対するヒアルロン酸の影響.第34回日本結合組織学会,浜松;2002年4月
- 11) 菊地憲明,鈴木文恵,柏英雄:臍突出症や臍ヘルニアに対する臍形成の工夫.第45回日本形成外科学会総会, 長崎;2002年4月
- 12) 高木理彰,清重佳郎:長母指伸筋腱皮下断裂に対する固有示指伸筋腱移行.神経・筋電気刺激による緊張度決定.第45回日本手の外科学会学術集会,新潟;2002年4月
- 13) 柏英雄,高原政利,土田浩之,荻野利彦:爪甲と爪床の発生について.第45回日本手の外科学会学術集会, 新潟;2002年4月
- 14) 石垣大介,荻野利彦,高原政利,土田浩之,佐竹寛史:遅発性尺骨神経麻痺に対する深指屈筋筋力の定量的 測定の有用性.第45回日本手の外科学会学術集会,新潟;2002年4月
- 15) 鶴田大作,高原政利,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:肩甲上神経麻痺の手術成績.第45回日本手の外科学会 学術集会,新潟;2002年4月
- 16) 高木理彰,田野崎真司,湯浅哲也,Devaraji B,石川朗,大類広,佐々木幹,小山内俊久,加藤博文,荻野利彦,赤塚孝雄:リウマチ性骨関節病変診断用レーザ光CTシステム-安全性と画像化に関する基礎研究-(ワークショップ).第46回日本リウマチ学会総会・学術集会,神戸;2002年4月
- 17) 大類広,高原政利,石川朗,小山内俊久,土屋登嗣,荻野利彦:SAPHO症候群の長骨病変 画像所見と病理 組織所見の比較 - . 第46回日本リウマチ学会総会・学術集会,神戸;2002年4月
- 18) 柏英雄,菊地憲明,大辻美和子,荻野利彦,石垣大介: Nuss法の応用~胸郭変形症への適応拡大について. 第45回日本形成外科学会総会,長崎;2002年4月
- 19) 荻野利彦: 先天異常手の分類と治療. 第75回日本整形外科学会学術集会,岡山;2002年5月
- 20) 高原政利,佐々木淳也,荻野利彦,土田浩之,柏英雄,村成幸:野球選手における尺側側副靱帯と肘関節内側不安定症の超音波診断.第75回日本整形外科学会学術集会,岡山;2002年5月
- 21) 高原政利, 荻野利彦, 高木理彰, 土田浩之, 大類広:上腕骨小頭の離断性骨軟骨炎の自然経過.第75回日本 整形外科学会学術集会, 岡山; 2002年5月
- 22) 村成幸,O'Driscoll SW, Zobitz ME, Heers G, Jenkyn TR, Chou SM, An KN: 肩腱板棘下筋腱断裂の外転トルクと上腕骨頭上方化への影響;屍体肩による研究.第75回日本整形外科学会学術集会,岡山;2002年5月
- 23) 高木理彰,清重佳郎:RA上肢関節障害の滑膜切除の意義.母指MP関節,手関節,肘関節再建における軟部 組織 re-alignment の重要性.第75回日本整形外科学会学術総会,岡山;2002年5月
- 24) 高木理彰,清重佳郎:長母指皮下腱断裂に対する固有示指伸筋腱移行時の術中神経・筋電気刺激の有用性の 検討.第39回日本リハビリテーション医学会総会,東京;2002年5月
- 25) 小林真司,高木理彰,荻野利彦,内藤輝:ヒト橈側手根伸筋と円回内筋の間にみられる促通の機能的意義について.第39回日本リハビリテーション医学会,東京;2002年5月
- 26) 佐藤寿晃,藤井浩美,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:PSTH法によるヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋への神経結合の解析.第36回日本作業療法学会,広島;2002年5月
- 27) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:腕橈骨筋から橈側手根伸筋の促通性神経投射-PSTH法を用いた解析-.第36回日本作業療法学会,広島;2002年5月
- 28) 武井寛,寒河江正明,橋本淳一,千葉克司,伊藤友一,林雅弘:脊髄髄内腫瘍のMRI診断.第31回日本脊椎 脊髄病学会,宮崎;2002年6月
- 29) 寒河江正明,武井寛,千葉克司,平本典利,武田陽公,太田吉雄,石川和彦,杉田誠:慢性関節リウマチ環軸椎亜脱臼に対するMagerl法の長期成績について.第31回日本脊椎脊髄病学会,宮崎;2002年6月
- 30) 伊藤友一,大島義彦,平本典利,武田陽公,林雅弘,武井寛,寒河江正明:片側進入棘突起形成片開き式拡 大術後長期の骨性変化.第31回日本脊椎脊髄病学会,宮崎;2002年6月

- 31) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,佐々木健,篠崎克洋,笠原里美:手関節運動における橈側手根伸筋と円回内筋の活動の機能解剖学的解析.第25回日本神経科学会,東京;2002年7月
- 32) 佐藤寿晃,藤井浩美,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:ヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋へ の神経結合 PSTH法を用いて.第25回日本神経科学会,東京;2002年7月
- 33) 金内ゆみ子, 荻野利彦, 土田浩之, 高原政利, 柏英雄, Light Terry: Swanson修飾分類を用いた上肢先天異常分類.第42回日本先天異常学会学術集会, 浜松; 2002年7月
- 34) 柏英雄,高原政利,金内ゆみ子,大辻美和子,荻野利彦,村垣泰光:HoxD13遺伝子に異常が見いだされた 指列誘導障害の1例.第42回日本先天異常学会学術集会,浜松;2002年7月
- 35) 大辻美和子,荻野利彦,高原政利,鳴瀬卓爾,関徳広,柏英雄:脛骨列形成障害の成立過程におけるFgf8と Bmp4の発現異常.第42回日本先天異常学会学術集会,浜松;2002年7月
- 36) 小山内俊久, 土屋登嗣, 石川朗, 佐竹寛史, 荻野利彦: 転移性骨腫瘍に対するtumor dormancy therapyとしてのビスホスホネート.第35回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 山口; 2002年7月
- 37) 石川朗, 大類広, 小山内俊久, 土屋登嗣, 佐竹寛史, 荻野利彦: ラット骨肉腫モデルの骨内病変に対するelectrochemotherapyの有用性. 第35回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 山口; 2002年7月
- 38) 大類広,石川朗,土屋登嗣,荻野利彦:傍骨性脂肪腫の染色体異常.第35回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍 学術集会,山口;2002年7月
- 39) 武井寛,寒河江正明,千葉克司,佐竹寛史,伊藤友一,林雅弘:転移性脊椎腫瘍に対するチタン製Grooved Lueque rod を用いた手術治療.第35回日本整形外科学会 骨軟部腫瘍学術集会,宇部;2002年7月
- 40) 後藤康夫,江藤淳,村成幸,松田雅彦,桃井義敬,鶴田大作,荻野利彦:観血的整復術を施行した上腕二頭 筋腱脱臼の1例.第29回日本肩関節学会,札幌;2002年9月
- 41) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄:変形性股関節症に対する内反骨切り術の長期成績.第29回日本股関節学会核術集会,札幌;2002年9月
- 42) 土田浩之, 荻野利彦, 橋本淳一, Paul Manske Jueren Lou: ラット大腿骨の部分骨欠損モデルにおける間葉系 細胞へのBMP 2 遺伝子導入法による治療効果の検討. 第17回日本整形外科学会基礎学術集会, 青森; 2002年10月
- 43) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,高原政利,武井寛,荻野利彦:正常ヒト滑膜細胞におけるMatrix Metalloproteinases, Tissue Inhibitor of Metalloproteinases発現に対するヒアルロン酸の影響.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 44) 高木理彰, Yrjo Konttinen, Seppo Santavirta, 井田英雄, 石井政次, 小林真司, 佐々木幹, 荻野利彦: 弛緩人工股関節周囲組織の骨吸収動態に関する検討.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森; 2002年10月
- 45) 原田幹生,高原政利,高木理彰,関徳宏,朴哲,荻野利彦:マウス膝関節発生におけるGDF5の細胞増殖と アポトーシスへの影響.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 46) 新田長生,高木理彰,高原政利,佐々木幹,荻野利彦:骨髄注入は低出力超音波骨折治療の適応を拡大するか ラット難治性骨折モデルを用いた検討 .第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 47) 菊地憲明,村上弦,柏英雄,荻野利彦:腹直筋皮弁穿通枝の走行に関する解剖学的研究~第2報,第11回日本形成外科学会基礎学術,仙台;2002年10月
- 48) 新田長生,高木理彰,小林真司,井田英雄,山川正紀,川路博之,佐藤哲也,石井政次,大楽勝之:初回人工股関節置換術における十字プレートを併用した臼蓋再建の短期成績.第29回日本股関節学会,札幌;2002年10月
- 49) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄:変形性股関節症に対する内反骨切り術の長期成績.第29回日本股関節学会,札幌;2002年10月
- 50) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,井田英雄:人工股関節再置換術でのケルブール十字プレートおよびKTプレートの成績.第51回東日本整形外科学会,郡山;2002年10月
- 51) 千葉克司,武井寛,笹木勇人,荻野利彦,寒河江正明,古川孝志:脊髄レベルの緊急除圧術が必要だった非 外傷性病変.第51回東日本整形災害外科学会,郡山;2002年10月
- 52) 高原政利, 荻野利彦, 村成幸, 鶴田大作, 土田浩之, 柏英雄: スポーツによる肩周辺の末梢神経障害. 第51回東日本整形災害外科学会(パネルディスカッション), 郡山; 2002年10月
- 53) 福島重宣,浅野多聞,保坂雄大,荻野利彦,鳥居伸行,大島義彦:中高齢者検診における膝関節症状と日常

活動性.第51回東日本整形災害外科学会,郡山;2002年10月

- 54) 山川淳一,小林真司,高木理彰,浦山安広,平山朋幸,井田英雄:ブプレノルフィンとヒドロキシジンの持続静注による術後鎮痛法-THAを対象として.第51回東日本整形災害外科学会,郡山;2002年10月
- 55) 佐藤寿晃,藤井浩美,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:ヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋へ の抑制 PSTH法を用いた解析.第32回日本臨床神経生理学会,福島;2002年11月
- 56) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:手関節背屈運動にみられる橈側 手根伸筋と円回内筋の同期収縮とその機能的意義.第32回日本臨床神経生理学会,福島;2002年11月
- 57) 荻野利彦: (特別講演)手の先天異常の発現機序と分類. 日本小児整形外科学会, 福岡; 2002年11月
- 58) 伊藤友一,高原政利,村成幸,原田幹生:少年野球における整形外科的メディカルチェック.第13回日本臨 床スポーツ医学会学術集会,名古屋;2002年11月
- 59) 伊藤友一,林雅弘,寒河江正明,武井寛,橋本淳一:片側進入棘突起形成片開き式拡大術の後療法-術後外 固定期間の短縮について.-第37回日本脊髄障害医学会,和歌山;2002年11月

## (3) 国内地方会

- 1) 田中賢, 浅野多聞, 福島重宣, 針生光博, 荻野利彦: SuperFlex PSを用いた人工膝関節全置換術の経験. 第99回東北整形災害外科学会, 新潟; 2002年4月
- 2) 菅原正登,小山内俊久,佐竹寛史,大類広,荻野利彦:軟部肉腫との鑑別を要した遺残ガーゼによる異物肉 芽腫の2例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 3) 佐竹寛史, 小山内俊久, 菅原正登, 荻野利彦: 大腿骨遠位部後面に発生したbizzare parosteal osteochondromatous proliferationの1例. 第99回東北整形災害外科学会, 新潟; 2002年4月
- 4) 小山内俊久,佐竹寛史,菅原正登,荻野利彦:大腿骨遠位部悪性骨腫瘍に対する膝蓋骨温存関節外腫瘍切除 ~腫瘍用人工膝関節と腓腹筋移行による膝関節再建~.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 5) 鶴田大作,高原政利,土田浩之,柏英雄,村成幸,小山内俊久,原田幹生,荻野利彦:著明な滑膜炎を合併したvalgus extension overload syndromeの1例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 6) 玉木康信,高原政利,土田浩之,柏英雄,村成幸,鶴田大作,荻野利彦:成人肘内障の1例.第99回東北整 形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 7) 古川孝志,朝比奈一三,大利昌宏,小山内俊久,宮澤亜矢,武井寛:頚部脊髄症を呈した多発性骨血管腫の 1例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 8) 篠村友紀,小林真司,高木理彰,山川正紀,新田長生,井田英雄:THAを施行したKlippel-Weber症候群の一例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 9) 千葉克司,武井寛,寒河江正明,平本典利,古川孝志:歩行困難を主訴に来院し緊急手術を施行した胸椎硬膜外腫瘍の2例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 10) 寒河江正明,武井寛,千葉克司,平本典利,武田陽公,太田吉雄,杉田誠:リウマチ性環軸椎亜脱臼に対するMagerl法の長期成績について.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 11) 宮沢亜矢,浅野多聞,福島重宣,荻野利彦:観血的整復を要した膝関節脱臼の経験.第26回東北膝関節研究会,仙台;2002年8月
- 12) 保坂雄大,福島重宣,浅野多聞,荻野利彦,鳥居伸行,大島義彦:膝に有症状を認める高齢者の疫学調査. 第26回東北膝関節研究会,仙台;2002年7月
- 13) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,武井寛,高原政利,荻野利彦:正常ヒト滑膜細胞におけるMMP-TIMPの 発現に対するヒアルロン酸の影響.第12回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術総会,札幌;2002年9月
- 14) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,佐々木健,篠崎克洋,笹原里美:橈側手根伸筋と円回内筋の同期 収縮とその機能的意義.第48回東北・北海道連合支部学術集会,十和田;2002年9月
- 15) 石川朗,田野崎真司,湯浅哲也,Balasiganami Devaraji,谷口宏,高木理彰,大類広,佐々木幹,佐々木明子, 小山内俊久,加藤博文,荻野利彦,赤塚孝雄:リウマチ性骨関節病変診断用レーザ光CTシステムの安全性と画 像化に関する臨床研究.第12回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会,札幌;2002年10月
- 16) 浦山安広,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄,石井政次,大楽勝之: ceramic on ceramic 人工股関節全置換術の短期成績.第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 17) 伊藤重治,村成幸,後藤康夫,桃井義敬,鶴田大作,松田雅彦,荻野利彦:肩腱板断裂術後にみられた反射性交感神経ジストロフィー様症状.第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月

- 18) 福島重宣,浅野多聞,針生光博,荻野利彦: Mobile bearing人工膝関節における膝蓋大腿関節の適合性. 第100回東北整形災害外科学会,仙台:2002年11月
- 19) 小山内俊久, 柏英雄, 石川朗, 高原政利, 荻野利彦: 骨肉腫に対する肩甲帯離断術の適応と術式の工夫~free elbow flapによる組織欠損被覆~. 第100回東北整形災害外科学会, 仙台; 2002年11月
- 20) 保坂雄大,柏英雄,菊池憲明,紺野隆之,荻野利彦:痕跡型母指多指症と考えられた2症例.第100回東北 整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 21) 江藤淳,千葉克司,武井寛,笹木勇人,荻野利彦:転移性脊椎腫瘍の診断における99mTc-HPMAO標識白血 球シンチグラフィーの有用性. 第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 22) 池山有子,武井寛,笹木勇人,千葉克司:感染性心内膜炎を合併した化膿性脊椎炎の1例. 第100回東北整 形災害外科学会,仙台;2002年11月

#### (4) 研 究 会

- 1) 武井寛,寒河江正明,千葉克司:椎骨動脈の走行異常により脊髄症をきたした1症例.第12回東北脊椎外科研究会,仙台;2002年1月
- 2) 寒河江正明,武井寛,千葉克司,林雅弘,平本典利,武田陽公,太田吉雄:腰椎椎間板ヘルニア再手術例の 検討-同側同高位再発例を中心に-第12回東北脊椎外科研究会,仙台; 2002年1月
- 3)後藤文昭,林雅弘,武井寛,寒河江正明,平本典利,太田吉雄,水沼史彦:外側型腰椎椎間板ヘルニアの手 術成績.第12回東北脊椎外科研究会,仙台; 2002年1月
- 4) 新田長生,高木理彰,高原政利,佐々木幹,荻野利彦:ラット難治性骨折モデルの作成と低出力超音波照射の適応に関する検討.第5回超音波骨折治療研究会,東京;2002年1月
- 5) 鈴木朱美,高原政利,土田浩之,柏英雄,荻野利彦:関節内遊離体による母指MP関節lockingの1例. 第16回東日本手の外科研究会,札幌;2002年2月
- 6) 高原政利,山川正紀,土田浩之,柏英雄,荻野利彦:大菱形骨脱臼骨折の1例.第16回東日本手の外科研究会,札幌;2002年2月
- 7) 石垣大介,荻野利彦,高原政利,佐竹寛史,柏英雄,土田浩之:ピンチメータを用いた深指屈筋筋力の定量 的評価法-尺骨神経麻痺の診断に対する有用性-.第16回東日本手の外科研究会,札幌;2002年2月
- 8) 高原政利,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の不安定性について.日本肘関節研究 会,札幌;2002年2月
- 9) 紺野隆之,菊地憲明:母指多指症の1例.第40回庄内皮膚科医会,鶴岡;2002年3月
- 10) 村成幸,高原政利,原田幹生,荻野利彦,伊藤友一,大野崇志,山口智史,吉田啓晃:少年野球選手の肩関節の可動域とゆるみ.第13回東北肩関節懇談会,仙台;2002年6月
- 11) 菊地憲明,鈴木文恵,柏英雄:遊離腓骨日弁による下顎骨再建の経験.第7回山形形成外科懇話会,山形; 2002年7月
- 12) 大類広,小山内俊久,石川朗,柏英雄,荻野利彦,土屋登嗣:右橈骨病変と右前腕皮膚病変を伴った左大腿 軟部腫瘍の1例.第9回東北地区骨軟部腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 13) 菊地憲明,大滝晋介:小児にみられた木村氏病の1例.第43回庄内皮膚科医会,酒田;2002年9月
- 14) 原田幹生,高原政利,村成幸,荻野利彦,伊藤友一:超音波を用いた野球少年に対する野球肘の検診. 第23回山形県スポーツ医科学研究会,山形;2002年9月
- 15) 村成幸,高原政利,原田幹生,荻野利彦,伊藤友一,大野崇志,山口智史,吉田啓晃:少年野球選手の肩関 節可動域とゆるみ.第23回山形県スポーツ医科学研究会,山形;2002年9月
- 16) 池山有子,千葉克司,笹木勇人,武井寛:一流スポーツ選手の腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下椎間板 摘出術(MED)の経験.第23回山形県スポーツ医科学研究会,山形;2002年9月
- 17) 千葉克司,武井寛,笹木勇人,橋本淳一,寒河江正明:当科におけるMED(内視鏡下椎間板摘出術)の治療経験.第7回山形脊椎・脊髄外科懇話会,山形;2002年10月
- 18) 寒河江正明,武井寛,笹木勇人,千葉克司,天野秀久:頚椎後方椎間孔拡大術の検討.第7回山形脊椎・脊髄外科懇話会,山形;2002年10月
- 19) 武井寛, 笹木勇人, 千葉克司, 佐竹寛史, 寒河江正明, 伊藤友一, 林雅弘, 後藤文昭, 古川孝志, 横田実: チタン製Grooved Luque rod を用いた転移性脊椎腫瘍の治療. 第7回山形脊椎・脊髄外科懇話会, 山形; 2002年10月

- 20) 佐藤寿晃,藤井浩美,鈴木克彦,内藤輝,小林真司,篠崎克洋:前腕回内外運動の筋活動・神経結合の機能的意義・.第18回運動調節機構とその病態生理研究会,東京;2002年10月
- 21) 高木理彰:アルカプトン尿症性脊椎股関節症の診断.第6回東北リウマチ医の会,山形;2002年12月
- 22) 大辻美和子,高原政利,原田幹生,朴哲,関徳宏,斉藤英子,神村栄吉,高木理彰,荻野利彦:脛骨列形成 障害の成立過程におけるFgf8とBmp4の発現異常.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 23) 金内ゆみ子,高原政利,原田幹生,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:短指症の病態形成に関する研究:短指症 マウスにおける指節骨の分析.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 24) 朴哲,高原政利,原田幹生,大辻美和子,高木理彰,斉藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス肋軟骨損傷の修復過程.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 25) 原田幹生,高原政利,朴哲,大辻美和子,高木理彰,斉藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス膝前・後十字 靱帯発生におけるGDF5の役割についての検討.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月

#### (5) その他

- 1) Takahara M: Osteochondritis dissecans of the humeral capitellum. Sports Medicine Conference, Massachusetts General Hospital, Boston; June 2002
- 2) Takahara M: Osteochondritis dissecans of the humeral capitellum. American Sports Medicine Institute, Birmingham; June 2002
- 3) Takahara M: Ultrasonographic assessment of the ulnar collateral ligament and of the medial elbow instability. American Sports Medicine Institute, Birmingham; June 2002.
- 4) Takahara M: Digit development in brachypodism mice, functional null mutants of growth differentiation factor 5 gene. Division of Human Anatomy, Loma Linda University, Loma Linda; June 2002
- 5) Takahara M: Osteochondritis dissecans of the humeral capitellum. Department of Orthopaedic Surgery, Mayo Clinic, Rochester; July 2002
- 6) Takahara M: Ultrasonographic assessment of the ulnar collateral ligament and of the medial elbow instability. Department of Orthopaedic Surgery, Mayo Clinic, Rochester; July 2002
- 7) Takahara M: Second fracture of the distal humerus following varus malunion of suprscondylar fracture. Department of Orthopaedic Surgery, Mayo Clinic, Rochester; July 2002
- 8) Ogino T: Teratogenic Mechanism and Classification of Congenital Hand Differences . スタンフォード大学 , USA; 2002年8月14日
- 9) Ogino T: Thumb Polydactyly . スタンフォード大学 , USA ; 2002年8月16日
- 10) 荻野利彦:手の先天異常の治療.東海小児整形外科懇話会,名古屋;2002年2月
- 11) 荻野利彦: 先天異常(上肢)の診断と治療.日本小児整形外科学会第9回研修会,東京;2002年4月
- 12) 荻野利彦: 絞扼性神経障害について. 第1回置賜整形外科懇話会, 南陽; 2002年4月
- 13) 村成幸:肩関節鏡と鏡視下手術.第52回山形整形外科研究会 教室研修医セミナー,山形;2002年6月
- 14) 荻野利彦: 絞扼性末梢神経障害について. 小樽整形外科部会講演会, 小樽; 2002年8月
- 15) 荻野利彦:肘関節周辺の諸問題.金沢整形外科セミナー第3回夏期学術講演会;2002年8月
- 16) 柏英雄, 土田浩之, 高原政利, 荻野利彦, 清重佳郎:足のdegloving injuryの1例.第8回東北マイクロサージャリー懇話会, 仙台; 2002年10月
- 17) 小林真司:急速破壊型股関節症.第53回山形整形外科研究会研修医セミナー,山形;2002年11月
- 18) 大辻美和子,高原政利,原田幹生,朴哲,関徳宏,斎藤英子,神村栄吉,高木理彰,荻野利彦:脛骨列形成 障害の成立過程におけるFgf8とBmp4の発現異常.実験動物セミナー 第13回研究成果発表会,山形;2002年12月
- 19) 金内ゆみ子,高原政利,原田幹生,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:短指症の病態に関する研究:短肢症マウスにおける指節骨の分析.実験動物セミナー 第13回研究成果発表会,山形;2002年12月
- 20) 朴哲,高原政利,原田幹生,大辻美和子,高木理彰,斎藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス肋軟骨損傷の 修復過程.実験動物セミナー 第13回研究成果発表会,山形;2002年12月
- 21) 原田幹生,高原政利,朴哲,大辻美和子,高木理彰,斎藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス前・後十字靱帯発生におけるGDF5の役割についての検討.実験動物セミナー 第13回研究成果発表会,山形;2002年12月

- 22) 高原政利:アメリカの最新スポーツ医学.第1回スポーツ医学セミナー,山形;2002年7月
- 23) 高原政利:骨粗鬆症.第7回山形大学医学部技術部職員研究,山形;2002年8月
- 24) 福島重宣:熱中症について.山形県高体連登山部研修会,山形;2002年9月

## 3. その他

- 1) 第8回山形整形外科セミナー,山形;2002年2月
- 2) 第9回蔵王スポーツ医学セミナー,山形;2002年2月
- 3) 第9回山形整形外科セミナー,山形;2002年5月
- 4) 第8回山形臨床整形外科懇話会,山形;2002年5月
- 5) 第52回山形整形外科研究会,山形;2002年6月
- 6) 第1回山形バイオアクティブペースト研究会,山形;2002年6月
- 7) 第7回山形形成外科懇話会,山形;2002年7月
- 8) 第1回スポーツ医学セミナー,山形;2002年7月
- 9) 第10回山形整形外科セミナー,山形;2002年9月
- 10) 第9回東北地区骨軟部腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 11) 第24回山形県スポーツ医科学研究会,山形;2002年9月
- 12) 第10回山形リウマチ研究会,山形;2002年9月
- 13) 第11回山形整形外科セミナー,山形;2002年10月
- 14) 第53回山形整形外科研究会,山形;2002年11月
- 15) 第1回山形地区骨を語る会,山形;2002年11月

## 腎泌尿器外科学分野(泌尿器科学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Miura M, Sasagawa I, Suzuki Y, Nakada T, Fujii J: Apoptosis and expression of apoptosis-related genes in the mouse testis following heat exposure. Fertil Steril 2002; 77: 787-793
- 2) Itoh K, Sasagawa I, Suzuki Y, Ashida J, Nakada T, Ogata T: Mutation screening for the 5 alpha-reducatse type 2 gene in Japanese men with idiopathic azoospermia. Fertil Steril 2002; 77: 1079-1080
- 3) Suzuki Y, Sasagawa I, Itoh K, Ashida J, Ogata T: 5 alpha-reductase type 2 gene in Japanese males do not appear to be associated with cryptorchidism. Fertil Steril 2002; 78: 330-334
- 4) Suzuki Y, Sasagawa I, Itoh K, Ashida J, Muroya K, Ogata T: Estrogen receptor alpha gene polymorphism is associated with idiopathic azoospermia. Fertil Steril 2002; 78: 1341-1343
- 5) Ishigooka M, Nakada T, Hashimoto T, Iijima Y, Yaguchi H: Spinal substance P immunoreactivity is enhanced by acute chemical stimulation of the rat prostate. Urology 2002; 59: 139-144
- 6) Ishigooka M, Nakada T, Hashimoto T, Zermann DH, Schmidt RA: C-fos expression in the spinal cord after acute sacral segmental nerve stimulation. Neurourol Urodynam 2002; 21: 495-501
- 7) Kaneko T, Iuchi Y, Kobayashi T, Fujii T, Saito H, Kurachi H, Fujii J: The expression of glutathione reductase in the male reproductive system of rats supports the enzymatic basis of glutathione function in spermatogenesis. Eur J Biochem 2002; 269: 1570-1578
- 8) Kobayashi T, Kaneko T, Iuchi Y, Matsuki S, Takahashi M, Sasagawa I, Nakada T, Fujii J: Localization and physiological implication of aldose reductase and sorbitol dehydrogenase in reproductive tracts and spermatozoa of male rats. J Androl 2002; 23: 674-683
- 9) Kobayashi T, Nakada T, Kuzumaki T: Effect of flavonoids on cell cycle progression in prostate cancer cells. Cancer Lett 2002; 176: 17-20
- 10 ) Yanai H, Kubota Y, Nakada T: Effects of electropermeabilization after the administration of anticancer drugs on transitional cell carcinoma. BJU Int 2002; 89: 438-442
- 11 ) Suzuki Y, Itoh K, Tsukigi M, Miura M, Sasagawa I: The use of a new haemostatic agent for controlling adrenal bleeding during posterior retroperitoneoscopic partial adrenalectomy. BJU Int 2002; 90: 351
- 12 ) Suzuki Y, Sasagawa I, Tateno T, Yazawa H, Ashida J, Nakada T: Absence of microdeletions in the Y chromosome in patients with Prader-Willi syndrome. Int J Androl 2002; 25: 1-5
- 13 ) Ichiyanagi O, Sasagawa I, Suzuki Y, Ishigooka M, Nakada T: Relationship between the shape of passive urethral resistance relation and prostatic histology in patients with benign prostatic hyperplasia. Urol Int 2002; 68: 243-245
- 14 ) Tsukigi M, Kubota Y, Iijima Y, Yaguchi H, Tateno T, Suzuki Y, Sasagawa I, Nakada T: Retroperitoneal schwannoma extending into the intravertebral foramen. Urol Int 2002; 69: 75-77
- 15 ) Matsuki S, Sasagawa I, Iuchi Y, Fujii J: Impaired expression of peroxiredoxin 4 in damaged testes by artificial cryptorchidism. Redox Rep 2002; 7: 276-278
- 16) 田偉,中田瑛浩,久保田洋子,笹川五十次,金子尚嗣,飯島良明,矢口博理,和泉卓司,大澤資樹:クッシング症候群患者の血清カリウム,血清蛋白質に与える副腎手術の影響.内分泌外科 2002;19:200-204
- 17) 笹川五十次,鈴木泰宏,槻木真明,三浦道治,伊藤啓一,中田瑛浩:後腹膜腔鏡下副腎部分切除術における 副腎切除面のタココンプによる止血効果.医学の門 2002;42:142-143

#### (2) 総 説

- 1) Sasagawa I, Suzuki Y, Muroya K, Ogata T: Androgen receptor gene and male genital anomaly. Arch Androl 2002; 48: 461-466
- 2) 中田瑛浩,久保田洋子,笹川五十次,石郷岡学,飯島良明,矢口博理,舘野正,和泉卓司:副腎皮質腺腫, 癌腫,褐色細胞腫の外科的治療のクリニカルパス.ホと臨 2002;50:457-467
- 3) 中田瑛浩,久保田洋子,笹川五十次,飯島良明,矢口博理,舘野正,和泉卓司,伊藤啓一:副腎腫瘍の診断

と治療.原発性アルドステロン症,クッシング症候群,褐色細胞腫,副腎癌.外科治療 2002;86:278-286

- 4) 石郷岡学,中田瑛浩: Viceral Painと下部尿路機能.泌尿外科 2002; 15:469-471
- 5) 久保田洋子,中田瑛浩:各種カテーテルトラブル.臨床泌尿 2002;565:234-238

## 2.学会報告

#### (1) 国内の学会

- 1) 柿崎弘,国井拓也,加藤智幸,中田瑛浩:術前動注化学療法を行った浸潤膀胱癌の治療成績.第90回日本泌 尿器科学会総会,東京;2002年4月
- 2) 矢口博理,飯島良明,舘野正,石郷岡学,槻木真明,内藤整,久保田洋子:腎移植後ステロイド離脱についての検討.第90回日本泌尿器科学会総会,東京;2002年4月
- 3) 久保田洋子,石郷岡学,飯島良明,矢口博理,舘野正,槻木真明,内藤整:前立腺癌に対するelectrochemotherapyの有効性の検討.第90回日本泌尿器科学会総会,東京;2002年4月
- 4) 石郷岡学,橋本透,飯島良明,矢口博理,舘野正,中田瑛浩: Sascral Nerve Stimulationが一日尿量に与える 影響について.第90回日本泌尿器科学会総会,東京;2002年4月
- 5) 槻木真明,久保田洋子,笹川五十次,石郷岡学,飯島良明,矢口博理,舘野正,三浦道治,伊藤啓一,内藤整,増田智一,中田瑛浩:術前に画像で副腎中心静脈に浸潤が確認できた左副腎皮質癌の一例.第14回日本内分泌外科学会総会,大阪;2002年6月
- 6) 出川紀行,国井拓也,加藤智幸,柿崎弘:身体障害者療養施設において,血液透析困難なため,腹膜透析を 導入した2例.第47回日本透析医学学会学術集会・総会,東京;2002年7月
- 7) 矢口博理,飯島良明,石郷岡学,舘野正,三浦道治,笹川五十次,久保田洋子:腎移植後ステロイド離脱についての検討.第47回日本透析医学学会学術集会・総会,東京;2002年7月
- 8) 一柳統,矢萩友紀,高橋勝彦,安達雅史,笹川五十次,中田瑛浩:血液透析患者における口腔乾燥症に対して白虎加入人参湯が有効であった1例.第47回日本透析医学学会学術集会・総会,東京;2002年7月
- 9) 小林孝至,坂本信一,池田良一,中村剛,赤倉功一郎,日景高志,長岡明:血液透析患者の筋緊張症候群に 対する黄連解毒湯の使用経験.第47回日本透析医学学会学術集会・総会,東京;2002年7月
- 10) 長岡明,佐藤千香子,舘野正,三浦道治,久保田洋子: MR angiography(MRA)によるブラッドアクセスの評価.第47回日本透析医学学会学術集会・総会,東京;2002年7月

## (2) 国内地方会

- 1) 冨田善彦: 腎癌治療の新しい展開非破的同種移植. 日本泌尿器科学会中部総会, 名古屋; 2002年11月
- 2) 久保田洋子:前立腺癌内分泌不応因子の組織学的検討.第67回日本泌尿器科学会東部総会,千葉;2002年9月
- 3) デン・イ,中田瑛浩,内藤整,増田智一,伊藤啓一,三浦道治,笹川五十次:クッシング症候群患者における低蛋白血症,低K血症.第226回日本泌尿器科学会東北地方会,盛岡;2002年4月
- 4) 加藤正典,武藤明紀,小野久仁夫,菅野理:腎周囲組織に発生した悪性線維性組織球腫の1例.第226回日本 泌尿器科学会東北地方会,盛岡;2002年4月
- 5) 加藤智幸,国井拓也,柿崎弘:性嚢膿瘍の1例.第226回日本泌尿器科学会東北地方会,盛岡;2002年4月
- 6) 内藤整,一柳統,三浦道治,笹川五十次,久保田洋子:塩酸ベラパミル局所注入により排尿障害の改善をみたペロニー氏病の1例.第227回日本泌尿器科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 7) 増田智一,舘野正,矢口博理,飯島良明,石郷岡学,久保田洋子,長岡明:気腫性膀胱炎の1例.第227回日本泌尿器科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 8) 山辺拓也,和泉卓司,柴田雄二:内腫骨動脈瘤の膀胱内穿破を2度きたした1例.第227回日本泌尿器科学 会東北地方会,秋田;2002年9月
- 9) 武藤明紀,加藤正典,小野久仁夫,菅野理:腎細胞癌の膀胱転移の1例.第227回日本泌尿器科学会東北地方会,秋田;2002年9月

## (3) 研究会

- 1) 槻木真明,中田瑛浩,石郷岡学,笹川五十次,三浦道治,伊藤啓一,内藤整:前立腺肥大症に対するILCPの 有効性について.第1回東北排尿障害研究会,仙台;2002年9月
- 2) 橋本透,川添久,石郷岡学,中田瑛浩:排尿障害を初発症状とした、脊髄疾患の2例.第1回東北排尿障害

研究会,仙台;2002年9月

- 3) 石郷岡学,中田瑛浩,久保田洋子,飯島良明,舘野正:慢性的膀胱障害刺激後の脊髄内NK1Rの染色性の変化について.第1回東北排尿障害研究会,仙台;2002年9月
- 4) 伊藤啓一:腎腫瘍に対する後方到達式後腹膜腔鏡下腎部分切除術の経験.第77回東北泌尿器悪性腫瘍研究会, 山形:2002年9月
- 5) 武藤明紀,加藤正典,小野久仁夫,菅野理:腎癌との鑑別が困難だった腎血管筋脂肪腫の一例.第77回東北 泌尿器悪性腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 6) 柴崎智宏,梶沼陽,金子尚嗣:動注化学療法+放射線治療が著効したG-CSF産生膀胱腫瘍の一例. 第77回東北泌尿器悪性腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 7) 柴崎智宏,梶沼陽,金子尚嗣:巨大副腎嚢胞の1例.第78回山形泌尿器科研究会,山形;2002年6月
- 8) 山辺拓也,和泉卓司,柴田雄二:陰嚢を中心とした原因不明の皮膚壊死の1例.第78回山形泌尿器科研究会, 山形;2002年6月
- 9) 橋本透,川添久: CAPD患者に発生した汎発性腹膜炎.第78回山形泌尿器科研究会,山形;2002年6月
- 10) 菅野理,武藤明紀,加藤正典,小野久仁夫:ウベニメクスにより5年間寛解が得られている腎癌リンパ節転 移の1例.第78回山形泌尿器科研究会,山形;2002年6月
- 11) 山辺拓也,和泉卓司,柴田雄二:上腸間膜動脈を主栄養とする左腎細胞癌の1例.第79回山形泌尿器科研究会,山形;2002年11月
- 12) 菅野理,武藤明紀,小野久仁夫:ウベニメクス,UFT併用が奏功した腎細胞癌肺転移の1例.第79回山形泌 尿器科研究会,山形;2002年11月
- 13) 菅野理,武藤明紀,小野久仁夫:尿路上皮癌転移に対するgemcitabine併用化学療法.第79回山形泌尿器科研究会,山形;2002年11月
- 14) 柴崎智宏,梶沼陽,金子尚嗣,柴田雄二:当院における自然排尿型膀胱の経験.第79回山形泌尿器科研究会, 山形:2002年11月
- 15) 大地宏: 培養細胞の不死化とテロアーゼ. 第79回山形泌尿器科研究会, 山形; 2002年11月
- 16) 箭内宏,阿部寛:嚢胞形成を伴った前立腺癌の1例.第79回山形泌尿器科研究会,山形;2002年11月
- 17) 川添久,橋本透:多発性骨転移を有するにもかかわらずPSAがグレーゾーンであった前立腺癌.第79回山形 泌尿器科研究会,山形;2002年11月
- 18) 川村裕子,鈴木仁:急性腎盂腎炎の治療中に発見されたハンチントン病の1例.第79回山形泌尿器科研究会, 山形;2002年11月
- 19) 庄司則史:透析患者の体重増加率について.第79回山形泌尿器科研究会,山形;2002年11月
- 20) 柿崎弘,国井拓也,加藤智幸:市販デジタルカメラによる内視鏡画像撮影.第79回山形泌尿器科研究会,山形:2002年11月
- 21) 冨田善彦:泌尿器科領域の臨床研究・基礎研究.第79回山形泌尿器科研究会,山形;2002年11月
- (4) その他
  - 1) 冨田善彦:腎細胞癌の治療の実際.酒田地区医師会学術講演会,山形;2002年12月
  - 2) 中田瑛浩: 腎移植術の実際. 腎移植セミナー IN山形, 山形; 2002年3月
  - 3) 飯島良明:免疫抑制療法について.腎移植セミナーIN山形,山形;2002年3月

## 顎顔面口腔外科学分野(歯科口腔外科学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Zbiyuan Gu, Takanori Shibata, Zbiqiang Cao, Jianying Feng, and Jian Hu: Chondrocyte Apoptosis in Temporomandibular Joints With Disc Displacement. J Oral Maxillofac Surg 2002; 60: 1026-1031
- 2) 柴田考典,高橋晃治,吉澤信夫,里見孝:当科におけるエピテーゼ(Epithese)修復の現状.耳鼻咽喉科山 形 2002;6:12-15

#### (2) 著書

1) 吉澤信夫編:山形大学医学部歯科口腔外科学講座 歯科口腔外科学ノート.2002:7

#### (3) その他

- 1) 吉澤信夫:皮下出血. 臨床の疑問歯科局所麻酔に関するQ & A. Dental Review 2002; 62:96
- 2) 吉澤信夫:抜歯窩治癒不全. 臨床の疑問歯科局所麻酔に関するQ & A. Dental Review 2002; 62:97
- 3) 吉澤信夫:妊婦に対する麻酔. 臨床の疑問歯科局所麻酔に関するQ & A. Dental Review 2002; 62:99

## 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Shibata T, Mabuchi K: Measurement of the Start-up Friction of TMJ using the Robotics. 80th General Session of the IADR, San Diego; March 2002
- 2 ) Z Gu, J Feng, Shibata T, Z Zhang and J Hu: Cartilage matrix gene expression in rabbit TMJ bilaminar zone. 80th General Session of the IADR, San Diego; March 2002
- 3) MQ Wang, Shibata T and Y Zhang: Correlation of the coronal form of condyle and disc on MR imaging. 80th General Session of the IADR, San Diego; March 2002
- 4) HT Cao, MQ Wang, Shibata T, and Y Zhang: The study of the relationship of condyle form and TMD symptoms in incomplete dentition patients. 80th General Session of the IADR, San Diego; March 2002
- 5 ) JJ He, MQ Wang, Shibata T and Y Zhang: The perforation characteristics of TMJ disc in elder people. 80th General Session of the IADR, San Diego; March 2002
- 6) Kanazawa K, Shibata T, Satomi T, Tomitsuka K, Yoshizawa N: An Implant-Retained Auricular Prosthesis; The Report of A Case. International Congress on Maxillofacial Rehabilitation, Okinawa; October 2002
- 7) Satomi T, Shibata T, Kanazawa K, Yoshizawa N: An Air-Balloon-Retained Orbital Prosthesis; The New Idea. International Congress on Maxillofacial Rehabilitation, Okinawa; October 2002
- 8) Shibata T, Satomi T, Kanazawa K, Yoshizawa N: An Implant-Retained Facial Prosthesis; The Report of A Case. International Congress on Maxillofacial Rehabilitation, Okinawa; October 2002

## (2) 国内の学会

- 1) 櫻井博理,関喜代美,冨塚謙一,吉澤信夫:当科初診患者における喫煙動向の調査.第11回日本有病者歯科 医療学会総会,鹿児島;2002年2月
- 2) 柴田考典,甲斐貞子,米津博文:WG-7 顎関節強直症における画像診断の役割.第7回日本歯科放射線学会 臨床画像大会,横浜;2002年4月
- 3) 櫻井博理,柴田考典,富塚謙一,高橋晃治,吉澤信夫:当科における周術期口腔管理外来の小経験.第56回 日本口腔科学会総会,大阪;2002年5月
- 4) 吉澤信夫,柴田考典,高橋晃治,櫻井博理,小関清子,関喜代美:新卒と既卒歯科医8名の混合臨床研修カリキュラム.第21回日本歯科医学教育学会総会,横浜;2002年7月
- 5) 柴田考典,吉澤信夫,小関清子,櫻井博理,高橋晃治,関喜代美:歯科卒後臨床研修医の形成的評価のためのOSCE応用の試み.第21回日本歯科医学教育学会総会,横浜;2002年7月
- 6) 小山宏樹, 冨塚謙一, 吉澤信夫: 当科における口腔扁平苔癬の臨床統計および病理組織学的検討. 第12回日本口腔粘膜学会総会, 宇都宮; 2002年7月

- 7) 柴田考典,高橋晃治,吉澤信夫:下顎枝矢状分割法における手技習熟度の評価について.第47回(社)日本 口腔外科学会総会,札幌;2002年10月
- 8) 小山宏樹,柴田考典,山森郁,松下賢,高橋晃治,吉澤信夫,賀来亨:智歯抜去後に併発した咬筋内膿瘍の 1例.第47回(社)日本口腔外科学会総会,札幌;2002年10月
- 9) 小関清子,柴田考典,高橋晃治,吉澤信夫:側方到達法による下顎頭内側化骨性病変の切除.第47回(社)日本口腔外科学会総会,札幌;2002年10月
- 10) 金澤香,柴田考典,小関清子,高橋晃治,吉澤信夫:高齢者の習慣性顎関節前方脱臼に対する関節隆起形成 術の小経験.第47回(社)日本口腔外科学会総会,札幌;2002年10月
- 11) 冨塚謙一,小山宏樹,吉澤信夫:当科における口腔白板症の臨床的および病理組織学的検討.第47回(社)日本口腔外科学会総会,札幌;2002年10月
- 12) 高橋晃治,柴田考典,吉澤信夫:術前・術後のデキサメタゾン投与が下顎枝矢状分割法による生体反応に与える影響について.第47回(社)日本口腔外科学会総会,札幌;2002年10月
- 13) 吉澤信夫:ワークショップ・2 医学部歯科口腔外科の現状と将来展望.第47回(社)日本口腔外科学会総会,札幌;2002年10月

#### (3) 国内地方会

- 1) 小関清子,高橋晃治,松下賢,植松敬,羽鳥清人,柴田考典,吉澤信夫:当科における顎矯正手術症例のクリニカルパスについて.第28回(社)日本口腔外科学会北日本地方会,弘前;2002年6月
- 2) 高橋晃治,柴田考典,松下賢,吉澤信夫,山森郁,安川和夫,須永芳弘:両側性唇顎口蓋裂を伴った18q-症候群の一例.第28回(社)日本口腔外科学会北日本地方会,弘前;2002年6月
- 3) 冨塚謙一: (特別講演)山形大学附属病院歯科口腔外科における顎顔面外傷治療の現状. 平成14年度山形県歯科医学会・東北矯正歯科学会地域別セミナー共催学術講演会,山形;2002年11月

#### (4) 研 究 会

1) 里見孝:前頭骨植立インプラントを支持とした眼窩上顎欠損エピテーゼの1例.第4回口腔顎顔面技工懇話会,横浜;2002年8月

#### (5) その他

- 1) 吉澤信夫:被告席からの報告.(社)山形市歯科医師会学術講演会,山形;2002年3月
- 2) 吉澤信夫: 摂食機能とQOL. 平成14年度山形大学医学部技術部職員研修, 山形; 2002年8月
- 3) 吉澤信夫:口腔粘膜疾患について.天童市東村山郡歯科医師会学術研修会,天童;2002年10月
- 4) 吉澤信夫:口腔ケアと介護予防 気道感染予防における口腔ケア . 地域ケアコーディネーション研修会, 三川町(山形県); 2002年11月
- 5) 吉澤信夫:歯科口腔外科におけるインフォームドコンセント.大阪歯科大学非常勤講師特別講義,大阪; 2002年11月
- 6) 里見孝: 当科における口腔顎顔面補綴. 生体補綴に携わるデンタル・メディカル・アーティスト学術座談会, 日本技工士会,東京; 2002年11月
- 7) 吉澤信夫:下唇(赤唇)病変の切除と形成術.米沢志和会,米沢;2002年12月
- 8) 満田隆之:ネパール歯科医療協力会の活動と今後の展望.置賜地区歯科衛生士会総会,川西町(山形県); 2002年12月

### 3. その他

- 1) 第3回山形歯科口腔外科臨床懇話会.山形,2002年2月16日
- 2) 第4回山形歯科口腔外科臨床懇話会.山形,2002年10月26日

# 発達生体防御学講座

## 病理病態学分野(病理学第一)

## 1.論 文

## (1) 原 著

- 1) Maeda K, Matsuda M, Suzuki H, Saitoh H: Immunohistochemical recognition of human follicular dendritic cells (FDCs) in routinely processed paraffin sections. J Histochem Cytochem 2002; 50: 1475-1485
- 2) Maeda K, Matsuda M, Yuda F, Saitoh H: Malignant lymphoma in Yamagata Prefecture: retrospective investigation on incidence and preferential sites, and a re-evaluation according to newly published WHO (World Health Organization) classification. J Clin Exp Hematopathol 2002; 42: 47-54
- 3) Ito N, Semba S, Ito M, Takeda H, Kawata S, Yamakawa M: Phosphorylation of Akt/PKB is required for suppression of cancer cell apoptosis and tumor progression in human colorectal carcinoma. Cancer 2002; 94: 3127-3134
- 4) Semba S, Itoh N, Ito M, Harada M, Yamakawa M: The in vitro and in vivo effects of 2-(4-morpholinyl)-8-phenyl-chromone (LY294002), a specific inhibitor of phosphatidylinositol 3'-kinase, in human colon cancer cells. Clin Cancer Res 2002; 8: 1957-1963
- 5) Semba S, Itoh N, Ito M, Youssef EM, Harada M, Moriya T, Kimura W, Yamakawa M: Down-regulation of *PIK3CG*, a catalytic subunit of phosphatidylinositol 3-OH kinase, by CpG hypermethylation in human colorectal carcinoma. Clin Cancer Res 2002; 8: 3824-3831
- 6) Suzuki A, Masuda A, Nagata H, Kameoka S, Kikawada Y, Yamakawa M, Kasajima T: Mature dendritic cells make clusters with T cells in invasive margin of colorectal carcinoma. J Pathol 2002; 196: 37-43
- 7) Kumazawa H, Maeda K, Ito M, Yamakawa M, Hino T, Nakamura C, Uchimura F, Arai S: Expression of glucocorticoid receptor and 11 -hydroxysteroid dehydrogenase in a case of pulmonary epithelioid hemangioendothelioma. J Clin Pathol: Mol Pathol 2002; 55: 61-64
- 8) Yamakawa M, Abdoh A, Masuda A, Miyauchi S, Kasajima T, Ohmori A, Oguma T, Takasaki K: Follicular dendritic cell sarcoma of the omentum. Virchows Arch 2002; 440: 660-663
- 9) Inoue T, Takahashi T, Yamakawa M: Expression of complement-regulating factors in gastric cancer cells. J Clin Pathol: Mol Pathol 2002; 55: 193-199
- 10 ) Kawanami T, Kurita K, Yamakawa M, Omoto E, Kato T: Cerebrovascular disease in acute leukemia: A clinicopathological study of 14 patients. Int Med 2002; 41: 1130-1134
- 11) Abe K, Asano K, Yamakawa M, Ueda M: Expression of cell-cycle markers in bladder cancer: superiority of cyclin A and Ki-67 as indicators of poor prognosis. Jikeikai Med J 2002; 49: 163-171
- 12) 高山真,五十嵐美晴,阿部修一,山口裕之,柴田健彦,阿部茂,佐藤隆行,白壁昌憲,山川光徳:完全房室 ブロックを呈した心嚢原発B細胞リンパ腫の1例.日本内科学会雑誌 2002;91:231-233
- 13) 伊藤真文,前田邦彦,山川光徳: 腎原発カルチノイド腫瘍の1例.診断病理 2002;19:39-42
- 14) 前田邦彦,斉藤仁昭,山川光徳,松田幹夫:山形県における悪性リンパ腫の新WHO分類に基づく病理組織学 的再検討.福島医学雑誌 2002;52:82-83
- 15) 仙波秀峰, 笹野公伸, 山川光徳:『細胞診:基礎と臨床 DNA microarray』. 病理と臨床 2002; 20:105-112 (2) 著 書
  - 1) Saito T, Mitsui H, Watanabe H, Terui Y, Takeda T, Aoki M, Saito K, Nagashima R, Takeda H, Misawa H, Togashi H, Yamakawa M, Kawata S: Expression of musashi-1 antigen, a neural stem cell RNA-binding protein, in the liver tissues of patients with hepatitis. In: Okita K, ed. Growth, proliferation, and apoptosis in hepatocytes. Tokyo; Springer-Verlag, 2002: 11-18
  - 2) Watanabe S, Tochikura A, Takeda H, Kawata S, Kimura W, Yamakawa M: Localization and phenotypic characteristics of mucosal dendritic cells in ulcerative colitis. In: Ree HJ, Akagi T, eds. Lymphoreticular cells and diseases. Seoul; The Korean Society of Pathologists, 2002: 153-158
  - 3) Okazaki S, Ohta N, Aoyagi M, Yamakawa M, Imai Y: Expression of glucocorticoid receptor in non-neoplastic and neoplastic lymphoid tissues. In: Ree HJ, Akagi T, eds. Lymphoreticular cells and diseases. Seoul; The Korean Soci-

ety of Pathologists, 2002: 159-1163

## 2.学会報告

#### (1) 国外の学会

- 1) Harada M, Mitsui H, Watanabe S, Takeda H, Kawata S, Yamakawa M, Imai Y: Inhibition of micrometastasis by dendritic cells fused with colon cancer cells in mouse experimental liver metastasis model. 7th International symposium on dendritic cells, Bamberg; September 2002
- 2) Iizawa K, Yamakawa M, Imai Y, Amagasa S, Horikawa H: Dexamethasone inhibits maturation of human monocytederived dendritic cells via down-regulation of glucocorticoid receptor, 7th International symposium on dendritic cells, Bamberg; September 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 仙波秀峰,山川光徳:ヒト大腸癌におけるAkt/PKBリン酸化の細胞増殖・アポトーシスに対する影響. 第91回日本病理学会,横浜;2002年3月
- 2) 渡辺晋一郎,前田邦彦,伊藤真文,山川光徳:潰瘍性大腸炎における活動性炎症と樹状細胞との関連性. 第91回日本病理学会,横浜;2002年3月
- 3) 原田将,三井浩子,渡辺慎一郎,武田弘明,河田純男,山川光徳:融合樹状細胞を用いたマウス大腸癌の免疫療法.第39回日本消化器免疫学会,新潟;2002年3月
- 4) 鈴木俊紀, 布施恒和, 前田邦彦: 眼瞼より発生したMalignant epithelioid Schwannomaの1例.第41回日本臨床細胞学会, 下関; 2002年11月

### (3) 国内地方会

- 1) 斉藤仁昭,山川光徳,笠島武,斉藤善広,武藤大成:膵体部腫瘍の一例.第54回日本病理学会東北支部学術 集会,仙台;2002年2月
- 2) 角田力弥,結城秀樹,前田邦彦,中村直哉,阿部正文,山川光徳:肺に出現した多発生結節性病変の一例. 第55回日本病理学会東北支部学術集会,山形;2002年7月

## (4) 研究会

- 1) 前田邦彦,赤塚直子,松田幹夫,山川光徳:ヒト濾胞樹状細胞(Follicular Dendritic Cells: FDC)の分化と成熟 剖検胎児リンパ節の系統的免疫組織化学的観察 . 第13回日本樹状細胞研究会シンポジウム「樹状細胞の臓器特性と疾患」,岡山;2002年7月
- 2) 前田邦彦,田嶋克史,山川光徳: B-細胞性悪性リンパ腫の骨髄浸潤の評価法に関する検討.第3回山形造血器疾患研究会 秋期懇話会,山形;2002年10月
- 3) 前田邦彦,原田将,田村真明,瓜生康浩,畑垣文,松田幹夫,山川光徳:血液貪食症候群を伴った B-細胞性悪性リンパ腫の一剖検例.第18回悪性リンパ腫研究会,郡山;2002年11月

## (5) そ の 他

1) 山川光徳:(招待講演)濾胞樹状細胞の形態と機能.第52回東北臨床超微形態懇話会,仙台;2002年12月

## 3. その他

1) 日本病理学会東北支部学術集会分科会 第1回日本病理学会東北支部学生病理学夏期セミナー(夏の学校), 山形;2002年9月

# 感染症学分野(細菌学)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Matsuzaki Y, Sugawara K, Mizuta K, Tsuchiya E, Muraki Y, Hongo S, Suzuki H, Nakamura K: Antigenic and genetic characterization of influenza C viruses which caused two outbreaks in Yamagata City, Japan, in 1996 and 1998. J Clin Microbiol 2002; 40: 422-429
- 2) Tsuchiya E, Sugawara K, Hongo S, Matsuzaki Y, Muraki Y, Li Z-N, Nakamura K: Effect of addition of new oligosaccharide chains to the globlar head of influenza A/H2N2 virus haemagglutinin on the intracellular transport and biological activities of the molecule. J Gen Virol 2002; 83: 1137-1146
- 3) Tsuchiya E, Sugawara K, Hongo S, Matsuzaki Y, Muraki Y, Nakamura K: Role of overlapping glycosylation sequons in antigenic properties, intracellular transport and biological activities of influenza A/H2N2 virus haemagglutinin. J Gen Virol 2002; 83: 3067-3074

# 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

1) Hongo S, Kohno Y, Muraki Y, Sugawara K, Matsuzaki Y, Tsuchiya E, Li Z-N: NS2 protein of influenza C virus is found in purified virions. XIIth International congress of virology, Paris; July 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 松嵜葉子,西村秀一,高尾信一,島田慎一,水田克巳:山形,宮城,埼玉,広島の4県で同時期に分離されたC型インフルエンザウイルスの性状.第43回日本臨床ウイルス学会,秋田;2002年6月
- 2) 松嵜葉子,菅原勘悦,高下恵美,村木靖,本郷誠治,西村秀一,水田克巳:宮城県における10年間のサーベイランスで分離されたC型インフルエンザウイルスの性状.第50回日本ウイルス学会,札幌;2002年10月
- 3) 阿部靖弘,高下恵美,菅原勘悦,松嵜葉子,村木靖,本郷誠治:香港型インフルエンザウイルスHA蛋白の生物活性に及ぼす糖鎖付加の影響.第50回日本ウイルス学会,札幌;2002年10月
- 4) 高下恵美, 菅原勘悦, 松嵜葉子, 村木靖, 本郷誠治: C型インフルエンザウイルスHEとA型インフルエンザウイルスHAのキメラ蛋白の膜融合能.第50回日本ウイルス学会, 札幌; 2002年10月
- 5) 河野吉彦,村木靖,菅原勘悦,阿部靖弘,高下恵美,松嵜葉子,本郷誠治:C型インフルエンザウイルスの NS2蛋白はウイルス粒子内に検出される.第50回日本ウイルス学会,札幌;2002年10月

### (3) 国内地方会

- 1) 松嵜葉子, 菅原勘悦, 高下恵美, 村木靖, 本郷誠治, 水田克巳, 高尾信一, 島田慎一, 西村秀一: 山形, 宮城, 埼玉, 広島の4県で同時期に分離されたC型インフルエンザウイルスの性状. 第56回日本細菌学会東北支部総会, 盛岡; 2002年8月
- 2) 阿部靖弘,高下恵美,菅原勘悦,松嵜葉子,村木靖,本郷誠治:香港型インフルエンザウイルスHA蛋白の生物活性に及ぼす糖鎖付加の影響.第56回日本細菌学会東北支部総会,盛岡;2002年8月
- 3) 高下恵美, 菅原勘悦, 松嵜葉子, 村木靖, 本郷誠治: C型インフルエンザウイルスHEとA型インフルエンザウイルスHAのキメラ蛋白の膜融合能.第56回日本細菌学会東北支部総会, 盛岡; 2002年8月

# 免疫学分野(免疫学・寄生虫学)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Watanabe T, Sendo F: Physical association of 2 integrin with GPI-80, a novel glycosylphosphatidylinositol-anchored protein with potential for regulating adhesion and migration. Biochem Biophys Res Comm 2002; 294: 692-694
- 2 ) Yoshitake H, Takeda Y, Nitto T, Sendo F: Cross-linking of GPI-80, a possible regulatory molecule of cell adhesion, induces up-regulation of CD11b/CD18 expression on neutrophil surfaces and shedding of L-selectin. J Leukoc Biol 2002; 71: 205-211
- 3) Nitto T, Araki Y, Takeda Y, Sendo F: Pharmacological analysis for mechanisms of GPI-80 release from tumour necrosis factor--stimulated human neutrophils. Br J Pharmacol 2002; 137: 353-360
- 4) Koike S, Takeda Y, Hozumi Y, Okazaki S, Aoyagi M, Sendo F: Immunohistochemical localization in human tissues of GPI-80, a novel glycosylphosphatidyl inositol-anchored protein that may regulate neutrophil extravasation. Cell Tissue Res 2002; 307: 91-99
- 5 ) Shinkai Y, Satoh H, Takeda N, Fukuda M, Chiba E, Kato T, Kuramochi T, Araki Y: A testicular germ cell-associated serine-threonine kinase, MAK is dispensable for sperm formation. Mol Cell Biol 2002; 22: 3276-3280
- 6) Shimozawa N, Ono Y, Muguruma K, Hioki K, Araki Y, Shinkai Y, Kono T, Ito M: Direct production of gene-targeted-mice from ES cells by nuclear trasnfer and gene transmission to their progeny. Exp Anim 2002; 51: 375-381
- 7) Miyoshi I, Takahashi K, Kon Y, Okamura T, Mototani Y, Araki Y, Kasai N: A mouse transgenic for murine oviduct-specific glycoprotein promoter-driven simian virus 40 large T-antigen: Tumor formation and its hormonal regulation. Mol Reprod Dev 2002; 63: 168-176
- 8) Shimozawa N, Ono Y, Kimoto S, Muguruma K, Sotomaru Y, Hioki K, Araki Y, Shinkai Y, Kono T, Ito M: Abnormalities in cloned mice are not transmitted to the progeny. Genesis 2002; 34: 203-207
- 9) Araki Y, Suzuki K, Matuzik RJ, Obinata M, Orgebin-Crist MC: Immortalized epididymal cell lines from transgenic mice over expressing temperature-sensitive siman virus 40 T-antigen gene. J Andorol 2002; 23: 854-869

### (2) 著書

- 1) Orgebin-Crist M-C, Lareyre J-J, Suzuki K, Araki Y, Fouchecourt S, Matusik RJ, Ong DE: Retinoids and epididymal function. In: Robaire B, Hinton BT, eds. The Epididymis. New York; Kluwer Academic/Plenum Publishers, 2002: 339-360
- 2) Araki Y: Formation and structure of mammalian ovaries. In: Tulsiani DRP ed. Introduction to Mammalian Reproduction. Norwell, MA; Kluwer Academic Publishers, 2002: 141-153

### (3) 総 説

1) 日塔武彰,仙道富士郎:白血球上のGPIアンカー型蛋白質と疾患.検査と技術 2002;30:161-163

# 2. 学 会 報 告

# (1) 研究会

1) 武田弘明,武田裕司,荒木慶彦,仙道富士郎,河田純男:潰瘍性大腸炎に対するアダカラム施行時のsGPI-80 とIL-1raの検討.第1回好中球研究会,鹿児島;2002年11月

# 発達精神医学分野 (精神神経医学)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Hayashi H, Kawakatsu S, Watanabe K, Fukasawa T, Otani K: Neuroleptic malignant syndrome complicated by massive intestinal bleeding in a patient with chronic renal failure. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2002; 26: 1225-1227
- 2) Kato K, Wada T, Kawakatsu S, Otani K: Improvement of both psychotic symptoms and parkinsonism in a case of dementia with Lewy bodies by the combination therapy of risperidone and L-DOPA. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2002; 26: 201-203
- 3) Otsuji Y, Okuyama N, Aoshima T, Fukasawa T, Kato K, Gerstenberg G, Miura M, Ohkubo T, Sugawara K, Otani K: No effect of itraconazole on the single oral dose pharmacokinetics and pharmacodynamics of estazolam. Ther Drug Monit 2002; 24: 375-378
- 4) Okuyama N, Kawakatsu S, Wada T, Komatani A, Otani K: Occipital hypoperfusion in a patient with psychogenic visual disturbance. Psychiatry Res Neuroim 2002; 114: 163-168
- 5 ) Yasui-Furukori N, Kondo T, Ishida M, Furukori H, Suzuki A, Kaneko S, Inoue M, Otani K: Therapeutic effects of bromperidol on the five dimensions of schizophrenic symptoms. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2002; 26: 53-57
- 6) Yoshida K, Ito K, Sato K, Takahashi H, Kamata M, Higuchi H, Shimizu T, Itoh K, Inoue K, Tezuka T, Suzuki T, Oh-kubo T, Sugawara K, Otani K: Influence of the serotonin transporter gene-linked polymorphic region on the antide-pressant response to fluvoxamine in Japanese depressed patients. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2002; 26: 383-386
- 7) Yasui-Furukori N, Kondo T, Ishida M, Tanaka O, Mihara K, Kaneko S, Otani K: The characteristics of side-effects of bromperidol in schizophrenic patients. Psychiatry Clin Neurosci 2002; 56: 103-106
- 8) Yasui-Furukori N, Kondo T, Suzuki A, Mihara K, Kaneko S, Otani K: Comparison of prolactin concentrations between haloperidol and bromperidol treatments in schizophrenic patients. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2002; 26: 575-578
- 9) Miura M, Ohkubo T, Sugawara K, Okuyama N, Otani K: Determination of estazolam in plasma by high-performance liquid chromatography with solid-phase extraction. Analytical Sciences 2002; 18: 525-528
- 10 ) Mihara K, Yasui-Furukori N, Kondo T, Ishida T, Ono S, Ohkubo T, Osanai T, Sugawara K, Otani K, Kaneko S: Relationship between plasma concentrations of trazodone and its active metabolite, m-chlorophenylpiperazine, and its clinical effect in depressed patients. Ther Drug Monit 2002; 24: 563-566
- 11 ) Ito K, Yoshida K, Sato K, Takahashi H, Kamata M, Higuchi H, Shimizu T, Itoh K, Inoue K, Tezuka T, Suzuki T, Oh-kubo T, Sugawara K, Otani K: A variable number of tandem repeats in the serotonin transporter gene dose not affect the antidepressant response to fluvoxamine. Psychiatry Res 2002; 111: 235-239
- 12 ) Yoshida K, Naito S, Takahashi H, Sato K, Ito K, Kamata M, Higuchi H, Shimizu T, Itoh K, Inoue K, Tezuka T, Suzuki T, Ohkubo T, Sugawara K, Otani K: Monoamine oxidase: a gene polymorphism, tryptophan hydroxylase gene polymorphism and antidepressant response to fluvoxamine in Japanese patients with major depressive disorder. Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 2002; 26: 1279-1283
- 13 ) Sato K, Yoshida K, Takahashi H, Ito K, Kamata M, Higuchi H, Shimizu T, Itoh K, Inoue K, Tezuka T, Suzuki T, Ohkubo T, Sugawara K, Otani K: Association between-1438 G/A promoter polymorphism in the 5-HT<sub>2A</sub> receptor gene and fluvoxamine response in Japanese patients with major depressive dosorder. Neuropsychobiology 2002; 46: 136-140
- 14) Ono S, Suzuki T, Kondo K, Mihara N, Yasui-Furukori N, Ishida M, Furukori H, Kaneko S, Otani K: The-141c ins/del poiymorphism in the dopamine D2 receptor gene promoter region is associated with anxiolytic and antide-pressive effects during bromperidol and nemonapride treatments in schizophrenic patients. Int clin psychopha 2002;

17 (suppl2): S7

### (2) 著書

- 1) Otani K, Mihara K, Yasui-Furukori N, Suzuki A, Kondo T, Kaneko S: Clinical implications of pharmacogenetics of antidepressants. In: International Congress Series 1244. Amsterdam; Elsevier, 2002: 105-109
- 2) Mihara K, Kondo T, Yasui-Furukori N, Ono S, Kaneko S, Otani K: Dopamine D<sub>2</sub> receptor gene polymorphisms and clinical response to selective dopamine receptor antagonists. In: International Congress Series 1244. 2002: 77-83
- 3) Kondo T, Mihara K, Suzuki A, Ono S, Kaneko S, Yasui-Furukori N, Otani K: Genotyping analysis as a possible predictor of pharmacokinetic and clinical effects of antipsychotic drugs. In: International Congress Series 1244. 2002: 111-118

### (3) 総 説

- 1) 大谷浩一:向精神薬の薬理遺伝.精神神経学雑誌 2002;104:71-75
- 2) 大谷浩一:睡眠薬の薬物動態および、副作用・相互作用.薬局 2002;53:1699-1704
- 3) 古郡規雄,立石智則,大谷浩一:新しい向精神薬・精神科関連薬の薬物動態学.精神医学 2002;44:333-339
- 4) 川勝忍:老年期の脳器質性精神障害.最新精神医学 2002;7:59-65

### 2. 学 会 報 告

### (1) 国内の学会

- 1) 川勝忍, 澁谷譲, 大谷浩一: 反復性うつ病が先行したレビー小体型痴呆の一例. 第43回日本神経病理学会総会, 東京; 2002年5月
- 2) 深澤隆,川勝忍,鈴木春芳,林博史,大谷浩一,十東支朗:左側大脳脚・黒質梗塞により躁状態を呈した一例,第7回日本神経精神医学会,東京;2002年6月
- 3) 林博史,川勝忍,鈴木春芳,深澤隆,大谷浩一,十東支朗: Mild Cognitive ImpairmentにおけるXe-133-SPECT による局所脳血流量の検討.第17回日本老年精神医学会,金沢;2002年6月

### (2) 国内地方会

- 1) 鈴木春芳,伊藤正尚,川勝忍,大谷浩一:著明な幻覚妄想状態を伴い悪性症候群を合併したレビー小体型痴 呆の1例.第56回東北精神神経学会,山形;2002年9月
- 2) 近藤習子,林博史,江口拓也,小山隆信,大谷浩一:ブロモクリプチン増強療法に反応したコタール症候群の1例.第56回東北精神神経学会,山形;2002年9月
- 3) 氏家幸宏,赤羽隆樹,沼田由紀夫:公立置賜総合病院精神科におけるせん妄患者受診例.第56回東北精神神経学会,山形;2002年9月
- 4) 赤羽隆樹,氏家幸宏,沼田由紀夫:公立置賜総合病院における精神科病棟の機能について.第56回東北精神神経学会,山形;2002年9月
- 5) 小倉裕,近藤習子,川勝忍,大谷浩一:緊張病症状で初発した辺縁系脳炎の一例.第56回東北精神神経学会, 山形;2002年9月

# (3) 研究会

- 1) 林博史,川勝忍,鈴木春芳,大谷浩一:右前頭部の髄膜腫を合併した側頭型ピック病の一例.第13回山形老年期痴呆研究会,山形;2002年3月
- 2) 吉川潔,渡部俊幸,松本千鶴子,川勝忍,大谷浩一:前頭葉ロボトミー後50年経過後にアルツハイマー型痴呆を発症したと考えられた一例.第13回山形老年期痴呆研究会,山形;2002年3月
- 3) 東海林岳樹,青嶋利明,大谷浩一:行動療法的アプローチが治療導入に有効であった神経性無食欲症の一例. 第31回山形心身医学研究会,山形;2002年11月
- 4) 氏家幸宏,鈴木春芳,大谷浩一:口腔領域セネストパチーにおける治癒過程の考察.第31回山形心身医学研究会,山形;2002年11月

### (4) その他

- 1) 川勝忍:(特別講演)痴呆性疾患の診断.宮崎老年期痴呆研究会,宮崎;2002年2月
- 2) 川勝忍:アルツハイマー病の画像診断:非定型例・鑑別診断を含めて.日本神経学会東北地区生涯教育講演会,仙台;2002年3月

- 3) 大谷浩一: (特別講演)向精神薬の相互作用.平成14年度山形県合同薬剤師研究会,山形;2002年5月
- 4) 川勝忍: 痴呆性疾患における脳血流SPECTの意義 とくにアルツハイマー型痴呆をはじめとする変性型痴呆について . 第20回動態核医学研究会,シンポジウム「核医学21世紀の展望」脳循環核医学,仙台;2002年5月
- 5) 川勝忍:(特別講演)初期の痴呆の見分け方.酒田市医師会学術講演会,酒田;2002年8月

# 3. その他

1) 第56回東北精神神経学会,山形;2002年9月

# 小児医科学分野(小児科学)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Kanai M, Numakura C, Sasaki A, Shirahata E, Akaba K, Hashimoto M, Hasegawa H, Shirasawa S, Hayasaka K: A novel mutation of the RET gene in a patient with isolated congenital central hypoventilation syndrome. Tohoku J Exp Med 2002; 196: 241-246
- 2) Otagiri T, Mitsui T, Kawakami T, Katsuura M, Maeda K, Ikegami T, Sendo D, HayasakaK: Haemophagocytic lymphohistiocytosis following measles vaccination. Eur J Pediatr 2002; 161: 494-496
- 3) Shiihara T, Kato M, Honma T, Ohtaki S, Sawaishi Y, Hayasaka K: Fluctuation of computed tomographic findings in white matter in Alexander's disease. J Child Neurol 2002; 17: 227-230
- 4) Shiihara T, Kato M, Honma T, Kimura T, Matsunaga A, Kodama H, Hayasaka K: Progressive sliding hiatal hernia as a complication of Menkes' syndrome. J Child Neurol 2002; 17: 401-402
- 5) Suzuki H, Sato S, Tanabe S, Hayasaka K: Beraprost sodium for pulmonary hypertension with congenital heart disease. Pediatr Int 2002; 44: 528-529
- 6) Numakura C, Lin C, Ikegami T, Guldberg P, Hayasaka K: Molecular analysis in Japanese patients with Charcot-Marie-Tooth disease: DGGE analysis for PMP22, MPZ, and Cx32/GJB1 mutations. Hum Mutat 2002; 20: 392-398
- 7) Matsunaga A, Numakura C, Kawakami T, Itho Y, Kawabata I, Masakane I, Suzuki T, Suzuki M, Goto T, Itho K, Hayasaka K: Associaton of the uteroglobin gene polymorphism with IgA nephropathy. Am J Kidney Dis 2002; 39: 36-41
- 8) 川上貴子,三井哲夫,仙道大,金沢千佳子,前田勝子,勝浦理彦,清水行敏,横山新吉:造血幹細胞移植後の急性膵炎:血清アミラーゼ値の上昇の頻度と成因について.臨床血液 2002;43:176-182
- 9) 松永明,椎原隆,木村敏之,早坂清:シクロスポリン(CyA)内服中に起こったposterior reversible encephalopathy syndromeの1例.日本小児腎臓病学会雑誌 2002;15:95-98
- 10) 松永明,沼倉周彦,簡野美弥子,吉村洋三,早坂清:リポ蛋白糸球体症の1例.日本小児科学会雑誌 2002; 106:500-503

### 2. 学 会 報 告

# (1) 国内の学会

- 1) 田邉さおり,仁木敬夫,佐藤哲,鈴木浩,早坂清:フォンタン型手術後の蛋白漏出性胃腸症に対するヘパリン療法.第105回日本小児科学会学術集会.名古屋;2002年4月
- 2) 金井雅代,佐々木綾子,沼倉周彦,白幡恵美,早坂清,大滝晋介,橋本基也,長谷川久弥,白澤専二:先天 性中枢性肺胞低換気症候群における遺伝子異常の検索.第105回日本小児科学会学術集会,名古屋;2002年4 月
- 3) 赤羽和博,佐々木綾子,早坂清:アンチトロンビン欠乏症の母体より出生した同症姉妹例の周産期管理. 第38回日本新生児学会総会・学術集会,神戸;2002年7月
- 4) 鈴木浩,田辺さおり,仁木敬夫,早坂清:中欠損の心室中隔欠損の手術適応に関する検討.第38回日本小児循環器学会総会,東京;2002年7月
- 5) 田邉さおり,鈴木浩,佐藤哲,仁木敬夫,早坂清:小児慢性心不全に対する 遮断薬療法.第38回日本小児 循環器学会総会.東京;2002年7月
- 6) 仁木敬夫,鈴木浩,田辺さおり,早坂清:動脈管コイル閉鎖術前後の心エコー図所見.第38回小児循環器学会総会,東京;2002年7月
- 7) 佐々木綾子,赤羽和博,阿部暁子,古山政幸,早坂清:舌根部の嚢腫により呼吸困難を来した2例.第54回 北日本小児科学会,仙台;2002年9月
- 8) 川上貴子,三井哲夫,荒井崇彦,古山政幸,中村和幸,仙道大,池上徹,沼倉周彦,早坂清:FluとCYによる前処置で血縁者間骨髄移植を施行した,再生不良性貧血の1例.第25回日本造血細胞移植学会総会,大阪; 2002年10月

- 9) 三井哲夫,川上貴子,早坂清,中畑龍俊:先天性好中球減少症にみられるG-CSF受容体切断型遺伝子異常の 臨床的意義.第44回日本小児血液学会総会,東京;2002年10月
- 10) 池上徹,仙道大,沼倉周彦,川上貴子,荒井崇彦,簡野美弥子,中村和幸,三井哲夫,早坂清,奥山直樹,山際岩雄:ビンクリスチンによる神経毒性に対してグルタミン酸投与が奏効した固形腫瘍2例.第18回日本小児がん学会,福岡;2002年11月
- 11) 佐々木綾子,赤羽和博,早坂清: Dandy-Walker症候群を合併した47,XXXの1例.第47回日本未熟児新生児学会,大阪;2002年12月

### (2) 国内地方会

- 1) 田邉さおり,鈴木浩,仁木敬夫,早坂清,阪西通夫,佐藤聡,金杉浩,大月審一,佐野俊二:出生前診断が 有用と考えられた左心低形成症候群の1例.第72回日本小児科学会山形地方会.山形;2002年6月
- 2) 佐々木綾子,赤羽和博,古山政幸,早坂清,鈴木豊,小池修治、藤山純一:先天喘鳴,発育不良で発見された甲状舌管嚢胞の一例.第72回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年6月
- 3) 高野かつみ,佐藤哲,赤塚和彦,沼崎政良,中里満:新生児仮死・重症貧血を呈した胎児母体間輸血症候群の1例.第70回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年6月
- 4) 下風朋章,木村敏之,椎原隆,松永明,秋場伴晴,秋葉香,早坂清:99mTc標識アルブミンによる消化管シンチグラフィーが診断に有用であった蛋白漏出性胃腸症の1乳児例.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 5) 高野かつみ, 佐藤哲, 木島一己, 鈴木義広, 石井里佳, 新澤陽英, 中里満: 非アルコール性脂肪性肝炎の1 例. 第71回日本小児科学会山形地方会, 山形; 2002年12月
- 6) 簡野美弥子,三井哲夫,仙道大,川上貴子,池上徹,荒井崇彦,早坂清,山際岩雄,奥山直樹,坂本美千代,中里満,佐藤哲,小幡和也,大内孝幸,橋本基也:頸部リンパ節腫大で受診し生検を施行した4例.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 7) 中村和幸,椎原隆,木村敏之,松永明,勝浦理彦,前田勝子,簡野美弥子,早坂清,大沼郁子,山下英俊: Sturge-Weber症候群の1女児例.第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 8) 前田勝子,橋本多恵子,簡野美弥子,勝浦理彦:横断性脊髄炎の2例.第73回日本小児科学会山形地方会, 山形;2002年12月
- 9) 鈴木浩,田辺さおり,仁木敬夫,早坂清,山際岩雄,島崎靖久:乳児期早期の動脈管開存に対するコイル閉鎖術.第73回日本小児科学会山形地方会.山形;2002年12月

### (3) 研究会

- 1) 鈴木浩,中里満,佐藤哲,田辺さおり,仁木敬夫,早坂清,大滝晋介:心房中隔欠損を合併した肺動脈弁狭窄症に対する経皮的バルーン肺動脈弁形成術の長期フォローアップ成績.第13回日本Pediatric Interventional Cardiology研究会,徳島;2002年1月
- 2) 仁木敬夫,鈴木浩,佐藤哲,田辺さおり,早坂清:右総頸動脈アプローチによる経皮的バルーン大動脈弁形成術後にHorner症候群を合併した大動脈弁狭窄症の1新生児例.第13回日本Pediatric Interventional Cardiology 研究会,徳島;2002年1月
- 3) 田邉さおり,鈴木浩,仁木敬夫,早坂清,阪西通夫,佐藤聡,金杉浩,大月審一,佐野俊二:胎児心エコー 図が有用であった左心低形成症候群の一例.第32回山形心臓超音波研究会,山形;2002年2月
- 4) 仁木敬夫,鈴木浩,田辺さおり,早坂清:動脈管コイル閉鎖術前後の心エコー図所見の検討.第32回山形心臓超音波研究会,山形;2002年2月
- 5) 松永明,椎原隆,木村敏之,早坂清:シクロスポリン内服中に起こったposterior reversible encephalopathy syndromeの一例.東北小児腎臓病研究会,秋田;2002年3月
- 6) 田邉さおり,鈴木浩,仁木敬夫,早坂清,阪西通夫,佐藤聡,金杉浩:先天性心疾患の出生前診断.第19回 山形県周産期・新生児医療研究会,山形;2002年4月
- 7) 奥山直樹,山際岩雄,大内孝幸,鈴木律子,高橋一臣,島﨑靖久,赤羽和博,佐々木綾子,手塚尚広,堤誠司:横隔膜ヘルニア治療経験:特に最近の周産期管理について.第19回山形県周産期・新生児医療研究会,山形;2002年4月
- 8) 土信田雅一,斉藤真紀,五十嵐秀樹,堤誠司,手塚尚広,倉智博久,佐々木綾子,赤羽和博,早坂清:胎児 染色体異常18トリソミ-の診断とその産科的適応.第19回山形県周産期・新生児医療研究会,山形;2002年4

月

- 9) 佐々木綾子,赤羽和博,早坂清,堤誠司,手塚尚之,倉智博久:過去9年間における当院出生児の動向. 第19回周産期・新生児医療研究会,山形;2002年4月
- 10) 川上貴子,三井哲夫,荒井崇彦,小田切徹州,池上徹,仙道大,早坂清:発症時に巨核球系の異型性を認めたAML(M1)の1例.第40回東北小児白血病研究会,仙台;2002年4月
- 11) 田邉さおり,鈴木浩,木村敏之,早坂清:高血圧の1幼児例.第3回山形小児難病研究会,山形;2002年8月
- 12) 佐々木綾子,赤羽和博,早坂清,佐藤慎哉,嘉山孝正: Dandy-Walker syndromeを合併したsuper female(47, XXX)の一例.第7回山形小児神経研究会,山形;2002年9月
- 13) 松永明,新沢陽英,渡辺久剛,東谷暁子,斉藤徹,鈴木昌幸,本間友美,荻野大助,木村敏之,加藤光広, 早坂清:HBVキャリアに合併した微小変化型ネフローゼ症候群の1例.腎と免疫研究会,山形;2002年10月
- 14) 松永明,早坂清:ネフローゼ症候群,治療できないとどうなるか.~中国人患児のかかえる諸問題~.第一回こどもの腎臓を診る会,仙台;2002年10月
- 15) 田邉さおり,鈴木浩,仁木敬夫,早坂清:当科で経験した心房粗動の臨床的検討.第37回東北小児心臓病研究会,仙台;2002年11月
- 16) 仁木敬夫,鈴木浩,田辺さおり,早坂清:当科におけるfenestrated Fontan手術症例の長期予後.第37回東北小児心臓病研究会,仙台;2002年11月
- 17) 川上貴子,三井哲夫,荒井崇彦,簡野美弥子,池上徹,仙道大,早坂清: Imatinibを併用しUBMTを行った Ph1ALLの1例.第41回東北小児白血病研究会,仙台;2002年12月

#### (4) その他

- 1) 鈴木浩:小児心疾患の治療と管理.心疾患をもつこどもの研修会(村山保健所),山形;2002年1月
- 2) 松永明:忘れてはいませんか?~O-157・溶血性尿道症症候群~.母子保健技術研修会(山形県衛生研究所), 山形:2002年2月
- 3) 鈴木浩:新しい学校生活管理指導表 変更箇所と課題点.心臓病の子どもを守る会(山形県支部研修会), 山形;2002年3月

# 3. その他

- 1) 第72回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年6月
- 2) 第73回日本小児科学会山形地方会,山形;2002年12月
- 3) 第7回小児神経症例検討会(蔵王セミナー),上山;2002年2月
- 4) 第7回山形小児神経研究会,山形;2002年9月
- 5) 第19回山形県周産期・新生児医療研究会,山形;2002年4月
- 6) 第8回山形小児内分泌・代謝研究会,山形;2002年5月
- 7) 第3回小児難病研究会,山形;2002年8月
- 8) 第24回発達障害研究会,山形;2002年3月
- 9) 第25回発達障害研究会,山形;2002年8月
- 10) 第26回発達障害研究会,山形;2002年12月

# 女性医学分野(産科婦人科学)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Kaneko T, Iuchi Y, Kobayashi T, Fujii T, Saito H, Kurachi H, Fujii J: Expression of glutathione reductase in the male reproductive system of rats supports the enzymatic basis of glutathione function in spermatogenesis. Eur J Biochem 2002; 269: 1570-1578
- 2) Okamoto Y, Sakata M, Ogura K, Yamamoto T, Yamaguchi M, Tasaka K, Kurachi H, Tsurudome M, Murata Y: Expression and regulation of 4F2hc and hLAT1 in human trophoblasts. Am J Physiol (Cell Physiol) 2002; 282: C196-C204
- 3 ) Saito H, Seino T, Kaneko T, Nakahara K, Toya M, Kurachi H: Endometriosis and oocyte quality. Gynecol Obstet Invest 2002; 53: 46-51
- 4) Seino T, Saito H, Kaneko T, Takahashi T, Kawachiya S, Kurachi H: Eight-hydroxy-2'-deoxyguanosine in granulosa cells is correlated with the quality of oocytes and embryos in an in vitro fertilization-embryo transfer program. Fertil Steril 2002; 77: 1184-1190
- 5) Maida Y, Kyo S, Kanaya T, Wang Z, Yatabe N, Tanaka M, Nakamura M, Ohmichi M, Gotoh N, Murakami S, Inoue M: Direct activation of telomerase by EGF through Ets-mediated transactivation of TERT via MAP kinase signaling pathway. Oncogene 2002; 21: 4071-4079
- 6) Hayakawa J, Ohmichi M, Tasaka K, Kanda Y, Adachi K, Nishio Y, Hisamoto K, Mabuchi S, Hinuma S, Murata Y: Regulation of the PRL promoter by Akt through cAMP response element binding protein. Endocrinology2002; 143: 13-22
- 7) Wang Z, Kyo S, Maida Y, Takakura M, Tanaka M, Yatabe N, Kanaya T, Nakamura M, Koike K, Hisamoto K, Ohmichi M, Inoue M: Tamoxifen regulates human telomerase reverse transcriptase (hTERT) gene expression differently in breast and endometrial cancer cells. Oncogene 2002; 21: 3517-24
- 8) Miyoshi I, Takahashi K, Kon K, Okamura T, Mototani Y, Araki Y, Kasai N: Mouse transgenic for murine oviduct-specific glycoprotein promoter-driven simian virus 40 large T-antigen:tumor formation and its hormonal regulation. Mol Reprod Dev 2002; 63: 168-176
- 9) Mabuchi S, Ohmichi M, Kimura A, Hisamoto K, Hayakawa J, Nishio Y, Adachi K, Takahashi K, Arimoto-Ishida E, Nakatsuji Y, Tasaka K, Murata Y: Inhibition of phosphorylation of BAD and Raf-1 by Akt sensitizes human ovarian cancer cells to paclitaxel. J Biol Chem 2002; in press

### (2) 著書

1) 高橋俊文, 倉智博久: 黄体化未破裂卵胞 (LUF). 助産婦・看護師のための超音波画像診断. 東京; 南江堂, 2002: 160-161

### (3) 総 説

- 1) Ohmichi M, Tasaka K, Hayasaka J, Hisamoto K, Mabuchi S, Arimoto-Ishida E, Takahashi K, Kimura A, Nishio Y, Adachi K, Nakatsuji Y, Murata Y: Role of MAP kinase family and Akt on the resistance of cisplatin in human ovarian cancer cells. Recent Research Development In Cancer 2002; 4: 217-230
- 2) 倉智博久:卵管機能と胚発育における成長因子の意義.日本生殖外科学会雑誌 2002;15:9-17
- 3) 高橋俊文,中原健次,倉智博久:筋腫核出術.臨床婦人科産科 2002;56:406-410
- 4) 中原健次,田中栄一,三浦明香,倉智博久:更年期障害.総合臨床2002増刊 検査計画法 2002;51:1651-1655
- 5) 手塚尚広,森亜紀子,戸屋真由美,倉智博久:ピルと出血.産婦人科治療 2002;84:534-537

### 2.学会報告

### (1) 国内の学会

1) 倉智博久:(生涯研修プログラム)中高年女性の健康のケア-エストロゲンの抗動脈硬化作用について-.

第54回日本産科婦人科学会,東京;2002年4月

- 2) 大道正英:(ランチョンセミナー)女性の総合医療とは 中高年女性の健康管理を考える . 第54回日本産 科婦人科学会,東京;2002年4月
- 3) 久本浩司,大道正英,神田裕樹,高橋一広,馬淵誠士,有本絵美,田坂慶一,村田雄二:ラロキシフェンによる血管拡張作用機構,第54回日本産科婦人科学会,東京;2002年4月
- 4) 馬渕誠士,大道正英,神田裕樹,高橋一広,久本浩司,有本絵美,田坂慶一,村田雄二:ヒト卵巣癌細胞に おけるタモキシフェンの抗腫瘍効果のメカニズム.第54回日本産科婦人科学会,東京;2002年4月
- 5) 早坂直,齋藤真紀,松本大樹,土信田雅一,羽根田健,田中栄一,中原健次,倉智博久:子宮頸部悪性腺腫と卵巣の輪状細管を伴う性策腫瘍の併存を見たPeutz-Jeghers症候群の1例.第54回日本産科婦人科学会,東京;2002年4月
- 6) 清野朝史,齊藤英和,金子智子,吉田雅人,高橋俊文,河内谷敏,倉智博久:体外受精における顆粒膜細胞の脂質酸化ストレスが卵の質に与える影響について.第54回日本産科婦人科学会,東京;2002年4月
- 7) 手塚尚広,堤誠司,森亜紀子,吉田雅人,高橋俊文,倉智博久:ラット子宮平滑筋の電位依存性Caチャネル を構成するサブユニットの機能的役割:アンチセンスDNAを用いたhybrid arrestによる発現抑制.第54回日本 産科婦人科学会,東京;2002年4月
- 8) 高橋俊文,五十嵐秀樹,金子智子,齊藤英和,倉智博久:エチレングリコール存在下の卵の生存率向上における細胞非透過性耐凍剤の作用機序.第54回日本産科婦人科学会,東京;2002年4月
- 9) 吉田雅人,戸屋真由美,齋藤真紀,早坂直,中原健次,倉智博久,久保田洋子,中田瑛浩:外陰の再発巣に 電撃化学療法が奏効した悪性黒色腫の一症例.第54回日本産科婦人科学会,東京;2002年4月
- 10) 高橋俊文,五十嵐秀樹,齊藤英和,倉智博久:過酸化水素暴露マウス未受精卵における受精時のカルシウム オシレーションの変化.日本内分泌学会,大阪;2002年6月
- 11) 高橋一広,大道正英,久本浩司,馬淵誠士,石田絵美,田坂慶一,倉智博久,村田雄二:エストロゲンの血 管平滑筋細胞増殖に対する抑制機序.日本内分泌学会,大阪;2002年6月
- 12) 早坂直, 刑部光正, 中原健次, 倉智博久, 加藤哲子, 本山悌一: エストロゲン産生性のSertoli-Leydig cell tumorか? 第32回日本婦人科腫瘍学会, 北九州; 2002年7月
- 13) 早坂直,刑部光正,齋藤真紀,倉智博久,加藤哲子,本山悌一:高齢発症の顆粒膜細胞腫.第32回日本婦人 科腫瘍学会,北九州;2002年7月
- 14) 村上真紀,柴田亜希子,高橋達也,西瀬雄子,邵力,深尾彰,大道正英,倉智博久,森崎伸之:妊娠前の肥満および妊娠中の体重増加が周産期予後に及ぼす影響.日本公衆衛生学会,埼玉;2002年10月

# (2) 国内地方会

- 1) 倉智博久:(特別講演)婦人科腫瘍のMRI診断.第389回岡山産婦人科専門医会,岡山;2002年1月
- 2) 土信田雅一, 齋藤真紀, 五十嵐秀樹, 堤誠司, 手塚尚広, 倉智博久: 予後不良胎児への対応: trisomy 18の 周産期管理. 第113回日本産科婦人科学会東北連合地方部会, 福島; 2002年5月
- 3) 松本大樹, 齋藤真紀, 早坂直, 刑部光正, 五十嵐秀樹, 堤誠司, 田中栄一, 中原健次, 倉智博久, 本山悌一: クローン病を合併した原発性腟腺癌. 第113回日本産科婦人科学会東北連合地方部会, 福島; 2002年5月
- 4) 羽根田健,松本大樹,齋藤真紀,三浦明香,早坂直,五十嵐秀樹,堤誠司,田中栄一,中原健次,倉智博 久:当科で経験した卵管癌3例の臨床的検討.第113回日本産科婦人科学会東北連合地方部会,福島;2002年 5月
- 5) 西瀬雄子,高橋達也,柴田亜希子,村上真紀,大谷勝実,阿部義裕,邵力,深尾彰,伊藤佳代子,秋場淳一郎,鍛冶山徹,高橋孝:山形県における健康指標の把握と評価.東北公衆衛生学会,青森;2002年7月
- 6) 大貫毅,木原香織,平山寿雄,小宮雄一,小田隆晴:卵巣原発と思われる扁平上皮癌の治療経験.第13回山 形県婦人科悪性腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 7) 齋藤真紀,刑部光正,早坂直,小島原敬信,中原健次,大道正英,倉智博久:術前化学療法が奏功したDIC 合併卵巣明細胞癌の1症例.第13回山形県婦人科悪性腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 8) 村上真紀,大道正英,倉智博久,柴田紀子,森崎純子,森崎伸之,高田恵子:妊娠前の肥満および妊娠中の 母体体重増加量と周産期予後との関連.第77回山形県産婦人科集談会,酒田;2002年9月
- 9) 松本大樹,清野朝史,柴田紀子,森崎伸之:MRI上子宮体癌と誤認した子宮結核の1症例.第77回山形県産婦人科集談会,酒田;2002年9月

- 10) 刑部光正, 齋藤真紀, 早坂直, 小島原敬信, 中原健次, 倉智博久, 本山悌一, 大貫毅, 小田隆晴: 卵巣原発の癌肉腫3例の検討. 第50回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 富山; 2002年9月
- 11) 中原健次:(特別講演)エストロゲンの動脈硬化抑制作用の検討.第50回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会,富山;2002年9月
- 12) 大道正英:(ミニシンポジウム)中原健次,小島原敬信,早坂直,齋藤真紀,刑部光正,倉智博久:卵巣癌の薬剤耐性化のメカニズム.第50回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会,富山;2002年9月
- 13) 五十嵐秀樹,高橋俊文,吉田雅人,荒井規子,大山瑞穂,高橋一広,大道正英,倉智博久:体外受精・胚移 植周期におけるpoor responderに対するアルギニン製剤投与の試み.第50回日本産科婦人科学会北日本連合地 方部会,富山;2002年9月
- 14) 岩間英範,網田光善,佐藤麻美,三浦明香,堤誠司,手塚尚広,倉智博久:アンチトロンビン 欠乏症合併 妊娠の一例.第50回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会,富山;2002年9月
- 15) 磯部真倫,逸見典子,齋藤真紀,早坂直,小島原敬信,中原健次,大道正英,倉智博久,本山悌一:当科にて経験した子宮頸部小細胞癌 2 例の臨床的検討.第50回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会,富山;2002年9月
- 16) 大道正英: ラロキシフェンによるNO産生促進機構の解析 エストロゲンとの相同性・相違性 . 第11回産婦 人科分子内分泌懇話会, 札幌: 2002年9月
- 17) 森亜紀子:エストロゲンによる血管平滑筋細胞増殖抑制のメカニズム.第11回産婦人科分子内分泌懇話会, 札幌;2002年9月
- 18) 倉智博久:(教育講演) HRTを再考する. 第78回山形県産婦人科集談会,山形;2002年11月
- 19) 網田光善,佐藤聡,阪西通夫,大内久子,島貫敏恵,金杉浩:妊娠20週における頸管長計測の意義. 第78回山形県産婦人科集談会,山形;2002年11月
- 20) 木原香織,大貫毅,平山寿雄,小宮雄一,小田隆晴:子宮動脈円靭帯分枝の断裂に伴う腹腔内出血の一症例. 第78回山形県産婦人科集談会,山形;2002年11月
- 21) 大貫毅,木原香織,平山寿雄,小宮雄一,小田隆晴: ERT中にエストロゲンによる薬剤性肝障害を来した一 症例.第78回山形県産婦人科集談会,山形;2002年11月
- 22) 荒井規子,三浦明香,岩間英範,小島原敬信,大道正英,倉智博久:外来受診を機に慢性腎不全を指摘された卵巣腫瘍の一症例-周術期管理を中心として-.第78回山形県産婦人科集談会,山形;2002年11月
- 23) 逸見典子,大山瑞穂,岩間英範,太田剛,佐藤麻美,齋藤真紀,五十嵐秀樹,手塚尚広,倉智博久:出生前にBeckwith-Wiedemann Syndromeを疑った一症例.第78回山形県産婦人科集談会,山形;2002年11月
- 24) 高橋俊文,荒井規子,三浦明香,五十嵐秀樹,高橋一広,倉智博久:非交通性副角を有する単角子宮に対する腹腔鏡下手術.第7回東北産婦人科内視鏡懇話会,福島;2002年11月

### (3) 研究会

- 1) 土信田雅一,齋藤真紀,五十嵐秀樹,堤誠司,手塚尚広,倉智博久:胎児染色体異常18トリソミーの診断と その産科的対応.第19回山形県周産期新生児医療研究会,山形;2002年4月
- 2) 奥山直樹,山際岩雄,大内孝幸,鈴木律子,高橋一臣,島﨑靖久,赤羽和博,佐々木綾子,手塚尚広,堤誠司:横隔膜ヘルニア治療経験-とくに最近の周産期管理について.第19回山形県周産期新生児医療研究会, 山形; 2002年4月
- 3) 佐々木綾子, 赤羽和博, 早坂清, 堤誠司, 手塚尚広, 倉智博久: 過去9年間における当院出生児の動向. 第19回山形県周産期新生児医療研究会, 山形; 2002年4月
- 4) 三浦明香,田中栄一,大道正英,大山瑞穂,森亜紀子,高橋一広,倉智博久:動脈硬化症に対する非侵襲的 評価法について.第2回中高年女性の予防医学研究会,山形;2002年6月
- 5) 高橋一広,大道正英,森亜紀子,堤誠司,吉田雅人,川越淳,杜伯涛,五十嵐秀樹,高橋俊文,中原健次, 大島千佳,倉智博久:エストロゲンの血管平滑筋細胞における増殖抑制作用.第2回中高年女性の予防医学研 究会,山形:2002年6月
- 6) 大道正英:卵巣癌の予後改善を目指して.第2回山形卵巣癌セミナー,山形;2002年6月
- 7) 田中栄一,関和彦,中原健次,木村和彦,新井昌彦,倉智博久:産婦人科疾患に合併した咽喉頭異常感症の 診断・治療について.第3回山形県産婦人科漢方研究会,山形;2002年7月

#### (4) その他

- 1) 倉智博久:(特別講演)中高年女性の健康のケア.JA山形おきたま女性部白鷹地区通常総会記念講演,白鷹; 2002年3月
- 2) 倉智博久:(特別講演)HRTを再考する.第16回栃木県更年期研究会,宇都宮;2002年12月

### 3. その他

- 1) 第13回GnRH研究会,山形;2002年3月
- 2) 第12回山形産婦人科ME研究会,山形;2002年4月
- 3) 第75回山形県産婦人科集談会,山形;2002年5月
- 4) 第2回中高年女性の予防医学研究会,山形;2002年6月
- 5) 第2回山形県卵巣癌セミナー,山形;2002年6月
- 6) 第76回山形県産婦人科集談会,山形;2002年7月
- 7) 第13回山形県婦人科悪性腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 8) 第77回山形県産婦人科集談会,酒田;2002年9月
- 9) 第78回山形県産婦人科集談会,山形;2002年11月

### 4. 平成14年度科学研究費

- 1) 基盤研究(B)(2)課題番号14370523,血管平滑筋細胞の増殖抑制を介するエストロゲンの抗動脈硬化作用の解析. 倉智博久,中原健次,田中栄一,吉田雅人H14-H16.(H14:5,000,000円,H15:4,200,000円,H16:4,000,000円)
- 2) 基盤研究(C)(2)課題番号14571538,子宮収縮の抑制に関与する子宮筋イオンチャンネル特性の分子生理学的解析.手塚尚広,高橋俊文,堤誠司,倉智博久H14-H16.(H14:1,300,000円,H15:1,300,000円,H16:900,000円)
- 3) 基盤研究(C)(2)課題番号14571560, エストロゲン及びSERMによる抗動脈硬化作用 血管内皮保護作用の解析 . 大道正英,田坂慶一,田原正浩,高橋一広,吉田雅人H14-H16.(H14:900,000円,H15:1,300,000円,H16:1,200,000円)
- 4) 基盤研究(C)(2)課題番号13671692, 卵胞内でのアポトーシスシグナル伝達機構の解析による卵の質の評価. 中原健次, 倉智博久, 大道正英, 高橋一広, 田中栄一, 堤誠司H13-H14. (H13:1,900,000円, H14:1,600,000円)
- 5) 奨励研究(B)課題番号13770903,ガラス化法による女性配偶子の凍結保存に関する研究.高橋俊文H13-H14. (H13:1,500,000円, H14:400,000円)

# 器官病態統御学講座

# 循環薬理学分野(薬理学)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Sakurai K, Norota I, Tanaka H, Kubota I, Tomoike H, Endoh M: Negative inotropic effects of angiotensin II, endothelin-1 and phenylephrine in indo-1 loaded adult mouse ventricular myocytes. Life Sci 2002; 70: 1173-1184
- 2) Takahashi R, Endoh M: Effects of OR-1896, a metabolite of levosimendan, on force of contraction and Ca<sup>2+</sup> transients under acidotic condition on aequorin-loaded canine ventricular myocardium. Naunyn-Schmiedeberg's Arch Pharmacol 2002; 366: 440-448
- 3) Ichiyanagi O, Ishii K, Endoh M: Angiotensin increases L-type Ca<sup>2+</sup> current in gramicidin D-perforated adult rabbit ventricular myocytes: comparison with conventional patch-clamp method. Pflügers Arch-Eur Physiol 2002; 444: 107-116
- 4) Endoh M: Mechanisms of action of novel cardiotpnic agents. J Cardiovasc Pharmacol 2002; 40: 323-338
- 5) Kubota I, Tomoike H, Han X, Sakurai K, Endoh M: The Na<sup>+</sup>-Ca<sup>2+</sup> exchanger contributes to -adrenoceptor mediated positive inotropy in mouse heart. Jpn Heart J 2002; 43: 399-407

### (2) 総 説

- 1) 遠藤政夫:心筋細胞カルシウムシグナル調節機構.麻酔 2002;51:S72-S78
- 2) 遠藤政夫:心不全とカルシウムシグナル.医薬品相互作用研究 2002;26:43-55
- 3) 石井邦明: Kvチャネル-構造と機能および疾患との関連-.「イオンチャネルの最前線」医学のあゆみ 2002;201:1004-1010
- 4) 石井邦明,遠藤政夫:図説:心筋刺激伝導系の分子機構.「特集:不整脈」日本臨床 2002;60:1264-1267

### 2.学会報告

### (1) 国外の学会

- 1) Endoh M: Basic mechanisms of inotropic agents. International Symposium on Sodium and the Heart, Kassel, Germany; May 2002
- 2) Endoh M: Symposium: Endothelin signaling in cardiac contractile regulation. International Society for Heart Research. Annual Meeting of North American Section, Wisconsin, USA; July 2002
- 3) Endoh M: Inotropic agents. Gordon Research Conference on Cardiac Regulatory Mechanisms, New London, USA; July 2002
- 4) Endoh M: Contractile proteins as molecular targets of novel inotropic agents. The 16th Japan-Korea Joint Seminar on Pharmacology, Tokyo; October 2002
- 5) Endoh M: pH in regulation of myocardial contractility. Joint Symposium of China and Japan Medical Societies, Beijing, China; October 2002
- 6) Endoh M: Reversal of acidosis-induced systolic dysfunction by inotropic agents. XV Congress of Cardiovascular System Dynamics Society, Sendai; October 2002
- 7) Ishii K, Nagai M, Endoh M: Frequency-dependent block of HERG mutant channels by methanesulfonanilides. International Society for Heart Research. The 19th Annual Meeting of the Japanese Section, Yamagata; October 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 遠藤政夫:(学術講演)心筋細胞カルシウムシグナル.第66回日本循環器学会,札幌;2002年4月
- 2) 石井邦明,永井美玲,遠藤政夫:HERGチャネルI647変異体からのE-4031の解離.第75回日本薬理学会年会, 熊本;2002年3月
- 3) 林長青,遠藤政夫,石井邦明:ヒトminKを発現させた卵母細胞において流れるIks電流の 1受容体およびETA 受容体刺激による修飾.第75回日本薬理学会年会,熊本;2002年3月
- 4) 楚立,田中久雄,張建新,石井邦明,遠藤政夫:イヌ心室筋におけるエンドセリン-1とノルエピネフリンのクロストーク:心筋収縮性および $Ca^{2+}$ シグナル調節へのRho-キナーゼの関与.第75回日本薬理学会年会,熊本;

2002年3月

- 5) 布木和夫,石井邦明,柳澤輝行:ハイブリッドKチャンネル不活性化における各サブユニットS4-.第75回日本薬理学会年会,熊本;2002年3月
- (3) 国内地方会
  - 1) 石井邦明,永井美玲,遠藤政夫: HERGチャネルの活性化ゲートについて. 平成14年度岡崎国立共同研究機構研究会,岡崎; 2002年11月
  - 2) 田中久雄,遠藤政夫: Indo-1負荷マウス心室筋細胞におけるアンジオテンシン の陰性変力作用における Na<sup>+</sup>/H<sup>+</sup>exchangerの役割.第53回日本薬理学会北部会,秋田;2002年10月
  - 3) 高橋祐次,野呂田郁夫,遠藤政夫:摘出心室筋における成長ホルモン分泌促進物質KP-102の心筋収縮性に対する作用.第53回日本薬理学会北部会,秋田;2002年10月
- (4) 研究会
  - 1) 遠藤政夫: (特別講演)心不全とカルシウムシグナル.第54回医薬品相互作用研究会シンポジウム,山形; 2002年5月
  - 2) 高橋祐次,野呂田郁夫,遠藤政夫:摘出心室筋における成長ホルモン分泌促進物質KP-102の心筋収縮に対する作用.実験動物セミナー第13回研究成果発表会,山形;2002年12月
- (5) その他
  - 1) 遠藤政夫:心不全の治療.三重大学医学部薬理学講義,津;2002年2月

### 3. その他

- 1) 第15回蔵王カンファレンス,山形;2002年1月
- 2) 第27回創薬薬理フォーラム談話会,東京;2002年3月
- 3) 第28回創薬薬理フォーラム談話会,東京:2002年6月
- 4) 第10回創薬薬理フォーラムシンポジウム,東京;2002年9月
- 5) 第19回国際心臓研究学会(ISHR)日本部会総会,山形;2002年10月
- 6) 第29回創薬薬理フォーラム談話会, 東京; 2002年12月

# 血液・循環分子病態学分野(分子病態学)

# 1.論 文

### (1) 総 説

- 1) Ichinose A: Factor XIII: state of the art. Minerva Biotec 2002; 14: 121-128
- 2) Ichinose A: Protein Z. Wiley Encyclopedia of Molecular Medicine 2002; 2654-2656
- 3) 一瀬白帝: SNPsと肺血栓塞栓症. 分子心血管病 2002; 3:83-88

### (2) その他

1) 一瀬白帝:ゲノム医学時代の遺伝子診断・遺伝子治療について.山形県医師会会報 2002;609:16-17

# 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Ichinose A: Factor XIII Deficiency in Man and Mouse. Symposium in The 46th GTH Meeting, Erfurt, Germany; February 2002
- 2) Ichinose A: Implications of SNPs and Ethic Diversities in Different Genes Related to Thrombotic Factors for Atherosclerosis. Workshop in The 73<sup>rd</sup> European Atherosclerosis Society Congress, Invited Speaker, Salzburg, Austria; July 2002
- 3) Koseki-Kuno S, Souri M, Dickneite G, Ichinose A: Gene Targeting of Factor XIII in Mice. The 2<sup>nd</sup> Asian-Pacific Congress on Thrombosis and Hemostasis, Seoul; April 2002
- 4) Souri M, Kida M, Yamakawa M, Ichinose A: Expression and intracellular translocation of coagulation factor XIII during proliferation and differentiation. The 7<sup>th</sup> International conference on Transglutaminases and Protein Crosslinking Reactions, Ferrara, Italy; September 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 一瀬白帝:線溶酵素プラスミン・プラスミノーゲンの分子病態学.第106回日本眼科学会総会 ランチョンセミナー,仙台;2002年5月
- 2) 奥村太郎, 一瀬白帝: 動脈硬化と血栓症に関わるLp(a)遺伝子の発現と薬剤応答を規定するrSNPs. 第34回日本動脈硬化学会総会 シンポジウム,神戸; 2002年7月
- 3) 一瀬白帝:(総説講演)プラスミノゲン・アポリポプロテイン(a)遺伝子ファミリーの基礎と臨床.第25回日本血栓止血学会,神戸;2002年11月
- 4) 惣宇利正善,一瀬白帝:凝固XIII因子Aサブユニットの細胞内機能および相互作用するタンパク質の検索. 第75回日本生化学会大会,京都;2002年10月
- 5) 久野(小関)しおり,惣宇利正善,山川光徳,Gerhard Dickneite,一瀬白帝:XIII因子Aノックアウトマウスにおける自然流産.第75回日本生化学会大会,京都;2002年10月
- 6) 柳内文男, 丹生恵子, 満留昭久, 小関しおり, 惣宇利正善, 一瀬白帝: 先天性XIII因子 B サブユニット欠損症の1例. 第44回日本小児血液学会, 東京; 2002年10月
- 7) 惣宇利正善,一瀬白帝:凝固XIII因子Aサプユニットの生合成および細胞内動態.第25回日本血栓止血学会,神戸;2002年11月
- 8) 久野(小関)しおり,惣宇利正善,一瀬白帝:自然流産と出血死を呈したXIII因子Aノックアウトマウスの病理 組織学的所見.第25回日本血栓止血学会,神戸;2002年11月

### (3) 国内地方会

1) 小関しおり,惣宇利正善,一瀬白帝:血液凝固第XIII因子Aノックアウト雌マウスの妊娠期における出血死. 第68回日本生化学会東北支部会,山形;2002年5月

# (4) 研 究 会

- 1) 一瀬白帝:(特別講演)ゲノム医学時代の血栓症研究.第6回循環と内分泌代謝研究会,弘前;2002年3月
- 2) 一瀬白帝: (特別講演)ゲノム医学時代の血栓症研究. 第9回臨床止血・血栓懇話会,福岡;2002年4月
- 3) 奥村太郎,小関しおり,惣宇利正善,一瀬白帝:血中Lp(a) 濃度およびアポ(a)遺伝子転写活性はTTTTAリ

ピートではなく,5'- 転写調節領域のハプロタイプによって調節される.第9回山形血栓止血セミナー,山形;2002年1月

- 4) 久野しおり, 竹田直樹, 山川光徳, Gerhard Dickneite, 一瀬白帝: XIII因子A ノックアウトマウスにおける自然流産.第40回東北止血血栓研究会, 弘前; 2002年5月
- 5) 奥村太郎, 一瀬白帝: Apo(a)遺伝子発現調節領域のrSNPsと薬剤応答性の差違について. 第7回Lp(a)カンファレンス,神戸; 2002年7月
- 6) 惣宇利正善,一瀬白帝:凝固XIII因子Aサブユニットの生合成および細胞内動態.第10回山形分子生物学セミナー,山形;2002年11月
- 7) 一瀬白帝:血液凝固/線溶分野の新しい酵素療法;XIII因子とプラスミン.第29回創薬薬理フォーラム, 東京;2002年12月

### (5) その他

- 1) Ichinose A: Physiology and Pathology of Factor XIII. University of Giessen, Germany; July 2002
- 2 ) Ichinose A: Molecular Pathology of Plasminogen-Apolipoprotein(a) Gene Family. University of Rome Tor-Vergata, Rome; September 2002
- 3) 一瀬白帝:整形外科医療の血栓止血とプラスミン療法.山形大学医学部整形外科学セミナー,山形;2002年7月
- 4) 一瀬白帝:ゲノム医学時代の血栓研究のトピックス.理化学研究所セミナ-,和光;2002年8月
- 5) 一瀬白帝:ゲノム医学時代の血栓研究のトピックス.熊本大学医学部セミナー,熊本;2002年8月
- 6) 一瀬白帝:整形外科領域の分子病態学. 鹿児島大学医学部整形外科学講義, 鹿児島; 2002年8月

# 3. その他

- 1) 第9回山形止血血栓セミナー,山形;2002年1月
- 2) 第5回山形県血小板と血管研究会,山形;2002年5月
- 3) 第9回血液の分子病態研究会,横浜;2002年9月
- 4) 第10回山形分子生物学セミナー,山形;2002年11月

# 循環・呼吸・腎臓内科学分野(内科学第一)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Sakurai K, Norota I, Tanaka H, Kubota I, Tomoike H, Endoh M: Negative inotropic effects of angiotensin II, endothelin-1 and phenylephrine in indo-1 loaded adult mouse ventricular myocytes. Life Sciences 2002; 70: 1173-1184
- 2) Takeishi Y, Huang Q, Abe J, Che W, Lee DJ, Kawakatsu H, Hoit BD, Berk BC, Walsh RA: Activation of mitogenactivated protein kinases and p90 ribosomal S6 kinase in failing human hearts with dilated cardiomyopathy. Cardiovasc Res 2002; 53: 131-137
- 3) Watanabe T, Yamaki M, Yamauchi S, Minamihaba O, Miyashita T, Kubota I, Tomoike H: Regional prolongation of ARI and altered restitution properties cause ventricular arrhythmia in heart failure. Am J Physiol Heart Circ Physiol 2002; 282: H212-H218
- 4) Hirono O, Fatema K, Nitobe J, Takeishi Y, Kaneko K, Shiga R, Kubota I: Long-term effects of benidipine hydrochloride on severe left ventricular hypertrophy and collagen metabolism in patients with essential hypertension. J Cardiol 2002; 39: 195-204
- 5) Miyashita T, Takeishi Y, Takahashi H, Miyamoto T, Fujii S, Yoshimura T, Tomoike H, Kato S, Kubota I: Comparison of nitric oxide production in response to carbachol between macrovascular and microvascular cardiac endothelial cells. Circ J 2002; 66: 511-515
- 6) Kubota I, Tomoike H, Han X, Sakurai K, Endoh M: The Na<sup>+</sup>-Ca<sup>2+</sup> exchanger contributes to -adrenoceptor mediated positive inotropy in mouse heart. Jpn Heart J 2002; 43: 399-407
- 7) Yamauchi S, Yamaki M, Watanabe T, Yuuki K, Kubota I, Tomoike H: Restitution properties and occurrence of ventricular arrhythmia in LQT2 type of long QT syndrome. J Cardiovasc Electr 2002; 13: 910-914
- 8) Fatema K, Hirono O, Takeishi Y, Nitobe J, Kaneko K, Ito M, Masakane I, Kubota I: Hemodialysis improves myocardial interstitial edema and left ventricular diastolic function in patients with end-stage renal disease: noninvasive assessment by ultrasonic tissue characterization. Heart Vessels 2002; 16: 227-231
- 9) Minamihaba O, Takeishi Y, Hirono O, Yamauchi S, Arimoto T, Fukui A, Okuyama M, Nozaki N, Akiyama H, Fatema K, Miyamoto T, Takahashi H, Fujiwara S, Okada A, Takahashi K, Kubota I: Pulsed Doppler tissue imaging for the assessment of myocardial viability: comparison with <sup>99m</sup>Tc sestamibi perfusion imaging. Nucl Med Commun 2002; 23: 1197-1204
- 10 ) Itoh M, Takeishi Y, Nakada S, Miyamoto T, Tsunoda Y, Takahashi H, Kubota I, Tomoike H: Long-term treatment with angiotensin II type 1 receptor antagonist, CV-11974, restores -catenin mRNA expression in volume-overloaded rabbit hearts. Heart Vessels 2002; 17: 36-41
- 11) Hoit BD, Takeishi Y, Gable M, Cox MJ, Kirkpatrick D, Walsh RA, Tyagi SC: Remodeling of the left atrium in pacing-induced atrial cardiomyopathy. Mol Cell Biochem 2002; 238: 145-150
- 12 ) Ikegami M, Takabatake N, Weaver TE: Intersubunit disulfide bridge is not required for the protective role of SP-B against lung inflammation. J Appl Physiol 2002; 93: 505-511
- 13 ) Berclaz PY, Zsengeller Z, Shibata Y, Otake K, Strasbaugh S, Whitsett JA, Trapnell BC: Endocytic internalization of adenovirus, nonspecific phagocytosis, and cytoskeletal organization are coordinately regulated in alveolar macrophages by GM-CSF and PU.1. J Immunol 2002; 169: 6332-6342
- 14 ) Berclaz PY, Shibata Y, Whitsett JA, Trapnell BC: GM-CSF, via PU.1, regulates alveolar macrophage Fc R-mediated phagocytosis and the IL-18/IFN- -mediated molecular connection between innate and adaptive immunity in the lung. Blood 2002; 100: 4193-4200
- 15 ) Xu Q, Konta T, Furusu A, Nakayama K, Lucio-Cazana J, Fine LG, Kitamura M: Transcriptional indution of mitogenactivated protein kinase phosphatase 1 by retinoids. Selective roles of nuclear receptors and contribution to the anti-apoptotic effect. J Biol Chem 2002; 277: 41693-41700

16) 久保田功,廣野摂,福井昭男,野崎直樹,奥山雅基,竹石恭知:山形県における急性心筋梗塞症の短期ならびに長期予後の実態について、山形医学 2002;20:69-76

### (2) 総 説

- 1) Xu Q, Konta T, Kitamura M: Retinoic acid regulation of mesangial cell apoptosis. Exp Nephrol 2002; 10: 171-175
- 2) Kitamura M, Ishikawa Y, Moreno-Manzano V, Xu Q, Konta T, Lucio-Cazana J, Furusu A, Nakayama K: Intervention by retinoic acid in oxidative stress-induced apoptosis. Nephrol Dial Transplant 2002; 17 (Suppl. 9): 84-87
- 3) 奥山雅基,山口清司:特集:心タンポナーデ 診る 4.心タンポナーデを血行動態から診る. Heart View 2002;6:26-32 (538-544)
- 4) 竹石恭知:特集 心リモデリングの新展開.心不全時のPKCアイソフォームの発現と左室リモデリング. 分子心血管病 2002;3:47(305)-54(312)
- 5) 竹石恭知,岡田明男,髙橋和榮:心臓核医学検査(Nuclear Cardiology)の現況 心筋SPECTの新しい解析 法を中心に - . 全国循環器撮影研究会誌 2002;15:65-69

### (3) その他

- 1) Takeishi Y, Minamihaba O, Fukui A, Okuyama M, Nozaki N, Hirono O, Yamauchi S, Miyashita T, Akiyama H, Miyamoto T, Shishido T, Kaniz F: <sup>123</sup>I-BMIPP dynamic SPECT in patients with congestive heart failure. Circ J 2002; 66: 225
- 2) Nitobe J, Yamaguchi S, Nozaki N, Okuyama M, Tomoike H, Suwabe A, Tominaga M, Kuroki Y: Significance of surfactant protein D in congestive heart failure: protection of endothelial cell against oxidative and inflammatory damage. Circ J 2002; 66: 355
- 3) Kaneko K, Hirono O, Kaniz F, Miyashita T, Yamauchi S, Itoh M, Kutota I, Tomoike H: A novel visualization of aortic flow around the atherosclerotic plaque and possible relationshiop to acute ischemic stroke with sinus rhythm. Circ J 2002; 66: 449
- 4) Shishido T, Hamagawa E, Nitobe J, Nozaki N, Okuyama M, Takeishi Y, Fukui A, Hirono O, Yamaguchi S, Kojo S, Shirakabe M, Takeuchi M, Kawashima S, Yahagi T, Gotoh T, Araki T, Yokoyama K: Increased caspase activity in circulating blood from patients with acute myocardial infarction. Circ J 2002; 66: 589
- 5) Nitobe J, Shishido T, Nozaki N, Akiyama H, Yamauchi S, Miyashita T, Minamihaba O, Ito M, Hirono O, Okuyama M, Fukui A, Takeishi Y, Yamaguchi S, Hamagawa E, Kojo S: Direct evidence of apoptosis in patients with dilated cardiomyopathy-elevated caspase activities in circulating blood-. Circ J 2002; 66: 602
- 6) Nitobe J, Yamaguchi S, Nozaki N, Okuyama M, Tomoike H, Suwabe A, Tominaga M, Kuroki Y: Surfactant protein D may be a novel marker for lung edema in human heart failure. Circ J 2002; 66: 604
- 7) Miyashita T, Takeishi Y, Takahashi H, Kato S, Kubota I, Tomoike H: Protein kinase C-calcineurin pathway is involved in insulin-like growth factor-1-induced hypertrophy of cultured adult rat ventricular myocytes. Circ J 2002; 66: 672
- 8) Miyamoto T, Takeishi Y, Shishido T, Itoh M, Takahashi H, Tomoike H: Long-term blockade of nitric oxide synthesis attenuates volume-overload induced cardiovascular remodeling in rabbits. Circ J 2002; 66: 695
- 9) Kaneko K, Hirono O, Kaniz F, Miyashita T, Yamauchi S, Itoh M, Kubota I, Tomoike H: Does the presence of paroxysmal atrial fibrillation reflect to the atrial mechanical remodeling and the occurrence of acute ischemic stroke? Circ J 2002; 66: 724
- 10 ) Shishido T, Takeishi Y, Takasaki S, Miyamoto T, Itoh M, Takahashi H, Tomoike H, Tasaki K, Wakabayashi I: Chronic hypertriglyceridemia in Watanabe Heritable Hyperlipidemic Rabbits (a model for familial combined hyperlipidemia) accerelates endothelial and medial smooth muscle dysfunctions. Circ J 2002; 66: 761
- 11 ) Wada T, Sato J, Sato S, Takabatake N, Shibata Y, Otake K, Sata M, Nakamura H: The role of thymidine phosphory-lase in non-small cell lung cancer. Am J Resp Crit Care Med 2002; 165: A369
- 12 ) Katagiri Y, Suwabe A, Otake K, Sata M, Goto K: Expression and localization of diacylglycerol kinase in the developing rat lung. Am J Resp Crit Care Med 2002; 165: A613
- 13 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Tazawa S, Inoue M, Kubota I: Myocardial fatty acid imaging and expression of peroxisome proliferator-activated receptor in volume-overloaded rabbit hearts. J Nucl Med 2002; 43(Suppl): 171
- 14) Takeishi Y, Minamihaba O, Yamauchi S, Fukui A, Okuyama M, Nozaki N, Hirono O, Akiyama H, Fatema K, Miya-

- moto T, Shishido T, Takahashi K, Okada A, Kubota I: <sup>123</sup>I-BMIPP dynamic SPECT in patients with congestive heart failure: Effect of angiotensin II type-1 receptor blockade. J Nucl Med 2002; 43(Suppl): 179
- 15) Yamaguchi H, Ono S, Abe S, Tachibana H, Sato T, Takeishi Y: Reverse redistribution of 99mTc-sestamibi in patients with coronary spastic angina. J Nucl Med 2002; 43(Suppl): 185
- 16 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Arimoto T, Tazawa Y, Inoue M, Aoyama T, Kubota I: Expression of fatty acid utilization enzymes and fatty acid metabolic imaging in eccentric cardiac hypertrophy by volume-overload. Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure Abstracts 2002; 25
- 17 ) Takahashi H, Takeishi Y, Konta T, Miyamoto T, Shishido T, Kubota I: Effects of angiotensin II type-1 receptor blockade on mitogen-activated protein kinase activity and cardiac hypertrophy in rat model of progressive renal injury. Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure Abstracts 2002; 32
- 18 ) Miyashita T, Takeishi Y, Takahashi H, Miyamoto T, Ito M, Kubota I: Protein kinase C and calcineurin are critically involved in insulin-like growth factor-1-induced hypertrophy of adult rat ventricular myocytes. Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure Abstracts 2002; 139
- 19 ) Hirono O, Kubota I, Yamaki M, Tomoike H: Doppler tissue imaging of left ventricular abnormal wall motion related to artificial pacemaker-correlation with cardiac performance. Cardiovasc Rev Rep 2002; 23: 465-468
- 20) Takeishi Y, Minamihaba O, Yamauchi S, Fukui A, Okuyama M, Nozaki N, Hirono O, Kubota I: Dynamic SPECT with <sup>123</sup>I-BMIPP in patients with congestive heart failure: Effect of angiotensin II type-1 receptor blockade. Eur Heart J 2002; 4: 118
- 21 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Shishido T, Itoh M, Kubota I: Activation of distinct signal transduction pathways in hypertrophied hearts by pressure and volume-overloads. Eur Heart J 2002; 4: 501
- 22 ) Miyashita T, Takeishi Y, Takahashi H, Miyamoto T, Kato S, Kubota I: Calcineurin and protein kinase C are involved in insulin-like growth factor-1-induced hypertrophy of cultured adult rat ventricular myocytes. Eur Heart J 2002; 4: 632
- 23 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Tazawa S, Inoue M, Kubota I: Myocardial fatty acid imaging and expression of peroxisome proliferator-activated receptor in volume-overloaded rabbit hearts. Eur Heart J 2002; :4: 684
- 24 ) Konta T, Xu Q, Furusu A, Nakayama K, Kitamura M: Role of the phosphoinositide 3-kinase (PI3K)-Akt pathway in hydrogen peroxide (H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>)-induced apoptosis of mesangial cells. J Am Soc Nephrol 2002; 13: 289A
- 25 ) Ichikawa K, Konta T, Fujii F, Kubota I: Differential expression of aldose reductase and aldehyde reductase in the progressive renal injury in rats. J Am Soc Nephrol 2002; 13: 163A
- 26 ) Xu Q, Konta T, Furusu A, Nakayama K, Lucio-Canaza J, Fine LG, Kitamura M: Differential contribution of RAR and RXR and contrastive role of three RAR subtypes in retinoic acid-induced MKP-1 expression in rat mesangial cells. J Am Soc Nephrol 2002; 13: 88A
- 27 ) Xu Q, Konta T, Furusu A, Nakayama K, Fine LG, Kitamura M: Defense against oxidative stress-induced apoptosis in mesangial cells: A role for the MAP kinases-AP-1-MKP-1 pathway. J Am Soc Nephrol 2002; 13: 291A
- 28 ) Nakayama K, Furusu A, Xu Q, Konta T, Kitamura M: Involvement of Src family tyrosine kinase in the proteosome inhibition-induced, c-Jun/AP-1-mediated MCP-1 expression. J Am Soc Nephrol 2002; 13: 503A
- 29 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Kubota I, Tomoike H: Pressure and volume overload-induced cardiac hypertrophy is associated with activation of distinct signal transduction pathyways. Coronary Club 第19回研究会プログラム 2002; 3
- 30) Cameron SJ, Malik S, Itoh S, Bains CP, Zhang C, Osawa M, Ohta S, Lemer-Marmarosh N, Huang Q, Che W, Glassman M, Lee J, Sheu S, Zhu JQ, Takeishi Y, Yan C, Berk BC, Yang J, Abe J: BMK1/ERK5 disrupts connexin gap junctional communication and inhibits intracelular Ca<sup>2+</sup> poverload after myocardial ischemia. Circulation (Suppl.II) 2002; 106: II-6
- 31) Takahashi H, Takeishi Y, Konta T, Miyamoto T, Shishido T, Kubota I: Effects of angiotensin II type-1 receptor blockade on mitogen-activated protein kinase activity and cardiac hypertrophy in rat model of progressive renal injury. Circulation (Suppl.II) 2002; 106: II-105
- 32 ) Kaneko K, Hirono O, Fatema K, Takeishi Y, Kayama T, Kubota I: The development of aortic vortex flow around the

- ulcerated plaque is a major risk factor for acute cerebral embolism in normal sinus rhythm. Circulation (Suppl.II) 2002: 106: II-515
- 33 ) Takeishi Y: Reverse redistribution of Tc-99m sestamibi in patients with acute myocardial infarction: A sign for successful revascularization and myocardial viability. SEVENTH INTERNATIONAL CARDIOLITE WORKSHOP Program 2002; 3-12
- 34) Takeishi Y, Abe J, Kubota I, Walsh RA: Mechanical stress activates Src and big mitoge-activated protein kinase-1 (BMK1) in the heart. J Mol Cell Cardiol 2002; 34: A12
- 35) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Kubota I: Pressure and volume overload-induced cardiac hypertrophy is associated with distinct activation of signal transduction pathways. J Mol Cell Cardiol 2002; 34: A17
- 36 ) Shishido T, Nozaki N, Nitobe J, Takeishi Y, Kubota I: Toll-like receptor-2 modulates ventricular remodeling after myocardial infarction. J Mol Cell Cardiol 2002; 34: A20
- 37 ) Takahashi H, Takeishi Y, Konta T, Miyamoto T, Shishido T, Arimoto T, Kubota I: Effect of angiotensin II recepter blockade on mitogen-activated protein kinase activity and cardiac hypertrophy in rat model of renal injury. J Mol Cell Cardiol 2002; 34: A28
- 38) Shishido T, Nozaki N, Yamaguchi S, Nitobe J, Miyamoto T, Takahashi H, Arimoto T, Maeda K, Yamakawa M, Takeuchi O, Akira S, Takeishi Y, Kubota I: Toll-like receptor-2 modulates ventricular remodeling after myocardial infarction. 実験動物セミナー第13回研究成果発表会抄録集 2002;10
- 39) 廣野摂,宮下武彦,福井昭男,久保田功,斎藤幹郎,國井一彦,本間正巳:山形県急性心筋梗塞・突然死発症登録評価研究事業 平成12年のまとめ(第8年次統計).山形県医師会会報 2002;605:27-30
- 40) 小嶋文良,加藤修一,小西裕子,東海林徹,友池仁暢,仲川義人:フルタイド使用法の問題点とその解析. 医療薬学 2002;28:51-56
- 41) 鈴木聡,西田稚子,安孫子広,今田恒夫:持続性低補体血症と難治性ネフローゼを呈しfibrillary腎炎と思われた1例.第166回日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:43
- 42) 宮下武彦, 竹石恭知, 高橋大, 加藤修一, 久保田功, 藤井聡司, 吉村哲彦, 友池仁暢: Coronary microves-sel/macrovessel内皮細胞におけるNO産生能の比較. Coronary Club 第18回研究会プログラム 2002; 2
- 43) 山口裕之,阿部茂,橘英忠,佐藤隆行,小野宗一,竹石恭知:拡張型心筋症における<sup>99m</sup>Tc-MIBI washoutの意 義.第23回心臓核医学研究会抄録集 2002;21
- 44) 竹石恭知,南幅修,山内聡,福井昭男,奥山雅基,野崎直樹,廣野摂,秋山英之,宮下武彦,カニズ・ファテマ,宮本卓也,宍戸哲郎,久保田功,岡田明男,高橋和榮:心不全症例における<sup>123</sup>I-BMIPP dynamic SPECT . 第23回心臓核医学研究会抄録集 2002;23
- 45) 小野宗一,山口裕之,阿部茂,橘英忠,佐藤隆行,竹石恭知:冠攣縮性狭心症における<sup>99m</sup>Tc-MIBI逆再分布: 安静時心筋SPECT delayed imageの有用性.第23回心臓核医学研究会抄録集 2002;24
- 46) 佐藤潤, 佐田誠, 町屋純一, 荒生剛, 平間紀行, 高畠典明, 阿部修一, 柴田陽光, 大竹和久, 中村秀範: 非小細胞性肺癌(NSCLC)の血管新生と浸潤能におけるthymidine phosphorylase (TP)の役割の検討. 日本呼吸器学会雑誌 2002;40:99
- 47) 片桐祐司,諏訪部章,大竹和久,佐田誠,後藤薫:発達過程のラット肺におけるジアシルグリセロールキナーゼの発現・局在・酵素活性についての検討.日本呼吸器学会雑誌 2002;40:125
- 48) 柴田陽光,大竹和久,佐田誠,富永真琴:GM-CSFによる肺胞マクロファージ分化の機序 転写因子PU.1 の役割 . 日本呼吸器学会雑誌 2002;40:154
- 49) 阿部修一,町屋純一,荒生剛,平間紀行,佐藤潤,高畠典明,大竹和久,佐田誠,柴田陽光:胸水中のレプ チンについての検討.日本呼吸器学会雑誌 2002;40:214
- 50) 高畠典明,井上純人,佐田誠:慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者における生体レベルでの細胞性免疫能についての検討.日本呼吸器学会雑誌 2002;40:267
- 51) 高畠典明,佐田誠:モノマー SP-BはマウスにおけるLPS気管内投与による肺障害を増悪させるが,高濃度酸素吸入による肺障害は修飾しない.第6回Acute Lung Injury研究会抄録集 2002;6
- 52) 町屋純一,和田敏弘,阿部修一,高畠典明,大竹和久,佐田誠,久保田功,柴田陽光,金内直樹,高橋信政,大泉弘幸,本間次男:有瘻性膿胸を合併したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の1例.第74回日本呼吸器学会東北地方会・第104回日本結核病学会東北地方会抄録集 2002;10

- 53) 鈴木聡,阿部修一,町屋純一,高畠典明,柴田陽光,大竹和久,佐田誠,久保田功:非侵襲的陽圧人工呼吸 (NPPV)により救命し得た神経サルコイドーシスによる急性呼吸不全の1例.第74回日本呼吸器学会東北地 方会・第104回日本結核病学会東北地方会抄録集 2002;21
- 54) 柴田陽光, Trapnell BC, Whitsett JA: GM-CSF欠損マウス肺におけるM-CSFの増加の機序.第74回日本呼吸器 学会東北地方会・第104回日本結核病学会東北地方会抄録集 2002;27
- 55) 今田恒夫, Qihe Xu, 古巣朗, 中山謙二, 北村正敬:酸化ストレスによるメサンギウム細胞アポトーシスにおけるPI3K-Akt経路の役割.日本腎臓学会誌 2002;44:243
- 56) 高崎聡,西田稚子,安孫子広,藤井順逸,今田恒夫:進行性腎不全モデルにおけるaldose reductaseとaldehyde reductase発現亢進について.日本腎臓学会誌 2002;44:269
- 57) 久保田功:山大医学部のページ 新任のご挨拶.山形県医師会会報 2002;610:7-8
- 58) 高橋俊之,西田稚子,五十嵐朗,伊東稔,市川一誠,今田恒夫,久保田功:ステロイドパルス療法が奏効したコレステロール塞栓症の一例.日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:31
- 59) 奥山雅基,廣野摂,野崎直樹,橘英忠,福井昭男,竹石恭知,久保田功,島﨑靖久:Old SVG graft狭窄に対してPTCAを施行時に血管内視鏡・IVUSを使用,plaque protrusionを確認し得た一例.日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:36
- 60) 本間健太郎,東海林佳兼,南幅修,齋藤弘,渡辺章,出川紀行,阿部貴志,青木政則,秋山直,本間さや香,安藤嘉章,齋藤宗一,木村守,渡辺裕哉,鈴木義広,大竹浩也,谷口真澄,小熊正樹,竹石恭知,福井昭男,久保田功:周産期心筋症の一例.日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:36
- 61) 武田宰,阿部修一,平間紀行,高畠典明,柴田陽光,佐田誠,久保田功:気管支に結節性病変を伴った慢性 好酸球性肺炎の一例.日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:38
- 62) 伊藤誠,松井幹之,渡邉哲,玉田芳明,黒田衛,中村和治,廣野摂,福井昭男,久保田功,横山紘一,友池 仁暢:心筋梗塞を見逃さないために 早期診断から病態に応じた治療選択 .第22回心筋梗塞研究会抄録 2002;27
- 63) 柴田陽光,大竹和久,佐田誠,久保田功,富永真琴,Whitsett JA, Trapnel BC: GM-CSFは転写因子PU.1を介して肺胞マクロファージの分化および自然免疫を制御する.第22回RMCB研究会抄録集 2002;23-24
- 64) 久保田功:山形大学医学部との三十年.医学部Today 2002;6-8
- 65) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 久保田功: 低用量ドブタミン・ATP同時負荷コントラスト エコー法を用いた心筋虚血診断.第52回循環器負荷研究会抄録集 2002;24
- 66) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 嘉山孝正, 久保田功: 洞調律における大動脈弓部潰瘍性プラーク周辺の渦血流の発生は脳梗塞発症の重要な規定因子である. J Cardiol 2002; 40:286
- 67) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 嘉山孝正, 久保田功:発作性心房細動における左心耳内fractional area change は心原性脳梗塞発症の重要な規定因子である. J Cardiol 2002; 40:423
- 68) 結城孝一,細谷幸雄,八巻通安,久保田功:心筋梗塞慢性期における心筋局所restitution特性と心室不整脈の 関係.心電図 2002;22:421
- 69) 廣野摂,竹石恭知,南幅修,金子一善,Kaniz F,張雪華,奥山雅基,福井昭男,久保田功:安静時パルス組織ドプラ法による心筋viability評価: 99mTc-MIBI心筋灌流イメージングとの対比検討.日本超音波医学会東北地方会 第24回学術集会抄録集 2002;5
- 70) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 久保田功, 嘉山孝正: 発作性心房細動における左心耳stunningと心原性脳梗塞発症の関連について. 日本超音波医学会東北地方会第24回学術集会抄録集 2002; 9
- 71) 金子一善,廣野摂,Kaniz F,張雪華,竹石恭知,久保田功,嘉山孝正:洞調律における大動脈弓部潰瘍性 plaque周辺の渦血流の発生は脳梗塞発症の重要な規定因子である.日本超音波医学会東北地方会第24回学術集 会抄録集 2002;10
- 72) 小山容, 五條智久, 阿部修一, 武田宰, 新関武史, 高畠典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功: レース鳩飼育により発症した鳥飼病の一例. 第75回日本呼吸器学会東北地方会・第105回日本結核病学会東北地方会抄録集 2002;19
- 73) 新関武史,町屋純一,柴田陽光,小山容,五條智久,武田宰,和田敏弘,荒生剛,平間紀行,阿部修一,高 畠典明,佐田誠,久保田功,富永真琴,佐山恒夫:自然軽快した肺胞蛋白症の一例.第168回日本内科学会東 北地方会会誌 2002;14:28

- 74) 奥山英伸,野崎直樹,有本貴範,秋山英之,二藤部丈司,中田茂和,廣野摂,橘英忠,奥山雅基,福井昭男, 竹石恭知,久保田功,安藤太三:肺動脈血栓内膜摘除術が有効であった慢性肺動脈血栓塞栓症の一症例. 第168回日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:31
- 75) 加藤重彦,橘英忠,奥山英伸,佐々木敏樹,田村晴俊,有本貴範,二藤部丈司,中田茂和,廣野摂,野崎直樹,奥山雅基,福井昭男,竹石恭知,久保田功:洞不全症候群を合併した不整脈源性右室心筋症の一症例. 第168回日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:32
- 76) 北原辰郎,西田稚子,高橋俊之,石川友美,市川一誠,今田恒夫,久保田功:治療抵抗性の悪性関節リウマチの一例.第168回日本内科学会東北地方会会誌 2002;14:36
- 77) 今田恒夫:私の(患者としての)英国医療体験記.山形県医師会会報 2002;613:10-11
- 78) 廣野摂,カニズ・ファテマ,金子一善,二藤部丈司,伊東稔,竹石恭知,政金生人,久保田功:慢性腎不全に合併する左室肥大とコラーゲンタイプI代謝酵素活性の関連について."HDF療法は循環器合併症を防ぎうるか"HDF療法'02 腎と透析 2002;53(別冊):11-16
- 79) 和田敏弘, 佐田誠, 久保田功: 非小細胞肺癌の血管新生と浸潤能におけるthymidine phosphorylaseの役割の検討. Jpn J Cancer Res 2002; 93:380
- 80) 金子一善,廣野摂,後藤敏和,荒木隆夫,矢作友保,川島祐彦,鈴木昌幸,横山紘一:虚血性心疾患に合併する腎血管性高血圧症の診断:心臓カテーテル検査時の腹部大動脈造影による腎動脈狭窄検索の有用性.第25回日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 2002;10:224
- 81) 廣野摂, Kaniz Fatema, 二藤部丈司, 竹石恭知, 金子一善, 志賀亮子, 久保田功: 本態性高血圧症に合併する高度左室肥大とコラーゲン代謝異常に対する塩酸benidipine長期投与の有用性について. 第25回日本高血圧学会総会プログラム・抄録集 2002; 10:240
- 82) 結城孝一, 細谷幸雄, 八巻通安, 久保田功: 心筋梗塞慢性期における心筋局所restitution特性と心室不整脈の関係. 実験動物セミナー第13回研究成果発表会抄録集 2002:11
- 83) 和田敏弘,佐藤潤,佐田誠,武田宰,荒生剛,平間紀行,阿部修一,高畠典明,柴田陽光,大泉弘幸,島崎靖久,福島正和,久保田功:非小細胞肺癌の血管新生と浸潤能におけるthymidine phosphorylaseの役割の検討. アレルギー・気道上皮細胞研究会第6回学術大会抄録集 2002;28
- 84) 佐田誠:「全身性疾患としてのCOPD」4.液性因子とCOPD.第65回閉塞性肺疾患研究会フリーディスカッション記録 2002;17-22

# 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Wada T, Sato J, Sato S, Takabatake N, Shibata Y, Otake K, Sata M, Nakamura H: The role of thymidine phosphory-lase in non-small cell lung cancer. American Thoracic Society 2002 International Conference, Atlanta; May 2002
- 2) Katagiri Y, Suwabe A, Otake K, Sata M, Goto K: Expression and localization of diacylglycerol kinase in the developing rat lung. American Thoracic Society 2002 International Conference, Atlanta; May 2002
- 3) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Tazawa S, Inoue M, Kubota I: Myocardial fatty acid imaging and expression of peroxisome proliferator-activated receptor in volume-overloaded rabbit hearts. The 49th Society of Nuclear Medicine Annual Meeting, Los Angeles; June 2002
- 4) Takeishi Y, Minamihaba O, Yamauchi S, Fukui A, Okuyama M, Nozaki N, Hirono O, Akiyama H, Fatema K, Miyamoto T, Shishido T, Takahashi K, Okada A, Kubota I: <sup>123</sup>I-BMIPP dynamic SPECT in patients with congestive heart failure: Effect of angiotensin II type-1 receptor blockade. The 49th Society of Nuclear Medicine Annual Meeting, Los Angeles; June 2002
- 5) Yamaguchi H, Ono S, Abe S, Tachibana H, Sato T, Takeishi Y: Reverse redistribution of <sup>99m</sup>Tc-sestamibi in patients with coronary spastic angina. The 49th Society of Nuclear Medicine Annual Meeting, Los Angeles; June 2002
- 6) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Arimoto T, Tazawa Y, Inoue M, Aoyama T, Kubota I: Expression of fatty acid utilization enzymes and fatty acid metabolic imaging in eccentric cardiac hypertrophy by volume-overload. Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure, Snowbird; August 2002
- 7) Takahashi H, Takeishi Y, Konta T, Miyamoto T, Shishido T, Kubota I: Effects of angiotensin II type-1 receptor

- blockade on mitogen-activated protein kinase activity and cardiac hypertrophy in rat model of progressive renal injury. Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure, Snowbird; August 2002
- 8) Miyashita T, Takeishi Y, Takahashi H, Miyamoto T, Ito M, Kubota I: Protein kinase C and calcineurin are critically involved in insulin-like growth factor-1-induced hypertrophy of adult rat ventricular myocytes. Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure, Snowbird; August 2002
- 9) Takeishi Y, Minamihaba O, Yamauchi S, Fukui A, Okuyama M, Nozaki N, Hirono O, Kubota I: Dynamic SPECT with <sup>123</sup>I-BMIPP in patients with congestive heart failure: Effect of angiotensin II type-1 receptor blockade. The 24<sup>th</sup> Congress of the European Society of Cardiology, Berlin; August-September 2002
- 10 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Shishido T, Itoh M, Kubota I: Activation of distinct signal transduction pathways in hypertrophied hearts by pressure and volume-overloads. The 24<sup>th</sup> Congress of the European Society of Cardiology, Berlin; August-September 2002
- 11 ) Miyashita T, Takeishi Y, Takahashi H, Miyamoto T, Kato S, Kubota I: Calcineurin and protein kinase C are involved in insulin-like growth factor-1-induced hypertrophy of cultured adult rat ventricular myocytes. The 24<sup>th</sup> Congress of the European Society of Cardiology, Berlin; August-September 2002
- 12 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Tazawa S, Inoue M, Kubota I: Myocardial fatty acid imaging and expression of peroxisome proliferator-activated receptor in volume-overloaded rabbit hearts. The 24<sup>th</sup> Congress of the European Society of Cardiology, Berlin; August-September 2002
- 13 ) Konta T, Xu Q, Furusu A, Nakayama K, Kitamura M: Role of the phosphoinositide 3-kinase (PI3K)-Akt pathway in hydrogen peroxide (H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>)-induced apoptosis of mesangial cells. The American Society of Nephrology, Philadelphia; October-November 2002
- 14 ) Ichikawa K, Konta T, Fujii F, Kubota I: Differential expression of aldose reductase and aldehyde reductase in the progressive renal injury in rats. The American Society of Nephrology, Philadelphia; October-November 2002
- 15 ) Xu Q, Konta T, Furusu A, Nakayama K, Lucio-Cazana J, Fine LG, Kitamura M: Differential contribution of RAR and RXR and contrastive role of three RAR subtypes in retinoic acid-induced MKP-1 expression in rat mesangial cells. The American Society of Nephrology, Philadelphia; October-November 2002
- 16 ) Xu Q, Konta T, Firusu A, Nakayama K, Fine LG, Kitamura M: Defense against oxidative stress-induced apoptosis in mesangial cells: A role for the MAP kinases-AP-1-MKP-1 pathway. The American Society of Nephrology, Philadelphia; October-November 2002
- 17 ) Nakayama K, Furusu A, Xu Q, Konta T, Kitamura M: Involvement of Src family tyrosine kinase in the proteosome inhibition-induced, c-Jun/AP-1-mediated MCP-1 expression. The American Society of Nephrology, Philadelphia; October-November 2002
- 18 ) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Kubota I: Pressure and volume overload-induced cardiac hypertrophy is associated with distinct activation of signal transduction pathways. International Society for Heart Research The 19th Annual Meeting of the Japanese Section, Yamagata; October-November 2002
- 19 ) Shishido T, Nozaki N, Nitobe J, Takeishi Y, Kubota I, Yamaguchi S, Takeuchi O, Akira S: Toll-like receptor-2 modulates ventricular remodeling after myocardial infarction. International Society for Heart Research The 19th Annual Meeting of the Japanese Section, Yamagata; October-November 2002
- 20 ) Takahashi H, Takeishi Y, Konta T, Miyamoto T, Shishido T, Arimoto T, Kubota I: Effect of angiotensin II Recepter blockade on mitogen-activated protein kinase activity and cardiac hypertrophy in rat model of renal injury. International Society for Heart Research The 19th Annual Meeting of the Japanese Section, Yamagata; October-November 2002
- 21 ) Cameron SJ, Malik S, Itoh S, Bains CP, Zhang C, Osawa M, Ohta S, Lemer-Marmarosh N, Huang Q, Che W, Glassman M, Lee J, Sheu S, Zhu JQ, Takeishi Y, Yan C, Berk BC, Yang J, Abe J: BMK1/ERK5 disrupts connexin gap junctional communication and inhibits intracelular [ Ca<sup>2+</sup> ] overload after myocardial ischemia. AHA Scientific Sessions 2002 (75th Scientific Sessions of American Heart Association), Chicago; November 2002
- 22 ) Takahashi H, Takeishi Y, Konta T, Miyamoto T, Shishido T, Kubota I: Effects of angiotensin II type-1 receptor blockade on mitogen-activated protein kinase activity and cardiac hypertrophy in rat model of progressive renal

- injury. AHA Scientific Sessions 2002 (75th Scientific Sessions of American Heart Association), Chicago; November 2002
- 23 ) Kaneko K, Hirono O, Fatema K, Takeishi Y, Kayama T, Kubota I: The development of aortic vortex flow around the ulcerated plaque is a major risk factor for acute cerebral embolism in normal sinus rhythm. AHA Scientific Sessions 2002 (75th Scientific Sessions of American Heart Association), Chicago; November 2002
- 24 ) Takeishi Y, Abe J, Kubota I, Walsh RA: Mechanical stress activates src and big mitogen-activated protein kinase-1 (BMK1) in the heart. International Society for Heart Research The 19th Annual Meeting of the Japanese Section, Yamagata; October-November 2002

### (2) 国内の学会

- 1) Takeishi Y, Minamihaba O, Fukui A, Okuyama M, Nozaki N, Hirono O, Yamauchi S, Miyashita T, Akiyama H, Miyamoto T, Shishido T, Kaniz F: <sup>123</sup>I-BMIPP dynamic SPECT in patients with congestive heart failure. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 2) Nitobe J, Yamaguchi S, Nozaki N, Okuyama M, Tomoike H, Suwabe A, Tominaga M, Kuroki Y: Significance of surfactant protein D in congestive heart failure: protection of endothelial cell against oxidative and inflammatory damage. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 3) Kaneko K, Hirono O, Kaniz F, Miyashita T, Yamauchi S, Itoh M, Kubota I, Tomoike H: A novel visualization of aortic flow around the atherosclerotic plaque and possible relationshiop to acute ischemic stroke with sinus rhythm. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 4) Shishido T, Hamagawa E, Nitobe J, Nozaki N, Okuyama M, Takeishi Y, Fukui A, Hirono O, Yamaguchi S, Kojo S, Shirakabe M, Takeuchi M, Kawashima S, Yahagi T, Gotoh T, Araki T, Yokoyama K: Increased caspase activity in circulating blood from patients with acute myocardial infarction. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 5) Nitobe J, Shishido T, Nozaki N, Akiyama H, Yamauchi S, Miyashita T, Minamihaba O, Ito M, Hirono O, Okuyama M, Fukui A, Takeishi Y, Yamaguchi S, Hamagawa E, Kojo S: Direct evidence of apoptosis in patients with dilated cardiomyopathy elevated caspase activities in circulating blood . The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 6) Nitobe J, Yamaguchi S, Nozaki N, Okuyama M, Tomoike H, Suwabe A, Tominaga M, Kuroki Y: Surfactant protein D may be a novel marker for lung edema in human heart failure. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 7) Miyashita T, Takeishi Y, Takahashi H, Kato S, Kubota I, Tomoike H: Protein kinase C-calcineurin pathway is involved in insulin-like growth factor-1-induced hypertrophy of cultured adult rat ventricular myocytes. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 8) Miyamoto T, Takeishi Y, Shishido T, Itoh M, Takahashi H, Tomoike H: Long-term blockade of nitric oxide synthesis attenuates volume-overload induced cardiovascular remodeling in rabbits. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 9) Kaneko K, Hirono O, Kaniz F, Miyashita T, Yamauchi S, Itoh M, Kubota I, Tomoike H: Does the presence of paroxysmal atrial fibrillation reflect to the atrial mechanical remodeling and the occurrence of acute ischemic stroke? The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 10 ) Shishido T, Takeishi Y, Takasaki S, Miyamoto T, Itoh M, Takahashi H, Tomoike H, Tasaki K, Wakabayashi I: Chronic hypertriglyceridemia in Watanabe Heritable Hyperlipidemic Rabbits (a model for familial combined hyperlipidemia) accerelates endothelial and medial smooth muscle dysfunctions. The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, Sapporo; April 2002
- 11) 佐藤潤,佐田誠,町屋純一,荒生剛,平間紀行,高畠典明,阿部修一,柴田陽光,大竹和久,中村秀範:非小細胞性肺癌(NSCLC)の血管新生と浸潤能におけるthymidine phosphorylase (TP)の役割の検討.第42回日本呼吸器学会総会,仙台;2002年4月
- 12) 片桐祐司,諏訪部章,大竹和久,佐田誠,後藤薫:発達過程のラット肺におけるジアシルグリセロールキナーゼの発現・局在・酵素活性についての検討.第42回日本呼吸器学会総会,仙台;2002年4月
- 13) 柴田陽光, 大竹和久, 佐田誠, 富永真琴: GM-CSFによる肺胞マクロファージ分化の機序 転写因子PU.1

- の役割 . 第42回日本呼吸器学会総会,仙台;2002年4月
- 14) 阿部修一,町屋純一,荒生剛,平間紀行,佐藤潤,高畠典明,大竹和久,佐田誠,柴田陽光:胸水中のレプ チンについての検討.第42回日本呼吸器学会総会,仙台;2002年4月
- 15) 高畠典明,井上純人,佐田誠:慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者における生体レベルでの細胞性免疫能についての検討,第42回日本呼吸器学会総会,仙台;2002年4月
- 16) 今田恒夫, Qihe Xu, 古巣朗, 中山謙二, 北村正敬:酸化ストレスによるメサンギウム細胞アポトーシスにおけるPI3K-Akt経路の役割.第45回(平成14年度)日本腎臓学会学術総会, 大阪; 2002年5月
- 17) 高崎聡,西田稚子,安孫子広,藤井順逸,今田恒夫:進行性腎不全モデルにおけるaldose reductaseとaldehide reductase発現亢進について.第45回(平成14年度)日本腎臓学会学術総会,大阪;2002年5月
- 18) 古瀬史子, 岡美智代, 本間はな子, 山口睦子, 安孫子広, 今田恒夫: CAPD患者が同居家族に求めている支援とその実際: 第47回(社)日本透析医学会学術集会・総会, 東京; 2002年7月
- 19) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 嘉山孝正, 久保田功: 洞調律における大動脈弓部潰瘍性プラーク周辺の渦血流の発生は脳梗塞発症の重要な規定因子である.第50回日本心臓病学会学術集会, 名古屋; 2002年9月
- 20) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 嘉山孝正, 久保田功: 発作性心房細動における左心耳内fractional area change は心原性脳梗塞発症の重要な規定因子である.第50回日本心臓病学会学術集会,名古屋; 2002年9月
- 21) 結城孝一, 細谷幸雄, 八巻通安, 久保田功: 心筋梗塞慢性期における心筋局所restitution特性と心室不整脈の 関係. 第19回日本心電学会学術集会, 名古屋; 2002年9月
- 22) 和田敏弘, 佐田誠, 久保田功: 非小細胞肺癌の血管新生と浸潤能におけるthymidine phosphorylaseの役割の検討.第61回日本癌学会総会, 東京; 2002年10月
- 23) 金子一善,廣野摂,後藤敏和,荒木隆夫,矢作友保,川島祐彦,鈴木昌幸,横山紘一:虚血性心疾患に合併する腎血管性高血圧症の診断:心臓カテーテル検査時の腹部大動脈造影による腎動脈狭窄検索の有用性.第25回日本高血圧学会総会,東京;2002年10月-11月
- 24) 廣野摂, Kaniz Fatema, 二藤部丈司, 竹石恭知, 金子一善, 志賀亮子, 久保田功: 本態性高血圧症に合併する高度左室肥大とコラーゲン代謝異常に対する塩酸benidipine長期投与の有用性について. 第25回日本高血圧学会総会, 東京; 2002年10月-11月
- (3) 国内地方会
  - 1) 鈴木聡,西田稚子,安孫子広,今田恒夫:持続性低補体血症と難治性ネフローゼを呈しfibrillary腎炎と思われた1例.第166回日本内科学会東北地方会会誌,仙台;2002年2月
  - 2) 渡邊哲,松井幹之,伊藤誠,黒田衛,中村和治,久保田功:開院から一年間における急性心筋梗塞の実態について.第133回日本循環器学会東北地方会,仙台;2002年2月
  - 3) 松井幹之,久保田功,廣野摂,福井昭男,友池仁暢,横山紘一:急性心筋梗塞と再灌流療法の状況(山形県 急性心筋梗塞発症登録評価事業より). 第133回日本循環器学会東北地方会,仙台;2002年2月
  - 4) 二藤部丈司,山口清司,野崎直樹,奥山雅基,宍戸哲郎,福井昭男,竹石恭知,廣野摂,伊藤誠,南幅修,山内聡,宮下武彦,秋山英之,濱川愛理,小城勝相:拡張型心筋症におけるアポトーシスの関与. 血中カスパーゼ3,8活性の亢進 .第133回日本循環器学会東北地方会,仙台;2002年2月
  - 5) 宍戸哲郎,山口清司,二藤部丈司,野崎直樹,奥山雅基,福井昭男,竹石恭知,廣野摂,伊藤誠,南幅修,山内聡,宮下武彦,秋山英之,白壁昌憲,荒木隆夫,後藤敏和,矢作友保,川島祐彦,竹内雅治,遠藤智之,三戸正人,横山紘一,濱川愛理,小城勝相:急性心筋梗塞患者における血中カスパーゼ3活性の測定. 入院時から72時間後までの連続測定 .第133回日本循環器学会東北地方会,仙台;2002年2月
  - 6) 廣野摂,カニズ・ファテマ,二藤部丈司,金子一善,志賀亮子,竹石恭知,久保田功:本態性高血圧症に合併する高度左室肥大とコラーゲン代謝異常に対するbenidipine長期投与の有用性.第134回日本循環器学会東北地方会,盛岡;2002年6月
  - 7) 高橋大,竹石恭知,今田恒夫,宮本卓也,宍戸哲郎,伊藤誠,久保田功:腎不全ラットにおける心肥大シグ ナルの推移.第134回日本循環器学会東北地方会,盛岡;2002年6月
  - 8) 宮本卓也, 竹石恭知, 高橋大, 宍戸哲郎, 伊藤誠, 久保田功: 機械的刺激は心筋のAktを一過性に活性化する. 第134回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2002年6月

- 9) 宮本卓也,竹石恭知,高橋大,宍戸哲郎,伊藤誠,久保田功:圧負荷肥大心の細胞内情報伝達系の活性化: 不全心との比較.第134回日本循環器学会東北地方会,盛岡;2002年6月
- 10) 金子一善, 廣野摂, カニズ・ファテマ, 山内聡, 宮下武彦, 二藤部丈司, 野崎直樹, 奥山雅基, 福井昭男, 竹石恭知, 久保田功: 発作性心房細動における左心耳機能及び脳梗塞発症との因果関係について. 第134回日本循環器学会東北地方会, 盛岡; 2002年6月
- 11) 宍戸哲郎,山口清司,二藤部丈司,野崎直樹,奥山雅基,福井昭男,竹石恭知,廣野摂,山内聡,宮下武彦, 秋山英之,久保田功,白壁昌憲,荒木隆夫,後藤敏和,矢作友保,川島祐彦,三戸正人,横山紘一,濱川愛理, 小城勝相:急性心筋梗塞における血中カスパーゼ活性の増加.第134回日本循環器学会東北地方会,盛岡; 2002年6月
- 12) 結城孝一,久保田功,八巻通安,細谷幸雄:心筋梗塞慢性期の心室不整脈発生機序.第134回日本循環器学会東北地方会,盛岡;2002年6月
- 13) 中田茂和,久保田功,熱海裕之,高橋紀子:冠動脈 肺動脈瘻を形成する異常血管の反応性.第134回日本 循環器学会東北地方会,盛岡;2002年6月
- 14) 町屋純一,和田敏弘,阿部修一,高畠典明,大竹和久,佐田誠,久保田功,柴田陽光,金内直樹,高橋信政, 大泉弘幸,本間次男:有瘻性膿胸を合併したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の1例.第74回日本呼吸 器学会東北地方会・第104回日本結核病学会東北地方会,山形;2002年2月
- 15) 鈴木聡,阿部修一,町屋純一,高畠典明,柴田陽光,大竹和久,佐田誠,久保田功:非侵襲的陽圧人工呼吸 (NPPV)により救命し得た神経サルコイドーシスによる急性呼吸不全の1例.第74回日本呼吸器学会東北地 方会・第104回日本結核病学会東北地方会,山形;2002年2月
- 16) 柴田陽光, Trapnell BC, Whitsett JA: GM-CSF欠損マウス肺におけるM-CSFの増加の機序.第74回日本呼吸器 学会東北地方会,第104回日本結核病学会東北地方会,山形;2002年2月
- 17) 高橋俊之,西田稚子,五十嵐朗,伊東稔,市川一誠,今田恒夫,久保田功:ステロイドパルス療法が奏効したコレステロール塞栓症の一例.第167回日本内科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 18) 奥山雅基,廣野摂,野崎直樹,橘英忠,福井昭男,竹石恭知,久保田功,島崎靖久:Old SVG graft狭窄に対してPTCAを施行時に血管内視鏡・IVUSを使用,plaque protrusionを確認し得た一例.第167回日本内科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 19) 本間健太郎,東海林佳兼,南幅修,齋藤弘,渡辺章,出川紀行,阿部貴志,青木政則,秋山直,本間さや香,安藤嘉章,齋藤宗一,木村守,渡辺裕哉,鈴木義広,大竹浩也,谷口真澄,小熊正樹,竹石恭知,福井昭男, 久保田功:周産期心筋症の一例.第167回日本内科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 20) 武田宰,阿部修一,平間紀行,高畠典明,柴田陽光,佐田誠,久保田功:気管支に結節性病変を伴った慢性 好酸球性肺炎の一例.第167回日本内科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 21) 廣野摂,竹石恭知,南幅修,金子一善,Kaniz F,張雪華,奥山雅基,福井昭男,久保田功:安静時パルス組織ドプラ法による心筋viability評価: <sup>99m</sup>Tc-MIBI心筋灌流イメージングとの対比検討.日本超音波医学会東北地方会第24回学術集会,山形;2002年9月
- 22) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 久保田功, 嘉山孝正: 発作性心房細動における左心耳stunningと心原性脳梗塞発症の関連について. 日本超音波医学会東北地方会第24回学術集会, 山形; 2002年9月
- 23) 金子一善,廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 久保田功, 嘉山孝正: 洞調律における大動脈弓部潰瘍性 plaque周辺の渦血流の発生は脳梗塞発症の重要な規定因子である. 日本超音波医学会東北地方会第24回学術集会, 山形; 2002年9月
- 24) 小山容, 五條智久, 阿部修一, 武田宰, 新関武史, 高畠典明, 柴田陽光, 佐田誠, 久保田功: レース鳩飼育により発症した鳥飼病の一例.第75回日本呼吸器学会東北地方会・第105回日本結核病学会東北地方会, 秋田; 2002年9月
- 25) 新関武史,町屋純一,柴田陽光,小山容,五條智久,武田宰,和田敏弘,荒生剛,平間紀行,阿部修一,高 畠典明,佐田誠,久保田功,富永真琴,佐山恒夫:自然軽快した肺胞蛋白症の一例.第168回日本内科学会東 北地方会,秋田;2002年9月
- 26) 奥山英伸,野崎直樹,有本貴範,秋山英之,二藤部丈司,中田茂和,廣野摂,橘英忠,奥山雅基,福井昭男, 竹石恭知,久保田功,安藤太三:肺動脈血栓内膜摘除術が有効であった慢性肺動脈血栓塞栓症の一症例. 第168回日本内科学会東北地方会,秋田;2002年9月

- 27) 加藤重彦,橘英忠,奥山英伸,佐々木敏樹,田村晴俊,有本貴範,二藤部丈司,中田茂和,廣野摂,野崎直樹,奥山雅基,福井昭男,竹石恭知,久保田功:洞不全症候群を合併した不整脈原性右室心筋症の一症例. 第168回日本内科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 28) 北原辰郎,西田稚子,高橋俊之,石川友美,市川一誠,今田恒夫,久保田功:治療抵抗性の悪性関節リウマチの一例,第168回日本内科学会東北地方会,秋田;2002年9月

### (4) 研 究 会

- 1) Miyamoto T, Takeishi Y, Takahashi H, Kubota I, Tomoike H: Pressure and volume overload-induced cardiac hypertrophy is associated with activation of distinct signal transduction pathyways. Coronary Club 第19回研究会,福島; 2002年7月
- 2) Shishido T, Nozaki N, Yamaguchi S, Nitobe J, Miyamoto T, Takahashi H, Arimoto T, Maeda K, Yamakawa M, Takeuchi O, Akira S, Takeishi Y, Kubota I: Toll-like receptor-2 modulates ventricular remodeling after myocardial infarction. 実験動物セミナー第13回研究成果発表会,山形;2002年12月
- 3) 宮下武彦, 竹石恭知, 高橋大, 加藤修一, 久保田功, 藤井聡司, 吉村哲彦, 友池仁暢: Coronary microves-sel/macrovessel内皮細胞におけるNO産生能の比較. Coronary Club第18回研究会, 仙台; 2002年2月
- 4) 福井昭男,竹石恭知,秋山英之,山内聡,宮下武彦,二藤部丈司,廣野摂,野崎直樹,奥山雅基,久保田功:「Brugada症候群 山形県内多施設登録事業案 Y-BRUST(Yamagata-BRUgada Syndrome Trial)」. 第15回山形不整脈研究会,山形;2002年1月
- 5) 金子一善,廣野摂, Kaniz Fatema, 久保田功: Touhoku myocardial contrast echo study group (T-MCE). 骨子と現況 . 第32回山形心臓超音波研究会, 山形; 2002年2月
- 6) 竹石恭知: Dynamic SPECTによるBMIPP定量評価.第4回心筋脂肪酸代謝画像検討会,大阪;2002年3月
- 7) 山口裕之,阿部茂,橘英忠,佐藤隆行,小野宗一,竹石恭知,久保田功:冠攣縮性狭心症における<sup>99m</sup>Tc-MIBI 逆再分布.第7回山形心臓核医学懇話会,山形;2002年3月
- 8) 福井昭男, 竹石恭知: 当院におけるICDの現状: 第42回東北不整脈研究会, 仙台; 2002年3月
- 9) 橘英忠,奥山英伸,加藤重彦,佐々木敏樹,田村晴俊,有本貴範,二藤部丈司,中田茂和,廣野摂,野崎直樹,奥山雅基,福井昭男,竹石恭知,久保田功,島崎靖久:右冠動脈に大量の血栓像を認めた不安定狭心症の 一例.第15回山形冠疾患治療検討会,山形;2002年5月
- 10) 中田茂和,久保田功,熱海祐之,高橋紀子:びまん性再狭窄病変に対し,radius stentでdirect stenting施行した症例.第15回山形冠疾患治療検討会,山形;2002年5月
- 11) 中田茂和,久保田功,熱海祐之,高橋紀子: Deep engagement施行直前に近位部病変に対してstentingを必要とした症例.第15回山形冠疾患治療検討会,山形;2002年5月
- 12) 山口裕之,阿部茂,橘英忠,佐藤隆行,小野宗一,竹石恭知:拡張型心筋症における<sup>9m</sup>Tc-MIBI washoutの意義、第23回心臓核医学研究会,大阪;2002年6月
- 13) 竹石恭知,南幅修,山内聡,福井昭男,奥山雅基,野崎直樹,廣野摂,秋山英之,宮下武彦,カニズ・ファテマ,宮本卓也,宍戸哲郎,久保田功,岡田明男,高橋和榮:心不全症例における<sup>123</sup>I-BMIPP dynamic SPECT . 第23回心臓核医学研究会,大阪;2002年6月
- 14) 小野宗一,山口裕之,阿部茂,橘英忠,佐藤隆行,竹石恭知:冠攣縮性狭心症における<sup>99m</sup>Tc-MIBI逆再分布: 安静時心筋SPECT delayed imageの有用性.第23回心臓核医学研究会,大阪;2002年6月
- 15) 福井昭男,今田恒夫,西田稚子,高橋大,宍戸哲郎,宮本卓也,結城孝一,中田茂和,廣野摂,久保田功: ロサルタンにより尿酸値が低下した一例.第5回A- アンタゴニスト研究会,盛岡;2002年6月
- 16) 荒生剛,高畠典明,佐田誠,久保田功,高橋一二三:人間ドック受診者の肺機能 白鷹町立病院の検診 データより - . 第1回山形COPD研究会,山形;2002年6月
- 17) 高畠典明,和田敏弘,武田宰,荒生剛,平間紀行,阿部修一,柴田陽光,佐田誠,久保田功:全身性疾患COPD. 第1回山形COPD研究会,山形;2002年6月
- 18) 高畠典明, 佐田誠: モノマー SP-BはマウスにおけるLPS気管内投与による肺障害を増悪させるが, 高濃度酸素吸入による肺障害は修飾しない. 第6回Acute Lung Injury研究会, 東京; 2002年2月
- 19) 伊藤誠,松井幹之,渡邉哲,玉田芳明,黒田衛,中村和治,廣野摂,福井昭男,久保田功,横山紘一,友池 仁暢:心筋梗塞を見逃さないために 早期診断から病態に応じた治療選択 .第22回心筋梗塞研究会,東京; 2002年7月

- 20) 柴田陽光,大竹和久,佐田誠,久保田功,富永真琴,Whisett A, Trapnel BC:GM-CSFは転写因子PU.1を介して肺胞マクロファージの分化および自然免疫を制御する.第22回RMCB研究会,東京:2002年7月
- 21) 今田恒夫,鈴木聡,小泉涼,西田稚子,安孫子広,久保田功:クリットラインによる循環血液量モニタリン グが持続透析での大量除水に有効だった一例.第13回東北アフェレーシス研究会および技術講習会,仙台; 2002年3月
- 22) 有本貴範,二藤部丈司,中田茂和,廣野摂,野崎直樹,橘英忠,奥山雅基,福井昭男,竹石恭知,久保田功:濃厚な家族歴を有するBrugada症候群患者に対するICD.第16回山形不整脈研究会,山形;2002年6月
- 23) 今田恒夫,西田稚子,高橋俊之,北原辰郎,市川一誠,石川友美,久保田功:治療抵抗性の悪性関節リウマチの一例.第1回山形リウマチ懇話会,山形;2002年6月
- 24) 佐藤智佳子,阿部修一,五條智久,山内啓子,小泉涼,高畠典明,新関武史,小山容,和田敏弘,武田宰,平間紀行,荒生剛,柴田陽光,佐田誠,久保田功:UFT/cisplatin/放射線同時照射併用療法が奏効した限局性非小細胞肺癌の一例.第34回山形肺癌懇話会,山形;2002年6月
- 25) 福井昭男: Brugada症候群に対するICD. 不整脈非薬物療法研究会, 山形; 2002年7月
- 26) 五條智久,阿部修一,武田宰,新関武史,小山容,平間紀行,高畠典明,柴田陽光,佐田誠,久保田功:学童時より症状が持続している慢性気管支炎の一例.第6回南東北胸部疾患研究会,山形;2002年7月
- 27) 市川一誠, 伊東稔, 今田恒夫, 前田邦彦: 半月体形成を伴った古典的多発動脈炎の一例. 第13回東北腎 フォーラム, 仙台; 2002年7月
- 28) 阿部修一,高畠典明,柴田陽光,佐田誠,武田博明:マクロライドがマクロファージの表面マーカー・転写 因子発現に及ぼす影響.第9回マクロライド新作用研究会,東京;2002年7月
- 29) 金子一善, 廣野摂, Kaniz F, 張雪華, 竹石恭知, 久保田功: 低用量ドブタミン・ATP同時負荷コントラスト エコー法を用いた心筋虚血診断.第52回循環器負荷研究会, 東京; 2002年8月
- 30) 永井俊一, 竹石恭知, 久保田功, 池田こずえ: 発作性心房細動に対する低用量フレカイニド静注・ピルジカイニド経口投与の2段階治療の有用性. 第10回不整脈薬物療法研究会, 名古屋; 2002年9月
- 31) 阿部修一:マクロライドがマクロファージの表面マーカー・転写因子発現に及ぼす影響.第1回南東北マクロライド研究会,仙台;2002年10月
- 32) 平間紀行:繰り返す上気道炎症状を契機に発見されたKartagener症候群の一例.第8回山形呼吸器感染症研究会,山形;2002年11月
- 33) 佐田誠:「全身性疾患としてのCOPD」4.液性因子とCOPD.第65回閉塞性肺疾患研究会,東京;2002年7日
- 34) 清野由美子,高橋祥子,高橋俊之,市川一誠,西田稚子,今田恒夫:糖尿病性腎症患者における血糖コントロールと食事療法遵守度 ~「糖尿病食事療法」栄養士からの提案~.第33回山形腎不全研究会,山形;2002年10月
- 35) 西田稚子,高橋俊之,市川一誠,今田恒夫,岡崎正信,長岡迪生:透析患者へのカルニチン投与の経験. 第33回山形腎不全研究会,山形;2002年10月
- 36) 工藤光介,今田恒夫,西田稚子,高橋俊之,市川一誠,谷田秀樹,政金生人,久保田功:慢性腎不全患者に おけるカルボニルストレスレベルについて.第33回山形腎不全研究会,山形;2002年10月
- 37) 二藤部丈司,野崎直樹,加藤重彦,北原辰郎,渡邉哲,廣野摂,橘英忠,福井昭男,竹石恭知,久保田功: 不安定狭心症患者に対するステント植え込み後にslow flowとなった1例.第16回山形冠疾患治療検討会, 山形;2002年11月
- 38) 久保田功:循環器内科からみた脳卒中.第9回山形県対脳卒中治療研究会,山形;2002年11月
- 39) 渡邉哲,八巻通安,山内聡,久保田功:心不全における電気的リモデリングと不整脈発生の関係 再分極特性の不均一性増大とRestitution特性の変化 . 第9回心不全と不整脈フォーラム,東京;2002年11月
- 40) 高畠典明:「全身性疾患としてのCOPD」. 第15回東北感染症・化療フォーラム,宮城蔵王;2002年11月
- 41) 結城孝一,細谷幸雄,八巻通安,久保田功:心筋梗塞慢性期における心筋restitution特性と心室不整脈の関係. 実験動物セミナー第13回研究成果発表会,山形;2002年12月
- 42) 和田敏弘,佐藤潤,佐田誠,武田宰,荒生剛,平間紀行,阿部修一,高畠典明,柴田陽光,大泉弘幸,島崎靖久,福島正和,久保田功:非小細胞肺癌の血管新生と浸潤能におけるthymidine phosphorylaseの役割の検討. アレルギー・気道上皮細胞研究会第6回学術大会,東京;2002年12月

### (5) その他

- Takeishi Y: Reverse redistribution of Tc-99m sestamibi in patients with acute myocardial infarction: A sign for successful revascularization and myocardial viability. SEVENTH INTERNATIONAL CARDIOLITE WORKSHOP, Los Angels; June 2002
- 2) 久保田功: 虚血性心臓病:日本人の特徴と山形県におけるAMIの実態.第55回福島循環器談話会,会津若松;2002年5月
- 3) 久保田功:わが国の虚血性心臓病 山形県急性心筋梗塞発症登録評価事業の成績を中心として . 第210 回秋田県南心疾患懇話会,横手;2002年5月
- 4) 久保田功:虚血性心疾患の心電図.高畠地区学術講演会,高畠町;2002年5月
- 5) 竹石恭知:シンポジウム『核医学21世紀の展望』薬剤負荷心筋血流と機能の評価.第20回動態核医学研究会, 仙台;2002年5月
- 6) 久保田功:心電学のあゆみ 20世紀を振り返って . 第134回日本循環器学会東北地方会,盛岡;2002年6日
- 7) 久保田功:心電図における左室肥大診断の意義 LIFE Studyを踏まえて . 酒田地区医師会学術講演会, 酒田; 2002年6月
- 8) 久保田功:急性心筋梗塞 山形県における現状とその予防対策 . 日本内科学会創立100周年記念市民公 開講座,山形;2002年7月
- 9) 久保田功:脱分極,再分極異常と心室性不整脈.第10回臨床循環器病研究会,前橋;2002年9月
- 10) 竹石恭知:心臓核医学ディベート:虚血性心疾患の診断・評価.第42回日本核医学会総会,神戸;2002年11月
- 11) 今田恒夫:腎疾患の治療(ARBを中心に). 山形県臨床内科医会学術講演会並びに診療報酬審査に関する懇談会,鶴岡;2002年11月
- 12) 久保田功:循環器疾患における最近のトピックス.上山医師会学術講演会,上山;2002年11月
- 13) 福井昭男: Brugada症候群及び不整脈の非薬物療法.循環器検診研修会,鶴岡・山形;2002年12月
- 14) 竹石恭知:心臓核医学の現況と将来展望 ~心不全症例を中心に~.第16回庄内循環器研究会,酒田;2002 年11月
- 15) 竹石恭知: ARBの基礎と臨床 ~心肥大・心不全症例を中心に~. 山形県臨床内科医会学術講演会並びに診療報酬審査に関する懇談会,山形;2002年12月
- 16) 竹石恭知:心臓核医学の日常臨床への応用 『心不全への応用』. 日本循環器学会近畿地方会第94回学術集会 ランチョンセミナー,大阪;2002年12月

# 3. その他

- 1) 第15回山形不整脈研究会,山形;2002年1月
- 2) 第32回山形心臓超音波研究会,山形;2002年2月
- 3) 第7回山形心臓核医学研究会,山形;2002年3月
- 4) 第16回山形不整脈研究会,山形;2002年6月
- 5) 第34回山形肺癌懇談会,山形;2002年6月
- 6) 第33回山形心臓超音波研究会,山形;2002年8月
- 7) 第23回樹氷循環器カンファレンス,山形;2002年8月
- 8) 第1回山形循環・呼吸・腎臓フォーラム,山形;2002年10月
- 9) 第12回山形循環器カンファランス,山形;2002年11月

# 消化器病態制御内科学分野(内科学第二)

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Matsumoto S, Kishida K, Shimomura I, Maeda N, Nagaretani H, Matsuda M, Nishizawa H, Kihara S, Funahashi T, Matsuzawa Y, Yamada A, Yamashita S, Tamura S, Kawata S: Increased plasma HB-EGF associated with obesity and coronary artery disease. Biochem Biophys Res Commun 2002; 295: 781-786
- 2) Sakon M, Nagano H, Dono K, Nakamori S, Umeshita K, Yamada A, Kawata S, Imai Y, Iijima S, Monden M: Combined intraarterial 5-fluorouracil and subcutaneous interferontherapy for advanced hepatocellular carcinoma with tumor thrombi in the major portal branches. Cancer 2002; 94: 435-442
- 3) Itoh N, Semba S, Ito M, Takeda H, Kawata S, Yamakawa M: Phosphorylation of Akt/PKB is required for suppression of cancer cell apoptosis and tumor progression in human colorectal carcinoma. Cancer 2002; 94: 3127-3134
- 4) Saeki A, Tamura S, Ito N, Matsuda Y, Yabuuchi I, Kawata S, Matsuzawa Y: Frequent impairment of the spindle assembly checkpoint in hepatocellular carcinoma. Cancer 2002; 94: 2047-2054
- 5) Shu HJ, Saito T, Watanabe H, Ito J, Takeda H, Okano H, Kawata S: Expression of the Musashi1 gene encoding the RNA-binding protein in human hepatoma cell lines. Biochem Biophys Res Commun 2002; 293: 150-154
- 6) Sakuta S, Tamura S, Yamada A, Miyagawa J, Yamamoto K, Kiso S, Ito N, Imanaka K, Wada A, Naka T, Kishimoto T, Kawata S, Matsuzawa Y: Activation of signal transducer and activator transcription 3 and expression of suppressor of cytokine signal 1 during liver regeneration in rats. J Hepatol 2002; 36: 378-384
- 7) Sakuta S, Tamura S, Yamada A, Miyagawa J, Yamamoto K, Kiso S, Ito N, Higashiyama S, Taniguchi N, kawata S, Matsuzawa Y: NF-kappa B activation in non-parenchymal liver cells after partial hepatectomy in rats: possible involvement in expression of heparin-binding epidermal growth growth factor. J Hepatol 2002; 36: 527-533
- 8) Saito T, Shinzawa H, Watanabe H, Sugahara K, Okumoto K, Togashi H, Kawata S: Lamivudine and rapid regeneration of the atrophic liver in decompensated cirrhosis due to hepatitis B. Am J Gastroenterol 2002; 97: 493-495
- 9) Saito T, Shinzawa H, Watanabe H, Togashi H, Kawata S: Home lactulose enema: prevention of hepatic encephalopathy at home. J Gastroenterol 2002; 37: 68-69
- 10 ) Saito K, Inoue S, Saito T, Kiso S, Ito N, Tamura S, Watanabe H, Takeda H, Misawa H, Togashi H, Matsuzawa Y, Kawata S: Augmentation effect of postprandial hyperinsulinaemia on growth of human hepatocellular carcinoma. Gut 2002; 51: 100-104
- 11 ) Ito J, Ghosh A, Moreira LA, Wimmer EA, Jacobs-Lorena M: Transgenic anopheline mosquitoes impaired in transmission of a malaria parasite. Nature 2002; 417: 452-455
- 12 ) Moreira LA, Ito J, Ghosh A, Devenport M, Zieler H, Abraham EG, Crisanti A, Nolan T, Catteruccia F, Jacobs-Lorena M: Bee Venom phospholipase inhibits malaria parasite development in transgenic mosquitoes. J Biol Chem 2002; 277: 40839-40843
- 13 ) Aoki M, Saito T, Watanabe H, Matsuo T, Saito K, Togashi H, Kawata S, Ishikawa K, Aoyama M, Kamada H, Shinzawa H: Clinical significance of a highly sensitive enzyme immunoassay of hepatitis B surface antigen using a novel electron spin resonance technique. J Med Virol 2002; 66: 166-170
- 14 ) Terui Y, Saito T, Watanabe H, Togashi H, Kawata S, Kamada Y, Sakuta S: Effect of angiotensin receptor antagonist on liver fibrosis in early stages of chronic hepatitis C. Hepatology 2002; 36: 1022
- 15 ) Matsuyama E, Nagashima R, Watanabe S, Takahashi T: Endoscopic hemostasis for hemorrhage from gastric cancer complicated by double-channel pylorus. Gastrointest Endosc 2002; 53: 679-680
- 16 ) Shu HJ, Takeda H, Shinzawa H, Takahashi T, Kawata S: Effect of lipopolysaccharide on Peptide transporter 1 expression in rat small intestine and its attenuation by dexamethasone. Digestion 2002; 65: 21-29
- 17) 冨樫整,照井有紀,安達徹,河田純男:AT1受容体を分子標的とした肝線維化軽減の試み C型慢性肝炎患者でのニューロタンを用いた治療成績 . Medical Practice 2002; 19: 1033-1035
- 18) 松田徹:平成11年度山形県消化器がん集検成績のまとめ.山形県医師会学術雑誌 2002;23:1-12

- 19) 本間正巳,高橋孝,國井一彦,横山紘一,松田徹,深井正仁,佐藤幸雄:山形県がん登録(第58報)平成10年(1998年)標準集計21年間の生存率の推移から見た地域がん登録における生存率測定の意義.山形県病医誌2002;136:72-88
- 20) 木村まり子,松田徹,深瀬和利,奥本和夫,間部克裕,鈴木克典,青山一郎,堺順一,斎藤博,佐藤信一郎:上腸間膜動脈解離の臨床的検討.日本消化器病学会雑誌 2002;99:145-151
- 21) 渡辺晋一郎,武田弘明,河田純男,木村理,伊藤真文,山川光徳:潰瘍性大腸炎の活動性陰窩炎症における樹状細胞の役割.消化器と免疫 2002;39:73-76
- 22) 尾形隆,嘉村亜希子,勝浦豊,栗原陽一:当院におけるHelicobacter pylori関連疾患の検査と治療の現状.済生会福島総合病院雑誌 2002;6:24-28
- 23) 尾形隆,嘉村亜希子,勝浦豊,栗原陽一:当院における内視鏡的大腸ポリープ摘除術.済生会福島総合病院 雑誌 2002;6:29-31
- 24) 尾形隆, 嘉村亜希子, 勝浦豊, 栗原陽一: Colonic muco-submucosal elongated polyp(CMSEP)と考えられた大腸ポリープの1例. 済生会福島総合病院雑誌 2002;6:32-35
- 25) 尾形隆, 嘉村亜希子, 勝浦豊, 栗原陽一: 当院の経皮内視鏡的胃瘻造設術. 済生会福島総合病院雑誌 2002; 6:36-37
- 26) 尾形隆,嘉村亜希子,勝浦豊,栗原陽一:Helicobacter pylori除菌後半年目に消失した粘膜下腫瘍型胃MALT リンパ腫の1例.済生会福島総合病院雑誌 2002;6:38-42
- 27) 尾形隆,嘉村亜希子,栗原陽一,海上雅光:健常人に発症したサイトメガロウイルス胃炎の1例.日本消化 器病学会雑誌 2002;99:483-488
- 28) 尾形隆,嘉村亜希子,栗原陽一,海上雅光:虫垂間膜に発生した腸間膜脂肪織炎の1例.日本消化器病学会雑誌 2002;99:605-609
- 29) 西瀬祥一,高橋一二三,藤嶋丈:知的障害者更生施設入所中の知的障害者に発生したアメーバ性大腸炎の1 例.内科 2002;90:585-587

#### (2) 著書

- 1) 河田純男:線維化マーカー (TGF- )とその効果判定における意義.井廻道夫編,肝疾患診療のコツと落とし穴.東京;中山書店,2002:20-21
- 2) 河田純男:肝硬変における耐糖能異常とその意義.井廻道夫編,肝疾患診療のコツと落とし穴.東京;中山 書店,2002:206-207
- 3) 河田純男:先天性代謝異常による肝障害ム原発性ヘモクロマトーシスとWilson病.今日の診断指針.東京; 医学書院,2002:762-764
- 4) 斎藤貴史,照井有紀, 殳紅進,渡辺久剛,河田純男: Musashi1のヒト肝臓内マクロファージにおける発現および分化機構の解析.小俣政男編,再生・増殖・分化と消化器病.東京;アークメデイア,2002:44-46
- 5) 渡辺久剛,奥本和夫,河田純男:びまん性肝疾患.図説消化器病シリーズ3 肝・胆・膵の画像診断.2002: 76-91

### (3) 総 説

- 1) 河田純男: State of Art. 肝再生における幹細胞と増殖因子の役割ム肝臓病学の新しい展開をめざして . Frontier in Gastroenterology 2002; 7:15-23
- 2) 河田純男,伊藤純一,渡辺久剛,斉藤貴史,冨樫整:生活習慣、環境による疾患ム病態と対策(1)脂肪肝. 医学と薬学 2002;48:37-41
- 3) 河田純男,渡辺久剛,斉藤貴史,冨樫整:肝臓と免疫 肝硬変ム感染防御、サイトカイン血症、発がんリスクと免疫.肝胆膵 2002;45:839-846
- 4) 冨樫整,安達徹,松尾拓,青木政則,菅原一彦,渡辺久剛,斉藤貴史,青山正明,開沼徳和,新沢陽英,大 矢博昭,鎌田仁,河田純男:電子スピン共鳴装置を用いた高感度HBs抗原測定法の開発と臨床応用.G.I. Research 2002;10:318
- 5) 冨樫整,安達徹,河田純男:代謝性肝疾患 増刊号 検査値から読む病態と診断計画.臨床医 2002;28: 1389-1390
- 6) 武田弘明,河田純男:本邦臨床統計集 吸収不良症候群.日本臨床 2002;60:193-199
- 7) 斎藤貴史,渡辺久剛,新沢陽英,奥本和夫,服部悦子,殳紅進,武田忠,照井有紀,安達徹,菅原一彦,斎

藤孝治, 冨樫整, 河田純男: C型肝炎の長期予後. Pharma Medica 2002; 20:77-82

- 8) 松田徹,佐藤幸雄:主要がんにおける罹患・死亡の年次変化厚生省がん研究助成金 地域がん登録の精度向上と活用に関する研究 平成13年度報告書.2002:95-99
- 9) 横山紘一,松田徹,佐藤幸雄:山形県のがん-主ながんの四半世紀の動向.山形県医師会会報 2002;605: 23-26
- 10) 尾形隆, 大戸斉: 輸血による免疫修飾とその臨床的意義. 血液フロンティア 2002; 12:1445-1450

# 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Handa K, Ohmura K, Ishii R, Horiuchi H, Onodera S, Sasaki T, Kida M, Igarashi K,Shinzawa H: Evaluation of the cases of bleeding peptic ulcers in Okitama area in Yamagata Japan. The 26th International Congress of Internal Medicine, Kyoto; May 2002
- 2) Mabe K: Evaluation of Borderline Data of Urea Breath Test In Post Treatment Diagnosis of Helicobacter Pylori. The 2 nd Conference of Korea-Japan joint meeting on Helicobacter Pylori, Nikko; July 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 斎藤貴史, 殳紅進, 照井有紀, 奥本和夫, 服部悦子, 渡辺久剛, 斎藤孝治, 冨樫整, 河田純男: 肝幹細胞に おけるMusashi-1の発現. 第1回日本再生医療学会総会, 京都; 2002年4月
- 2) 渡辺久剛,斎藤貴史,橋本千佳,服部悦子,奥本和夫,安達徹,武田忠,宮野慎太郎,照井有紀,菅原一彦, 斎藤孝治,冨樫整,河田純男:B型急性肝疾患と慢性肝炎例におけるHBV genotype B症例の検討.第38回日本 肝臓学会総会,大阪;2002年6月
- 3) 服部悦子, 殳紅進, 斎藤貴史, 渡辺久剛, 伊藤純一, 武田弘明, 河田純男: ヒト肝癌細胞株におけるMusashil の発現に関する検討. 第38回日本肝臓学会総会, 大阪; 2002年6月
- 4) 照井有紀,斎藤貴史,渡辺久剛,奥本和夫,服部悦子,安達徹,武田忠,宮野慎太郎,菅原一彦,斎藤孝治, 冨樫整,河田純男:肝疾患における肝組織内Musashi1(Msi-1)の発現に関する免疫組織学的検討: Musashi1に よるマクロファージ分化機構の解析.第38回日本肝臓学会総会,大阪;2002年6月
- 5) 宮野慎太郎,斎藤貴史,渡辺久剛,奥本和夫,服部悦子,安達徹,武田忠,照井有紀,菅原一彦,斎藤孝治, 冨樫整,河田純男,打越敏之: C型慢性肝炎における肝細胞脂肪化の意義に関する臨床病理学的検討.第38回 日本肝臓学会総会,大阪;2002年6月
- 6) 冨樫整,安達徹,松尾拓,服部悦子,奥本和夫,武田忠,照井有紀,菅原一彦,渡辺久剛,斎藤孝治,斎藤 貴史,河田純男:急性肝障害モデルにおけるレドックス制御能の解析 - in vivo電子共鳴装置を用いて.第38回 日本肝臓学会総会,大阪;2002年6月
- 7) 奥本和夫,服部悦子,安達徹,武田忠,照井有紀,菅原一彦,渡辺久剛,斎藤孝治,斎藤貴史,冨樫整,河田純男:進行肝細胞癌における予後予測因子としての血中TGF-1と抗腫瘍免疫能.第38回日本肝臓学会総会, 大阪;2002年6月
- 8) 松田徹: がん克服への応援歌 診断・治療・ケアー. 平成14年度がん征圧全国大会, 山形; 2002年9月
- 9) 佐藤幸雄,松田徹,鈴木克典,菊地惇,横山紘一:生存率と死因.第11回地域がん登録全国協議会総会研究会,米子;2002年9月
- 10) 斎藤貴史,河田純男:肝幹細胞におけるMusashi-1の発現.第6回日本肝臓学会大会,横浜;2002年10月
- 11) 安達徹, 冨樫整, 河田純男: PDGF-BBによる肝星細胞増殖課程における活性酸素の役割.第6回日本肝臓学会大会, 横浜; 2002年10月
- 12) 渡辺久剛,斎藤貴史,服部悦子,奥本和夫,安達徹,武田忠,菅原一彦,斎藤孝治,冨樫整,河田純男: B型慢性肝疾患におけるIFNおよびラミブジンの治療成績とHBV genotypeの検討.第6回日本肝臓学会大会,横浜;2002年10月
- 13) 菅原一彦, 冨樫整, 安達徹, 渡辺久剛, 松尾拓, 青木政則, 奥本和夫, 服部悦子, 武田忠, 伊藤純一, 斎藤孝治, 斎藤貴史, 新沢陽英, 河田純男: 高感度免疫測定法 (p-AP/HHTIO法) によるHBs抗原測定の臨床応用. 第6回日本肝臓学会大会, 横浜; 2002年10月
- 14) 福井忠久,武田弘明,河田純男:消化管粘膜におけるMusashi-1陽性細胞の検討.第44回日本消化器病学会大会,横浜;2002年10月

- 15) 渡辺晋一郎,新澤陽英,柄沢哲,石井里佳,小野寺滋,大村清成,木田雅文,鈴木義広,半田和広,山川光 徳:潰瘍性大腸炎の特徴的組織所見と樹状細胞の粘膜内分布との関連性.第44回日本消化器病学会大会2002, 横浜;2002年10月
- 16) 石井里佳,佐藤英之,柄沢哲,小野寺滋,大村清成,渡辺晋一郎,鈴木義広,半田和広,鵜飼克明,新澤陽英,渡邉久剛,河田純男:山形県置賜地区における急性A型肝炎12例の遺伝子解析.第44回日本消化器病学会大会2002,横浜;2002年10月
- 17) 半田和広,渡辺晋一郎,新澤陽英,石井里佳,鈴木義広,木田雅文,大村清成,柄沢哲,小野寺滋:一般内 視鏡観察と比較した,下部拡大内視鏡観察の有用性と問題点.第64回日本消化器内視鏡学会大会2002,横浜; 2002年10月
- 18) 高橋美香子: PEG後の早期瘻孔感染の実態.第64回日本消化器内視鏡学会大会ランチョンセミナー,横浜; 2002年10月
- 19) 武田弘明, 殳紅進,河田純男:在宅中心静脈栄養に血清銅の低下を来したクローン病の1例.第33回日本消化吸収学会総会,横浜;2002年10月
- 20) 斎藤貴史,渡辺久剛,新沢陽英,服部悦子,奥本和夫,安達徹,武田忠,伊藤純一,菅原一彦,斎藤孝治, 冨樫整,河田純男: C型肝炎ウイルス感染住民におけるHCV RNA自然陰性化例の検討.第34回日本肝臓病学 会東部会,筑波;2002年11月
- 21) 渡辺久剛,斎藤貴史,河田純男: HBV遺伝子変異からみたB型肝炎の病態と治療反応性.第34回日本肝臓病 学会東部会,筑波;2002年11月
- 22) 小関大平,阿部貴志,鈴木克典:肝血管腫を介した著明なAP shuntにより難治性腹水を生じた一例. 第34回日本肝臓学会東部会,筑波;2002年11月
- 23) 鈴木義広,石井里佳,佐藤英之,柄沢哲,小野寺滋,大村清成,渡辺晋一郎,半田和広,鵜飼克明,新澤陽英:若年者のNASHの一例,第34回日本肝臓学会東部会,筑波;2002年11月
- 24) 松田徹,佐藤幸雄:ステージ別生存率.第21回がん研究助成金「地域がん登録」研究班 平成14年度班会議, 大阪;2002年11月
- (3) 国内地方会
  - 1) 深瀬和利:早期胃癌のEMR(深達度診断から治療への一貫性) 2ch法.第13回日本消化器内視鏡学会東北セミナー,仙台;2002年1月
  - 2) 武田弘明,河田純男:遠心分離法およびアダカラムによる白血球除去療法の効果と予後.第172回日本消化 器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 3) 白幡名香雄,牧野直彦,戸澤智浩,本田悌一朗,三澤裕之,河田純男:十二指腸乳頭部カルチノイドの1例. 第172回日本消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 4) 佐藤俊浩,松田徹,間部克裕,深瀬和利,大泉晴史:ヘリコバクタ・ピロリ除菌療法を希望しない消化性潰瘍例の検討.第172回日本消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 5) 鵜飼克明,小野寺博義,鈴木雅貴,萱場佳郎,加賀谷浩文,高橋功,佐々木明徳,織内竜生,畑中恒,浅野直子:インターフェロン療法における不完全著効症例の検討.第172回日本消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 6) 尾形隆,嘉村亜希子,栗原陽一:大腸癌術後に胃および十二指腸に多発性腺癌を合併した家族性大腸ポリポーシスの1例.第172回日本消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 7) 青木政則,秋山直,本間さや香,安藤嘉明,阿部貴志,坂井庸祐,小野伴,荒井茂:消化管出血で発症した 十二指腸粘膜下腫瘍の1例.第172回日本消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 8) 青木竜男,小関大平,加藤喜信,松田佳代子,鈴木康之,間部克裕,伊藤純一,鈴木克典,深瀬和利,松田 徹,斎藤博:肝血管腫を介した著明なAP shuntにより難治性腹水を生じた門脈圧亢進症の一例.第172回日本 消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 9) 松田佳代子,間部克裕,加藤喜信,間部克裕,小関大平,鈴木克典,深瀬和利,斎藤博,松田徹:登録制度 による除菌後潰瘍再発の検討.第172回日本消化器病学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 10) 石浜活義,武田弘明,藤嶋昌一郎,福井忠久,折居智彦,中沢雄一,河田純男:内視鏡的切除を施行した大腸顆粒細胞腫の1例.第128回日本消化器内視鏡学会東北支部例会,仙台;2002年2月
  - 11) 角田卓哉,板垣茂文,本間直之,鈴木明彦,深瀬真之:放射線療法後の再発で、急速な腫瘍増大を来した食

道癌の1例.第128回日本消化器内視鏡学会東北支部例会,仙台;2002年2月

- 12) 松田徹:胃腸の癌は増えているの?.第26回日本消化器病学会東北支部市民公開講座,山形;2002年3月
- 13) 半田和広,渡辺晋一郎,鈴木義広,木田雅文,大村清成,小野寺滋,石井里佳,柄沢哲,新澤陽英:NSAID による多発消化性潰瘍の1例.第167回日本内科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 14) 菅原一彦,服部悦子,奥本和夫,安達徹,武田忠,伊藤純一,渡辺久剛,齋藤孝治,齋藤貴史,冨樫整,河田純男:B型急性肝炎重症型に対するラミブジンの使用経験.第173回日本消化器病学会東北支部例会,秋田;2002年7月
- 15) 鈴木義広,新沢陽英,半田和広,木田雅文,渡辺晋一郎,大村清成,石井里佳,小野寺滋,柄沢哲,平田慎也,中村由紀子,松尾拓:脳梗塞が疑われた門脈-大循環シャントによる脳症の一例.第173回日本消化器病学会東北支部例会,秋田;2002年7月
- 16) 深瀬滋太,間部克裕,松田佳代子,照井有紀,阿部貴志,小関大平,鈴木克典,深瀬和利,斎藤博,松田 徹:自然消失したと思われる胃悪性リンパ腫の一例.第173回日本消化器病学会東北支部例会,秋田;2002年 7月
- 17) 角田卓哉,板垣茂文,宮野慎太郎,鈴木明彦,深瀬真之:大腸sm2癌で、漿膜内のリンパ節に転移を来した 1例.第129回日本消化器内視鏡学会東北支部例会,秋田;2002年7月
- 18) 半田和広,鈴木義広,木田雅文,渡辺晋一郎,大村清成,小野寺滋,石井里佳,柄沢哲 新澤陽英:キャッチスネアを用いた下部内視鏡的ポリープ切除術の利点と問題点.第129回日本消化器内視鏡学会東北支部例会, 秋田;2002年7月
- 19) 尾形隆,嘉村亜希子,勝浦豊,栗原陽一,入澤篤志,引地拓人,大山仁,佐藤直人,渋川悟朗,高木忠之,山本豪,若槻尊,山田ゆき江,小原勝敏,佐藤由紀夫,渡辺一男,鈴木利光:膵炎で発症し超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNAB)が診断に有用であった肺小細胞癌膵転移の1例.第129回日本消化器内視鏡学会東北支部例会,秋田;2002年7月
- 20) 柄沢哲,渡辺晋一郎,石井里佳,小野寺滋,大村清成,木田雅文,鈴木義広,半田和広,新澤陽英:細菌性 赤痢の大腸内視鏡像の検討.第129回日本消化器内視鏡学会東北支部例会,秋田;2002年7月
- 21) 高野潤,中沢雄一,武田弘明,石浜活義,福井忠久,藤嶋昌一郎,折居智彦,河田純男:同時に3病変の大腸癌が見られた1例.第129回日本消化器内視鏡学会東北支部例会,秋田;2002年7月
- 22) 松田佳代子,深瀬和利,深瀬滋太,間部克裕,照井有紀,阿部貴志,小関大平,鈴木克典,斎藤博,松田 徹:内視鏡的に止血し得た十二指腸憩室出血の一例.第129回日本消化器内視鏡学会東北支部例会,秋田;2002 年7月
- 23) 松田徹,長島義弘,大泉晴史,本間清和,和田潤一,佐藤吉宣:胃がん検診における判定項目-「精検不要」 の追加-.第40回日本消化器集団検診学会東北支部地方会,秋田;2002年7月
- 24) 鈴木克典,松田徹,深瀬滋太,松田佳代子,間部克裕,照井有紀,阿部貴志,小関大平,加藤智恵子,深瀬和利,斎藤博:腹部超音波集団検診における判定基準案の作成の必要性.第40回日本消化器病集団検診学会東北支部地方会,秋田;2002年7月
- 25) 大谷勝実,西瀬祥一,最上久美子,池田辰也,村山尚子,早坂晃一,高橋達也,深尾彰:山形県内の施設で みられた赤痢アメーバの集団感染.第51回東北公衆衛生学会,青森;2002年7月
- 26) 大谷勝実,西瀬祥一,最上久美子,池田辰也,村山尚子,早坂晃一:施設で発生した赤痢アメーバ集団感染事例における病原学的検討.第56回日本細菌学会東北支部総会,盛岡;2002年8月
- 27) 青木政則,鈴木恒治,小阪太裕,東海林佳兼,本間清明,本間さや香,南幅修,大竹浩也,渡辺裕哉,秋山直,斎藤弘,出川紀行,木村守,鈴木義広,本間健太郎,斉藤宗一,小熊正樹,同病理科 荒井茂:成人発症のReve症候群と考えられた一剖検例.第168回日本内科学会東北支部例会,秋田;2002年9月

### (4) 研究会

- 1) 鵜飼克明:感染対策総論.宮城県看護協会講演会,名取;2002年1月
- 2) 高橋美香子: 当院におけるPTEG 3 例の経験からみた問題点.第1回日本PTEG研究会,2002年1月
- 3) 鵜飼克明: C型肝炎関連肝癌の予防は可能か?. 角田丸森三師会学術講演会,角田;2002年2月
- 4) 鵜飼克明: C型肝炎関連肝癌の撲滅を目指して.仙台市医師会太白ブロック学術講演会,仙台;2002年2月
- 5) 半田和広: 当院消化器内科の患者動向及び大腸腫瘍の内視鏡的治療. 大腸癌読影従事者・地域医療連携事業 研修会, 南陽; 2002年2月

- 6) 武田弘明:あなたの胃腸は元気ですか-胃腸の癌と内視鏡治療.日本消化器病学会・東北支部 市民公開講 座,山形;2002年3月
- 7) 武田弘明:炎症性腸疾患,治療の現状と最近の話題.酒田地区・鶴岡地区医師会学術講演会,酒田;2002年 3月
- 8) 大泉晴史:胃、大腸の病気とその予防.山辺町健康教室,2002年3月
- 9) 大泉晴史:術前 [0 '(IIa+IIc)MP] と診断した早期直腸癌の一例.第19回山形県大腸疾患研究会,2002年3月
- 10) 半田和広,石井里佳,五十嵐浩太郎,大村清成,小野寺滋,佐々木隆志,堀内英和,新澤陽英:Is+IIc型早期大腸癌の1例.第19回大腸疾患研究会,山形;2002年3月
- 11) 小関大平:難治性腹水の一例.山形県肝疾患研究会,山形;2002年3月
- 12) 間部克裕:除菌保険適応後の現状と問題点-登録制度による検討-.東北胃腸フォーラム2002,仙台;2002 年3月
- 13) 大泉晴史:深達度診断が困難であった進行胃癌 [OIT2(ss)] の一例.第16回山形県胃と腸勉強会,2002年4月
- 14) 大泉晴史:穿孔をきたした大腸子宮内膜症の一例.第16回山形県胃と腸勉強会,2002年4月
- 15) 柄沢哲,渡辺晋一郎,石井里佳,小野寺滋,大村清成,木田雅文,鈴木義広,半田和広,新澤陽英:細菌性 赤痢の1例.第16回山形県胃と腸勉強会,山形;2002年4月
- 16) 松田佳代子,間部克裕:内視鏡的に切除し得たIs+IIc早期大腸癌の一例.第16回山形県胃と腸勉強会,山形; 2002年4月
- 17) 武田弘明,石浜活義,藤嶋昌一郎,福井忠久,折居智彦,中沢雄一,本間直之,高野潤,名木野匡,松田暁子,河田純男:胃EMRにおける大型ソフトキャップの使用経験.第22回山形県治療内視鏡研究会,山形;2002年5月
- 18) 鈴木義広:Lamivudineを投与したB型肝炎の臨床経過.置賜肝臓病勉強会,南陽;2002年5月
- 19) 高橋昌宏,高橋美香子:内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) に関わる諸問題.第22回山形県消化器治療内視鏡研究会,山形;2002年5月
- 20) 鈴木克典:急性アルコール性肝炎の一剖検例.第47回山形県肝疾患研究会,山形;2002年6月
- 21) 鈴木義広: 若年者のNASHの一例.第47回山形県肝疾患研究会,山形;2002年6月
- 22) 尾形隆,安斎美知子:単核球の採取・分離および凍結保存法.第1回免疫細胞療法研究会準備会セミナー, 福島;2002年6月
- 23 ) 高橋美香子: 経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)のABC ~ 地域で受け入れられる胃瘻をめざして ~ . 第 4 回PEG ネットワークセミナー, 仙台; 2002年 6 月
- 24) 武田弘明,石浜活義,藤嶋昌一郎,福井忠久,本間直之,大武さや香,中沢雄一,折居智彦,河田純男:短期間に手術が必要になった大腸クローン病の1例.第1回山形県IBD研究会,山形;2002年7月
- 25) 鵜飼克明:肝細胞癌治療の今後の展望.第2回インターフェロン治療研究会置賜部会,南陽;2002年7月
- 26) 高橋美香子:より安全なPEGを目指して.第1回PEGコンセンサスミーティング,東京;2002年7月
- 27) 斎藤博,間部克裕:TS-1の副作用.第3回TS-1勉強会,山形;2002年7月
- 28) 大泉晴史:集検発見早期胃癌の一例.第17回山形県胃と腸研究会,山形;2002年8月
- 29) 鵜飼克明:健診でHBs抗原陽性又はHCV抗体陽性を指摘され受診した患者にどう対処するか.第17回臨床肝臓勉強会,仙台;2002年8月
- 30) 深瀬滋太,深瀬和利:表在型食道類基底細胞癌の一例.第17回山形県胃と腸研究会,山形;2002年8月
- 31) 菅原一彦,服部悦子,奥本和夫,安達徹,武田忠,伊藤純一,渡辺久剛,齋藤孝治,齋藤貴史,冨樫整,河 田純男:当科における食道・胃静脈瘤緊急出血例に対する治療指針.第15回東北食道・胃静脈瘤硬化療法研究 会,福島;2002年9月
- 32) 大泉晴史:過敏性腸症候群、新しい診断と治療.寒河江西村山郡医師会学術講演会,2002年9月
- 33) 小関大平: 山形県における新しいIFN治療の現況と問題点 アドバフェロンの治療に関して . 山形県インターフェロン治療研究会,山形: 2002年9月
- 34) 鈴木義広:レベトール・イントロンA併用療法に関して.山形県インターフェロン治療研究会,山形;2002 年9月
- 35) 鈴木義広:レベトール・イントロンA併用療法の現状.第3回インターフェロン治療研究会置賜部会, 南陽;2002年9月

- 36) 鈴木義広:原発性肝癌に対し重粒子線治療・RFA施行後に肝出血をきたした一例.第48回山形県肝疾患研究会,山形:2002年9月
- 37) 高橋美香子:PEG学ことはじめ~地域で受け入れられる胃瘻をめざして~.第3回中部PEG研究会,名古屋; 2002年9月
- 38) 高橋美香子: 経皮内視鏡的胃瘻造設術 (PEG) における、瘻孔感染、瘻孔周囲炎の状況.第7回HEQ研究会, 鎌倉; 2002年9月
- 39) 間部克裕: Hp除菌療法の登録制度による検討.第4回山形県臨床H.pylori研究会,山形;2002年9月
- 40) 西田隼人,小関大平,深瀬滋太,松田佳代子,間部克裕,照井有紀,阿部貴志,鈴木克典,加藤智恵子,深瀬和利,斎藤博,松田徹:コンセンサスインターフェロン投与により著明な好中球減少を生じた2例.山形県インターフェロン治療研究会,山形;2002年9月
- 41) 冨樫美絵, 高橋美香子: 粉末寒天を用いた経腸栄養剤固形化によって胃瘻瘻孔からの栄養剤の漏れはコントロール可能か? 第7回HEQ研究会, 鎌倉; 2002年9月
- 42) 近江晃樹,間部克裕,深瀬滋太,松田佳代子,照井有紀,阿部貴志,小関大平,鈴木克典,加藤智恵子,深瀬和利,斎藤博,松田徹:EUSで深達度診断し2チャンネル法で完全切除し得た直腸カルチノイドの一例. 第6回山形県超音波内視鏡研究会,山形;2002年9月
- 43) 菅原一彦,服部悦子,奥本和夫,安達徹,武田忠,伊藤純一,渡辺久剛,齋藤孝治,齋藤貴史,冨樫整,河田純男:当科における食道・胃静脈瘤緊急出血例に対する治療指針.第6回山形県食道・胃静脈瘤研究会,山形;2002年10月
- 44) 本間直之,武田弘明,石浜活義,福井忠久,大武さや香,藤嶋昌一郎,河田純男:陥凹面を有するIs型早期 大腸癌の1例.山形県消化器病懇話会村山ブロック症例検討会,山形;2002年10月
- 45) 大武さや香,武田弘明,石浜活義,福井忠久,本間直之,藤嶋昌一郎,河田純男:早期大腸癌の1例. 第20回山形県大腸疾患研究会,山形;2002年10月
- 46) 大泉晴史:潰瘍性大腸炎に合併した早期直腸癌の一例.第20回山形県大腸疾患研究会,2002年10月
- 47) 鵜飼克明:ウイルス肝炎健診で異常を指摘された場合の対応について.名取・亘理地区地域医療対策委員会, 南陽;2002年10月
- 48) 石井里佳,佐藤英之,柄沢哲,小野寺滋,大村成,渡辺晋一郎,鈴木義広,半田和広,新澤陽英:EUSが有用であった巨木型胃食道静脈瘤の1例.第6回山形県食道・胃静脈瘤研究会,山形;2002年10月
- 49) 岩城三喜子,小関大平:内視鏡消毒におけるフタラール製剤の使用経験について.第16回山形県内視鏡技師研究会,2002年10月
- 50) 岩城三喜子,安達知美,仲野幸子,行徳美香,磯部由美,小関大平,鈴木克典,深瀬和利:内視鏡消毒におけるフタラール製剤の使用経験について.第16回山形県内視鏡技師研究会,2002年10月
- 51) 武田弘明,武田裕司,荒木慶彦,仙道富士郎,河田純男:潰瘍性大腸炎に対するアダカラム施行時のsGPI-80 とIL-1raの検討.第1回RAND・好中球研究会,鹿児島;2002年11月
- 52) 武田弘明: 当科における食道疾患の検討.第25回山形県耳鼻咽喉科疾患研究会,山形;2002年11月
- 53) 大泉晴史: IBSの診断と治療、精神医学的アプローチも含めて.第5回山形こころのケア研究会,山形; 2002年11月
- 54) 鵜飼克明:肝炎と肝癌:第356回仙台市市民医学講座,仙台;2002年11月
- 55) 深瀬和利:ピロリ菌と胃癌について.市民公開講座 ピロリ菌と胃の病気,山形;2002年11月
- 56) 鈴木義広:献血で発見されゼフィックス投与を行った急性B型肝炎の一例.第3回山形B型肝炎研究会,山形;2002年11月
- 57) 高橋美香子:胃瘻からの経腸栄養が継続できなくなる場合.第2回PEGセミナー,横浜;2002年11月
- 58) 間部克裕: ピロリ菌と病気、除菌療法について. 市民公開講座, 山形; 2002年11月
- 59) 間部克裕: 山形県におけるH.pylori除菌療法の現状 登録制度による検討 . 九州へリコバクター研究会 , 福岡; 2002年11月
- 60) 小野寺滋,鈴木義広,半田和広,渡辺晋一郎,大村清成,石井里佳,柄沢哲,佐藤英之,鵜飼克明:腹腔鏡下ラジオ波焼灼療法後に腹膜播種を起こした一例.第53回宮城肝癌治療研究会,仙台;2002年11月
- 61) 柄沢哲,半田和広,渡辺晋一郎,佐藤英之,小野寺滋,石井里佳,大村清成,鈴木義広,鵜飼克明,新澤陽英:総胆管結石症に対する内視鏡的逆行性胆管ドレナージ(ERBD)療法.第8回置賜地域医療連携懇話会,長

#### 井;2002年11月

- 62) 武田弘明,石浜活義,藤嶋昌一郎,福井忠久,本間直之,大武さや香,中沢雄一,折居智彦,伊藤ななみ, 柘植香里,原田将,河田純男:治療に反応せず短期間に広範囲の閉塞を来した大腸クローン病の1例. 第19回IBD Club Jr研究会,東京;2002年12月
- 63) 大武さや香,武田弘明,石浜活義,福井忠久,藤嶋昌一郎,本間直之,河田純男:内視鏡的空腸ポリープ切除術を施行したPeutz-Jegers症候群の1例.第23回山形県治療内視鏡研究会,山形;2002年12月
- 64) 半田和広,鈴木義広,渡辺晋一郎,大村清成,小野寺滋,石井里佳,柄沢哲,佐藤英之,鵜飼克明,新澤陽英:大腸粘膜切除後の処置で穿孔をきたした一例.第23回山形県消化器治療内視鏡研究会,山形;2002年12月
- 65) 深瀬滋太,間部克裕,松田佳代子,照井有紀,阿部貴志,小関大平,鈴木克典,加藤智恵子,深瀬和利,斎藤博,松田徹:内視鏡的バルーン拡張術にて手術を回避できた十二指腸潰瘍狭窄の一例.第23回山形県消化器 治療内視鏡研究会,山形;2002年12月
- 66) 斎藤博,深瀬和利,松田徹:出産後6ヶ月に発症した進行胃癌の2例.第2回山形消化器癌研究会,山形; 2002年12月

## 生命情報内科学分野(内科学第三)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Kawanami T, Kurita K, Yamakawa M, Omoto E, Kato T: Cerebrovascular disease in acute leukemia: A clinicopathological study of 14 patients. Internal Med 2002; 41: 1130-1134
- 2) Susa S, Daimon M, Ono H, Song L, Yoshida T, Kato T: Heme inhibits the mitochondrial import of coproporphyrinogen oxidase. Blood 2002; 100: 4678-4679
- 3) Kimura H, Kurimura M, Wada M, Kawanami T, Kurita K, Suzuki Y, Katagiri T, Daimon M, Kayama T, Kato T: Female preponderance of Parkinson's disease in Japan. Neuroepidemiology 2002; 21: 292-296
- 4) Wada M, Kamata M, Aizu Y, Morita T, Jianguo H, Oyanagi K: Alteration of midkine expression in the ischemic brain of humans. J Neurol Sci 2002; 200: 67-73
- 5) Igarashi M, Yamaguchi H, Hirata A, Tsuchiya H, Ohnuma H, Tominaga M, Daimon M, Kato T: Mechanisms of inhibitory effects of cerivastatin on rat vascular smooth muscle cell growth. J Cardiovasc Pharmacol 2002; 40: 277-287
- 6) Saitoh T, Daimon M, Eguchi H, Hosoya T, Kawanami T, Kurita K, Tominaga M, Kato T: Type 2 diabetes is not a risk factor for asymptomatic ischemic brain lesion. The Funagata Study. Internal Med 2002; 41: 351-356
- 7) Daimon M, Oizumi T, Saitoh T, Kameda W, Yamaguchi H, Ohnuma H, Igarashi M, Manaka H, Kato T: Calpain 10 gene polymorphisms are related, not to type 2 diabetes, but to increased serum cholesterol in Japanese. Diabetes Res Clin Pract 2002; 56: 147-152
- 8) Kaneko K, Yoshida K, Arima K, Ohara S, Miyajima H, Kato T, Ohta M, Ikeda SI: Astrocytic deformity and globular structures are characteristic of the brains of patients with aceruloplasminemia. J Neuropathol Exp Neurol 2002; 61: 1069-1077
- 9) Arawaka S, Hasegawa H, Tandon A, Janus C, Chen F, Yu G, Kikuchi K, Koyama S, Kato T, Fraser PE, St George-Hyslop P: The levels of mature glycosylated nicastrin are regulated and correlate with gamma-secretase processing of amyloid beta-precursor protein. J Neurochem 2002; 83: 1065-1071
- 10 ) Adachi M, Kurimura M, Saito S, Hosoya T, Kayama T, Kato T: Topographical alterations of the midbrain and the substantia nigra following unilateral posteroventral pallidotomy in patients with Parkinson's disease using routine and multishot diffusion-weighted magnetic resonance imaging. Neuroradiology 2002; 44: 579-585
- 11 ) Ishii K, Klunk WE, Arawaka S, Debnath ML, Furiya Y, Sahara N, Shoji S, Tamaoka A, Pettegrew JW, Mori H: Chrysamine G and its derivative reduce amyloid beta-induced neurotoxicity in mice. Neurosci Lett 2002; 333: 5-8
- 12 ) Chen F, Gu Y, Hasegawa H, Ruan X, Arawaka S, Fraser P, Westaway D, Mount H, St George-Hyslop P: Presenilin 1 mutations activate gamma 42-secretase but reciprocally inhibit epsilon-secretase cleavage of amyloid precursor protein (APP) and S3-cleavage of notch. J Biol Chem 2002; 277: 36521-36526
- 13 ) Yang DS, Tandon A, Chen F, Yu G, Yu H, Arawaka S, Hasegawa H, Duthie M, Schmidt SD, Ramabhadran TV, Nixon RA, Mathews PM, Gandy SE, Mount HT, St George-Hyslop P, Fraser PE: Mature glycosylation and trafficking of nicastrin modulate its binding to presenilins. J Biol Chem 2002; 277: 28135-28142
- 14) 木村英紀,加藤丈夫:山形県におけるParkinson病の疫学調査.神経内科 2002;57:485-491
- 15) 加藤丈夫,亀田亘:第27回日本脳卒中学会総会特別企画 東北地区「延髄梗塞」共同調査報告.脳卒中 2002;24:240-246
- 16) 加藤裕一,鈴木啓二朗,秋葉次郎,田嶋克史,林朋博,加藤丈夫,吉野真人:治療経過中に上腸間膜静脈血栓症を併発した悪性リンパ腫,および赤芽球癆症例.臨床血液 2002;43:17-22
- 17) 加藤丈夫:パーキンソン病の治療.山形県医師会学術雑誌 2002;23:59-65
- 18) 鏡原康裕,和田学,小森哲夫,清水俊夫,四宮美恵子:一過性に脊椎自動反射が出現した原因不明のmyelo-pathyの1例-電気生理学的検討.臨床神経 2002;42:859-863
- 19) 加藤丈夫,大門真,斎藤保:山形県舟形町における糖尿病の有病率,発症率の動向,糖尿病性網膜症の有病率について.厚生科学研究費補助金21世紀型医療開拓推進研究事業「脳卒中および虚血性心疾患の危険因子と

- しての糖尿病の大規模追跡共同研究」(班長:藤島正敏) 平成13年度総括・分担研究報告書 2002;37-41
- 20) 加藤丈夫,飛澤晋介:家族性筋萎縮性側索硬化症に関連する変異型SOD1の細胞内凝集塊形成に関する研究. 厚生科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業「筋萎縮性側索硬化症の病態の解明と治療に関する研究班(班長:糸山泰人)平成13年度研究報告書 2002;43-44
- 21) 加藤丈夫,栗田啓司,木村英紀,栗村正之,黒川克朗,和田学,川並透,内海裕子,佐藤和佳子,千葉さおり:山形県における神経難病療養環境の整備事業(分担研究総合報告書).厚生労働科学研究費補助金 特定疾患対策研究事業「特定疾患対策の地域支援ネットワークの構築に関する研究班」(主任研究者:木村格)1999-2001年度総合研究報告書 2002;25
- 22) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,土家寛美,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:糖尿病ラットの頸動脈内膜傷害と耐糖能に対する angiotensin Type1 受容体阻害剤 candesartanの効果.第16回日本糖尿病動物研究会記録 2002;36-37

#### (2) 著書

- 1) 加藤丈夫: Wilson病. 亀山正邦, 高久文麿編, 今日の診断指針(第5版). 東京; 医学書院, 2002; 607-608
- 2) 加藤丈夫:ウイルソン病,肝性脳症.祖父江元編,看護のための最新医学講座 第1巻 脳・神経系疾患. 東京;中山書店,2002;503-506
- 3) 大門真,加藤丈夫:急性ポルフィリン症.祖父江元編,看護のための最新医学講座 第1巻 脳・神経系疾患.東京;中山書店,2002;506-509
- 4) 加藤丈夫:遺伝性セルロプラスミン欠損症.島田馨編,内科学書(第6版).東京;中山書店,2002;2195

#### (3) 総 説

- 1) 川並透:ベーチェット病,全身性エリマトーデス (SLE),結節性多発動脈炎 (PN). Modern Physician 2002; 22:625-629
- 2) 斉藤保, 富永真琴: 増加しつづける糖尿病. 臨床と研究 2002; 79:5-10
- 3) 大門真,富永真琴,加藤丈夫:遺伝性セルロプラスミン欠損症.内分泌・糖尿病科 2002;15:568-574
- 4) 大門真,加藤丈夫:新規発症2型糖尿病患者5,102名を対象とした前向き研究.脳卒中ナビゲーター 2002; 174-175

## 2. 学 会 報 告

#### (1) 国内の学会

- 1) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,土家寛美,大沼寛,大門真,富永真琴,加藤丈夫:糖尿病ラットの頸動脈 内膜傷害と耐糖能に対するアンギオテンシン Type1 受容体阻害剤カンデサルタンの効果.第16回日本糖尿 病動物研究会,吹田;2003年2月
- 2) 木村英紀,栗村正之,黒川克朗,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:有病率調査を通じたパーキンソン 病の男女比の検討.第99回日本内科学会講演会,名古屋;2002年3月
- 3) 山口宏,五十嵐雅彦,富永真琴,平田昭彦,大沼寛,大門真,加藤丈夫:糖尿病由来培養ラット血管平滑筋 細胞におけるPDGF-BB刺激によるp38 MAP kinase活性亢進と遊走能に対するprotein kinase Cの影響.第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 4) 大門真,杉山和彦,亀田亘,斉藤保,大泉俊英,平田昭彦,山口宏,大沼寛,五十嵐雅彦,間中英夫,加藤丈夫:Advanced Glycation Endoproducts (Pentosidine, Pyrraline 及びAcrolein付加体)尿中排泄量は糖尿病で増加している.第45回糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 5) 五十嵐雅彦,木村美奈子,平田昭彦,山口宏,亀田亘,平泉美希子,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:2型糖尿病患者に対する pioglitazone の血糖コントロールと脂質動態に関する検討 Responder 群とNon-responder 群の比較.第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 6) 大泉俊英,大門真,亀田亘,斉藤保,山口宏,大沼寛,加藤丈夫,五十嵐雅彦,富永真琴:アンギオテンシン変換酵素(ACE)遺伝子多型(intron 16 Alu配列挿入/久失多型(I/D多型))と糖尿病発症頻度の検討.第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 7) 栗田啓司,亀田亘,黒川克朗,和田学,川並透,加藤丈夫:延髄外側梗塞の病変部位と臨床症状に関する検討.第43回日本神経学会総会,札幌;2002年5月
- 8) 亀田亘 , 川並透 , 栗田啓司 , 加藤丈夫 : 延髄梗塞214例の検討 . 第43回日本神経学会総会 , 札幌 ; 2002年 5

月

- 9) 木村英紀,栗村正之,和田学,川並透,栗田啓司,鈴木義広,片桐忠,加藤丈夫:Female preponderance of Parkinson's disease in Japan.第26回国際内科学会議,京都;2002年5月
- 10) 和田学,尾野精一,門屋利彦,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:筋萎縮性側索硬化症皮膚病変におけるgalectin-1の免疫組織化学的研究.第43回日本神経学会総会,札幌;2002年5月
- 11) 木村英紀,栗村正之,黒川克朗,荒若繁樹,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:パーキンソン病に対する経頭蓋磁気刺激治療の臨床効果.第43回日本神経学会総会,札幌;2002年5月
- 12) 大門真,杉山和彦,亀田亘,大泉俊英,山口宏,大沼寛,間中英夫:糖尿病における種々 AGEs (Pentosidine, Pyrraline及びAcrolein付加体)の尿中排泄量.第75回日本内分泌学会学術総会,大阪;2002年6月
- 13) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,菅江尚央子,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:ラット培養平滑筋細胞の増殖遊走能に対する 遮断剤ニブラジロールの効果.第34回日本動脈硬化学会,神戸;2002年7月
- 14) 平田昭彦, 五十嵐雅彦, 山口宏, 菅江尚央子, 土家寛美, 大沼寛, 大門真, 加藤丈夫, 富永真琴: Wister fatty ratの頸動脈内膜厚肥病変とヒト臍帯静脈由来血管内皮細胞に対する塩酸メトフォルミンの抗動脈効果作用.第34回日本動脈硬化学会, 神戸; 2002年7月
- 15) 加藤裕一,加藤丈夫,伊藤真文,林朋博: Mechanism of action of the anti-novel fibronectin receptor antibody, LAD-4, in blocking liver metastasis by RL 1 lymphoma cells.第64回日本血液学会総会,横浜;2002年9月
- 16) 原田裕子,山本雅一,加藤裕一,秋葉次郎,田嶋克史,大本英次郎,加藤丈夫:特発性血小板減少性紫斑病のヘリコバクターピロリ除菌療法における各種臨床検査値の解析.第44回日本臨床血液学会総会,横浜;2002年9月
- 17) 五十嵐雅彦,亀田亘,佐藤牧子,大津信博,平田昭彦,大泉俊英,山口宏,神部裕美,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:高脂血症合併糖尿病患者の脂質動態に対する抗高脂血症薬の検討・アトルバスタチンとベザフィブラートの比較・.第17回日本糖尿病合併症学会,東京;2002年10月

#### (2) 国内地方会

- 1) 木村美奈子,黒川克朗,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:McLeod症候群の1例.第70回日本神経学会東北地方会,仙台;2002年3月
- 2) 亀田亘,大泉俊英,山口宏,大沼寛,大門真,加藤丈夫: GHの奇異性反応が認められたpsendo PRLomaの 一例.第4回日本内分泌学会東北地方会,仙台;2002年4月
- 3) 黒川克朗,木村英紀,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:神経サルコイドーシスの1例.第167回日本 内科学会東北地方会,仙台;2002年6月
- 4) 軽部宏紀, 五十嵐朗, 原田裕子, 加藤裕一, 秋葉次郎, 田嶋克史, 大本英次郎, 加藤丈夫, 福田俊, 竹下明子, 須藤幸一, 磯部秀樹, 浦山雅弘, 木村理: 鉄欠乏性貧血より発見されたgastrointestinal stromal tumor (GIST)の1例.第167回日本内科学会東北地方会, 仙台; 2002年6月
- 5) 黒川克朗,木村英紀,荒若繁樹,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:小脳脳幹萎縮を伴ったニューロパ チーの1例.第71回日本神経学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 6) 神部裕美,亀田亘,大泉俊英,山口宏,大沼寛,大門真,加藤丈夫:リンパ球性下垂体炎と思われた1例. 第168回日本内科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 7) 原田裕子,山本雅一,清水桂,加藤裕一,秋葉次郎,田嶋克史,大本英次郎,加藤丈夫:抗CD20抗体による 治療後に易感染性を呈した悪性リンパ腫の1例.第168回日本内科学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 8) 清水桂,山本雅一,原田裕子,加藤裕一,秋葉次郎,田嶋克史,大本英次郎,加藤丈夫:赤芽球癆様の病態 で発症し慢性骨髄単球性白血病に移行した1例.第94回日本血液学会東北地方会,第39回日本臨床血液学会東 北地方会,秋田;2002年9月
- 9) 亀田亘,大泉俊英,山口宏,大沼寛,大門真,加藤丈夫:下垂体腫太をきたし,成長ホルモンとプロラクチンの分泌異常を伴った原発性甲状腺機能低下症の母娘.第5回日本内分泌学会東北地方会,秋田;2002年9月
- 10) 五十嵐雅彦,神部裕美,平田昭彦,山口宏,亀田亘,大泉俊英,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:2 型糖尿病患者の血漿BNP値に対するピオグリタゾンの影響.第40回日本糖尿病学会東北地方会,仙台;2002年 11日
- 11) 平田昭彦,五十嵐雅彦,亀田亘,山口宏,神部裕美,大泉俊英,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:高 脂血症を合併した2型糖尿病患者への各種抗高脂血症薬の比較.第40回日本糖尿病学会東北地方会,仙台;

2002年11月

- 12) 神部裕美,山口宏,亀田亘,大泉俊英,大沼寛,大門真,加藤丈夫,五十嵐雅彦,平田昭彦,富永真琴:2 型糖尿病患者の心不全予知因子に関する検討.第40回日本糖尿病学会東北地方会,仙台;2002年11月
- 13) 柄澤繁,大沼寛,神部裕美,亀田亘,大泉俊英,山口宏,大門真,加藤丈夫:不顕性溶血にて血糖値とHbA1c に乖離がみられた膵癌術後2型糖尿病の1例.第40回日本糖尿病学会東北地方会,仙台;2002年11月

#### (3) 研究会

- 1) 山口宏,五十嵐雅彦,富永真琴,浦信行,中嶋凱夫,鈴木昌幸,杉山和彦:糖尿病患者のQOLを守るために (パネルディスカッション).山形RENAAL座談会,山形;2002年3月
- 2) 加藤丈夫:延髄梗塞.第106回新庄・最上臨床懇話会,新庄;2002年6月
- 3) 山口宏:脂質代謝と生理学.平成14年度山形県栄養士会生涯学習研究会,山形;2002年6月
- 4) 木村英紀,栗村正之,黒川克朗,荒若繁樹,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:パーキンソン病に対する経頭蓋磁気刺激治療~クロスオーバー試験による検討~.第3回東北神経変性疾患研究会,秋田;2002年9日
- 5) 清水桂,山本雅一,原田裕子,加藤裕一,秋葉次郎,田嶋克史,加藤丈夫:移植後に頸髄の硬膜外にクロローマを来した骨髄線維症の1例.第3回山形造血器疾患研究会,山形;2002年10月
- 6) 木村英紀,栗村正之,黒川克朗,荒若繁樹,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:山形県におけるパーキンソン病の疫学調査~有病率と男女差の検討~.第8回東北パーキンソン病治療研究会,仙台;2002年11月
- 7) 清水桂,秋葉次郎,田嶋克史,栗田啓司,加藤丈夫:骨髄線維症の移植後に亜急性の四肢麻痺を呈した1例. 第16回山形神経内科懇話会,山形;2002年11月
- 8) 亀田亘,川並透,栗田啓司,大門真,加藤丈夫:延髄内側梗塞の神経症状:41例の検討.第25回東北脳血管 障害懇話会,仙台;2002年12月

#### (4) 特別講演

- 1) 加藤丈夫:東北地区・延髄梗塞の共同調査.第27回日本脳卒中学会,仙台;2002年4月
- 2) 加藤丈夫:脊髄小脳変性症の画像および病理.第2回神奈川SCD研究会,横浜;2002年3月
- 3) 加藤丈夫:セルロプラスミン欠損症と痴呆.第2回山陰痴呆研究会,米子;2002年7月
- 4) 加藤丈夫:筋萎縮性側索硬化症の病理・病態.九大脳研セミナー,福岡;2002年4月
- 5) 加藤丈夫:生活習慣病の遺伝子素因について.第39回全国衛生化学技術協議会年会,山形;2002年10月

#### (5) その他

- 1) 木村英紀,栗村正之,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:山形県のパーキンソン病有病率に関する研究 (第2報).平成13年度特定疾患対策の地域支援ネットワークの構築に関する研究班班会議,東京;2002年1 月
- 2) 五十嵐雅彦, 菅江尚央子: スタチンの血管平滑筋細胞に対する増殖抑制の分子機構. 平成13年度循環器病研究委託費研究 13公-4 スタチンの多面的薬理作用に関する研究班 第2回班会議,吹田;2002年2月
- 3) 加藤丈夫:多因子疾患の遺伝的素因の解明.第4回医・エプロジェクト,山形;2002年5月
- 4) 木村英紀,栗村正之,黒川克朗,荒若繁樹,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:パーキンソン病に対する経頭蓋磁気刺激治療の臨床効果.医エセミナー,米沢;2002年6月
- 5) 山口宏:リパンチルによる脂質介入試験DALIS (Diabetes Atherosclerosis Intervention Study ) について. 学術講演会,山形;2002年6月
- 6) 加藤丈夫:「山形ポストゲノム」計画.第7回山形大学医学部技術部職員研修講演会,山形;2002年8月
- 7) 山口宏:糖尿病合併症の進展と予防.平成14年度山形県糖尿病予防の集11,山形;2002年10月
- 8) 五十嵐雅彦, 菅江尚央子, 門元夕子, 平田昭彦: スタチンの血管平滑筋細胞に対する増殖抑制の分子機構. 平成13年度循環器病研究委託費研究 13公-4 スタチンの多面的薬理作用に関する研究班 第3回班会議, 吹田; 2002年12月
- 9) 木村英紀,栗村正之,黒川克朗,荒若繁樹,和田学,川並透,栗田啓司,加藤丈夫:山形県のパーキンソン 病に対する疫学研究(第3報).特定疾患の地域支援体制の構築に関する研究班班会議,東京;2002年12月
- 10) 加藤丈夫:「疾患と遺伝子の関係」分子疫学入門.理科教員のための組換えDNA実験研修,山形;2002年12月

## 液性病態診断医学分野(臨床検査医学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Igarashi M, Yamaguchi H, Hirata A, Tsuchiya H, Ohnuma H, Tominaga M, Kato T: Mechanism of an inhibitory effect of cerivastatin on rat vascular smooth muscle cell growth. J Cardiovasc Phamacol 2002; 40: 277-287
- 2) Berclaz PY, Zsengeller Z, Shibata Y, Otake K, Strasbaugh S, Whitsett JA, Trapnell BC: Endocytic internalization of adenovirus, nonspecific phagocytosis, and cytoskeletal organization are coordinately regulated in alveolar macrophages by GM-CSF and PU.1. J Immunol. 2002; 169: 6332-6342
- 3) Berclaz PY, Shibata Y, Whitsett JA, Trapnell BC: GM-CSF, via PU.1, regulates alveolar macrophage Fcgamma R-mediated phagocytosis and the IL-18/IFN-gamma-mediated molecular connection between innate and adaptive immunity in the lung. Blood 2002; 100: 4193-4200
- 4) Daimon M, Oizumi T, Saitoh T, Kameda W, Yamaguchi H, Ohnuma H, Igarashi M, Manaka H, Kato T: Calpain 10 gene polymorphisms are related, not to type 2 diabetes, but to increased serum cholesterol in Japanese. Diabetes Res Clin Pract 2002; 56: 142-152
- 5) 富永真琴,小林功,桑克彦,武井泉,星野忠夫,芳野原,菅野剛史,片山善章,葛谷英嗣,桑島正道,田港朝彦,牧野英一,小野順子,牧田善二,七里元亮:ヘモグロビンA1c標準物質JDS Lot 2のNGSP値について. 糖尿病 2002;45:385-388
- 6) 富永真琴,小林功,桑克彦,武井泉,星野忠夫,芳野原,菅野剛史,片山善章,葛谷英嗣,桑島正道,田港朝彦,牧野英一,小野順子,牧田善二,七里元亮:血糖自己測定機器の比較対照法としての静脈血法の有用性糖尿病 2002;45:825-834

#### (2) 著書

- 1) 富永真琴:糖尿病と動脈硬化の疫学研究.東京;医歯薬出版,2002:35-42
- 2) 富永真琴:血糖自己測定機器の現状と問題点.東京;診断と治療社,2002:138-148
- 3) 富永真琴:1,5-AG.東京;日本医学出版,2002:15
- 4) 富永真琴: AGEs. 東京; 日本医学出版, 2002: 31
- 5) 富永真琴:ケトン体.東京;日本医学出版,2002:55
- 6) 富永真琴: ヘモグロビンA1c. 東京; 日本医学出版, 2002: 124
- 7) 富永真琴: PANEL 2: 動脈硬化 (atherosclerosis), 食後高血糖と動脈硬化 疫学調査から. 東京; 医歯薬出版, 2002: 25-46
- 8) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,土家寛美,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:糖尿病ラットの頸動脈 内膜傷害と耐糖能に対するangiotensin II Type1受容体阻害剤candesartanの効果.大阪;メディカルレビュー社, 2002:36-37

## (3) 総 説

- 1) 五十嵐雅彦, 富永真琴: 検査データを読みきる 症例編 . Medical Technology 2002; 30: 405-408
- 2) 富永真琴:食後血糖を考える.内分泌・糖尿病科 2002;13:534-542
- 3) 五十嵐雅彦:糖尿病患者の心不全と血漿BNP.プラクティス 2002;19:367-369
- 4) 五十嵐雅彦:食後高血糖と高感度CRP. プラクティス 2002;19:495-497
- 5) 平田昭彦,五十嵐雅彦,富永真琴:新時代の糖尿病学(2)、糖尿病の疫学・病態・診断学の進歩:血液検査シスタチンC.日本臨床 2002;60(S8):515-519
- 6) 五十嵐雅彦:糖尿病とアンジオテンシン . プラクティス 2002;19:623-625
- 7) 富永真琴: FUNAGATA STUDY. Mebio別冊 2002:25-33
- 8) 富永真琴:SMBG機器の評価と臨床.分子糖尿病学の進歩-基礎から臨床まで- 2002:140-145
- 9) 富永真琴:臨床検査,特に血糖検査の検体の採血時間を考える.日本臨床検査自動化学会会誌 2002;27: 83-91
- 10) 富永真琴:血糖コントロール指標 HbA1c.糖尿病ナビゲーター 2002:246-247

- 11) 斉藤保, 富永真琴: 増加しつづける糖尿病 その実態と理由. 臨床と研究 2002; 79:5-10
- 12) 富永真琴:「Overseas」ポリスマン研究からポリシーへ: 2時間血糖値の将来は何か. プラクティス 2002; 19:309-313
- 13) 富永真琴: 食後高血糖改善の意義. PYSICIANS' THERAPY MANUAL 2002 2002年版 6 月号: 3-4
- 14) 富永真琴:境界型と内臓脂肪型肥満.肥満と糖尿病 2002;1:6-7
- 15) 富永真琴:血糖自己測定機器の現状と問題点. Diabetes Journal 2002; 30: 71-75
- 16) 富永真琴:糖尿病診断の過去,現在,未来.臨床検査 2002;46:709-710
- 17) 富永真琴:「血糖コントロールの評価」について.糖尿病 2002;45:501
- 18) 富永真琴: ヘモグロビンA1c. 日本臨牀60巻増刊号8「新時代の糖尿病学(2)」2002: 405-409
- 19) 富永真琴:生活習慣病キーワード-食後高血糖. Medical View Point 2002; 23:5
- 20) 富永真琴:境界型と内臓脂肪型肥満.肥満と糖尿病 2002;1:1-2
- 21) 富永真琴: 我が国の糖尿病血管症がいの現況(疫学). 実験治療 2002;668:11-15
- 22) 富永真琴:境界型の取り扱い.内科 2002;91:25-27
- 23) 大門真,富永真琴,加藤丈夫:遺伝性セルロプラスミン欠損症.内分泌・糖尿病科 2002;15:508-574

## 2. 学 会 報 告

### (1) 国外の学会

- 1) Otsu N, Sato M, Igarashi M, Tominaga M: Impaired glucose tolerance, but not impaired fasting glucose, may cause systemic vascular Inflammation, leading to cardiovascular disease; evidence from the serum C-reactive protein values in the Funagata diabetes prevalence study. XIVth World Congress of Cardiology Sydney, Australia; May 2002
- 2) Tominaga M: Activities of JDS on HbA1c standardization. The 18 th International Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine, Kyoto; October 2002
- 3) Tominaga M: HbA1c Value of the primary standard material JDS Lot 2 determined by NGSP. Post-Meeting of 18 the ICCC 2002 Kyoto, Shima; October 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,土家寛美,大沼寛,大門真,富永真琴,加藤丈夫:糖尿病ラットの頸動脈内膜傷害と耐糖能に対するアンギオテンシンII Type1受容体阻害剤カンデサルタンの効果.第16回日本糖尿病動物研究会,吹田;2002年2月
- 2) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,菅江尚央子,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:ラット培養平滑筋細胞の増殖遊走能に対する 遮断剤ニブラジロールの効果.第34回日本動脈硬化学会,神戸;2002年7月
- 3) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,菅江尚央子,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴: Wistar fatty rat の頸動脈内膜肥厚病変とヒト臍帯静脈由来血管内皮細胞に対する塩酸メトフォルミンの抗動脈硬化作用. 第34回日本動脈硬化学会,神戸;2002年7月
- 4) 五十嵐雅彦:糖尿病性血管障害の発症機序と予防 血管壁細胞におけるMAP kinaseを中心とした細胞内シグナル伝達機構の変化 (Young Investigator Award受賞講演). 第17回日本糖尿病合併症学会,東京;2002年10月
- 5) 柴田陽光,大竹和久,佐田誠,Whitsett JA, Trapnell BC:GMCSFによる肺胞マクロファージ分化の機序 転写因子PU.1の役割 . 日本呼吸器学会総会,仙台;2002年4月
- 6) 富永真琴: ランチョンセミナー HbA1cの標準化.第51回日本医学検査学会,仙台;2002年5月
- 7) 三浦秀人,五十嵐雅彦,富永真琴:尿中変形赤血球の形態に関する研究.第49回日本臨床検査医学会総会, 大阪;2002年11月
- 8) 五十嵐雅彦,木村美奈子,平田昭彦,山口宏,亀田亘,平泉美希子,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:2型糖尿病患者に対するpioglitazoneの血糖コントロールと脂質動態に関する検討・Responder群とNon-responder群の比較.第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 9) 山口宏,五十嵐雅彦,平田昭彦,大沼寛,富永真琴,大門真,加藤丈夫:糖尿病由来培養ラット血管平滑筋 細胞におけるPDGF-BB刺激によるp38 MAP kinase活性亢進と遊走能に対するprotein kinase Cの影響. 第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 10) 大門真,杉山和彦,亀田亘,斎藤保,大泉俊英,平田昭彦,山口宏,大沼寛,五十嵐雅彦,間中英夫,加藤丈夫: Advanced Glycation Endoproducts (Pentosidine, Pyrraline及びAcrolein付加体) 尿中排泄量は糖尿病で増

加している.第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月

- 11) 大泉俊英,大門真,斎藤保,亀田亘,山口宏,大沼寛,五十嵐雅彦,間中英夫,富永真琴,加藤丈夫:アン ギオテンシン変換酵素(ACE)遺伝子多型(intron16Alu配列挿入/欠失多型(I/D多型))と糖尿病発症頻度の検 討.第45回日本糖尿病学会年次学術集会,東京;2002年5月
- 12) 五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,菅江尚央子,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴:ラット培養血管平滑 筋細胞の増殖遊走能に対する 遮断剤ニプラジロールの効果.第34回日本動脈硬化学会,神戸;2002年7月
- 13) 鈴木俊紀:眼瞼より発生したMalignant epitheloid schwannomaの1例(示説).第41回日本臨床細胞学会秋期大会,下関;2002年11月
- 14) 太田玲子: 臨床分離菌の変遷と使用抗菌薬の推移 第1報-10年前の調査との比較-. 第76回日本感染症学会総会,東京;2002年4月
- 15) 太田玲子: 臨床分離菌の変遷と使用抗菌薬の推移 第2報-10年前の調査との比較による両者の関連性-. 第76回日本感染症学会総会,東京;2002年4月
- 16) 太田玲子: 臨床分離菌の変遷と使用抗菌薬の推移 第3報-MRSAとの関連性-.第76回日本感染症学会 総会,東京;2002年4月

#### (3) 国内地方会

- 1) 五十嵐雅彦,神部裕美,平田昭彦,山口宏,亀田亘,大泉俊英,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴: 2型糖尿病患者の血漿BNP値に対するピオグリタゾンの影響.日本糖尿病学会第40回東北地方会,仙台;2002 年11月
- 2) 神部裕美,五十嵐雅彦,平田昭彦,山口宏,亀田亘,大泉俊英,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴: 2型糖尿病患者の心不全予知因子に関する検討.日本糖尿病学会第40回東北地方会,仙台;2002年11月
- 3) 平田昭彦,五十嵐雅彦,亀田亘,山口宏,神部裕美,大泉俊英,大沼寛,大門真,加藤丈夫,富永真琴: 高脂血症を合併した2型糖尿病患者への各種抗高脂血症薬の比較.日本糖尿病学会第40回東北地方会,仙台; 2002年11月
- 4) 柴田陽光, Trapnell BC, Whitsett JA: GM-CSF欠損マウス肺におけるM-CSFの増加の機序.日本呼吸器学会東北地方会,山形; 2002年2月
- 5) 町屋純一,和田敏弘,柴田陽光,阿部修一,高畠典明,大竹和久,佐田誠,久保田功,金内直樹,高橋伸政, 大泉弘幸,本間次男:有瘻性膿胸を合併したアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の一例.日本呼吸器学会 東北地方会,山形;2002年2月
- 6) 富永真琴:シンポジウム「簡易~迅速検査の進展」3.血糖検査.第34回日本臨床検査医学会東北支部総会・ 第13回日本臨床化学会東北支部総会,福島;2002年6月
- 7) 三浦秀人: 尿沈渣自動分析装置による尿中赤血球形態の誤判別要因に関する研究.第43回東北医学検査学会, 秋田;2002年10月

#### (4) 研究会

- 1) 五十嵐雅彦: メトフォルミンとピオグリタゾン併用による抗動脈硬化作用の検討.第4回Thiazolidine系薬剤に関する研究会-臨床・適正使用について,仙台;2002年11月
- 2) 五十嵐雅彦: Candesartan inhibits carotid intimal thickening and ameliorates insulin resistance in balloon-injured diabetic rats. 第25回東北脳血管障害懇和会,仙台;2002年12月
- 3) 柴田陽光,大竹和久,佐田誠,久保田功,富永真琴,Whitsett JA, Trapnell BC:GM-CSFは転写因子PU. 1を介して肺胞マクロファージの分化および自然免疫を制御する.RMCB研究会,東京;2002年7月
- 4) 富永真琴:はじめに: ADAの新しいクリニカルリコメンデーション. 山形RENAAL座談会, 山形; 2002年3 月

## (5) その他

- 1) 五十嵐雅彦, 菅江尚央子: スタチンの血管平滑筋細胞に対する増殖抑制の分子機構. 平成13年度循環器病研究委託費研究13公-4 スタチンの多面的薬理作用に関する研究班第2回班会議, 吹田; 2002年2月
- 2) 五十嵐雅彦, 菅江尚央子, 門元夕子, 平田昭彦: スタチンの血管平滑筋細胞に対する増殖抑制の分子機構. 平成13年度循環器病研究委託費研究13公-4 スタチンの多面的薬理作用に関する研究班第3回班会議, 吹田; 2002年12月
- 3) 五十嵐雅彦:【精度管理と基準値】基準値の統一:動脈硬化学会の診断値について.山形県臨床衛生検査技

師会臨床化学検査研究班研修会第2回さくらんぼセミナー,東根;2002年6月

- 4) 大沼沖雄:症例より学ぶ凝固検査の考え方、検査の進め方.平成13年度中部地区血液検査研修会,多治見; 2002年3月
- 5) 大沼沖雄:血液疾患症例報告および凝固検査の考え方、検査の進め方.平成14年度東北臨床衛生検査技師会血液検査研究班研修会,盛岡;2002年7月
- 6) 加賀谷茂:初心者のための心電図判読.山形県臨床衛生検査技師会庄内最上支部秋期研修会,鶴岡;2002年 11月
- 7) 加賀谷茂:心電図の基礎.山形県臨床衛生検査技師会生理検査修会,山形;2002年11月

## 3. その他

- 1) 第10回山形超音波検査同好会研修会,山形;2002年1月
- 2) 第11回山形超音波検査同好会研修会,山形;2002年3月
- 3) 第1回庄内最上超音波検査研究会,酒田;2002年6月
- 4) 第13回山形超音波検査同好会研修会,山形;2002年9月

# 環境病態統御学講座

## 環境病態医学分野(衛生学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Wakabayashi I, Masuda H: Relation of serum sialic acid to blood coagulation activity in type 2 diabetes. Blood Coagul Fibrinolysis 2002; 13: 691-696
- 2) Wakabayashi I, Negoro M: Mechanism of inhibitory action of ethanol on inducible nitric oxide synthesis in macrophages. Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol 2002; 366: 299-306
- 3) Marumo M, Suehiro A, Kakishita E, Wakabayashi I: Intracellular alkalinization augments platelet aggregation due to increase in cytosolic free-Ca<sup>2+</sup>. Platelets 2002; 13: 159-165
- 4) Wakabayashi I, Kobaba R, Masuda H: Relation of drinking alcohol to atherosclerotic risk in type 2 diabetes. Diabetes Care 2002; 25: 1223-1228
- 5) Wakabayashi I, Marumo M: Ethanol inhibits store-operated Ca<sup>2+</sup> entry of platelets. Pharmacol Toxicol 2002; 90: 226-228
- 6) Sotoda Y, Negoro M, Wakabayashi I: Involvement of decreased myo-inositol transport in lipopolysaccharide-induced depression of phosphoinositide hydrolysis in vascular smooth muscle. FEBS Lett 2002; 519: 227-230
- 7) Wakabayashi I, Kobaba R: Effects of age on the relationship between drinking and atherosclerotic risk factors. Gerontology 2002; 48: 151-156
- 8) Masui H, Wakabayashi I, Siogawa K, Koizumi N: Diminished inibitory action of ethanol on the contraction of gall-bladder isolated from chronically ethanol-fed guinea pigs. Pharmacology 2002; 65: 10-17
- 9) Wakabayashi I, Yasui K, Negoro M: Diverse effects of ethanol on the pathway of inducible prostaglandin E2 production in macrophages. Prostaglandins Other Lipid Mediat 2002; 67: 61-74
- 10 ) Susa S, Daimon M, Ono H, Li S, Yoshida T, Kato T: Heme inhibits the mitochondrial import of coproporphyrinogen oxidase. Blood 2002; 100: 4678-4679

#### (2) 著書

- 1) 若林一郎:心疾患(心臓病). 眞野喜洋編,スタンダード公衆衛生学.東京;文光堂,2002:186-188
- 2) 渡辺敏明: ビオチン欠乏による催奇形性および発育障害.日本ビタミン学会編,ビタミン研究のブレークスルー 発見から最新の研究まで-.東京;学進出版,2002:252-256
- 3) 渡辺敏明:葉酸による先天異常の予防.日本ビタミン学会編,ビタミン研究のブレークスルー 発見から 最新の研究まで - .東京;学進出版,2002:275-280
- 4) 渡辺敏明: ビタミンの取りすぎによる健康への影響 ビタミンによる副作用 . 橋詰直孝編,よくわかる 栄養補助食品.東京;医歯薬出版,2002:41-64

### (3) その他

1) 高橋裕二,根來宗孝,若林一郎:糖尿病ラットの摘出大動脈におけるエンドトキシン刺激後の収縮反応性の変化.エンドトキシン研究 5:86-92

## 2. 学 会 報 告

#### (1) 国内の学会

- 1) 外田洋孝,根來宗孝,若林一郎:エンドトキシンによる血管平滑筋イノシトールリン脂質代謝抑制機序の解明:一酸化窒素 (NO) の関与とmyo-inositol輸送の観点から.第32回日本心脈管作動物質学会総会,東京;2002年2月
- 2) 丸茂幹雄,若林一郎:血小板のカルシウム流入機構への細胞外pHの影響.第72回日本衛生学会総会,津; 2002年3月
- 3) 外田洋孝,根來宗孝,若林一郎:血管平滑筋のフォスファチジルイノシトール代謝に及ぼす高浸透圧の影響. 第72回日本衛生学会総会,津;2002年3月
- 4) 増井秀久, 若林一郎, 上原栄理子, 小泉直子: アルコール投与ラットの アドレナリン受容体を介する血管反

応性について、第72回日本衛生学会総会,津;2002年3月

- 5) 若林一郎,根來宗孝:マクロファージのcyclooxygenase-2発現におよぼすエタノールの影響.第72回日本衛 生学会総会,津; 2002年3月
- 6) 田崎勝成, 宍戸哲朗, 伊藤恒賢, 高崎聡, 片野由美, 若林一郎, 友池仁暢: WHHLウサギでの腹部大動脈に おけるangiotensin 収縮の減弱.第75回日本薬理学会総会, 熊本; 2002年3月
- 7) 外田洋孝,根來宗孝,高橋裕二,藤井順逸,若林一郎:エンドトキシンによる血管機能異常:一酸化窒素 (NO)依存性および非依存性のイノシトールリン脂質代謝抑制.第2回日本NO学会,東京;2002年5月
- 8) 丸茂幹雄,末廣謙,垣下榮三,若林一郎:血小板におけるCaストアと関連したCa<sup>2+</sup>流入機構へのmonensinの 作用.第64回日本血液学会,横浜;2002年9月
- 9) 丸茂幹雄,末廣謙,垣下榮三,若林一郎:巨核球系細胞株及び血小板の細胞内Caストアと関連したCa流入機構に及ぼす細胞内アルカリ化の影響.第25回日本血栓止血学会,神戸;2002年11月
- 10) 高橋裕二,根來宗孝,若林一郎:糖尿病ラット由来の血管平滑筋における誘導型NO-cGMP系の変化-酸化的ストレスの関与.第43回日本脈管学会総会,東京;2002年11月

### (2) 研 究 会

- 1) 丸茂幹雄,若林一郎:血小板におけるCaストアと関連した細胞外Ca流入機構への細胞内外のpHの影響. 第9回山形止血血栓セミナー,山形;2002年1月
- 2) 若林一郎,根來宗孝:マクロファージにおけるLPSによるiNOSおよびCOX2発現におよぼすエタノールの作用.第8回日本エンドトキシン研究会,吹田;2002年11月

#### (3) その他

- 1) 若林一郎: 労働衛生. 衛生管理者(第一種)免許試験受験準備講習会, 山形; 2002年1月
- 2) 若林一郎:肝疾患とその予防.置賜労働基準協会健康診断業務担当者打ち合わせ会,米沢;2002年1月
- 3) 若林一郎:有機溶剤による健康障害及びその予防措置に関する知識.有機溶剤作業主任者技能講習,山形; 2002年2月
- 4) 若林一郎:肝疾患とその予防.山形労働基準協会健康診断業務担当者打ち合わせ会,山形;2002年2月
- 5) 渡辺敏明:ビオチンの必要量.「日本人の水溶性ビタミン必要量に関する基礎的研究」発表会,彦根;2002 年3日
- 6) 若林一郎: 労働衛生. 衛生管理者(第一種)免許試験受験準備講習会, 山形; 2002年4月
- 7) 若林一郎:特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識.特定化学物質等作業主任者技能 講習,山形;2002年5月
- 8) 若林一郎:酸素欠乏症及び硫化水素発生の原因及び防止措置に関する知識.第二種酸素欠乏危険作業主任者 技能講習, 山形; 2002年6月
- 9) 若林一郎:有機溶剤による健康障害及びその予防措置に関する知識.有機溶剤作業主任者技能講習,山形; 2002年6月
- 10) 若林一郎: 職場における健康管理.トッパングループ健康保健組合関西医療職員連絡会,大阪; 2002年8月
- 11) 若林一郎:成人保健.兵庫医科大学公衆衛生学特別講義,西宮;2002年9月
- 12) 若林一郎:酸素欠乏症及び硫化水素発生の原因及び防止措置に関する知識.第二種酸素欠乏危険作業主任者技能講習,山形;2002年12月

## 公衆衛生・予防医学分野(公衆衛生学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Goto A, Yasumura S, Reich MR, Fukao A: Factors associated with unintended pregnancy in Yamagata, Japan. Social Science & Medicine 2002; 54: 1065-1079
- 2) 井田理絵,高橋達也,藺牟田洋美,邵力,西瀬雄子,柴田亜希子,横山昇,小関記美子,滝田浩一,多田良子,梅津道子,淀ひろみ,小野久仁子,岡崎まき,推名志保,深尾彰:基本健康診査受診者の生命予後に関する研究.山形医学 2002;20:59-68
- 3) 高沢浩太郎,村嶋幸四郎,高橋達也,有澤孝吉,齋藤寛:在宅高齢者の実用的歩行能力と下肢筋力.長崎医学会雑誌 2002;77:15-21
- (2) 著書
  - 1) 深尾彰:消化性潰瘍の概論・疫学.東京;最新医学社,2002:18-24
- (3) 総 説
  - 1) 深尾彰:がん検診と個人情報.日本消化器集団検診学会雑誌 2002;40:399
- (4) その他
  - 1) 深尾彰,柴田亜希子,高橋達也:乳がん検診:視触診単独検診・自己触診検診についての評価(文献的考察). 平成13年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)高齢者に対する老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業 我が国におけるこれまでの老人保健事業等の評価、検討及び関連する医療福祉分野の施策・研究に関する調査研究-がん検診-研究報告書.財団法人日本公衆衛生協会, 2002:31-42
  - 2) 柴田亜希子,高橋達也,深尾彰,松田徹,佐藤幸雄:視触診単独による乳がん集団検診の有効性評価 地域がん登録を用いた生存分析 .平成13年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)高齢者に対する老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業 我が国におけるこれまでの老人保健事業等の評価,検討及び関連する医療福祉分野の施策・研究に関する調査研究 がん検診 研究報告書.財団法人日本公衆衛生協会,2002:46-53

### 2.学会報告

- (1) 国内の学会
  - 1) 大森芳, 西野善一, 坪野吉孝, 深尾彰, 大内憲明, 辻一郎: がん検診精度管理のためのコンピュータシステムの開発. 日本公衆衛生学会, 埼玉; 2002年10月
  - 2) 村上真紀,柴田亜希子,高橋達也,西瀬雄子,邵力,深尾彰,大道正英,倉智博久,森崎伸之:妊娠前の肥満および妊娠中の体重増加が周産期予後に及ぼす影響.日本公衆衛生学会,埼玉;2002年10月
  - 3) 柴田亜希子,高橋達也,深尾彰,佐藤幸雄,松田徹,大内憲明:シンポジウム 検診における視・触診の意 義 山形県がん登録を用いた視触診単独による乳がん検診の評価.日本乳がん検診学会,鹿児島;2002年11月
- (2) 国内地方会
  - 1)井田理絵,高橋達也,藺牟田洋美,邵力,西瀬雄子,柴田亜希子,横山昇,小関記美子,滝田浩一,多田良子,梅津道子,淀ひろみ,小野久仁子,岡崎まき,推名志保,深尾彰:基本健康診査受診者の生命予後に関する研究.山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
  - 2) 大谷勝実,安孫子千恵子,後藤裕子,池田辰也,村山尚子,早坂晃一,高橋達也,深尾彰:レジオネラ症患者及び一般住民のレジオネラ抗体調査.山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
  - 3)柴田亜希子,高橋達也,西瀬雄子,藺牟田洋美,邵力,深尾彰:地域乳がん検診受診・未受診と関連する要因.山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
  - 4)西瀬雄子,高橋達也,柴田亜希子,村上真紀,大谷勝実,阿部義裕,邵力,深尾彰,伊藤佳代子,秋場淳一郎,鍛冶山徹,高橋孝:山形県における健康指標の把握と評価.東北公衆衛生学会,青森;2002年7月

#### (3) その他

- 1) 深尾彰:胃集団検診 昨日・今日・明日.日本消化器集団検診学会東北地方会,秋田;2002年7月
- 2) 深尾彰: 2次予防対策の評価.社会医学サマーセミナー,福岡;2002年7月
- 3) 深尾彰:(教育講演)癌予防の現状と課題.日本農村医学会学術総会,帯広;2002年10月
- 4) 深尾彰:アンケート結果と健康づくりについて.尾花沢市保健委員会研修会,尾花沢;2002年1月
- 5) 深尾彰:新たながん検診の展望と問題点.平成13年度結核成人病担当職員研修会,山形;2002年2月
- 6) 高橋達也:経済学的視点で保健を考える.平成14年度山形県保健師リーダー研修会,山形;2002年8月
- 7) 深尾彰:ゆとり都山形 健康づくり21行動計画-健康文化やまがた21-について.山形県立米沢女子短期大学市民講座,高畠;2002年11月

## 法医病態診断学分野(法医学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Umetsu K, Iwabuchi N, Yuasa I, Saitou N, Clark PF, Boxshall G, Osawa M, Igarashi K: Complete mitochondrial DNA sequence of a tadpole shrimp (*Triops cancriformis*) and analysis of museum samples. Electrophoresis 2002; 23: 4080-4084
- 2) Yuasa I, Umetsu K, Tsuchida S, Nakamura H, Endoh M, Nakagawa M, Irizawa Y: Molecular analysis of the human esterase D gene ESD\*Q0<sub>yonago</sub> responsible for incompatibility in a Japanese paternity case. Forens Sci Internat 2002; 126: 248-251
- 3) Kagawa Y, Yanagisawa Y, Hasegawa K, Suzuki H, Yasuda K, Kudo H, Abe M, Matsuda S, Ishikawa Y, Tsuchiya N, Sato A, Umetsu K, Kagawa Y: Single nucleotide polymorphisms of thrifty genes for energy metabolism: evolutionary origins and prospects for intervention to prevent obesity-related diseases. Biochem Bioph Res Co 2002; 295: 207-222
- 4) 大澤資樹:交通事故における合併症に伴う遅延性死亡例の検討.賠償科学 2002;27:110-112
- 5) 大澤資樹,梅津和夫,金子美華,堀内英和:ヒト分子進化におけるシスタチンB遺伝子分化の解析.DNA多型 2002;10:6-8
- 6) 梅津和夫,久合田伸子,大澤資樹,岩渕成紀,五十嵐啓司:ヨーロッパカプトエビのミトコンドリアDNAによる系統解析.DNA多型 2002;10:97-99
- 7) 湯浅勲,中川真由美,入澤淑人,中村博明,梅津和夫:オロソムコイド遺伝子の分子進化:ガーナ人母子に おける遺伝子再構成.DNA多型 2002;10:183-185

## 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1) Osawa M, Horiuchi H, Yoshida K, Tada T, Harada A: A death in a stationary vehicle-Unusual CO poisoning by the exhaust gas. Fifth International Symposium on Advances in Legal Medicine, Takayama; October 2002
- 2) Adachi N, Umetsu K, Sakaue K, Takigawa W, Dodo Y: The analyses of single nucleotide polymorphisms of ancient human mitochondrial DNA. Inter-Congress of International Union Anthropological and Ethnological Science, Tokyo; September 2002

## (2) 国内の学会

- 1) 梅津和夫,田中雅嗣,湯浅勲,三好綾,柏村征一,大澤資樹:mtDNAから縄文人のマーカーを探る. 第86次日本法医学会総会,岡山;2002年4月
- 2) 金子美華,青山巌,大澤資樹:ヒトにおける特異抗体産生リンパ球細胞株確立についての検討.第86次日本 法医学会総会,岡山;2002年4月
- 3) 中川真由美,湯浅勲,梅津和夫,入澤淑人:補体第一成分R因子(C1R)にみられる遺伝的多型のDNA解析. 第86次日本法医学会総会,岡山;2002年4月
- 4) 湯浅勲,梅津和夫,中村博明,中川真由美,入澤淑人:父子鑑定でreverse homozygosityが観察されたエステラーゼD型のDNA解析.第86次日本法医学会総会,岡山;2002年4月
- 5) 武安岳史,押田芳治,福典之,佐藤祐造,梅津和夫,宮田浩文,田中雅嗣:陸上競技長距離走者におけるミトコンドリアDNA(ATP8/6遺伝子)の分子系統樹解析.第57回日本体力医学大会,高知;2002年9月
- 6) 梅津和夫,久合田伸子,大澤資樹,湯浅勲,鈴木幸一,五十嵐啓司:ミトコンドリアDNAによるカブトエビ属の系統解析について.日本DNA多型学会第11回学術集会,旭川;2002年10月
- 7) 湯浅勲,中村博明,梅津和夫,中川真由美,入澤淑人:オロソムコイド遺伝子の分子進化:アフリカ人にお ける変異.日本DNA多型学会第11回学術集会,旭川;2002年10月
- 8) 安達登,梅津和夫,瀧川渉,坂上和弘,百々幸雄:青森県南郷村畑内遺跡出土人骨におけるミトコンドリア DNAのSNPs解析.日本DNA多型学会第11回学術集会,旭川;2002年10月
- 9) 大澤資樹:シスタチンB遺伝子内12塩基繰り返し多型の分子進化解析.日本人類遺伝学会第47回大会,名古

#### 屋;2002年11月

- 10) 渡辺剛太郎,梅津和夫,大澤資樹,湯浅勲,魏耀揮,香川靖雄,Phitaya Charupoonphol,田中雅嗣:ミトコンドリアSNPsのハプロタイプにおける集団間差異.日本鑑識科学技術学会第8回学術集会,東京:2002年11月
- 11) 大澤資樹:シスタチンB遺伝子内12塩基繰り返し多型の分子進化について. 霊長類遺伝子に関する総合的研究. 国立遺伝学研究所研究集会,三島; 2002年11月
- 12) 梅津和夫,湯浅勲: ミトコンドリアDNAからモンゴロイドとコーカソイドの区別はどの程度可能か. DNA考古学研究会,京都;2002年12月

#### (3) 国内地方会

- 1) 梅津和夫,堀内英和,大澤資樹:MELASの簡易検出法について.第3回日本法医学会北日本地方会,青森; 2002年10月
- 2) 三好綾,柏村征一,影浦光義,原健二,柏木正之,劉兆,梅津和夫:モノアミンオキシダーゼAプロモーター 領域VNTRと転写活性について.第52回九州地方会,福岡;2002年10月
- 3) 中川真由美,湯浅勲,梅津和夫,遠藤実,入澤淑人:補体第一成分R因子(C1R)のC1R\*9およびC1R\*13の分子解析.第19回日本法医学会中四国地方会,宇部;2002年10月

#### (4) 研究会

- 1) 梅津和夫:ミトコンドリアDNA多型の生物学,静岡県立大学栄養科学月例セミナー;2002年7月
- 2) 大澤資樹,堀内英和,梅津和夫:シスタチンB遺伝子内12塩基繰り返し多型の分子進化.第10回山形分子生物学セミナー,山形;2002年11月
- 3) 梅津和夫,大澤資樹,五十嵐敬司:山形県の天然記念物 "ヨーロッパカブトエビ"の渡来ルーツとルーツを探る.第10回山形分子生物学セミナー,山形;2002年11月

#### (5) その他

1) 大澤資樹:東北管区内刑事調査官研究会,天童;2002年11月

## 人体病理病態学分野 (病理学第二)

## 1. 論 文

#### (1) 原 著

- 1) Hayashi M, Tamura G, Matsumoto O, Motoyama T: A rare case of biphasic tumor of the breast with prominent CD-34 positive spindle cells. Pathol Int 2001; 51: 713-717
- 2) Maesawa C, Iijima S, Sato N, Yoshinori N, Suzuki M, Tarusawa M, Ishida K, Tamura G, Saito K, Masuda T: Esophageal extraskeletal Ewing's sarcoma. Hum Pathol 2002; 33: 130-132
- 3) Sato K, Tamura G, Tsuchiya T, Endoh Y, Sakata K, Usuba O, Kimura W, Terashima M, Nishizuka S, Zou T, Meltzer SJ, Motoyama T: Analysis of genetic and epigenetic alterations of the PTEN gene in gastric cancer. Virchows Arch 2002; 440: 160-165
- 4) Sakata K, Tamura G, Ogata S, Ohmura K, Endoh Y, Motoyama T: Hypermethylation of hMLH1 promoter in solitary and multiple gastric cancers with microsatellite instability. Br J Cancer 2002; 86: 564-567
- 5) Kato N, Tsuchiya T, Tamura G, Motoyama T: E-cadherin expression in follicular carcinoima of the thyroid. Pathol Int 2002; 53: 13-18
- 6) Mori Y, Sato F, Selaru FM, Olaru A, Perry K, Kimos MC, Tamura G, Matsubara N, Wang S, Xu Y, Yin J, Zou T, Leggett B, Young J, Nukiwa T, Stine OC, Abraham JM, Shibata D, Meltzer SJ: Instabilotyping reveals novel unique mutational spectra in microsatellite-unstable gastric cancers. Cancer Res 2002; 62: 3641-3645
- 7) Waki T, Tamura G, Tsuchiya T, Sato K, Nishizuka S, Motoyama T: Promoter methylation status of E-cadherin, hMLH1 and p16 genes in non-neoplastic gastric epithelia. Am J Pathol 2002; 161: 399-403
- 8) Honda T, Tamura G, Waki T, Jin Z, Sato K, Motoyama T, Kimura W, Kawata S, Nishizuka S, Murakami Y: Hypermethylation of TSLC1 gene promoter in gastric cancer. Jpn J Cancer Res 2002; 93: 857-860
- 9) Yanagawa N, Tamura G, Oizumi H, Takahashi N, Shimazaki Y, Motoyama T: Frequent epigenetic silencing of the p16 gene in non-small cell lung cancers of tabacco smokers. Jpn J Cancer Res 2002; 93: 1107-1113
- 10 ) Jin Z, Tamura G, Honda T, Motoyama T: Molecular and cellular phenotypic profiles of gastric non-invasive neoplasia. Lab Invest 2002; 82: 1637-1645
- 11 ) Kato N, Akiyama S, Motoyama T: Pyloric gland-type tubular adenoma superimposed on intradiuctal papillary mucinous tumor of the pancreas. Virchows Arch 2002; 440: 205-208
- 12 ) Kato N, Ooe S, Motoyama T: Ductal adenoma of the breast with chondromyxoid change. Pathol Int 2002; 52: 239-243
- 13 ) Kato N, Katayama Y, Kaimori M, Motoyama T: Glassy cell carcinoma of the uterine cervix: Histochemical, immunohistochemical, and molecular genetic observations. Int J Gynecol Pathol 2002; 21: 134-140
- 14) 趙淑梅:子宮頸部腺癌におけるムチン発現の変化.山形医学 2002;20:1-12
- 15) 刑部光正,緒形真也,本山悌一:浸潤性境界を伴った子宮富細胞性平滑筋腫の1例.診断病理 2002;19: 148-150
- 16) 佐藤清,田村元,木村理,亀山仁一,本山悌一:癌におけるDCC遺伝子の発現および構造異常の解析.Prog Med 2002;22:738-730
- 17) 内ヶ崎新也,寺戸雄一,坂本穆彦:L型アミノ酸トランスポーター1と乳腺腫瘍.臨床検査 2002;46: 1698-1700

### (2) 著書

- 1) 本山悌一:男性生殖器.秦順一,坂本穆彦編,標準病理学第2版.東京;医学書院,2002:617-628
- 2) 本山悌一, 江村巌: Desmoplastic small round cell tumor . 海老原善郎, 亀井敏昭編, 体腔液細胞診アトラス-体腔液細胞診の理解のために-.東京; 篠原出版, 2002: 111-115

#### (3) 総 説

1) Tamura G: Genetic and epigenetic alterations of tumor suppressor and tumor-related genes in gastric cancer. Histol Histopathol 2002; 17: 323-329

- 2) 本山悌一,加藤哲子:性索間質性腫瘍の病理学的生物学的悪性度.病理と臨床 2002;20:383-389
- 3) 本山悌一:形態病理学の遺産と分子病理学との結合 婦人科腫瘍における展開 . 日本臨床細胞学会神奈川 県支部会誌 2002;17:10-15

#### (4) その他

1) 本山悌一: 病理医の役割. 病理専門医部会会報 2002; 19:6-8

## 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1) Mori Y, Sato F, Selaru FM, Olaru A, Perry K, Kimos MC, Tamura G, Matsubara N, Wang S, Xu Y, Yin J, Zou T, Leggett B, Young J, Nukiwa T, Stine OC, Abraham JM, Shibata D, Meltzer SJ: Instabilotyping reveals novel unique mutational spectra in microsatellite-unstable gastric cancers. The 93rd AACR annual meeting, SanFrancisco; April 2002
- 2) Motoyama T: Special lecture. Neuroendocrine tumor of the ovary. The 6th Korea-Japan Joint Meeting for Gynecological Pathology, Sapporo; July 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 金哲,田村元,本田悌一郎,本山悌一: Molecular and cellular phenoytpic profiles of gastric non-inavasive neoplasia. 第91回日本病理学会総会,横浜;2002年3月
- 2) 和気貴祥,田村元,本田悌一郎,金哲,林昌浩,本山悌一:胃粘膜におけるメチル化 DNA 検出の意義について:胃癌症例と剖検例の比較.第91回日本病理学会総会,横浜;2002年3月
- 3) 本田悌一郎,田村元,金哲,林昌浩,本山悌一:胃癌におけるTSLC1遺伝子プロモーター領域のメチル化. 第91回日本病理学会総会,横浜;2002年3月
- 4) 加藤哲子,方山揚誠,貝森光臣,本山悌一:子宮頸部すりガラス細胞癌の特性.第91回日本病理学会総会, 横浜;2002年3月
- 5) 林昌浩,内海七重,並木恒夫,渋谷宏行,岩渕三哉,本山悌一:日光照射部と非日光照射部におけるメルケル細胞癌.第91回日本病理学会総会,横浜;2002年3月
- 6) 遠藤泰志,渡辺英伸,本山悌一,田村元,石原法子:胃癌の形質から見たがんの発生と進展シンポジウム 「固形癌の発生機序,どこまで判ったか?」.第91回日本病理学会総会,横浜;2002年3月
- 7) 早坂直,刑部光正,斎藤真紀,倉智博久,加藤哲子,本山悌一:高齢発症の顆粒膜細胞腫.第32回日本婦人 科腫瘍学会学術集会,北九州;2002年7月
- 8) 田村元:「細胞形質からみた胃癌の分子病理発生」. 第34回日本臨床電顕学会総会,札幌;2002年9月
- 9) 本山悌一:性索間質細胞腫瘍及び胚細胞腫瘍における低悪性度腫瘍の細胞診像,組織像,超微形態像. 第34回日本臨床電子顕微鏡学会総会,札幌;2002年9月
- 10) 和気貴祥,田村元,本田悌一郎,本山悌一:「胃癌におけるDAP-kinaseプロモーターのメチル化」.第61回日本癌学会総会,東京;2002年10月
- 11) 桜井文明,神賀正博,布施明,金子美華,和気貴祥,本田悌一郎,田村元,木村理:GIST (muscle type) に対する imatinib の使用経験.第61回日本癌学会総会,東京;2002年10月
- 12) 遠藤泰志,渡辺英伸,本山悌一,田村元,落合淳志:日本病理学会A演説「胃分化型腺癌の細胞形質と遺伝 子異常」.第48回日本病理学会秋季特別総会,岡山;2002年11月

#### (3) 国内地方会

- 1) 内海七重,緒形真也,加藤哲子,本山悌一:足根骨に発生した骨腫瘍の一例.第54回日本病理学会東北支部 学術集会,仙台;2002年2月
- 2) 緒形真也,本田悌一朗,田村元,本山悌一: 膵尾部腫瘍の1例.第54回日本病理学会東北支部学術集会, 仙台;2002年2月
- 3) 加藤哲子,田村元,本山悌一:奇怪な細胞が目立った胃ポリープ.第55回日本病理学会東北支部学術集会, 山形:2002年7月
- 4) 金哲,加藤哲子,和氣貴祥,本山悌一:耳下腺腫瘍の1例.第54回日本病理学会東北支部学術集会,山形; 2002年7月

#### (4) 研究会

1) 加藤哲子,早坂直,本山悌一:子宮頸部小細胞癌の一例.第32回日本婦人科腫瘍学会症例検討会,北九州;

#### 2002年7月

- 2) 早坂直,刑部光正,中原健次,倉智博久,加藤哲子,本山悌一:高齢発症の顆粒膜細胞腫.第32回日本婦人 科腫瘍学会症例検討会,北九州;2002年7月
- 3) 本山悌一:子宮体癌と術前診断されたポリープ状病変.第17回婦人科病理研究会,名古屋;2002年12月
- 4) 本山悌一:性索間質細胞腫瘍様像を示す卵巣の類内膜腺癌.第17回婦人科病理研究会,名古屋;2002年12月(5) そ の 他
  - 1) 本山悌一:腫瘍の個性.新潟大学大学院講義,新潟;2002年1月
  - 2) 本山悌一:教育講演.病理医の役割.第1回日本病理学会東北支部夏期セミナー,山形;2002年8月

## 映像解析制御学分野(放射線医学)

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Adachi M, Kurimura M, Saito S, Hosoya T, Kato T: Topographical alterations of the midbrain and the substantia nigra following unilateral posteroventral pallidotomy in patients with Parkinson's disease using routine and multishot diffusion-weighted magnetic resonance imaging. Neuroradiology 2002; 44: 579-585
- 2) Hamamoto Y, Niino K, Adachi M, Hosoya T: MR and CT findings of craniopharyngioma during and after radiation therapy. Neuroradiology 2002; 44: 118-122
- 3) Haku T, Hosoya T, Hayashi M, Adachi M, Konno M, Ogino T: Granular cell tumor of the spinal nerve root: MR findings. Radiation Medicine 2002; 20: 137-140
- 4) Haku T, Hosoya T, Ito H, Eguchi Y, Watanabe Y, Nishina M: Radiation protection system for interventional procedures of the upper extremity: Evaluation in a phantom model. J Vasc Interv Radiol 2002; 13: 815-822
- 5) Saito T, Daimon M, Eguchi H, Kawanami T, Kurita K, Tominaga M, Kato T, Hosoya T: Type 2 diabetes is not a risk factor for asymptomatic brain lesion The Funagata study . Internal Medicine 2002; 41: 351-356
- 6) Okuyama N, Kawakatsu S, Wada T, Komatani A, Otani K: Occipital hypoperfusion in a patient with psychiogenic visual disturbance. Psychiatry Research Neuroimaging 2002; 114: 163-168
- 7) 菅井幸雄,駒谷昭夫,細矢貴亮,高橋和榮,岡田明男: <sup>99m</sup>Tc-GSA dynamic SPECTによる心プール、肝摂取 と血中濃度の比較.動態核医学 2002; 19: 19-24
- 8) 駒谷昭夫:脳のSPECT サバイバルのための再検討 . 北日本核医学 2002;11:1-5
- 9) 駒谷昭夫,菅井幸雄,細矢貴亮,小鹿雅隆:脳血流予備能と年齢 炭酸水素ナトリウム(メイロン)負荷 による検討 - 東北脳循環 2002;8:11-13
- 10) 駒谷昭夫,渡邉奈美,菅井幸雄,山口昂一:後頭部脳血流低下の2例.北日本核医学 2002;11:23-24
- 11) 濱本泰,新野恵司,石山博條,細矢貴亮:マイクロマルチリーフコリメータを用いた定位原体照射による櫛 骨洞腫瘍の術後照射の初期体験.日放腫会誌 2002;14:21-26
- 12) 朽木恵,板垣孝知,濱本泰,渡会二郎,山口昻一,細矢貴亮:縦隔炎:食道気管ろう孔を伴った食道癌の放射線治療.日放腫会誌 2002;14:93-98
- 13) 間中友季子,渡辺道子,細矢貴亮:コルチゾールキット「TFB」を用いた尿中コルチゾールの直接法による 測定.核医学 2002;39:149-154

#### (2) 総 説

- 1) 細矢貴亮:(総説)椎骨動脈解離の臨床と画像診断. 山形医学 2002;20:87-97
- 2) 安達真人, 細矢貴亮: (特集) MRI最新技術展望 脳のMRI- 拡散強調像. 新医療 2002; 6:83-86
- 3) 駒谷昭夫:(総説)脳のSPECT 基礎的考察 . みちのく核医学 2002;10:3-9
- 4) 駒谷昭夫:(総説)脳のSPECT 有用性向上のための基礎的検討 . 動態核医学 2002; 19:9-13
- 5) 日下部きよ子,駒谷昭夫,小須田茂,佐藤幸光,西川潤一,丸野広大:放射性医薬品副作用事例調査報告 (第23報).核医学 2002;39:55-65

## 2. 学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1) Honma T, Adachi M, Suzuki A, Hosoya T: 3D-tractgraphy with diffusion tensor magnetic resonance imaging. ECR 2002, Wien; March 2002
- 2) Adachi M, HosoyaT, Suzuki A: Morphological characteristics of the hippocampal formation in Azheimer disease on multishot diffusion-weighted magnetic resonance imaging. 17th Symposium Neuroradiologicum, Paris; August 2002
- 3) Nashima A, Adachi M, Hamamoto Y, Suzuki A, Sugai Y, Hosoya T: The characteristics of radiation-induced leukoencephalopathy on magnetic resonance imaging. 17th Symposium Neuroradiologicum, Paris; August 2002
- 4) Hamamoto Y, Niino K, Ishiyama H, Hosoya T: Three dimensional conformal radiation therapy for inoperable intra

hepatic and hepatic-hilar tumors. 21th Europian Society of Therapeutic Radiology and Oncology, Praha; September 2002

5) Saito K, Sugai Y, Komatani A, Takahashi K, Hosoya T: Evaluation of renal function before and after surgery for urinary tract disease in pediatric patients with new method using TER. RSNA 2002, Chicago; December 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) Nashima A, Adachi M, Suzuki A, Hosoya T: The characteristics of radiation induced leukoencephalopathy on magnetic resonance imaging . 第61回日本医学放射線学会,神戸;2002年4月
- 2) 濱本泰,新野惠司,石山博條,細矢貴亮: Super-selective arterial infusion of high-dose cisplatin combined with radiation therapy for locally advanced head and neck malignancies. 日韓合同放射線学会,金沢;2002年5月
- 3) 鈴木歩,新野恵司,濱本泰,安達真人,菅井幸雄,細矢貴亮: Super-selective arterial infusion of high-dose cisplatin combined with radiation therapy for locally advanced head and neck malignancies. 第8回国際IVR/血管造影シンポジュム,第31回日本血管造影・IVR学会,東京;2002年5月
- 4) 本間次男,安達真人,鈴木歩,細矢貴亮: Diffusion tensor imaging を用いた 3D-tractgraphy. 第31回日本神経 放射線学会,秋田; 2002年2月
- 5) 安達真人,鈴木歩,細矢貴亮: Multishot diffusion-weighted imaging を用いた Alzheimer 病海馬の形態変化の 検討:第61回日本医学放射線学会,神戸;2002年4月
- 6) 濱本泰,新野恵司,石山博條,細矢貴亮:マイクロマルチリーフコリメータを用いた定位照射におけるリーフ開度マージンの検討.第61回日本医学放射線学会,神戸;2002年4月
- 7) 斉藤聖宏, 菅井幸雄, 駒谷昭夫, 内田礼子, 朽木恵, 細矢貴亮: TER による小児腎・尿路疾患の術前術後腎機能評価 体表面積を用いた健常値算出法を利用して . 第61回日本医学放射線学会, 神戸; 2002年4月
- 8) 菅井幸雄, 駒谷昭夫, 高橋和榮, 細矢貴亮: 99mTc-GCA dynamic SPECT による心プール像の回帰式による評価. 第42回日本核医学会, 神戸; 2002年11月
- 9) 駒谷昭夫,高橋和榮,菅井幸雄,間中友季子,細矢貴亮:炭酸水素ナトリウム(メイロン)による脳血流の 反応性と年齢の関係について.第42回日本核医学会,神戸;2002年11月
- 10) 石山博條,濱本泰,新野恵司:当院で術後照射を行った乳房温存療法の治療成績.第15回日本放射線腫瘍学会,東京;2002年11月

#### (3) 国内地方会

- 1) 駒谷昭夫,濱本泰,菅井幸雄,朽木恵,内田礼子,細矢貴亮: -131治療における尿中排泄の推移と排水管理について.第51回日本核医学会北日本地方会,弘前;2002年6月
- 2) 濱本泰,新野恵司,石山博條,細矢貴亮:肝内および肝門部癌に対する原体照射.第106回日本医学放射線 学会北日本地方会,弘前;2002年6月
- 3) 濱本泰,新野恵司,石山博條,鹿戸将史,細矢貴亮:放射線治療後の白質脳症.第106回日本医学放射線学 会北日本地方会,弘前;2002年6月
- 4) 本間次男,安達真人,斉藤聖宏,鈴木歩,朽木恵,花輪千智,細矢貴亮: Diffusion Tensor Imaging による脊髄小脳変性症の評価.第106回日本医学放射線学会北日本地方会. 弘前; 2002年6月
- 5) 近野みゆき, 菅井幸雄, 斉藤聖宏, 石山綾, 花輪千智, 鹿戸将史, 細矢貴亮: 卵管癌 3 例のMRI所見の検討. 第106回日本医学放射線学会北日本地方会, 弘前; 2002年 6 月
- 6) 石山綾,安達真人,鈴木歩,本間次男,内田礼子,近野みゆき,細矢貴亮:てんかん重積発作後に拡散強調像で大脳皮質が一過性の高信号を呈した一例.第106回日本医学放射線学会北日本地方会,弘前;2002年6月
- 7) 菅井幸雄,駒谷昭夫,斉藤聖宏,間中友季子,細矢貴亮:<sup>99m</sup>Tc-GCA dynamic SPECT による心プール像の回帰式の評価.第52回日本核医学会北日本地方会,仙台;2002年11月
- 8) 斉藤聖宏, 菅井幸雄, 駒谷昭夫, 間中友季子, 細矢貴亮: TER による小児腎・尿路疾患の術前術後腎機能評価-相対的分腎機能による評価と比較して-. 第52回日本核医学会北日本地方会, 仙台; 2002年11月
- 9) 柴田亜希子, 菅井幸雄, 安達真人, 新野恵司, 近野みゆき, 花輪千智, 細矢貴亮: 血管造影後の安静時間に 関する患者調査. 第107回日本医学放射線学会北日本地方会, 仙台; 2002年11月
- 10) 近野みゆき,安達真人,本間次男,朽木恵,石山綾,花輪千智,細矢貴亮:高齢者に発生した脊髄 rhabdoid tumor の1例.第107回日本医学放射線学会北日本地方会,仙台;2002年11月
- 11) 鹿戸将史,本間次男,朽木恵,柴田亜希子,石山綾,花輪千智,細矢貴亮:外傷後の異物確認のCT-箸刺入

後の遺残確認に有用であった1例 - . 第107回日本医学放射線学会北日本地方会, 仙台; 2002年11月

#### (4) 研究会

- 1) 鈴木歩,安達真人,菅井幸雄,近野みゆき,細矢貴亮:超急性期脳梗塞の血栓溶解療法.第9回山形県IVR 研究会,酒田;2002年5月
- 2) 鹿戸将史,本間次男,近野みゆき,菅井幸雄,細矢貴亮:外傷後の異物確認のCT 箸刺入後の遺残確認に通用であった一例 . 第11回山形CT・MRI研究会,山形;2002年9月
- 3) 駒谷昭夫:後頭部中心の脳血流低下例.第24回北日本核医学談話会,仙台;2002年10月

#### (5) その他

- 1) 細矢貴亮:(特別講演)頭蓋内動脈解離の臨床と画像診断.循環器病研究委託費12指-2「若年世代の脳卒中の診断,治療,予防戦略に関する全国多施設共同研究」班「脳動脈乖離ワーキンググループ」,東京;2002年2月
- 2) 細矢貴亮:(特別講演)脳神経の画像診断.秋田脳研講演会,秋田;2002年4月
- 3) 細矢貴亮:(教育講演)「あなたは診断できるか?頭蓋内動脈解離」.第31回日本神経放射線学会,秋田;2002 年2月
- 4) 駒谷昭夫:放射線とその単位.福島医科大学学生講義,福島;2002年4月
- 5) 駒谷昭夫:(シンポジュム)「核医学21世紀の展望」脳循環核医学.第20回動態核医学研究会,仙台;2002年 5月
- 6) 駒谷昭夫:(教育講演)「核医学イメージング機器」.第25回核医学講習会,大阪;2002年5月
- 7) 細矢貴亮:(特別講演)脳神経と血管の画像診断.第29回埼玉中枢神経画像診断研究会,大宮;2002年6月
- 8) 駒谷昭夫:(特別講演)脳のSPECT CTとMRの狭間で奮闘 . 第14回核医学技術講演会,盛岡;2002年6日
- 9) 菅井幸雄,本間次男,細矢貴亮:ステントを用いた血管内治療.第28回山形大学医学部・工学部交流セミナー,米沢;2002年6月
- 10) 細矢貴亮:(ミニレクチャー)これで充分!神経画像解剖と神経線維連絡の知識「脳神経」.第22回神経放射線ワークショップ,大山;2002年7月
- 11) 本間次男,安達真人,鈴木歩,細矢貴亮: Diffusion imaging を用いた3D-Tractography. 第6回臨床解剖研究会,東京;2002年7月
- 12) 菅井幸雄:(教育講演)腹部MRIについて.第20回山形県放射線技師MR研究会,山形;2002年7月
- 13) 安達真人:(ミニレクチャー)これで充分!神経画像解剖と神経線維連絡の知識「脳幹」.第22回神経放射線 ワークショップ,大山;2002年7月
- 14) 駒谷昭夫:(教育講演)放射線診断物理学.医学物理学講習会,東京;2002年8月
- 15) 細矢貴亮:(特別講演)脳神経と血管の画像診断.旭川放射線医学卒後研修学術講演会,旭川; 2002年9月
- 16) 細矢貴亮:(特別講演)血管の画像診断とIVR.第109回新庄・最上臨床談話会,新庄;2002年11月
- 17) 細矢貴亮: (特別講演)頭痛の画像診断.第10回ソニックCTカンファレンス,大宮;2002年12月

## 3. その他

- 1) 第41回山形神経放射線懇話会,山形;2002年1月
- 2) 第16回山形県放射線科医の会,山形;2002年3月
- 3) 第42回山形神経放射線懇話会,山形;2002年3月
- 4) 第43回山形神経放射線懇話会,山形;2002年5月
- 5) 第9回山形県IVR研究会,山形;2002年5月
- 6) 第2回山形デジタル画像セミナー,山形;2002年6月
- 7) 第44回山形神経放射線懇話会,山形;2002年7月
- 8) 第11回山形MRI研究会,山形;2002年8月
- 9) 第45回山形神経放射線懇話会,山形;2002年9月
- 10) 第46回山形神経放射線懇話会,山形;2002年12月

## 基礎看護学講座

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) 管野恵美,宮本久美子,渡辺皓:解剖実習遺体にみられた褥瘡に関する研究.北日本看護学会誌 2002;5: 9-15
- 2) 阪口しげ子,小松万喜子,広田直子:食生活形態別にみた福祉・医療系女子学生の栄養補助食品利用に関する意識と実態.信州大学医療技術短期大学部紀要 2002;27:67-74
- 3) 小松万喜子:現代日本における成人の死生観と死の準備教育.日本佛教教育学研究 2002;10:106-111
- 4) 野戸結花,三上れつ,小松万喜子:終末期ケアにおける臨床看護師の看護観とケア行動に関する研究.日本がん看護学会誌 2002;16:28-38
- 5) 山川明子,三上れつ,小松万喜子: 1国立大学医学部附属病院における準夜勤専従システムの試行に伴う看護師の疲労に関する研究.日本看護管理学会誌 2002;6:15-25
- 6) 小松万喜子,鈴木晶子:看護大学生の共感性と対人関係関連尺度に関する学年比較.第33回日本看護学会論 文集-看護教育- 2002:135-137
- 7) 小関圭子,森岡由起子: 1歳6カ月児健康診査における発達障害のスクリーニングに関する研究.小児の精神と神経 2002;42:301-319
- 8) 桂晶子,伊藤涼子,小松万喜子:一人暮らしの看護学生の食生活の実態とその要因.第33回日本看護学会論 文集 - 看護教育 - 2002:84-86
- 9) 伊藤涼子,桂晶子,小松万喜子:看護学生の微量栄養素摂取の実態とその要因.第33回日本看護学会論文集 - 看護教育 - 2002:81-83

#### (2) 著書

- 1) 高橋みや子:ナイチンゲール誓詞・アメリカ看護協会倫理規定等他10項目.近藤均,酒井明夫,中里巧,森 下直貴,盛永審一郎編,生命倫理事典.東京;太陽出版,2002
- (3)総説
  - 1) 吉谷須磨子,馬場琴子,松澤洋子:予防衣の着用に関する新常識.月刊ナースデータ 2002;23:19-22
- (4) その他
  - 1) 高橋みや子:第二次世界大戦後の看護教育制度改革 GHQ/PHW及び日本の行政文書を用いた検証. 平成9年度~平成12年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書
  - 2) 渡辺皓:マウス卵巣における卵巣閉鎖の全過程:形態学的研究.科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究 成果報告書
  - 3) 森岡由起子, 佐藤文: 産後うつ状態が母子相互作用に及ぼす影響の縦断的研究. 2001年度安田生命社会事業 団研究助成報告書

## 2.学会報告

- (1) 国外の学会
  - 1) Matsuzawa H, Onishi C: Information needs during the process of accepting operations in patients with head and neck cancer. The th International conference on cancer nursing 2002, London, UK; August 2002
- (2) 国内の学会
  - 1) 仲嶋愛子,高橋みや子:明治から第二次世界大戦前までの埼玉県における看護婦養成教育の発展過程(1) -設立者と財政、学生の給費制度を中心に - . 第16回日本看護歴史学会,山形;2002年8月
  - 2) 片桐智子, 平塚朝子, 高橋みや子: 第二次世界大戦後のGHQの指令による山形県における病院改革の実施過程. 第16回日本看護歴史学会, 山形; 2002年8月
  - 3) 葉久真理,竹内恵美子,大室律子,高橋みや子:我が国の助産師教育に影響を及ぼした政策的諸要因に関する研究.第43回日本母性衛生学会,旭川;2002年9月
  - 4) 管野恵美,渡辺皓:褥瘡好発部位としての仙骨部の解剖学的特徴.日本褥創学会,金沢;2002年8月

- 5) 熊谷香織,渡辺皓:仙骨部褥瘡皮膚組織における肥満細胞の分布について.日本褥創学会,金沢;2002年8 月
- 6) 管野恵美,渡辺皓:褥創好発部位としての仙骨部における血液供給-動脈の由来と走行に注目して-. 第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
- 7) 熊谷香織,渡辺皓:仙骨部を主とする褥創好発部位の正常皮膚組織における肥満細胞の分布について. 第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
- 8) 小松万喜子,桂晶子,松澤洋子,布施淳子:看護過程の到達度評価に関する基礎看護学実習前後の比較と教育課題.第12回日本看護学教育学会,札幌;2002年7月
- 9) 小松万喜子,鈴木晶子:看護大学生の共感性と対人関係尺度に関する学年比較.第33回日本看護学会-看護 教育-,香川;2002年8月
- 10) 小松万喜子, 阪口しげ子: 看護学生の栄養補助食品利用に関連する要因の検討 臨地実習前と実習中の利用 状況の比較から - . 第28回日本看護研究学会,横浜; 2002年8月
- 11) 鈴木晶子,小松万喜子:看護学生の共感性とその変化に関連する要因-実習前後比較-.第33回日本看護学会-看護教育-,香川;2002年8月
- 12) 菅原美紀,小野玉子,荒生理恵,石垣奈央,菅原育,小松万喜子:脳神経外科手術後における抑制時の家族への対応.第33回日本看護学会-成人看護 . 岐阜;2002年10月
- 13) 柴田奈津子,伊藤愛美,小松万喜子:脳死患者からの臓器移植に対する医療系学生の意識と関連要因. 第26回日本死の臨床研究会,高崎;2002年11月
- 14) 伊藤愛美,柴田奈津子,小松万喜子:脳死患者からの臓器移植に対する医学生と看護学生の意識の差異. 第26回日本死の臨床研究会,高崎;2002年11月
- 15) 山川明子,小松万喜子,三上れつ,長岡榮子:1国立大学医学部附属病院における看護師の準夜勤専従勤務に関する意識調査.第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
- 16) 鈴木晶子,小松万喜子:看護学生が臨地実習で経験した患者-学生関係と共感性の検討.第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
- 17) 布施淳子,小松万喜子,桂晶子,松澤洋子:基礎看護学演習におけるコーディネータ導入と評価. 第12回日本看護学教育学会,札幌;2002年7月
- 18) 桂晶子,小松万喜子,布施淳子,松澤洋子:基礎看護学実習前後における看護過程の学習の変化. 第12回日本看護学教育学会,札幌;2002年7月
- 19) 桂晶子,伊藤涼子,小松万喜子:一人暮らしの看護学生の食生活と問題点.第33回日本看護学会 看護教育-,香川;2002年8月
- 20) 伊藤涼子,桂晶子,小松万喜子:看護学生の微量栄養素摂取の実態とその要因.第33回日本看護学会 看護教育 ,香川;2002年8月
- 21) 大佐賀敦, 布施淳子:足浴に関する生理心理学的検討(7)-湯浴の手技・時間の違いが心拍・呼吸・瞬目活動に与える影響-.第28回日本看護研究学会,横浜;2002年8月
- 22) 布施淳子,大佐賀敦:足浴に関する生理心理学的検討(8)-湯浴時間が快・不快感情にあたえる影響-. 第28回日本看護研究学会,金沢;2002年8月
- 23) 荒井まり, 布施淳子, 大佐賀敦:記憶再生テストとCFQの特性との関連.第6回北日本看護学会, 山形; 2002年9月
- 24) 幡野有美,布施淳子,大佐賀敦:湯浴時間における快・不快感情の主観的評価に関する検討.第6回北日本 看護学会,山形;2002年9月
- 25) 布施淳子, 大佐賀敦: CFQ (Cognitive Failures Questionnaire) と記憶再生課題における遂行行動との関連. 第66回日本心理学会, 広島; 2002年9月
- 26) 菅井恵美子, 布施淳子: 待ち時間における時間不安測定尺度と言葉かけとの関連.第33回日本看護学会, 山梨: 2002年11月
- 27) 松澤洋子,雄西智恵美:頭頸部癌患者の手術に対する納得のプロセスとその要因.第16回日本がん看護学会, 松山;2002年2月
- 28) 松澤洋子,吉谷須磨子,馬場琴子:MRSAに感染して入院している患者の感染対策上の課題.第2回日本感染看護学会,相模原;2002年3月

- 29) 馬場琴子,吉谷須磨子,松澤洋子,伊藤香代子:高齢者施設のインフルエンザ集団発生に対するワクチンの効果について.第2回日本感染看護学会,相模原;2002年3月
- 30) 松澤洋子,吉谷須磨子,馬場琴子,村田三加幸:参加型学習による事例展開の評価.第12回日本看護学教育学会,札幌;2002年7月
- 31) 馬場琴子,吉谷須磨子,松澤洋子,村田三加幸:学習支援システムによる問題解決学習の評価.第12回日本看護学教育学会,札幌;2002年7月
- 32) 澤田尋子,松澤洋子:看護基礎教育制度に関する看護学生の意識調査 准看護学校、専修学校、大学の比較 . 第28回日本看護研究学会,横浜;2002年8月
- 33) 仲川恵美子,松澤洋子:看護学生の自己教育力に関する研究-進路との関連に焦点をあてて-.第28回日本看護研究学会,横浜;2002年8月
- 34) 村田三加幸,伊藤香代子,吉谷須磨子,松澤洋子,馬場琴子:第91回看護師国家試験の事後評価の一方法-A校の正誤回答からS-P評価表による分析-.第6回北日本看護学会,山形;2002年9月

#### (3) その他

- 1) 渡辺皓:解剖学と通して観るヒト.大江町教育委員会主催「おおえ素心塾」,大江町(山形県);2002年1月
- 2) 渡辺皓:ヒトのからだ(成長と老化).山形県高等学校理科教育研修会,上山;2002年5月
- 3) 渡辺皓:機能的解剖学.山形県健康運動実践指導者養成講習会,山形;2002年8月
- 4) 渡辺皓:人体構造(中枢神経系). 山形県鍼灸マッサージ師会学習講演会,山形;2002年9月
- 5) 布施淳子:ナイチンゲールの看護論入門.北村山公立病院研修会,山形;2002年6月

## 3. その他

- 1) 第16回日本看護歴史学会,山形;2002年8月
- 2) 第8回コ・メディカル解剖学懇話会「コ・メディカルの形態学的研究」、浜松:2002年3月
- 3) 平成14年度「看護教員のための解剖実習講習会」, 山形: 2002年8月
- 4) 第88回日本小児精神神経学会,山形;2002年11月

## 臨床看護学講座

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Ishihata A, Tasaki K, Katano Y: Involvement of p44/42 mitogen-activated protein kinases in regulating angiotensin-II- and endothelin-1-induced contraction of rat thoracic aorta. European J Pharmacol 2002; 445: 247-256
- 2) Sato Y, Shiwaku H: A study of difficulty in child-care during rapprochement crisis. International Journal of Nursing Studies 2002; 39: 51-58
- 3) 遠藤洋志,岡崎和伸,三村達也,岡本三郎,増地克之,竹田正樹,遠藤由美子,水野康,浅野勝己:低圧低酸素暴露の骨格筋組織酸素飽和度に及ぼす影響.登山医学 2002;22:119-122
- 4) 小林弥生子,田谷刷子,遠藤由美子:婦人科外来一連の診察体験の受け止め方とそれに関連する要因-若年 女性の初診時の体験について-.山形県母性衛生学会誌 2002;3:33-37
- 5) 手塚あさき,石幡明,片野由美:ムスカリン受容体を介した腸管平滑筋の収縮反応機構における加齢変化の 有無の検討.山形医学 2002;20:13-20
- 6) 馬場琴子,吉谷須磨子:寝たきり高齢者の褥創予防のために使用する除圧マットの開発.山形大学産学連携研究萌芽育成事業報告集 2002:48-52
- 7) 福井里佳,塩飽仁,遠藤芳子:入院児、家族を対象とした病院ボランティア活動に対するニーズと看護者の 役割.日本小児看護学会誌 2002;11:15-22
- 8) 藤田あけみ,佐藤和佳子,岡美智代,佐川美枝子:直腸癌低位前方切除患者の術後経過期間別の排便障害と 自尊感情との関係について.日本看護科学会誌 2002;22:34-43
- 9) 古瀬みどり:在宅介護の継続過程における訪問看護婦の役割-危機とルーチンの相互関係の分析を通して-. 日本看護研究学会雑誌 2002;25:83-95

#### (2) 著書

1) 佐藤冨美子:第 編 健康障害のある人の生活への看護技術 第22章 A 薬物と看護.坪井良子,松田たみ 子編,考える基礎看護技術 看護技術の実際 第2版.東京;ヌーヴェルヒロカワ,2002:417-438

#### (3) 総 説

- 1) 小竹佐智代, 佐藤和佳子: 脳梗塞発症後に尿失禁となり軽度痴呆を有する対象者への在宅での排尿ケア. EB Nursing 2002;12:76-80(212-216)
- 2) 佐藤和佳子:長期ケア施設における集団的アプローチの有効性に関するエビデンス 米国ナーシングホーム における排尿自覚刺激行動療法 (Prompted Voiding: PV) に関する研究動向から. EB Nursing 2002; 12:57-62(193-198)
- 3) 大垣友子,片野由美:薬物と看護1.看護学生 2002;50
- 4) 大垣友子,片野由美:薬物と看護2.看護学生 2002;50
- 5) 大垣友子,片野由美:薬物と看護3.看護学生 2002;50
- 6) 大垣友子,片野由美:薬物と看護4.看護学生 2002;50
- 7) 手塚あさき,片野由美:薬理.看護学生 2002;50:17-22

## (4) その他

- 1) 佐藤和佳子, Jean F. Wyman, Christine Mueller, Donna Zimmaro Bliss, 坂本祐子, 山田紀代美, 山田ゆかり: 米国高齢者長期ケア施設の失禁ケア管理システムに日本は何を学ぶか - Prompted Voiding導入の研究軌跡、 失禁ケア管理の実際と障壁に関する山形県・ミネソタ州施設調査の比較から - . 第9回ファイザーヘルスリ サーチフォーラム 国際共同研究, 2002: 176-184
- 2) 佐藤和佳子: 互いに集い、「臨床と教育の連携」を考える 山形大学で看護学教育ワークショップ開催;ナーシング・トゥデイ(日本看護協会出版会), 2002; 17:80-81
- 3) 佐藤和佳子:書評 QOL尺度を活用するための強力ナビゲーター.看護研究 2002;35:252
- 4) 佐藤和佳子:互いに集い、「臨床と教育の連携」を考える-山形大学で看護学教育ワークショップ開催(上記2再掲). 平成13年度山形大学看護学教育ワークショップ報告書-新しい連携システム創造へ向けた相互理

解. 山形大学医学部, 2002:53-54

5) 吉谷須磨子,藤田愛:大学開放のあり方に関する研究会-セルフケアを高めるための健康管理-.第7回生涯学習実務者協議会報告書 2002:46-55

### 2.学 会 報 告

#### (1) 国外の学会

- 1) Ishihata A, Ogaki T, Salao M, Tezuka, A, Katano Y: Evaluation of the role of COX-1 and COX-2 in prostacyclin production in the perfused senescent rat heart. XXIII Congress of the European Society of Cardiology. Berlin Germany; August 2002
- 2) Ishihata A, Katano Y: Signaling mechanisms of urotensin II in the smooth muscle contraction. The 19th ISHR Meeting, Yamagata; October 2002
- 3) Honma H, Oka M, Satoh W, Yamaguchi M, Uchimi Y, Huruse H, Konta T, Abiko H: Need of Outpatients Receiving Peritoneal Dialysis and Relationship to Patient Characteristics. Seventh International Congress of Behavioral Medicine, Helsinki; August 2002
- 4) Nozaki C, Oka M, Satoh W, Seto T, Uchimi Y, Yamaguchi M, Hasegawa Y, Yumita S: Comparison of Effects between Cognitive Behavioral Therapy and Knowledge Instruction Program for Hemodialysis Patients. Seventh International Congress of Behavioral Medicine, Helsinki; August 2002
- 5) Ktake S, Satoh W: Prevalence of Lower Urinary Tract Symptoms and Residual Urine Volume of Patients in Surgical Unit: Patients Who will use Foley Catheter for Operation; International Journal of Urology Vol9, Supplement, Kuala Lumpur; August 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 北目文郎:院内感染におけるMRSAの流行株と非流行株の細菌学的性状の違い.第17回日本環境感染学会総会,大阪;2002年2月
- 2) 綱木和子,北目文郎:老人保健施設に入所している高齢者の口腔内細菌叢へ及ぼすポビドンヨード含有含嗽 剤の影響:第17回日本環境感染学会総会,大阪;2002年2月
- 3) 石幡明,手塚あさき,大垣友子,片野由美:老化ラット心臓におけるプロスタサイクリン産生変化の機序. 第75回日本薬理学会年会,熊本;2002年3月
- 4) 手塚あさき,石幡明,片野由美:外因性アセチルコリンに対するラット空腸および大腸縦走平滑筋収縮反応 の加齢変化の検討.第75回日本薬理学会年会,熊本;2002年3月
- 5) 大垣友子,會田智美,堀江竜弥,石幡明,片野由美:加齢によるurotensin IIの冠血管作用変化.第75回日本薬理学会年会,熊本;2002年3月
- 6) 田崎勝成, 宍戸哲也, 伊藤恒賢, 高崎聡, 片野由美: WHHLウサギでの腹部大動脈におけるアンジオテンシン II収縮の減弱. 第75回日本薬理学会年会, 熊本; 2002年3月
- 7) 片野由美, 手塚あさき, 石幡明: 小腸平滑筋ムスカリン受容体とAging. 第79回日本生理学会年会, 広島; 2002年3月
- 8) 石幡明,片野由美:老化によるPG合成系の変化.第79回日本生理学会年会,広島;2002年3月
- 9) 脇屋友美子,佐藤冨美子:重症集中ケア看護者が直面する倫理的課題に関する意識調査.日本集中治療医学会.第29回大会,岡山;2002年3月
- 10) 佐々木優子,荒井美香,坂川奈央,古原幸子,内海祐子,佐藤和佳子:介護老人保健施設における要介護度 1高齢者の尿失禁危険因子について~包括的アセスメントと排尿チャートの解析から~.第15回老人泌尿器 科学会,米子;2002年5月
- 11) 坂川奈央,荒井美香,佐々木優子,古原幸子,内海祐子,佐藤和佳子:介護老人保健施設における「尿意に沿った排尿誘導」を行う上での障壁~看護職及び介護職の視点から~.第15回老人泌尿器科学会,米子;2002年5月
- 12) 大江誠子,三澤寿美,才門尚美,遠藤由美子:産褥早期における母親の育児行動に対する看護ケア実施状況 評価尺度の開発.第4回日本母性看護学会,前橋;2002年6月
- 13) 塩飽仁,和田雪,井上由紀子:神経症患児における父親の養育態度の世代間伝播の検討.第12回日本小児看護学会,横浜;2002年7月

- 14) 井上由紀子,塩飽仁:子どもの共感経験と親の共感経験および感情の言語化の関連.第12回日本小児看護学会,横浜:2002年7月
- 15) 相墨生恵,塩飽仁,原田理英子:IDDMの子どもの描画面積と母子関係および血糖コントロールの関連. 第28回日本看護研究,横浜;2002年8月
- 16) 遠藤由美子, 才門尚美: 看護大学生の更年期に対するイメージおよびホルモン補充療法に対する意識. 第43回日本母性衛生学会, 旭川; 2002年9月
- 17) 才門尚美,遠藤由美子,加藤道代:不妊治療を受けた女性の妊娠・出産体験の受けとめ方.第43回日本母性衛生学会,旭川;2002年9月
- 18) 相墨生恵,塩飽仁:コンピューターソフトを用いた描画面積計測値と大きさの形式分析による解釈の整合性. 第12回日本描画テスト・描画療法学会,東京;2002年9月
- 19) 古瀬みどり:要介護高齢者を介護する家族の苦労認識プロセス.日本家族看護学会第9回学術集会,盛岡; 2002年9月
- 20) 藤田愛,徳田真理子:アロマセラピーに関する看護研究の現状と動向,日本アロマセラピー学会,東京; 2002年10月
- 21) 佐藤幸子,塩飽仁,横山浩之:姉のアスペルガー障害に伴う反応性愛着遮断症候群男児に対する介入の検討. 第88回日本小児精神神経学会,山形;2002年11月
- 22) 佐藤冨美子:乳がん手術患者の術式意思決定に関する研究 心理的混乱をうみだす情報とそのコーピングを中心にして.第22回日本看護科学学会学術集会,東京;2002年12月
- 23) 小竹佐智代,佐藤和佳子,岡美智代:手術を受ける入院患者の下部尿路症状(LUTS)の実態と尿留置カテー テル使用後の変化.第22回日本看護科学学会学術集会,東京;2002年12月
- 24) 吉谷須磨子:クリニカルパスの電子化.第3回クリニカルパス学会学術集会,横浜;2002年12月
- (3) 国内地方会
  - 1) 大垣友子,会田智美,石幡明,片野由美:ラット冠血管に対するUrotensinIIの作用と加齢による影響. 第53回日本薬理学会北部会,秋田;2002年9月
  - 2) 新井寿子,塩飽仁:家族のかかわり不足から遺糞および衝動的行動を示す児童への看護介入.第6回北日本 看護学会,山形;2002年9月
  - 3) 井上由紀子,塩飽仁:他者にあわせた生活により身体症状があらわれた子どもと母親への看護介入の検討. 第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
  - 4) 遠藤芳子,塩飽仁:高校に入学できた不登校児に対する看護介入.第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
  - 5) 武田洋子,村田三加幸,山名栄子,古瀬みどり:患者-看護学生の対人認知に関する研究.第6回北日本看護学会学術集会,山形;2002年9月
  - 6) 佐藤幸子,塩飽仁:姉のアスペルガー障害に伴う反応性愛着遮断症候群患児への看護介入の分析.第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
  - 7) 藤田愛:産後3ヶ月までにベビーマッサージを行った母親の気分と唾液中コルチゾールの変化.北日本看護学会,山形;2002年9月
  - 8) 古瀬みどり,吉谷須磨子,馬場琴子:高齢血液疾患患者の易感染時における唾液分泌量減少に関する検討. 第6回北日本看護学会学術集会,山形;2002年9月
  - 9) 村田三加幸,伊藤香代子,吉谷須磨子,松澤洋子,馬場琴子,古瀬みどり:第91回看護師国家試験の事後評価の一方法 A 校の正誤解答からS-P表評価による分析 . 第6回北日本看護学会学術集会,山形;2002年9月
  - 10) 山名栄子,吉谷須磨子:腎センターに勤務する看護師のアセーティブ能力の評価とその活用.第6回北日本 看護学会学術集会,山形;2002年9月
  - 11) 山本三奈,塩飽仁:他者を模倣する中学生の心理特性.第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
  - 12) 横山佳奈子,塩飽仁:看護者と遊びの場を共有したことで登校するに至った不登校事例への看護介入. 第6回北日本看護学会,山形;2002年9月
  - 13) 吉谷須磨子,古瀬みどり,馬場琴子,武田洋子,山名栄子:教材モデルを使ったときの問題解決学習の効果. 第6回北日本看護学会学術集会,山形;2002年9月

- 14) 石幡明,片野由美:老化ラットにおけるUrotensin IIの心血管作用.第35回東北生理談話会,弘前;2002年10月
- 15) 山口睦子,佐藤和佳子,岡美智代,内海祐子,田中栄一,戸屋真由美,三浦明香,森亜紀子,中原健次,倉智博久:ナイスミディ外来患者の「尿もれ」の実態について.第24回山形県母性衛生学会学術集会,山形; 2002年10月

#### (4) 研 究 会

- 1) 加藤丈夫,木村英紀,内海祐子,佐藤和佳子,千葉さおり: Hoehn & Yahr IV度以上のパーキンソン病患者の介護保険利用状況と転倒の調査.平成13年度「特定疾患対策の地域支援ネットワークの構築に関する研究班」会議,東京;2002年1月
- 2) 石幡明,酒井美和子,手塚あさき,大垣友子,片野由美:ウロテンシンIIの血管収縮作用の加齢変化:冠血管および大動脈における検討.第25回心筋代謝研究会,札幌;2002年7月
- 3) 大垣友子,會田智美,石幡明,片野由美: Human urotensin IIによる心拍数増加作用の機序の検討. 第13回実験動物セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 4) 村田恵理,米沢恵,石幡明,片野由美:ポリフェノール含有赤ワイン抽出物の冠循環改善効果と加齢変化. 第13回実験動物セミナー研究成果発表会,山形:2002年12月
- 5) 利美賀子,大谷地智子,大垣知子,石幡明,片野由美:ポリフェノール含有赤ワイン抽出物によるラット胸部大動脈拡張作用と加齢による影響.第13回実験動物セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 6) 会田梢,山田晃子,会田智美,大垣友子,石幡明,片野由美:膀胱平滑筋におけるムスカリンおよび 受 容体を介する収縮反応の加齢変化.第13回実験動物セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 7) 内藤広子,竹田裕美,佐々木寛,金子健也,片野由美,加藤宏司:若齢ラットと老齢ラットの餌取り学習行動.第13回実験動物セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月

#### (5) その他

- 1) 佐藤和佳子:(講師)「高齢者ケア学」.放送大学,山形;2002年6月
- 2) 佐藤和佳子:(講師)「高齢者の排泄ケア」. 酒田飽海地域「夏のセミナー」, 山形; 2002年8月
- 3) 塩飽仁:小児看護学概論.山形県立保健医療大学,山形;2002年1月,9-12月
- 4) 塩飽仁:小児看護方法論.東北大学医療技術短期大学部看護学科,仙台;2002年1月
- 5) 塩飽仁:不登校や心身症の子どものケアから子どもを考える.仙台市将監西児童館 母親クラブ共催事業, 仙台;2002年2月
- 6) 塩飽仁:神経症の子どもの臨床からみた親と子の関係.東北大学医学部小児科学講座イブニングカンファレンス,仙台;2002年2月
- 7) 塩飽仁: 不登校や心身症の子どものケアから子どもと家族を考える. 宮城県登米郡養護教諭連絡協議会, 佐沼: 2002年2月
- 8) 塩飽仁:(シンポジスト)地域母子保健相談事業 親と子の心の相談事業スーパーバイザー.山形県置賜保健 所,山形;2002年6-12月
- 9) 塩飽仁:乳幼児発達論.東北大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻,仙台;2002年5-6月
- 10) 塩飽仁:看護過程.第13回山形県看護実習指導者講習会,山形;2002年6月
- 11) 塩飽仁:研究方法.宮城県看護教員養成講習会,仙台;2002年6-8月
- 12) 塩飽仁:看護研究における指導者の役割,看護研究と倫理,看護研究論文の査読の実際.山形県看護協会生涯教育研修 看護研究 (指導者育成),山形;2002年7月
- 13) 塩飽仁:看護研究におけるパソコンでのデータ処理の実際.宮城県看護協会 現任教育,仙台;2002年7月
- 14) 塩飽仁:わが国における看護教育改革はいかにあるべきか 大学の立場から.平成14年国立病院・療養所附属看護学校協議会総会,東京;2002年9月
- 15) 塩飽仁:実習指導の原理「小児看護学」.厚生省東北地方医務局,東北地区保健師助産師看護師等実習指導者講習会,仙台;2002年9月
- 16) 塩飽仁:研究デザインと検定の関係.秋田県看護協会,秋田;2002年10月
- 17) 塩飽仁:カウンセリングの理論と実際.置賜保健所地域保健予防課,母子保健推進担当者会議,米沢;2002 年10月
- 18) 塩飽仁:臨床看護における研究のコツ.山形県立総合療育訓練センター,上山;2002年11月

- 19) 塩飽仁:子どもの心の育ちと親子の関わりについて.仙台市将監保育所 育児講座,仙台;2002年11月
- 20) 塩飽仁:看護研究 . 宮城県看護協会 認定看護管理者(セカンドレベル)研修会,仙台;2002年10-11月
- 21) 塩飽仁:保健師への期待~少子社会から見えてきたこと~. 山形県保健師長会 研修会,山形;2002年11月
- 22) 古瀬みどり:(助言者)看護教育演習.平成14年度宮城県看護教員養成講習会,仙台;2002年9月
- 23) 古瀬みどり: (講師)基礎研修過程.平成14年度山形県介護支援専門員現任研修,山形,三川;2002年12月
- 24) 中村勝:看護研究.国立熱海病院看護部,静岡:2002年4-7月
- 25) 中村勝:精神保健福祉論 .東北福祉大学非常勤講師,宮城;2002年
- 26) 中村勝:介護実務者研修.宇都宮;2002年7-11月
- 27) 中村勝:看護研究.国立療養所東宇都宮病院看護部,栃木;2002年7-12月
- 28) 中村勝:看護研究.国立栃木病院看護部,宇都宮;2002年7-12月
- 29) 中村勝:看護研究.国際医療福祉大学附属熱海病院看護部,静岡;2002年8-12月
- 30) 中村勝:院内教育担当者研修 大学教育プログラムについて.栃木県看護協会,宇都宮;2002年8月
- 31) 中村勝:栃木県NPO等活動促進懇談会.栃木県,宇都宮;2002年1-12月
- 32) 中村勝: NPO条例分科会. 栃木県, 宇都宮; 2002年1-12月
- 33) 中村勝:とちぎNPOボランティアシンポジウム.栃木県,宇都宮;2002年5月
- 34) 中村勝: NPO・企業・行政の協働について.クローズアップとちぎ県政フラッシュ,栃木放送; 2002年5月
- 35) 中村勝:国際保健看護学について.旭川医科大学,北海道;2002年7月
- 36) 内海祐子: (講師)「神経難病を持つ方の転倒」. 酒田飽海地域「夏のセミナー」, 山形; 2002年8月
- 37) 藤田愛:(シンポジスト)日本アロマセラピー学会九州地方会,福岡;2002年

## 3. その他

- 1) 国際ボンディング協会ベビーボンディングケアスペシャリストセミナー,東京;2002年6月
- 2) 国際ボンディング協会ベビーボンディングケアスペシャリストセミナー, 熊谷; 2002年9月
- 3) 国際ボンディング協会総会,東京;2002年12月
- 4) 国際ボンディング協会カウンセリングセミナー,東京;2002年11月
- 5) 日本アロマセラピー学会看護研究会アロマセラピーの基礎理論,東京,大阪;2002年7月
- 6) 日本アロマセラピー学会看護研究会ワークショップ, 東京; 2002年10月
- 7) 日本アロマセラピー学会看護研究会臨床に役立つマッサージ,東京,大阪;2002年12月
- 8) 山形県母性衛生学会開催,山形;2002年10月
- 9) 第88回日本小児精神神経学会,山形;2002年11月

## 地域看護学講座

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) 桂敏樹,右田周平,星野明子:中高年るい痩者および肥満者の体脂肪の変化と生活習慣病リスクファクターの変動との関連要因に関する追跡的研究.日本健康医学会雑誌 2002;11:26-32
- 2) 工藤啓,菅沼靖,右田周平,荒井由美子,佐々木裕子:「健康日本21」市町村計画策定支援について・保健 所との市町村共同策定支援の試み・.公衆衛生 2002;66:749-75
- 3) 佐藤幸子, 齋藤明子, 井上京子, 片桐智子, 沼沢さとみ, 鈴木克彦, 伊藤友一, 内田勝雄, 八木忍, 大島義彦: 老人保健施設における高齢者の転倒状況のパターン分類. 山形保健医療研究 2002; 5:9-15

#### (2) その他

- 1) 小林淳子,右田周平,齋藤明子,大竹まり子,服部ユカリ,横山順子,佐藤節子:地域の介護予防対策における健康ニーズアセスメントの研究.山形県健康科学研究所紀要,2002;21:18-44
- 2) 齋藤明子,小林淳子:在宅筋萎縮性側索硬化症患者の主観的Quality of Lifeに関する研究.日本在宅ケア学会 誌 2002;5:47-53

## 2. 学 会 報 告

#### (1) 国内の学会

- 1) 齋藤明子,小林淳子,石川まり子,右田周平,服部ユカリ:在宅筋萎縮性側索硬化症患者の家族介護者の介護技術の認識.第6回日本在宅ケア学会,茨城;2002年1月
- 2) 桂敏樹,右田周平,星野明子,横山美江,赤澤千春,奥津文子:中高年るい痩者および肥満者の体脂肪の変化と生活習慣病リスクファクターの変動との関連.第28回日本看護研究学会学術集会,横浜;2002年7月
- 3) 小林淳子, 齋藤明子, 右田周平, 大竹まり子, 藤村由希子, 片川久美子: 妊娠判明時の喫煙・禁煙行動に関連する要因の考察. 第28回日本看護研究学会学術集会, 横浜; 2002年8月
- 4) 藤村由希子,片川久美子,小林淳子:出産後の喫煙再開と関連する要因の考察.第28回日本看護研究学会学 術集会,横浜;2002年8月
- 5) 齋藤明子,右田周平,大竹まり子,小林淳子:在宅ALS患者の家族介護者の介護についての認識.第7回日本難病看護学会,東京;2002年8月
- 6) 右田周平,工藤啓:保健事業の評価指標の設定に対する保健師の受け止め方について.第61回日本公衆衛生 学会総会,埼玉;2002年10月
- 7) 工藤啓,右田周平,荒井由美子:保健所機能を生かした健康日本21市町村地方計画策定手法について. 第61回日本公衆衛生学会総会,埼玉;2002年10月

### (2) 国内地方会

- 1) 右田周平,工藤啓,佐々木裕子:市町村における健康日本21地方計画策定の現状と保健担当職員の意識. 第28回山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
- 2) 右田周平,工藤啓:保健事業の中期的目標の数値化・指標化に対する保健師の対応について.第51回東北公 衆衛生学会,青森:2002年7月
- 3) 工藤啓,右田周平:健康日本21市町村地方計画策定方法とその課題.第51回東北公衆衛生学会,青森;2002 年7月
- 4) 右田周平,齋藤明子,大竹まり子,小林淳子:特定機能病院における地域医療連携センターの活動に関する 検討(その1)-地域医療連携センター開設前のニーズ調査:外来患者の在宅療養上のニーズ-.第6回北日 本看護学会学術集会,山形:2002年9月
- 5) 大竹まり子,小林淳子,右田周平,齋藤明子,田代久男,山本ツナ子:特定機能病院における地域医療連携センターの活動に関する検討(その2)-地域医療連携センター開設前のニーズ調査:退院困難事例の実態-. 第6回北日本看護学会学術集会,山形:2002年9月
- 6) 齋藤明子,右田周平,大竹まり子,小林淳子,田代久男,山本ツナ子:特定機能病院における地域医療連携

センターの活動に関する検討(その3)-地域医療連携センター開設前のニーズ調査:病棟看護師長の退院調整に関する認識.第6回北日本看護学会学術集会,山形;2002年9月

- 7) 田代久男,山本ツナ子,大竹まり子,右田周平,齋藤明子,小林淳子:特定機能病院における地域医療連携 センターの活動に関する検討(その4)-業務実績から地域医療連携センターの課題の検討-.第6回北日本 看護学会学術集会,山形;2002年9月
- 8) 河本亜希子,小林淳子:産後1ヶ月を経過した母親の育児の自己効力感を測定する尺度の検討.第6回北日本看護学会学術集会,山形;2002年9月
- 9) 片川久美子,小林淳子:乳幼児健診における受診者の満足度に関する因子探索的検討.第6回北日本看護学会学術集会,山形;2002年9月
- 10) 尾形良子,石川まり子,齋藤明子,右田周平,服部ユカリ:デイケア通所者の在宅における"かゆみケア" についての研究.第28回山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
- 11) 里美あい子,右田周平,石川まり子,齋藤明子,服部ユカリ:在宅高齢者における介護保険制度の情報収集 に関する研究-属性と情報メディアの利用との関連.第28回山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
- 12) 菅野陽子,右田周平,石川まり子,齋藤明子,小林淳子,佐藤節子,廣谷恵子:母親の育児不安と役割達成 感及びソーシャルサポートとの関連.第28回山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
- 13) 須藤友加里,右田周平,石川まり子,齋藤明子,小林淳子,佐藤節子:職域における検診を含めた健康管理体制に関する研究.第28回山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
- 14) 磯谷美幸, 齋藤明子, 右田周平, 石川まり子, 服部ユカリ: いきいきディサービス事業における利用者の認識について. 第28回山形県公衆衛生学会, 山形; 2002年2月
- 15) 伊藤千代,石川まり子,齋藤明子,右田周平,小林淳子,横山順子,野本恵利子:地域における糖尿病教室 参加者の知識,ライフスタイル,性格特性の関連について.第28回山形県公衆衛生学会,山形;2002年2月
- 16) 高野真紀子, 齋藤明子, 右田周平, 石川まり子, 小林淳子: 地域実習の健康教育における学生, 参加者, 指導者の評価の比較検討.第28回山形県公衆衛生学会, 山形; 2002年2月

#### (3) その他

- 1) 小林淳子:(講師)地域における保健事業の評価の視点.平成14年度行政栄養士研修会,山形;2002年5月
- 2) 小林淳子:(講師)保健事業の計画と評価.平成14年度新任栄養士・保健師研修会,山形;2002年6月
- 3) 小林淳子:(講師)看護研究学習会.平成14年度山形県看護協会置賜支部第2回研修会,山形;2002年8月
- 4) 小林淳子:(講師)最近の看護教育カリキュラムと訪問看護ステーションにおける実習.山形県訪問看護ステーション連絡協議会管理者研修会,山形;2002年10月
- 5) 小林淳子:看護研究発表助言.平成14年度山形県看護協会置賜支部第4回研修会,山形;2002年11月

## 放射線 部

## 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Haku T, Hosoya T, Eguchi Y, Watanabe Y, Nishina M: Radiation Protection System for Interventional Procedures of the Upper Extermity: Evaluation in a Phantom Model. J Vasc Inter Radiol 2002; 13: 815-822
- 2) 菅井幸雄, 駒谷昭夫, 細矢貴亮, 高橋和榮, 岡田明男: 99mTc-GSA dynamic SPECTによる心プール, 肝摂取 と血中濃度の比較. 動態核医学 2002; 19: 19-24
- 3) 間中友季子,渡辺道子,細矢貴亮:コルチゾールキット「TFB」を用いた尿中コルチゾールの直接法による 測定.核医学 2002;39:149-154

#### (2) 総 説

- 1) 江口陽一:IVRの放射線防護 線量管理を中心に . 医療放射線防護NEWSLETTER 2002;7:25-29
- 2) 江口陽一:血管撮影における患者被曝管理について.東北循環器撮影研究会誌 2002;13:39-46
- 3) 江口陽一:インターベンショナル基準点という言葉をご存知ですか.全国循環器撮影研究会だより 2002; 5:22
- 4) 江口陽一: インジェクターシリンジの浮遊物について. 全国循環器撮影研究会だより 2002; 7:22-23
- 5) 江口陽一:被検者被曝線量の実用的な測定方法.東海循環器撮影研究会誌 2002;3:38-47
- 6) 山田金市,伊藤大輔,伊藤由紀子,佐藤俊光,鈴木隆二,加賀勇治,相原政一,佐々木修一:骨撮影における低・高濃度領域の同時DR圧縮処理の有用性.東北部会雑誌 2002;11:56-59
- 7) 佐藤俊光: MRAと血管撮影の比較 頭頸部を中心に . 東北循環器撮影研究会誌 2002; 13:62-65
- 8) 佐藤俊光: 低感度 X 線フィルムEDR2. 全国循環器撮影研究会だより 2002;7:19-21
- 9) 木村均,土佐鉄雄,村上龍也,立花茂,大久敏広,佐藤俊光,久保田浩之,神寿宏,吉村秀太郎:循環器 (IVR)における被曝線量の全国調査.全国循環器撮影研究会誌 2002;15:17-20

#### (3) その他

- 1) 堀田勝平,鈴木隆二,寺田央,今村恵子,岡崎正敏,大内憲明:40歳代のマンモグラフィ併用検診-精度. 平成13年度厚生労働省(老人保健健康増進等事業)高齢者に対する老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業「わが国におけるこれまでの老人保健事業等の評価,検討及び関連する医療福祉分野の施策・研究に関する調査研究-がん検診-」研究報告書 2002:54-57
- 2) 寺田央,堀田勝平,鈴木隆二,今村恵子,大貫幸二,岡崎正敏:マンモグラフィ検診施設画像評価からみた 40歳代のマンモグラフィ撮影精度の検討.平成13年度厚生労働省(老人保健健康増進等事業)高齢者に対する 老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業「わが国におけるこれまでの老人保健事業等の評価, 検討及び関連する医療福祉分野の施策・研究に関する調査研究-がん検診-」研究報告書 2002:62-67
- 3) 鈴木隆二,鈴木幸司,加賀勇治,鈴木敏,松本進:蛍光ガラス線量計による乳房X線撮影の半価層と照射線 量測定:第83回日本医学物理学会大会報文集 2002;22:15-17

#### 2.学会報告

#### (1) 国外の学会

1) Yamada K, Takahashi K, Kaga Y, Hosoya T, Saito T, Oda C, Aihara M, Sasaki S: Improvement of Quality of Longsize Film Images Using FCR. 12th ISRRT WORLD CONGRESS, Amsterdam; September 2002

### (2) 国内の学会

- 1) 菅井幸雄,駒谷昭夫,髙橋和榮,細矢貴亮:99mTc-GCA dynamic SPECTによる心プール像の回帰式による評価.第42回日本核医学会,神戸;2002年11月
- 2) 鈴木隆二,鈴木幸司,加賀勇治,鈴木敏,松本進:蛍光ガラス線量計による乳房X線撮影の半価層と照射線 量測定:第83回日本医学物理学会大会,神戸;2002年4月
- 3) 鈴木隆二,鈴木幸司,髙橋和榮,鈴木敏,松本進:MMG-QCバッジ測定精度にファントムが与える影響. 第12回日本乳癌検診学会総会,鹿児島;2002年11月

- 4) 鈴木幸司,佐藤俊光,鈴木隆二,江口陽一,米田太郎,髙橋和榮:蛍光ガラス線量計を用いた被曝線量測定. 日本放射線技術学会第30回秋季学術大会,松江;2002年10月
- 5) 伊藤由紀子,鈴木隆二,伊藤大輔,江口陽一,髙橋和榮:改良タイプマンモグラフィ用フィルムの画像特性 評価と使用経験.日本放射線技術学会第30回秋季学術大会,松江;2002年10月

#### (3) 国内地方会

- 1) 菅井幸雄, 駒谷昭夫, 斉藤聖宏, 間中友季子, 細矢貴亮: 99mTc-GCA dynamic SPECTによる心プール像の回帰式の評価. 第52回日本核医学会北日本地方会, 仙台; 2002年11月
- 2) 江口陽一,米田太郎,鈴木隆二,髙橋和榮:インジェクターシリンジの浮遊物について.日本放射線技術学会東北部会第40回学術大会,秋田;2002年9月
- 3) 児玉潤一郎:モダリティ別技術レベル向上への取り組み.日本放射線技師会北日本地域学術大会,青森; 2002年11月
- 4) 鈴木隆二:(シンポジウム)「モダリティ別の技術レベル向上の取り組み-マンモグラフィ-」. 北日本地域 放射線技師学術大会,青森;2002年11月
- 5) 鈴木幸司,佐藤俊光,鈴木隆二,江口陽一,米田太郎,髙橋和榮:蛍光ガラス線量計を用いた超選択的動注療法の被曝線量測定.日本放射線技術学会東北部会第40回学術大会,秋田;2002年9月
- 6) 伊藤由紀子,鈴木幸司,米田太郎,髙橋和榮,加賀勇治:歯科診療施設の漏洩線量測定サービス.第38回山 形県放射線技師会学術大会,南陽;2002年6月
- 7) 伊藤由紀子,鈴木隆二,伊藤大輔,江口陽一,髙橋和榮:改良タイプマンモグラフィ用フィルムの画像特性 評価と使用経験.日本放射線技術学会東北部会第40回学術大会,大潟村(秋田県);2002年9月
- 8) 伊藤由紀子,鈴木隆二,伊藤大輔,江口陽一,髙橋和榮:改良タイプマンモグラフィ用フィルムの画像特性 評価と使用経験.平成14年度北日本学術大会,青森;2002年11月
- 9) 石井英夫,藤村雅彦,佐藤俊光,鈴木隆二,山田金市,髙橋和榮: Single Shot画像からの減弱係数算定の試み.第38回山形県放射線技師会学術大会,南陽;2002年6月

#### (4) 研 究 会

- 1) 江口陽一:血管撮影における患者被曝線量測定の現状.静岡県放射線技師会血管撮影研究会,静岡;2002年2日
- 2) 江口陽一:血管撮影における患者被曝管理について.第36回東北循環器撮影研究会,秋田;2002年6月
- 3) 江口陽一:血管撮影における患者被曝管理について.山形県放射線技師会第45回血管撮影研究会,山形; 2002年8月
- 4) 佐藤俊光: MRAと血管撮影の比較 頭頸部を中心に . 第36回東北循環器撮影研究会, 秋田; 2002年 6 月
- 5) 木村均,土佐鉄雄,村上龍也,立花茂,大久敏広,佐藤俊光,久保田浩之,神寿宏,吉村秀太郎:循環器 (IVR)における被曝線量の全国調査.第16回全国循環器撮影研究会総会,神戸;2002年4月

#### (5) その他

- 1) 菅井幸雄,本間次男,細矢貴亮:ステントを用いた血管内治療.第28回山形大学医学部工学部交流セミナー, 米沢;2002年6月
- 2) 菅井幸雄:(教育講演)腹部MRIについて.第20回山形県放射線技師MR研究会,山形;2002年7月
- 3) 鈴木隆二:マンモグラフィの基礎.秋田県医師会マンモグラフィ技師講習会,秋田;2002年1月
- 4) 鈴木隆二:マンモグラフィの基礎.仙台市医師会マンモグラフィ技師講習会,仙台;2002年4月
- 5) 鈴木隆二:マンモグラフィと線量評価.山形デジタル画像セミナー,山形;2002年6月
- 6) 鈴木隆二:マンモグラフィの基礎.日本放射線技術学会東北部会主催マンモグラフィ技術講習会,岩手; 2002年7月
- 7) 鈴木隆二:マンモグラフィの基礎.日本放射線技術学会主催マンモグラフィ技術講習会,札幌;2002年8月
- 8) 鈴木隆二:マンモグラフィの基礎.福島県医師会マンモグラフィ読影講習会,郡山;2002年12月

## 3. その他

- 1) 山形県放射線技師会第28回CT研究会,山形;2002年1月
- 2) 山形県放射線技師会第13回乳房撮影研究会,山形;2002年2月
- 3) 山形県放射線技師会核医学研究会,川西;2002年2月

- 4) 山形県放射線技師会第2回PC研究会,山形;2002年2月
- 5) 山形県放射線技師会成人病従事者,山形;2002年3月
- 6) 山形県放射線技師会第44回血管撮影研究会,山形;2002年3月
- 7) 第16回全国循環器撮影研究会学術研究発表会,神戸;2002年4月
- 8) 第38回山形県放射線技師会学術大会,南陽;2002年6月
- 9) 山形県放射線技師会第29回CT研究会,山形;2002年6月
- 10) 山形県放射線技師会第14回乳房撮影研究会,山形;2002年7月
- 11) 山形県放射線技師会第20回MR研究会,山形;2002年7月
- 12) 全国循環器撮影研究会第2回循環器被曝低減技術セミナー,東京;2002年9月
- 13) 山形県放射線技師会核医学研究会,鶴岡;2002年9月
- 14) 山形県放射線技師会第45回血管撮影研究会,川西;2002年9月
- 15) 山形県放射線技師会第15回乳房撮影研究会,酒田;2002年11月
- 16) 山形県放射線技師会第21回MR撮影研究会,新庄;2002年11月
- 17) 山形県放射線技師会第3回PC研究会,山形;2002年12月

# 輸 血 部

## 1.論 文

## (1) 著書

- 1) 高橋俊二:一般的な検査法,血液型の判定. American Association of Blood Banks編, Technical Manual 13 th EDITION 日本語版. 東京;オリンパス光学, 2002:677-709
- 2) 高橋俊二:輸血検査を実施する前の準備,輸血前検査(T&S).輸血検査標準化部会編,輸血検査の実際 改 訂第3版 . 東京;日本臨床衛生検査技師会,2002:11-18,32-33,42-43

## 2. 学 会 報 告

## (1) その他

- 1) 高橋俊二: (ナイトセミナ 講演)輸血検査の標準化について.第15回東北臨床衛生検査技師会輸血検査研修会,盛岡;2002年9月
- 2) 高橋俊二:(講演)輸血検査の実際 改訂第3版 の解説.山形県臨床衛生検査技師会輸血検査研修会, 東根;2002年12月

## 医療情報部

## 1. 論 文

#### (1) 原 著

- 1) Watanabe T, Yamaki M, Yamauchi S, Minamihaba O, Miyashita T, Kubota I, Tomoike H: Regional prolongation of ARI and altered restitution properties cause ventricular arrhythmia in heart failure. Am J Physiol 2002; 282: H212-8
- 2) Hirono O, Kubota I, Yamaki M, Tomoike H: Doppler tissue imaging of left ventricular abnormal wall motion related to artificial pacemaker. Correlation with cardiac performance. CVR&R 2002; 23: 465-8
- 3) Yamauchi S, Yamaki M, Watanabe T, Yuuki K, Kubota I, Tomoike H: Restitution properties and occurrence of ventricular arrhythmia. in LQT2 type of long QT syndrome. J Cardiovasc Electrophysiol 2002; 13: 910-4
- 4) Hosoya Y, Ikeda K, Yamaki M, Kubota I: Spectral analysis of epicardial 60-lead electrograms in dogs during acute myocardial ischemia. Yamagata Journal of Health Science 2002; 5: 103-113
- 5) 山下隆夫,松田幹夫,細谷幸雄,見澤寿美:皮膚リーシュマニア症とT helper細胞の分化.山形保健医療研究 2002;5:95-102
- 6) 大谷和子,増川令子,中川美貴子,佐藤淳子,鈴木千鶴子,長岡榮子,八巻通安,齋藤賀久:バーコードを 用いた注射誤認防止システム・リストバンド導入による活用と効果・.看護技術 2002;48:102-107

#### (2) 著書

1) 細谷幸雄:アセチルコリン受容体.萩原俊男,島木和明,日和田邦男,藤田俊郎編,KEY WORD分子高血圧. 東京;先端医学社,2002:112-113

#### (3) 総 説

- 1) 八巻通安:心臓電気現象の3次元コンピュータシミュレーション.-心筋梗塞、心不全における不整脈発生機序の解明.山形医学 2002;20:77-86
- 2) 八巻通安:心電図でどこまで読めるか. Heart View 2003;7:129-132

## 2.学 会 報 告

#### (1) 国内の学会

- 1) 高橋俊一,八巻通安,斉藤賀久,滝口仁,大谷和子,大本英次郎,大山元,長岡祐治,山口正,大木義昭, 岡本則雄,浜口菊枝,田代久男,中原健二,富樫整,嘉山孝正:経営企画のための診療別アウトカム評価・収 支評価の試み.国立大学医療情報処理部門連絡会議,弘前;2002年1月
- 2) 大谷和子,増川令子,中川美貴子,佐藤淳子,鈴木千鶴子,八巻通安,斉藤賀久:リストバンド導入による 活用と効果.バーコードを用いた注射誤認防止システム.国立大学医療情報処理部門連絡会議,弘前;2002年 1月
- 3) 天笠澄夫,高岡誠司,工藤雅哉,三浦美英,堀川秀男,八巻通安:山形大学総合医療情報システムとリンク した手術部患者情報管理システムの導入.第49回麻酔科学会,福岡;2002年4月
- 4) 八巻通安:心不全不整脈モデルとシミュレーション.シンポジウム「Virtual Heart 病態生理の解明と治療に向けて 」,第19回日本心電学会学術集会,名古屋;2002年9月
- 5) 細谷幸雄,久保田功,八巻通安:心電図ARI計測の臨床的意義.イブニングカンファレンス「臨床心電図学における最新のトピックス」,第19回日本心電学会学術集会,名古屋;2002年9月
- 6) 結城孝一, 細谷幸雄, 八巻通安, 久保田功:心筋梗塞慢性期における心筋局所restitution特性と心室不整脈の関係.第19回日本心電学会学術集会, 名古屋; 2002年9月
- 7) 渡会睦子,後藤順子,平塚朝子,新野美紀,小林美名子,山下隆夫,松田幹夫,瀬戸正子,原卒子,細谷幸雄:高齢者在宅ケアにおける感染予防に関する研究(第1報)-在宅筋萎縮性側索硬化症患者の医療の実態と細菌学的検討-.第61回日本公衆衛生学会,埼玉;2002年10月
- 8) 渡邉哲,八巻通安,山内聡,久保田功:心不全における電気的リモデリングと不整脈発生の関係 再分極 特性の不均一性増大とrestitution特性の変化 - . 第9回心不全と不整脈フォーラム,東京;2002年11月

## (2) 国内地方会

1) 結城孝一,久保田功,八巻通安,細谷幸雄:心筋梗塞慢性期の心室不整脈発生機序.第134回日本循環器学会東北地方会,盛岡;2002年6月

## (3) 研究会

1) 結城孝一,細谷幸雄,久保田功,八巻通安:心筋梗塞慢性期の心室不整脈発生機序.第5回最先端循環器フォーラム,新潟;2002年9月

## (4) その他

- 1) 八巻通安:地域医療連携と医療情報システム.米沢市医師会講演会,米沢;2002年1月
- 2) 結城孝一, 細谷幸雄, 八巻通安, 久保田功: 心筋梗塞慢性期における心筋局所restitution特性と心室不整脈の関係. 山形大学医学部動物実験セミナー 第13回研究成果発表会, 山形; 2002年12月

# リハビリテーション部

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) Kondoh S, Sugawara H, Harada N, Matsumoto N, Ohashi H, Sato M, Kantapura PN, Ogino T, Tomita H, Ohta T, Kishino T, Fukushima Y, Niikawa N, Yoshiura K: A novel gene is disrupted at a 14q13 breakpoint of t(2; 14) in a patient with mirror-image polydactyly of hands and feet. J Hum Genet 2002; 47: 136-139
- 2) Haku T, Hosoya T, Hayashi M, Adachi M, Konno M, Ogino T: Granular Cell Tumor of the Spinal Nerve Root: MR Findings. Radiat Med 2002; 20: 137-140
- 3) Sasaki J, Takahara M, Ogino T, Kashiwa H, Ishigaki D, Kanauchi Y: Ultrasonographic Assessment of the Ulnar Collateral Ligament and Medial Elbow Laxity in Collge Baseball Players. J Bone Joint Surg 2002; 84A: 525-531
- 4) Choudhury IH, Uchida K, Amagasa S, Sakai M, Ogino T, Horikawa H, Doi K: 31P Magnetic Resonance Spectroscopy of Perfused Rat Skeletal Muscle. 山形保健医療研究 2002; 5: 115-122
- 5) Harada M, Ogino T, Takahara M, Ishigaki D, Kashiwa H, Kanauchi Y: Fragment fixation with a bone graft and dynamic staples for osteochondritis dissecans of the humeral capitellum. J Shoulder Elbow Surg 2002; 11: 368-372
- 6) Orui H, Takahara M, Ishikawa A, Takagi M, Tsuchiya T, Ogino T: Radiological features of long bones in synovitis, acne, pustulosis, hyperostosis, osteitis syndrome and their correlation with pathological findings. Mod Rheumatol 2002; 12: 56-63
- 7) Orui H, Ishikawa A, Tsuchiya T, Ogino T: Magnetic Resonance Imaging Characteristics of Bizarre Parosteal Osteochondromatous Proliferation of the Hand: A Case Report. J Hand Surg 2002; 27A: 1104-1108
- 8) Chowdhury IH, Sasaki K, Takei H, Sasaki A, Ogino T, Takagi M: Titanium particles modulates MMPs-TIMPs mRNA production in MG-63 cell. Quantitative analysis by real time PCR. Connective Tissue 2002; 34: 81
- 9) Konttinen YT, Mandelin J, Li TF, Salo Y, Lassus J, Liljestrom M, Hukkanen M, Takagi M, Virtanen I, Santavirta S: Acidic cystein endoproteinase cathepsin K in the degradation of the superficial articular hyaline cartilage in osteoarthritis. Arthritis Rheum 2002; 4: 953-960
- 10 ) Niisallo S, Li TF, Santavirta S, Takagi M, Hietanen J, Konttinen YT: Dense innervation in pesudocapsular tissue compared to aneural interface tissue in loose totally replaced hips. J Rheumatol 2002; 29: 796-803
- 11) 針生光博,浅野多聞,福島重宣,荻野利彦:大腿四頭筋腱を用いた鏡視下前十字靱帯再建術の経験. 膝 2002;26:33-36
- 12) 石垣大介, 荻野利彦,鳴瀬卓爾,高原政利,金内ゆみ子:先天異常手に対する遊離脂肪移植を併用した骨切り術.日本手の外科学会雑誌 2002;18:590-594
- 13) 井上林,荻野利彦,土田浩之:指神経欠損に後骨間神経終末枝を移植した3例.臨床整形外科 2002;37: 1115-1117
- 14) 石垣大介,荻野利彦,高原政利,土田浩之,佐竹寛史:遅発性尺骨神経麻痺に対する深指屈筋筋力の定量的 測定の有用性.日本手の外科学会誌 2002;19:419-423
- 15) 後藤康夫, 村成幸, 桃井義敬, 鶴田大作, 荻野利彦, 松田雅彦:肩腱板断裂における握力低下の意義. 肩関節 2002; 26:229-232
- 16) 針生光博,浅野多聞,福島重宣,荻野利彦:両側同時鏡視下前十字靱帯再建術の1例.東北膝関節研究会会誌 2002;12:31-34
- 17) 小林真司,高木理彰,石井政次,井田英雄,石井淳二:関節リウマチに対するKTプレートを用いた人工股関 節全置換術の小経験.整形外科 2002;53:1429-33
- 18) 金子健次,金強中,伊藤達雄,高木理彰:骨溶解を有する人工股関節内関節液による破骨細胞形成はosteo-protegerinによって抑制される.日本関節外科学会誌 2002;21:233-240
- 19) 高木理彰,清重佳郎:長母指伸筋腱皮下断裂に対する固有示指伸筋腱移行術. 神経・筋電気刺激による緊 張度決定 - . 日本手の外科学会誌 2002;19:673-675
- 20) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,川路博之,新田長生,井田英雄:当院での

impaction bone grafting (大腿側)の成績.日本人工関節学会誌 2002; 32:229-230

- 21) 大楽勝之,石井政次,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,川路博之,佐藤哲也,新田長生,井田英雄:当院におけるDall-Miles cable grip systemを用いた大転子固定の成績.日本人工関節学会誌 2002;32:215-216
- 22) 清重佳郎,長谷川浩士,玉木康信,高木理彰:成人踵骨骨折に対する最小侵襲プレート固定術による治療.別 冊整形外科 2002;41:224-227
- 23) 田野崎真司,佐々木芳彰,湯浅哲也,高木理彰,谷口宏,Devarji B,赤塚孝雄:透過レーザ光 CT における 入射パワーの最適化.電子情報通信学会 信学技報 2002;MI2001-93:83-88
- 24) 佐々木芳彰,田野崎真司,鈴木上太,湯浅哲也,高木理彰,谷口宏,Devarji B,赤塚孝雄:光ファイバー方式レーザ光 CT 撮像システムの試作.電子情報通信学会 信学技報 2002;MI2001-92:77-82

# (2) 著書

- 1) 荻野利彦:PART3 手の病気.伊藤達雄総監修,別冊NHKきょうの健康 これだけは知っておきたい肩・腰・ ひざの痛み.東京;NHK出版,2002:84-92
- 2) 荻野利彦:第3編整形外科治療総論 18.先天異常症候群.石井清一・平澤泰介監修,標準整形外科学第8版. 東京:株式会社医学書院,2002:238-255
- 3) 荻野利彦:第3編整形外科治療総論 24.手関節および手指.石井清一・平澤泰介監修,標準整形外科学第8版.東京;株式会社医学書院,2002:355-390

#### (3) 総 説

- 1) 荻野利彦:13:手関節および手指.寺山和雄編,標準整形外科学『別冊付録-整形外科臨床実習の手引』.東京;株式会社医学書院 2002:10
- 2) 荻野利彦:手指屈筋腱断裂の治療・最新の進歩・. 日本整形外科学会雑誌 2002;76:1-9

#### (4) その他

- 1) Sato T, Fujii H, Naito A, Tonosaki A, Kobayashi S, Shinozaki K, Miyasaka T Shindo M: Inhibition of muscle afferents from the brachioradialis to triceps brachii mooneurone. The Third Asian Pacific International Congress of Anatomists 2002: 34
- 2) 荻野利彦:なんでも健康相談.NHKきょうの健康 2002;9:138
- 3) 高原政利,佐々木淳也,荻野利彦,土田浩之,柏英雄,村成幸:野球選手における尺側側副靱帯と肘関節内側不安定症の超音波診断.日本整形外科学会雑誌 2002;76:S427
- 4) 小林真司,篠崎克洋,内藤輝:ヒト腕橈骨筋と橈側手根屈筋の間の神経結合:PSTH を用いた解析.臨床神 経生理学 2002;30:193
- 5) 佐々木幹,高木理彰,井田英雄,小林真司,新田長生,佐々木明子,荻野利彦:蔵王スキー場におけるスノーボード外傷の最近の動向.日本整形外科学会雑誌 2002;76:S462
- 6) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,高原政利,武井寛,荻野利彦:正常ヒト滑膜細胞におけるMatrix Metalloproteinases, Tissue Inhibitor of Metalloproteinases発現に対するヒアルロン酸の影響.日本整形外科学会誌 2002;76:S995

# 2. 学 会 報 告

# (1) 国外の学会

- Orui H, Ishikawa A, Tsuchiya T, Takahara M, Takagi M, Ogino T: CD83 positive dendritic cell infiltration in musculoskeletal sarcoma in association with cytotoxic cell infiltration. 48th Annual Meeting, Orthopedic Research Society, Dallas; February 2002
- 2) Otsuji M, Ogino T, Takahara M, Chowdhury I Hassan, Naruse T: Reductiion of BMP4 and FGP8 expression in the developing limb leading to tibial ray deficiendies. 48th Orthopaedic Research Society, Dallas; February 2002
- 3) Ogino T, Takahara M, Tsuchida H, Kashiwa H: Classification of Longitudinal Deficiency of the Upper Limb. The 4th International Congress Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand, Seoul; March 2002
- 4) Takahara M, Ogino T, Tsuchida H: The Natural Progression of Osteochondritis Dissecans of the Humaral Capitellum. The 4th International Congress Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand, Seoul; March 2002

- 5) Ogino T: Treatment of Macrodactyly(Instructional Lecture). The 4th International Congress Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand, Seoul; March 2002
- 6) Ogino T: Treatment of hypoplastic thumb(Invited lecture). Daeg-Kyungpook Korea Society for The Hand, Post Congress Meeting of APFSSH, Daeg-kyunpook, Korea; March 2002
- 7) Sato T, Fujii H, Naito A, Tonosaki A, Kobayashi S, Shinozaki K, Miyasaka T, Shindo M: Inhibition of muscle afferents from the brachioradialis to triceps brachii mooneurone. The Third Asian Pacific International Congress of Anatomists, Hamamatsu; March 2002
- 8) Takei H, Sagae M, Chiba K, Ogino T: Cervical Myelopathy with severe nape and shoulder pain caused by bilateral anomalous vertebral arteries. A case report. SICOT, San Diego CA; August 2002
- 9) Sagae M, Takei H, Chiba K, Ogino T: A prospective study of atrantoaxial arthrodesis with Magerl procedure in rheumatoid arthritis. SICOT, San Diego CA; August 2002
- 10 ) Ogino T: Metacarpal synostosis. 10th Annual Congenital Hand Anomalies Study Group Meeting, Loma Linda; October 2002
- 11 ) Ogino T: Osteochondroma or epipyseal dysplasia hemimelica at the proximal ulna-a case report. 10th Annual Congenital Hand Anomalies Study Group Meeting, Loma Linda, USA; October 2002
- 12 ) Ogino T: FGF-8 and BMP4 in longitudinal deficiency. 10th Annual Congenital Hand Anomalies Study Group Meeting, Loma Linda, USA; October 2002
- 13 ) Mura N, Goto Y, Matsuda M, Momonoi Y, Ogino T: Preoperative prediction of primary reparability for massive rotator cuff tears. The 4th Academic Congress of the Asian Shoulder Association, Seoul; October 2002
- 14 ) Momonoi Y, Goto Y, Matsuda M, Mura N, Ogino T: The clinical results of fascia lata patch graft for massive rotator cuff tears. The 4th Academic Congress of the Asian Shoulder Association, Seoul; October 2002
- 15 ) Tsuruta D, Mura N, Takahara M, Ogino T: The neurolysis for the suprascapular nerve palsy without a ganglion. The 4th Academic Congress of the Asian Shoulder Association, Seoul; October 2002
- 16 ) Takahara M, Harada M, Naruse T, Ogino T: Absence or shortening of phalanges is associated with apoptosis in digit development. The 57th Annual Meeting of the American Society for Surgery of the Hand, Phoenix, USA; October 2002
- 17 ) Osanai T, Ishikawa A, Ogino T: Knee reconstruction with prosthesis and gastrocnemius muscle flap after extraarticular resection of malignant bone tumor. 10ème Réunion de la Société Franco-Japonaise d'Orthopédie(SOFJO), Aomori; October 2002
- 18 ) Orui H, Ishikawa A, Takahara M, Takagi M, Ogino T: Radiological Features of Long Bones in Sapho Syndrome and Their Correlation with Histopathological Findings. 10th Asia Pacific League of Association Rheumatology Congress of Rheumatology, Bangkok-Thailand; December 2002
- 19 ) Tanosaki S, Takagi M, Sasaki Y, Ishikawa A, Inage H, Emori R, Suzuki J, Yuasa T, Taniguchi H, Devaraj B, Akatsuka T: In vivo laser tomographic imaging of mouse leg with coherent detection imaging method. Asian Symposium on Biomedical Optics and Photomedicine, Sapporo; October 2002
- 20) Sasaki Y, Suzuki J, Inage H, Emori R, Tanosaki S, Yuasa T, Takagi M, Ishikawa A, Taniguchi H, Devaraj B, Akatsuka T: Transillumination laser CT system with optic-fiber based coherent detection imaging method. The high special resolution and quantitative tomographic imaging of highly scattering objects -. Asian Symposium on Biomedical Optics and Photomedicine, Sapporo; October 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) Takahara M, Sasaki J, Ogino T, Tsuchida H, Kashiwa H: Ultrasonographic Assessment of the Ulnar Collateral Ligament and Medial Elbow Laxity in College Baseball Players. The Japan-Korea Joint Meeting of Orthopaedic Sports Medicine combined with the 28th Annual Meeting of JOSSM, Kochi; March 2002
- 2) Takagi M, Konttinen YT, Sasaki K, Chowdhury IH, Sasaki A, Santavirta S: Histomorphometric analysis of connective tissue remodeling in bone-artificial hip prostheses interface. 34回日本結合組織学会,浜松;2002年4月
- 3) Chowdhury IH, Sasaki K, Takei H, Sasaki A, Ogino T, Takagi M: Titanium particles modulate MMPs-TIMPs mRNA production in MG 63 cell. Quantitative analysis by real time PCR. 第34回日本結合組織学会,浜松;2002年4月

- 4) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄: 当院でのケルブール十字プレートおよびKTプレートの成績.第32回日本人工関節学会,名古屋;2002年1月
- 5) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄: Impaction bone graftingを用いた人工股関節再置換術の成績(大腿側).第32回日本人工関節学会,名古屋; 2002年1月
- 6) 大楽勝之,石井政次,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄:当院におけるDall-Miles Cable Grip Systemを用いた大転子固定の成績.第32回日本人工関節学会,名古屋; 2002年1月
- 7) 浅野多聞,針生光博,高木理彰,小山内俊久,荻野利彦:再発を繰り返した膝蓋部軟部腫瘍の1例. 第27回日本膝関節学会,別府;2002年2月
- 8) 針生光博,浅野多聞,武井寛,福島重宣,荻野利彦,仙道富士郎:膝関節液中GPIアンカー蛋白質GP180の 検討.第27回日本膝関節学会,別府;2002年2月
- 9) 原田幹生,高原政利,朴哲,荻野利彦:マウス膝関節発生におけるGDF5の細胞増殖とアポトーシスへの影響についての検討.第15回日本軟骨代謝学会,前橋;2002年3月
- 10) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,高原政利,武井寛,Chowdhury IH,荻野利彦:常ヒト滑膜細胞における matrix metalloproteinaseの発現に対するヒアルロン酸の影響.第34回日本結合組織学会,浜松;2002年4月
- 11) 高木理彰,清重佳郎:長母指伸筋腱皮下断裂に対する固有示指伸筋腱移行.神経・筋電気刺激による緊張度決定.第45回日本手の外科学会学術集会,新潟;2002年4月
- 12) 柏英雄,高原政利,土田浩之,荻野利彦:爪甲と爪床の発生について.第45回日本手の外科学会学術集会, 新潟;2002年4月
- 13) 石垣大介, 荻野利彦, 高原政利, 土田浩之, 佐竹寛史: 遅発性尺骨神経麻痺に対する深指屈筋筋力の定量的 測定の有用性. 第45回日本手の外科学会学術集会, 新潟; 2002年4月
- 14) 鶴田大作,高原政利,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:肩甲上神経麻痺の手術成績.第45回日本手の外科学会 学術集会,新潟;2002年4月
- 15) 高木理彰,田野崎真司,湯浅哲也,Devaraji B,石川朗,大類広,佐々木幹,小山内俊久,加藤博文,荻野利彦,赤塚孝雄:リウマチ性骨関節病変診断用レーザ光CTシステム-安全性と画像化に関する基礎研究-(ワークショップ).第46回日本リウマチ学会総会・学術集会,神戸;2002年4月
- 16) 大類広,高原政利,石川朗,小山内俊久,土屋登嗣,荻野利彦:SAPHO症候群の長骨病変 画像所見と病理 組織所見の比較 - . 第46回日本リウマチ学会総会・学術集会,神戸;2002年4月
- 17) 柏英雄,菊地憲明,大辻美和子,荻野利彦,石垣大介: Nuss法の応用~胸郭変形症への適応拡大について. 第45回日本形成外科学会総会,長崎;2002年4月
- 18) 荻野利彦: 先天異常手の分類と治療: 第75回日本整形外科学会学術集会,岡山;2002年5月
- 19) 高原政利,佐々木淳也,荻野利彦,土田浩之,柏英雄,村成幸:野球選手における尺側側副靱帯と肘関節内側不安定症の超音波診断.第75回日本整形外科学会学術集会,岡山;2002年5月
- 20) 高原政利,荻野利彦,高木理彰,土田浩之,大類広:上腕骨小頭の離断性骨軟骨炎の自然経過.第75回日本 整形外科学会学術集会,岡山;2002年5月
- 21) 高木理彰,清重佳郎:RA上肢関節障害の滑膜切除の意義.母指MP関節,手関節,肘関節再建における軟部 組織re-alignmentの重要性.第75回日本整形外科学会学術総会,岡山;2002年5月
- 22) 高木理彰,清重佳郎:長母指皮下腱断裂に対する固有示指伸筋腱移行時の術中神経・筋電気刺激の有用性の 検討.第39回日本リハビリテーション医学会総会,東京;2002年5月
- 23) 小林真司,高木理彰,荻野利彦,内藤輝:ヒト橈側手根伸筋と円回内筋の間にみられる促通の機能的意義について.第39回日本リハビリテーション医学会,東京;2002年5月
- 24) 佐藤寿晃,藤井浩美,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:PSTH法によるヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋への神経結合の解析.第36回日本作業療法学会,広島;2002年5月
- 25) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:腕橈骨筋から橈側手根伸筋の促 通性神経投射-PSTH法を用いた解析-.第36回日本作業療法学会,広島;2002年5月
- 26) 武井寬,寒河江正明,橋本淳一,千葉克司,伊藤友一,林雅弘:脊髄髄内腫瘍のMRI診断.第31回日本脊椎

脊髓病学会,宮崎;2002年6月

- 27) 寒河江正明,武井寛,千葉克司,平本典利,武田陽公,太田吉雄,石川和彦,杉田誠:慢性関節リウマチ環軸椎亜脱臼に対するMagerl法の長期成績について.第31回日本脊椎脊髄病学会,宮崎;2002年6月
- 28) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,佐々木健,篠崎克洋,笠原里美:手関節運動における橈側手根伸筋と円回内筋の活動の機能解剖学的解析.第25回日本神経科学会,東京;2002年7月
- 29) 佐藤寿晃,藤井浩美,内藤輝,,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:ヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋へ の神経結合 PSTH法を用いて.第25回日本神経科学会,東京;2002年7月
- 30) 金内ゆみ子, 荻野利彦, 土田浩之, 高原政利, 柏英雄, Light Terry: Swanson修飾分類を用いた上肢先天異常分類.第42回日本先天異常学会学術集会, 浜松; 2002年7月
- 31) 柏英雄,高原政利,金内ゆみ子,大辻美和子,荻野利彦,村垣泰光:HoxD13遺伝子に異常が見いだされた 指列誘導障害の1例.第42回日本先天異常学会学術集会,浜松;2002年7月
- 32) 大辻美和子,荻野利彦,高原政利,鳴瀬卓爾,関徳広,柏英雄:脛骨列形成障害の成立過程におけるFgf8と Bmp4の発現異常.第42回日本先天異常学会学術集会,浜松;2002年7月
- 33) 小山内俊久, 土屋登嗣, 石川朗, 佐竹寛史, 荻野利彦: 転移性骨腫瘍に対するtumor dormancy therapyとしてのビスホスホネート. 第35回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 山口; 2002年7月
- 34) 石川朗,大類広,小山内俊久,土屋登嗣,佐竹寛史,荻野利彦:ラット骨肉腫モデルの骨内病変に対するelectrochemotherapyの有用性.第35回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会,山口;2002年7月
- 35) 大類広,石川朗,土屋登嗣,荻野利彦:傍骨性脂肪腫の染色体異常.第35回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍 学術集会,山口;2002年7月
- 36) 後藤康夫,江藤淳,村成幸,松田雅彦,桃井義敬,鶴田大作,荻野利彦:観血的整復術を施行した上腕二頭 筋腱脱臼の1例.第29回日本肩関節学会,札幌;2002年9月
- 37) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄:変形性股関節症に対する内反骨切り術の長期成績.第29回日本股関節学会核術集会,札幌;2002年9月
- 38) 新田長生,高木理彰,小林真司,井田英雄,山川正紀,川路博之,佐藤哲也,石井政次,大楽勝之:初回人工股関節置換術における十字プレートを併用した臼蓋再建の短期成績.第29回日本股関節学会核術集会,札幌;2002年9月
- 39) 土田浩之,荻野利彦,橋本淳一, Paul Manske Jueren Lou: ラット大腿骨の部分骨欠損モデルにおける間葉系 細胞へのBMP 2 遺伝子導入法による治療効果の検討.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森; 2002年10 日
- 40) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,高原政利,武井寛,荻野利彦:正常ヒト滑膜細胞におけるMatrix Metalloproteinases, Tissue Inhibitor of Metalloproteinases発現に対するヒアルロン酸の影響.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 41) 高木理彰, Yrjo Konttinen, Seppo Santavirta, 井田英雄,石井政次,小林真司,佐々木幹,荻野利彦:弛緩 人工股関節周囲組織の骨吸収動態に関する検討.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 42) 原田幹生,高原政利,高木理彰,関徳宏,朴哲,荻野利彦:マウス膝関節発生におけるGDF5の細胞増殖と アポトーシスへの影響.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 43) 新田長生,高木理彰,高原政利,佐々木幹,荻野利彦:骨髄注入は低出力超音波骨折治療の適応を拡大するか-ラット難治性骨折モデルを用いた検討-.第17回日本整形外科学会基礎学術集会,青森;2002年10月
- 44) 菊地憲明,村上弦,柏英雄,荻野利彦:腹直筋皮弁穿通枝の走行に関する解剖学的研究~第2報,第11回日本形成外科学会基礎学術,仙台;2002年10月
- 45) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄:変形性股関節症に対する内反骨切り術の長期成績.第29回日本股関節学会,札幌,2002年10月
- 46) 石井政次,大楽勝之,浜崎允,高木理彰,小林真司,井田英雄:人工股関節再置換術でのケルブール十字プレートおよびKTプレートの成績.第51回東日本整形外科学会,郡山;2002年10月
- 47) 千葉克司,武井寛,笹木勇人,荻野利彦,寒河江正明,古川孝志:脊髄レベルの緊急除圧術が必要だった非 外傷性病変.第51回東日本整形災害外科学会,郡山;2002年10月
- 48) 高原政利, 荻野利彦, 村成幸, 鶴田大作, 土田浩之, 柏英雄: スポーツによる肩周辺の末梢神経障害. 第51回東日本整形災害外科学会(パネルディスカッション), 郡山; 2002年10月

- 49) 福島重宣,浅野多聞,保坂雄大,荻野利彦,鳥居伸行,大島義彦:中高齢者検診における膝関節症状と日常活動性,第51回東日本整形災害外科学会,郡山;2002年10月
- 50) 山川淳一,小林真司,高木理彰,浦山安広,平山朋幸,井田英雄:ブプレノルフィンとヒドロキシジンの持続静注による術後鎮痛法-THAを対象として.第51回東日本整形災害外科学会,郡山;2002年10月
- 51) 佐藤寿晃,藤井浩美,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:ヒト腕橈骨筋から上腕三頭筋へ の抑制 PSTH法を用いた解析.第32回日本臨床神経生理学会,福島;2002年11月
- 52) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,篠崎克洋,宮坂卓治,進藤政臣:手関節背屈運動にみられる橈側 手根伸筋と円回内筋の同期収縮とその機能的意義.第32回日本臨床神経生理学会,福島;2002年11月
- 53) 荻野利彦:(特別講演)手の先天異常の発現機序と分類.日本小児整形外科学会,福岡;2002年11月

#### (3) 国内地方会

- 1) 田中賢, 浅野多聞, 福島重宣, 針生光博, 荻野利彦: SuperFlex PSを用いた人工膝関節全置換術の経験. 第99回東北整形災害外科学会,新潟; 2002年4月
- 2) 菅原正登,小山内俊久,佐竹寛史,大類広,荻野利彦:軟部肉腫との鑑別を要した遺残ガーゼによる異物肉 芽腫の2例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 3) 佐竹寛史, 小山内俊久, 菅原正登, 荻野利彦: 大腿骨遠位部後面に発生したbizzare parosteal osteochondromatous proliferationの1例. 第99回東北整形災害外科学会,新潟; 2002年4月
- 4) 小山内俊久,佐竹寛史,菅原正登,荻野利彦:大腿骨遠位部悪性骨腫瘍に対する膝蓋骨温存関節外腫瘍切除 ~腫瘍用人工膝関節と腓腹筋移行による膝関節再建~.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 5) 鶴田大作,高原政利,土田浩之,柏英雄,村成幸,小山内俊久,原田幹生,荻野利彦:著明な滑膜炎を合併したvalgus extension overload syndromeの1例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 6) 玉木康信,高原政利,土田浩之,柏英雄,村成幸,鶴田大作,荻野利彦:成人肘内障の1例.第99回東北整 形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 7) 篠村友紀,小林真司,高木理彰,山川正紀,新田長生,井田英雄:THAを施行したKlippel-Weber症候群の一例.第99回東北整形災害外科学会,新潟;2002年4月
- 8) 宮沢亜矢,浅野多聞,福島重宣,荻野利彦:観血的整復を要した膝関節脱臼の経験.第26回東北膝関節研究会,仙台;2002年7月
- 9) 保坂雄大,福島重宣,浅野多聞,荻野利彦,鳥居伸行,大島義彦:膝に有症状を認める高齢者の疫学調査. 第26回東北膝関節研究会,仙台;2002年7月
- 10) 佐々木明子,高木理彰,佐々木幹,武井寛,高原政利,荻野利彦:正常ヒト滑膜細胞におけるMMP-TIMPの 発現に対するヒアルロン酸の影響:第12回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術総会,札幌;2002年9月
- 11) 藤井浩美,佐藤寿晃,内藤輝,小林真司,佐々木健,篠崎克洋,笹原里美:橈側手根伸筋と円回内筋の同期 収縮とその機能的意義.第48回東北・北海道連合支部学術集会,十和田;2002年9月
- 12) 石川朗,田野崎真司,湯浅哲也,Balasiganami Devaraji,谷口宏,高木理彰,大類広,佐々木幹,佐々木明子, 小山内俊久,加藤博文,荻野利彦,赤塚孝雄:リウマチ性骨関節病変診断用レーザ光CTシステムの安全性と画 像化に関する臨床研究.第12回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会,札幌;2002年10月
- 13) 浦山安広,高木理彰,小林真司,山川正紀,佐藤哲也,川路博之,新田長生,井田英雄,石井政次,大楽勝之: ceramic on ceramic人工股関節全置換術の短期成績.第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 14) 伊藤重治,村成幸,後藤康夫,桃井義敬,鶴田大作,松田雅彦,荻野利彦:肩腱板断裂術後にみられた反射性交感神経ジストロフィー様症状.第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 15) 福島重宣,浅野多聞,針生光博,荻野利彦: Mobile bearing人工膝関節における膝蓋大腿関節の適合性. 第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 16) 小山内俊久,柏英雄,石川朗,高原政利,荻野利彦:骨肉腫に対する肩甲帯離断術の適応と術式の工夫~free elbow flapによる組織欠損被覆~.第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 17) 保坂雄大,柏英雄,菊池憲明,紺野隆之,荻野利彦:痕跡型母指多指症と考えられた2症例.第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月
- 18) 江藤淳,千葉克司,武井寛,笹木勇人,荻野利彦:転移性脊椎腫瘍の診断における99mTc-HPMAO標識白血 球シンチグラフィーの有用性.第100回東北整形災害外科学会,仙台;2002年11月

#### (4) 研究会

- 1) 新田長生,高木理彰,高原政利,佐々木幹,荻野利彦:ラット難治性骨折モデルの作成と低出力超音波照射 の適応に関する検討、第5回超音波骨折治療研究会,東京;2002年1月
- 2) 鈴木朱美,高原政利,土田浩之,柏英雄,荻野利彦:関節内遊離体による母指MP関節lockingの1例. 第16回東日本手の外科研究会,札幌;2002年2月
- 3) 高原政利,山川正紀,土田浩之,柏英雄,荻野利彦:大菱形骨脱臼骨折の1例.第16回東日本手の外科研究会,札幌;2002年2月
- 4) 石垣大介,荻野利彦,高原政利,佐竹寛史,柏英雄,土田浩之:ピンチメータを用いた深指屈筋筋力の定量 的評価法-尺骨神経麻痺の診断に対する有用性-第16回東日本手の外科研究会,札幌;2002年2月
- 5) 高原政利,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の不安定性について.日本肘関節研究 会,札幌;2002年2月
- 6) 村成幸,高原政利,原田幹生,荻野利彦,伊藤友一,大野崇志,山口智史,吉田啓晃:少年野球選手の肩関節の可動域とゆるみ.第13回東北肩関節懇談会,仙台;2002年6月
- 7) 大類広,小山内俊久,石川朗,柏英雄,荻野利彦,土屋登嗣:右橈骨病変と右前腕皮膚病変を伴った左大腿 軟部腫瘍の1例.第9回東北地区骨軟部腫瘍研究会,山形;2002年9月
- 8) 原田幹生,高原政利,村成幸,荻野利彦,伊藤友一:超音波を用いた野球少年に対する野球肘の検診. 第23回山形県スポーツ医科学研究会,山形;2002年9月
- 9) 村成幸,高原政利,原田幹生,荻野利彦,伊藤友一,大野崇志,山口智史,吉田啓晃:少年野球選手の肩関 節可動域とゆるみ.第23回山形県スポーツ医科学研究会,山形;2002年9月
- 10) 佐藤寿晃,藤井浩美,鈴木克彦,内藤輝,小林真司,篠崎克洋:前腕回内外運動の筋活動・神経結合の機能 的意義 - . 第18回運動調節機構とその病態生理研究会,東京;2002年10月
- 11) 高木理彰:アルカプトン尿症性脊椎股関節症の診断.第6回東北リウマチ医の会,山形,2002年12月
- 12) 大辻美和子,高原政利,原田幹生,朴哲,関徳宏,斉藤英子,神村栄吉,高木理彰,荻野利彦:脛骨列形成障害の成立過程におけるFgf8とBmp4の発現異常.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 13) 金内ゆみ子,高原政利,原田幹生,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:短指症の病態形成に関する研究:短指症 マウスにおける指節骨の分析.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 14) 朴哲,高原政利,原田幹生,大辻美和子,高木理彰,斉藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス肋軟骨損傷の修復過程.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月
- 15) 原田幹生,高原政利,朴哲,大辻美和子,高木理彰,斉藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス膝前・後十字 靱帯発生におけるGDF5の役割についての検討.第13回動物実験セミナー研究成果発表会,山形;2002年12月

### (5) その他

- 1) 荻野利彦:手の先天異常の治療・東海小児整形外科懇話会,名古屋;2002年2月
- 2) 荻野利彦:先天異常(上肢)の診断と治療.日本小児整形外科学会第9回研修会,東京;2002年4月
- 3) 荻野利彦: 絞扼性神経障害について.第1回置賜整形外科懇話会,南陽;2002年4月
- 4) Ogino T: Teratogenic Mechanism and Classification of Congenital Hand Differences . スタンフォード大学, USA; 2002年8月
- 5) Ogino T: Thumb Polydactyly . スタンフォード大学 , USA ; 2002年8月
- 6) 荻野利彦: 絞扼性末梢神経障害について. 小樽整形外科部会講演会, 小樽; 2002年8月
- 7) 荻野利彦: 肘関節周辺の諸問題. 金沢整形外科セミナー第3回夏期学術講演会, 金沢; 2002年8月
- 8) 柏英雄, 土田浩之, 高原政利, 荻野利彦, 清重佳郎: 足のdegloving injuryの1例.第8回東北マイクロサージャリー懇話会, 仙台; 2002年10月
- 9) 小林真司:急速破壊型股関節症:第53回山形整形外科研究会研修医セミナー,山形;2002年11月
- 10) 大辻美和子,高原政利,原田幹生,朴哲,関徳宏,斎藤英子,神村栄吉,高木理彰,荻野利彦:脛骨列形成障害の成立過程におけるFg8とBmp4の発現異常.実験動物セミナー 第13回研究成果発表会,山形;2002年12日
- 11) 金内ゆみ子,高原政利,原田幹生,荻野利彦,土田浩之,柏英雄:短指症の病態に関する研究:短肢症マウスにおける指節骨の分析.実験動物セミナー,第13回研究成果発表会,山形;2002年12月

- 12) 朴哲,高原政利,原田幹生,大辻美和子,高木理彰,斎藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス肋軟骨損傷の修復過程.実験動物セミナー,第13回研究成果発表会,山形;2002年12月
- 13) 原田幹生,高原政利,朴哲,大辻美和子,高木理彰,斎藤英子,伊藤恒賢,荻野利彦:マウス前・後十字靱帯発生におけるGDF5の役割についての検討.実験動物セミナー,第13回研究成果発表会,山形;2002年12月

# 病 理 部

# 1.論 文

# (1) 原 著

- 1) Maeda K, Matsuda M, Suzuki H, Saitoh H: Immunohistochemical recognition of human follicular dendritic cells (FDCs) in routinely processed paraffin sections. J Histochem Cytochem 2002; 50: 1475-1485
- 2) Maeda K, Matsuda M, Yuda F, Saitoh H: Malignant lymphoma in Yamagata Prefecture: retrospective investigation on incidence and preferential sites, and a re-evaluation according to newly published WHO (World Health Organization) classification. J Clin Exp Hematopathol 2002; 42: 47-54
- 3) Ito N, Semba S, Ito M, Takeda H, Kawata S, Yamakawa M: Phosphorylation of Akt/PKB is required for suppression of cancer cell apoptosis and tumor progression in human colorectal carcinoma. Cancer 2002; 94:3127-3134
- 4) Semba S, Itoh N, Ito M, Harada M, Yamakawa M: The in vitro and in vivo effects of 2-(4-morpholinyl)-8-phenyl-chromone (LY294002), a specific inhibitor of phosphatidylinositol 3'-kinase, in human colon cancer cells. Clin Cancer Res 2002; 8: 1957-1963
- 5) Semba S, Itoh N, Ito M, Youssef EM, Harada M, Moriya T, Kimura W, Yamakawa M: Down-regulation of PIK3CG, a catalytic subunit of phosphatidylinositol 3-OH kinase, by CpG hypermethylation in human colorectal carcinoma. Clin Cancer Res 2002; 8: 3824-3831
- 6) Suzuki A, Masuda A, Nagata H, Kameoka S, Kikawada Y, Yamakawa M, Kasajima T: Mature dendritic cells make clusters with T cells in invasive margin of colorectal carcinoma. J Pathol 2002; 196: 37-43
- 7) Kumazawa H, Maeda K, Ito M, Yamakawa M, Hino T, Nakamura C, Uchimura F, Arai S: Expression of glucocorticoid receptor and 11 -hydroxysteroid dehydrogenase in a case of pulmonary epithelioid hemangioendothelioma. J Clin Pathol: Mol Pathol 2002; 55: 61-64
- 8) Yamakawa M, Abdoh A, Masuda A, Miyauchi S, Kasajima T, Ohmori A, Oguma T, Takasaki K: Follicular dendritic cell sarcoma of the omentum. Virchows Arch 2002; 440: 660-663
- 9) Inoue T, Takahashi T, Yamakawa M: Expression of complement-regulating factors in gastric cancer cells. J Clin Pathol: Mol Pathol 2002; 55:193-199
- 10 ) Kawanami T, Kurita K, Yamakawa M, Omoto E, Kato T: Cerebrovascular disease in acute leukemia: A clinicopathological study of 14 patients. Int Med 2002; 41: 1130-1134
- 11 ) Abe K, Asano K, Yamakawa M, Ueda M: Expression of cell-cycle markers in bladder cancer: superiority of cyclin A and Ki-67 as indicators of poor prognosis. Jikeikai Med J 2002; 49: 163-171
- 12) 高山真,五十嵐美晴,阿部修一,山口裕之,柴田健彦,阿部茂,佐藤隆行,白壁昌憲,山川光徳:完全房室 ブロックを呈した心嚢原発B細胞リンパ腫の1例.日本内科学会雑誌 2002;91:231-233
- 13) 伊藤真文,前田邦彦,山川光徳:腎原発カルチノイド腫瘍の1例.診断病理,2002;19:39-42
- 14) 前田邦彦, 斉藤仁昭, 山川光徳, 松田幹夫: 山形県における悪性リンパ腫の新WHO分類に基づく病理組織学 的再検討. 福島医学雑誌, 2002; 52:82-83
- 15) 仙波秀峰, 笹野公伸, 山川光徳:『細胞診:基礎と臨床 DNA microarray』. 病理と臨床, 2002; 20: 105-112
- 16) 布施恒和:乳腺組織の脱脂法. Medical technology 2002;30:574
- 17) 布施恒和:包埋、薄切に関する一工夫. Medical technology 2002; 30:857
- 18) 布施恒和: 病理検査における微小組織の取り扱い法. Medical technology 2002; 30:1212
- 19) 布施恒和:固定による組織の変化.検査と技術2002;30:1342-1344

#### (2) 著書

- 1) Saito T, Mitsui H, Watanabe H, Terui Y, Takeda T, Aoki M, Saito K, Nagashima R, Takeda H, Misawa H, Togashi H, Yamakawa M, Kawata S: Expression of musashi-1 antigen, a neural stem cell RNA-binding protein, in the liver tissues of patients with hepatitis. In: Okita k, ed. Growth, proliferation, and apoptosis in hepatocytes. Tokyo; Springer-Verlag, 2002: 11-18
- 2) Watanabe S, Tochikura A, Takeda H, Kawata S, Kimura W, Yamakawa M: Localization and phenotypic characteris-

tics of mucosal dendritic cells in ulcerative colitis. In: Ree HJ, Akagi T, eds. Lymphoreticular cells and diseases. Seoul; The Korean Society of Pathologists, 2002: 153-158

3) Okazaki S, Ohta N, Aoyagi M, Yamakawa M, Imai Y: Expression of glucocorticoid receptor in non-neoplastic and neoplastic lymphoid tissues. In: Ree HJ, Akagi T, eds. Lymphoreticular cells and diseases. Seoul; The Korean Society of Pathologists, 2002: 159-163

# 2. 学会報告

## (1) 国外の学会

- 1) Harada M, Mitsui H, Watanabe S, Takeda H, Kawata S, Yamakawa M, Imai Y: Inhibition of micrometastasis by dendritic cells fused with colon cancer cells in mouse experimental liver metastasis model. 7th International symposium on dendritic cells, Bamberg; September 2002
- 2) Iizawa K, Yamakawa M, Imai Y, Amagasa S, Horikawa H: Dexamethasone inhibits maturation of human monocytederived dendritic cells via down-regulation of glucocorticoid receptor. 7th International symposium on dendritic cells, Bamberg; September 2002

#### (2) 国内の学会

- 1) 仙波秀峰,山川光徳:ヒト大腸癌におけるAkt/PKBリン酸化の細胞増殖・アポトーシスに対する影響. 第91回日本病理学会,横浜;2002年3月
- 2) 渡辺晋一郎,前田邦彦,伊藤真文,山川光徳:潰瘍性大腸炎における活動性炎症と樹状細胞との関連性. 第91回日本病理学会,横浜;2002年3月
- 3) 原田将,三井浩子,渡辺晋一郎,武田弘明,河田純男,山川光徳:融合樹状細胞を用いたマウス大腸癌の免疫療法:第39回日本消化器免疫学会,新潟;2002年3月
- 4) 布施恒和:がん、早期発見をめざして.第51回日本医学検査学会,仙台;2002年5月
- 5) 鈴木俊紀, 布施恒和, 前田邦彦: 眼瞼より発生したMalignant epithelioid Schwannomaの1例.第41回日本臨床細胞学会, 下関; 2002年11月

# (3) 国内地方会

- 1) 斉藤仁昭,山川光徳,笠島武,斉藤善広,武藤大成:膵体部腫瘍の一例.第54回日本病理学会東北支部学術 集会,仙台;2002年2月
- 2) 布施恒和:病理細胞診の精度管理と医療事故防止.第9回東北病理研修会,盛岡;2002年6月
- 3) 角田力弥,結城秀樹,前田邦彦,中村直哉,阿部正文,山川光徳:肺に出現した多発生結節性病変の一例. 第55回日本病理学会東北支部学術集会,山形;2002年7月
- 4) 布施恒和: 病理検査後の廃棄物処理について.第1回札幌地区病理学セミナー, 札幌; 2002年11月

# (4) 研究会

- 1) 前田邦彦, 赤塚直子, 松田幹夫, 山川光徳: ヒト濾胞樹状細胞 (Follicular Dendritic Cells: FDC)の分化と成熟 剖検胎児リンパ節の系統的免疫組織化学的観察 . 第13回日本樹状細胞研究会シンポジウム「樹状細胞の臓器特性と疾患」, 岡山; 2002年7月
- 2) 前田邦彦,田嶋克史,山川光徳: B-細胞性悪性リンパ腫の骨髄浸潤の評価法に関する検討.第3回山形造血器疾患研究会.秋期懇話会,山形;2002年10月
- 3) 前田邦彦,原田将,田村真明,瓜生康浩,畑垣文,松田幹夫,山川光徳:血液貪食症候群を伴ったB-細胞性 悪性リンパ腫の一剖検例.第18回悪性リンパ腫研究会,郡山;2002年11月

#### (5) その他

1) 山川光徳:(招待講演)濾胞樹状細胞の形態と機能,第52回東北臨床超微形態懇話会,仙台;2002年12月

# 3. その他

1) 日本病理学会東北支部学術集会分科会.第1回日本病理学会東北支部学生病理学夏期セミナー(夏の学校), 山形;2002年9月

# 治験管理センター

# 1.学会報告

# (1) 国内の学会

- 1) 東海林徹,高橋修二,太田昭子,斎藤純子,嘉山孝正,大谷浩一,仲川義人:自主研究における治験管理センターの役割.第2回CRCと臨床試験のあり方を考える会議,横浜;2002年10月
- 2) 太田昭子,東海林徹,高橋修二,斎藤純子,嘉山孝正,長岡栄子,仲川義人:山形大学医学部附属病院治験 管理センターにおける看護師CRCの役割.第12回日本医療薬学会年会,福岡;2002年10月
- 3) 高橋修二,太田昭子,東海林徹,斎藤純子,嘉山孝正,長岡栄子,仲川義人:山形大学医学部附属病院治験 管理センターにおける薬剤師CRCの役割.第12回日本医療薬学会年会,福岡;2002年10月

# 2. そ の 他

1) 山形大学医学部附属病院 治験管理センター一般市民公開講座,山形;2002年7月

# 薬 剤 部

# 1.論 文

### (1) 原 著

- 1) Shiraishi T, Nakagawa Y: Evaluation of the bactericidal activity of povidone-iodine and commercially available gargle preparations. Dermatology 2002; 204: 37-41
- 2) 豊口禎子,海老原光孝,小嶋文良,細谷順,仲川義人:移植患者における血漿中アシクロビルおよびコ・トリモキサゾール濃度の検討.臨床薬理 2002;33:123S-124S
- 3) 豊口禎子,海老原光孝,小嶋文良,細谷順,仲川義人:移植患者における血漿中アシクロビル濃度の検討. TDM研究 2002;19:207-208
- 4) 豊口禎子,海老原光孝,小嶋文良,細谷順,仲川義人:薬物血中濃度測定に及ぼす各種採血管の影響.TDM 研究 2002;26:207-208
- 5) 大滝和幸,豊口義夫,吉田慎一,古川雄彦,白石正,東海林徹,仲川義人:注射薬オーダリングシステムを利用した血漿分画製剤管理システムの構築.日病薬誌 2002;37:45-48
- 6) 小嶋文良,加藤修一,小西裕子,東海林徹,友池仁暢,仲川義人:フルタイド使用法の問題点とその解析. 医療薬学 2002;28:51-5

#### (2) 総 説

- 1) 仲川義人:消毒薬と耐性菌.臨床検査 2002;46:209-212
- 2) 仲川義人:点滴用器材と環境ホルモン.医療廃棄物研究 2002;15:1-9
- 3) 仲川義人: Infection Control Team の現状 薬剤部として . 実験治療 2002; 665: 30-33
- 4) 仲川義人: 卒前後教育の中の抗菌薬と感染対策 薬剤師の役割 . INFECTION CONTROL 2002; 11: 32-38
- 5) 仲川義人: ICT(Infection Control Team)と薬剤師.薬局 2002;53:67-72
- 6) 仲川義人:院内感染防止における薬剤師の役割 生命と薬.日本薬剤師会会報 2002;18:4
- 7) 東海林徹:注射薬配合変化の回避の考え方.医薬ジャーナル 2002;38:93-98
- 8) 東海林徹:基礎薬学と医療薬学の接点.化学と薬学の教室 2002;147:43-46
- 9) 仲川義人, 白石正: 抗菌力からみた消毒剤使用の基本. INFECTION CONTROL 2002; 11:30-35
- 10) 白石正,仲川義人:大学病院における調剤過誤防止対策.医薬品相互作用研究 2002;25:81-82
- 11) 白石正,仲川義人:抗菌剤配合液体石けんの除菌効果. INFECTION CONTROL 2002; 11:416-418
- 12) 白石正:院内感染対策のシステム化. 医薬品相互作用研究 2002; 24:113-115
- 13) 白石正:消毒薬とリスクマネージメント.機能水医療研究2002;3:1331-133
- 14) 白石正:手指消毒薬と石けん成分の特徴.INFECTION CONTROL 2002; 11:50-52
- 15) 白石正,仲川義人: ICD認定薬剤師の役割. INFECTION CONTROL 2002; 11:92-95
- 16) 白石正,仲川義人:プリオンの消毒.臨床と消毒2002;29:423-425
- 17) 白石正:消毒法. 臨床看護 2002;28:1544-1549
- 18) 古川雄彦,仲川義人:治療計画のための薬理学 遮断剤(1).臨床と薬物治療 2002;21:529-533
- 19) 古川雄彦,仲川義人:治療計画のための薬理学 遮断剤(2).臨床と薬物治療 2002;21:600-605
- 20) 東海林徹,仲川義人:栄養管理と薬剤師のかかわり TPN調製時の注意点 配合変化と無菌保証 . 月刊薬事 2002;44:87-92

### (3) その他

- 1) 小嶋文良,仲川義人:山形県内の薬局における吸入剤の患者指導に関するアンケート調査 患者指導状況 . 薬苑 2002;49:27-32
- 2) 小嶋文良,仲川義人:山形県内の薬局における吸入剤の患者指導に関するアンケート調査 定量噴霧式吸入剤(MDI)-使用状況-.薬苑 2002;50:19-25
- 3) 小嶋文良,仲川義人:山形県内の薬局における吸入剤の患者指導に関するアンケート調査 フルタイドロタディスク(ディスクヘラー)使用法の注意点.薬苑 2002;50:19-25
- 4) 仲川義人:リスクマネジメントを中核においた薬剤業務.生活習慣病ジャーナル 2002;6:9

- 5) 仲川義人: リスクマネジメントの一環として血漿分画製剤と麻薬管理システムを開発. Pharm Assist 2002;38:7
- 6) 仲川義人:知っておきたい最新のキーワード(21). Medical Pharmacy 2002; 36:31-33
- 7) 仲川義人,白石正:薬剤師が院内感染対策に積極的に取組んでいくために.ICネットワーク 2002;2:1
- 8) 仲川義人:薬剤師の院内感染対策委員会活動.ファーマシスト&セラピー 2002;32:1-4
- 9) 仲川義人:山形県病薬創立35周年を迎えて.薬事新報 2002;2240:15
- 10) 仲川義人:私と感染管理.サークルズ 2002;4:21
- 11) 仲川義人:院内感染対策-我が国の動向-.DIAs 2002;3:1-4
- 12) 東海林徹,仲川義人:輸液の安全管理のため新輸液セットを開発.臨床のあゆみ 2002;54:14-15
- 13) 山形大学医学部附属病院(仲川義人):薬剤師がステロイド吸入指導を行い治療効果を上げる. Panacea 2002;17:7-10
- 14) 山形大学医学部附属病院(仲川義人):薬剤師が中心となって取り組むICT. Panacea 2002;18:1-4
- 15) 仲川義人:第1回日韓注射薬臨床情報学シンポジウム.PEN 2002;20:1-3

# 2.学会報告

## (1) 国外の学会

- 1) Nakagawa Y: A Clinical Pharmacy-based Parenteral Nutrition Services and Incompatibility in Admixing Injection.

  The 1st Korea-Japan Joint Symposium for Clinical Infection on Parenteral Drugs, Ko soul; March 2002
- 2) Takahashi S, Shoji T, Nakagawa Y: Usefulness of PNtwin for Home Parenteral Nutrotion. The 1st Korea-Japan Joint Symposium for Clinical Infection on Parenteral Drugs, Ko souk; March 2002
- 3) Shoji T, Takahashi N, Nakagawa Y: Evaluation of Taste of the Flavor for Enteral Nutrition The 1st Korea-Japan Joint Symposium for Clinical Infection on Parenteral Drugs, Ko soul; March 2002
- 4) Kuramoto K, Shoji T, Takahashi S, Nakagawa Y: Problems Related to the Tritable Acidity of TPN Slolution Products and the Role of the Pharmacist. The 1st Korea-Japan Joint Symposium for Clinical Infection on Parenteral Drugs, Ko soul; March 2002

# (2) 国内の学会

- 1) Toyoguchi T, Ebihara M, Ojima F, Hosoya J, Nakagawa Y: Clinical study of nephrotoxicity and vancomycin clearance. The 1ST East Asian Conference on Infection Control and Prevention, Tokyo; November 2002
- 2) 小西裕子,海老原光孝,小嶋文良,細谷順,板垣末廣,豊口禎子,仲川義人:術後患者におけるテオフィリンクリアランスと各種影響因子との関連性.日本薬学会第122回年回,千葉;2002年3月
- 3) 豊口禎子,小西裕子,海老原光孝,小嶋文良,細谷順,仲川義人,三井哲夫:MTX-LV救援療法時のコ・トリモキサゾールの体内動態.第19回日本TDM学会学術大会,熊本;2002年5月
- 4) 豊口禎子,海老原光孝,小嶋文良,細谷順,仲川義人:薬物吸着剤併用による有害作用回避に関する検討. 第23回日本臨床薬理学会年会,大阪;2002年12月
- 5) 白石正,仲川義人,中村幹彦,小沢満:手洗いの問題点(手荒れの実態調査).第77回日本医科器械学会, 東京;2002年5月
- 6) 中村幹彦,小沢満,白石正,仲川義人:医療従事者のハンドケアと感染防止.第77回日本医科器械学会, 東京,2002年5月
- 7) 太田玲子,高橋長一郎,白石正,富永真琴:臨床分離菌の変遷と使用抗菌薬の推移(第一報) 10年前の調査 と比較 - . 第76回日本感染症学会総会,東京;2002年4月
- 8) 太田玲子,高橋長一郎,白石正,富永真琴:臨床分離菌の変遷と使用抗菌薬の推移(第二報) 10年前の調査 との比較による関連性 - . 第76回日本感染症学会総会,東京;2002年4月
- 9) 太田玲子,高橋長一郎,白石正,富永真琴:臨床分離菌の変遷と使用抗菌薬の推移(第三報)-MRSAとの関連-.第76回日本感染症学会総会,東京;2002年4月
- 10) 細谷順,海老原光孝,小嶋文良,豊口禎子,仲川義人:リドカイン含有含嗽液使用後の血清中リドカイン濃度.医療フォーラム2002,千葉;2002年7月

#### (3) 国内地方会

1) 小嶋文良,仲川義人:服薬指導実演を取り入れた「吸入指導に関する研修会」を開催して.第41回日本薬学

会東北支部大会,弘前;2002年10月

#### (4) 研 究 会

- 1) 小嶋文良,仲川義人:吸入剤患者指導の問題点-アンケート調査結果より-.第48回山形県薬学大会,山形 2002年3月
- 2) 小嶋文良:吸入療法における留意点.呼吸器感染症フォーラム,山形;2002年5月
- 3) 小嶋文良,豊口禎子,海老原光孝,仲川義人:病院食のグレープフルーツとシクロスポリン血中濃度.医薬品相互作用研究会,山形;2002年5月
- 4) 小嶋文良,仲川義人:山形県内の薬剤師を対象とした「吸入指導に関する研修会」. 吸入指導に関する研修会,山形;2002年7月
- 5) 小嶋文良,仲川義人:薬剤師を対象とした「吸入指導に関する研修会」を終えて.吸入指導に関する研修会, 山形;2003年3年
- 6) 高橋洋子: 当院における麻薬管理台帳作成支援システムの導入について 麻薬製剤の使用動向と緩和医療について . 緩和医療研究会,山形,2002年6月

# (5) その他

- 1) 仲川義人: フォーラム : インフェクションコントロールチーム(ICT)と薬剤師. フォーラム2002: 衛生薬 学・環境トキシコロジー, 広島; 2002年10月
- 2) 仲川義人:ICTにおける薬剤師の役割.第71回病院感染症連続セミナー,東京;2002年3月
- 3) 仲川義人:薬剤師によるICT活動の限界. 感染制御フォーラム, 2003年1月

## 3. その他

1) 山形県病院薬剤師会吸入指導に関する研修会,山形;2002年4月 米沢;2002年6月 酒田;2002年8月 新庄;2002年10月

# 動物 実験施設

# 1.論 文

#### (1) 原 著

- 1) 遠藤順子,大和田一雄:イヌのケージサイズとストレス-ホルター心電図を用いたストレス評価の試み. 実験動物と環境 2003;21:57-59
- 2) 平井一郎,須藤幸一,森谷敏幸,布施明,遠藤順子,本間貞明,大和田一雄,木村理:受動的門脈・下大動脈バイパスを用いたブタ肝移植術.山形医学 2002;20(2):29-39

#### (2) 著書

1) 大和田一雄: 労働安全衛生の基本的原則.黒沢努,佐藤浩監修,実験動物の管理と使用に関する労働安全衛 生指針.東京;アドスリー,2002:110-128

#### (3) その他

- 1) 大和田一雄:異種移植動物飼育環境の問題点-飼育技術者-.実験動物と環境 2003;21:12-13
- 2) 大和田一雄:実験動物の飼養及び保管等に関する基準の改正を考える 実験動物の健康及び保持 . 飼育及び保管の担当者 . 実験動物と環境 2002;20:146-148
- 3) 大和田一雄:実験動物関係者の労働安全衛生を考える-労働安全衛生計画の基本的原則-.実験動物と環境 2002;20:129-133

# 2. 学 会 報 告

### (1) 国内の学会

- 1) 遠藤順子,大和田一雄:イヌのケージサイズとストレス-ホルター心電図を用いたストレス評価の試み-. 第27回日本実験動物環境研究会総会,東京;2002年11月
- 2) 伊藤恒賢,大和田一雄,友池仁暢:食後高脂血症家兎における耐糖能と食後TG-月齢差と性差について . 第36回日本実験動物技術者協会総会,札幌;2002年6月
- 3) 遠藤順子,長谷見徹,橋本匡司,丸山みゆき,大和田一雄,大島誠之助:機種及び飼育ケージの違いによる ビーグルの血液生化学値の比較.第36回日本実験動物技術者協会総会,札幌;2002年6月
- 4) 長谷見徹,遠藤順子,原田延行,大和田一雄,大島誠之助:ストレスからみたBeagle用ケージサイズの検討. 第36回日本実験動物技術者協会総会,札幌;2002年6月
- 5) 神村栄吉,遠藤順子,伊藤恒賢,大和田一雄: Phosopus sungorusのリンパ球培養細胞における細胞世代時間の検討: 第49回日本実験動物総会,名古屋; 2002年5月
- 6) 伊藤恒賢,大和田一雄,友池仁暢:食後高トリグリセリド血症家兎の耐糖能.第49回日本実験動物総会, 名古屋;2002年5月
- 7) 大和田一雄,伊藤恒賢:動物実験施設の臭気レベル.第49回日本実験動物総会,名古屋;2002年5月
- 8) 小川真美,神村栄吉,中島竜之,山村綾子,柳田佳代,井出幸恵,高田理恵,金子武人,大和田一雄,中潟 直己:胚の低温保存に関する研究.第49回日本実験動物総会,名古屋;2002年5月

### (2) 国内地方会

- 1) 遠藤順子,若佐谷敦,本間貞明,大和田一雄:イヌのケージサイズとストレス,平成14年度日本実験動物技 術者協会東北・奥羽合同支部会,盛岡;2002年10月
- 2) 伊藤恒賢,金 晶恵,大和田一雄,友池仁暢:食後高脂血症家兎の脂肪負荷試験の試み 脂肪負荷量の検討-,平成14年度日本実験動物技術者協会東北・奥羽合同支部会,盛岡;2002年10月
- 3) 工藤亜紀,神村栄吉,伊藤恒賢,大和田一雄:当施設における疾患モデルマウスの体外受精成績,平成14年 度日本実験動物技術者協会東北・奥羽合同支部会,盛岡;2002年10月

# (3) 研究会

1) 大和田一雄:山形大学における実験動物教育システムの現況,実験動物教育システムに関する研究会, 新潟;2002年10月

# 実習機器センター

# 1.学会報告

- (1) 国内の学会
  - 1) 佐藤道比古,張旭紅,笹原政直,吉田匡:大腸菌で発現させたb5+b5r蛋白質の酵素活性の検討.第75回日本 生化学大会,京都;2002年10月
  - 2) 張旭紅,佐藤道比古,笹原政直,吉田匡:大腸菌で発現されたDrosophilaのヘム分解酵素の性質の検討. 第75回日本生化学大会,京都;2002年10月
- (2) その他
  - 1) 佐藤道比古: PCRクローニングとLightCyclerによる組織内mRNAの定量. 大学院研究手法コース, 山形; 2002年11月

# 2. そ の 他

1) 理科教員のための組換えDNA実験研修(平成13年度文部科学省サイエンス・パートナーシップ・プログラム), 山形;2002年12月(新聞報道:読売新聞、山形新聞(12月22日付))

# 遺伝子実験施設

# 1.論 文

#### (1) 原 著

Sun J, Hoshino H, Takaku K, Nakajima O, Muto A, Suzuki H, Tashiro S, Takahashi S, Shibahara S, Alam J, Taketo M, Yamamoto M, Igarashi I: Hemoprotein Bach1 regulates enhancer availability of heme oxygenase-1 gene. EMBO J 2002; 21: 5216-5224

# (2) 総 説

1) 中島修,山本雅之: X染色体連鎖型鉄芽球性貧血モデルおよび鉄代謝異常関連遺伝子改変動物の分子生物学的解析.高久文麿他編, Annual Review 2002 血液.東京;中外医学社,2002:59-66

# 2. 学 会 報 告

## (1) 国外の学会

1) Nakajima O: In Vivo Analysis of Erythroid-Specific Aminolevulinate Synthase Function. Gordon Research Conference on The Chemistry and Biology of Tetrapyrroles, Newport, Rhode Island; July 2002

# (2) 国内の学会

1) Nakajima O, Takahashi S, Yamamoto M: "In Vivo Analysis of Erythroid-Specific 5-Aminolevulinate Synthase Function. 6th International Porphyrin-Heme Symposium, Tokyo; July 2002

#### (3) 国内地方会

- 1) Kelly VP, Nakajima O, Yamamoto M, Nishimura S: Investigating The Role of Selenoproteins in Mice by Targeting the Selenocysteine Transfer RNA Locus . 第25回日本分子生物学会年会,横浜; 2002年12月
- 2) 中島修,高橋智,山本雅之:遺伝子改変マウスを用いた鉄芽球性貧血モデルの発生学的鉄動態解析.日本生 化学会東北支部第68回例会,山形;2002年5月
- 3) 孫継英,中島修,鈴木洋,武藤哲彦,田代聡,柴原茂樹,武藤誠,山本雅之,五十嵐和彦:へム結合生転写 因子Bach1によるヘムオキシゲナーゼ-1遺伝子制御機構の解析.第75回日本生化学会大会,京都;2002年10月
- 4) 三村純正,馬場崇,細谷朋方,大島基彦,中島修,本橋ほづみ,高橋智,山本雅之,藤井義明:AhRRによるAhRのネガティブフィードバック制御機構.第25回日本分子生物学会年会,横浜;2002年12月
- 5) 鈴木教郎,大根田修,峯岸直子,太田貴之,西川光郎,中島修,高橋智,山本雅之:GATA-2を発現する骨髄 造血幹細胞および前駆細胞の増殖脳と分化能の解析.第25回日本分子生物学会年会,横浜;2002年12月
- 6) 森口尚,本橋ほづみ,細谷朋方,中島修,高橋智,大迫誠一郎,青木康展,遠山千春,藤井義明,山本雅之:ヒト型ダイオキシン受容体ノックインマウスの表現型解析.第25回日本分子生物学会年会,横浜;2002年12月
- 7) 中島修,日下智聖,高橋智,山本雅之:赤血球型5-アミノレブリン酸合成酵素(ALAS-E)遺伝子改変マウス を用いた環状鉄芽球形成モデルの確立.第25回日本分子生物学会年会,横浜;2002年12月

# 編 集 後 記

編集委員長(代謝再生統御学講座 運動機能再建·回復学分野教授)

# 荻 野 利 彦

2002年の研究業績集をお届けいたします。来年度より国立大学から独立行政法人へ移行することになっておりますので、国立大学医学部として私達が発行する最後の研究業績集ということになります。これを機会にまた頑張りましょうと言うことではないかと思います。

1年間の仕事のまとめとしての業績集は、一方で自己評価、外部評価の資料として重要な役割を 果たします。従って業績集の内容には、評価の項目として種々のものが含まれる必要があります。 学問的な業績のほかに、社会的な活動なども入れるべきであるという意見も聞かれます。具体的に は、学術雑誌の編集や査読などがそれに相当します。どの範囲の資料を含めるべきかなど検討しな ければならない事項もあります。新しい業績集づくりに対してご意見があればお寄せ下さい。

さて今年度は研究業績集のCD - ROM化について検討されました。印刷物としての研究業績集にも良さがあります。CD - ROMにも長所と欠点があります。CD - ROMの最も良い点は場所をとらないことと、資料を自由に移動し印刷できることです。是非これらの機能を利用して、個人の資料整理などに役立てていただければと思います。

2003年7月

# 山形大学医学部研究業績集編集委員会

委	員	長	荻	野	利	彦
委		員	後	藤		薫
委		員	藤	井	順	逸
委		員	若	林	_	郎
委		員	島	﨑	靖	久
委		員	倉	智	博	久
委		員	高	橋	みや	子
委		員	塩	飽		仁
委		員	Щ	下	英	俊

編集責任者

平成15年7月31日印刷 平成15年7月31日発行

編集兼発行者 山形大学医学部 山形市飯田西2丁目2-2

印刷所 坂部印刷株式会社

山形市旅篭町2丁目1-21